

平成 26 年度 住宅市場技術基盤強化推進事業

大工・職人の実態に関するアンケート調査
報告書

平成 27 年 3 月

一般社団法人 木を活かす建築推進協議会

大工・職人の実態に関するアンケート調査 報告書 目次

1.	目的及び概要	・・・・・・・・	1
1. 1	背景・目的	・・・・・・・・	1
1. 2	調査の実施概要	・・・・・・・・	2
2.	設問別調査結果	・・・・・・・・	6
2. 1	職種別集計	・・・・・・・・	6
2. 2	地域別集計	・・・・・・・・	34
2. 3	年齢別集計	・・・・・・・・	62
2. 4	経験年数別集計	・・・・・・・・	84
2. 5	雇用形態別集計	・・・・・・・・	106
2. 6	賃金別集計	・・・・・・・・	130
資料編	(自由記述回答)		
・	その他の職種	・・・・・・・・	1
・	その他の健康保険	・・・・・・・・	9
・	なぜ育てる予定はないのですか	・・・・・・・・	10
・	担い手育成についての御意見	・・・・・・・・	12

1 目的及び概要

1.1 背景・目的

木造住宅・建築物の施工の中核的な存在である大工の不足が危惧されている。大工数は、特に若い世代の大工就業者が少ないため高齢化が進み、年々減少傾向にある。国勢調査によれば 2005 年に 54 万人いた大工は 2010 年には 40 万人に減少している。ここ 5 年間でこれまでの最大の 14 万人の減少を招いている。

木造住宅の新築工事では、プレカットの 9 割に達する普及により施工の合理化が進み、部材の墨付けや加工といった作業は大工の手から離れ、造作を含め加工済みの部材の組立・取付が、今日の大工の主たる作業となった。しかし、増改築やリフォームの現場では、大工が構造から造作・仕上げ、工事の進捗管理と工事を担う重要な役割を演じ、本来大工が備えるべき技術が不可欠となっている。

一方、プレカットの普及により新築の現場では、熟練した技術よりパワーと早さが求められたため、高い賃金を得やすい一人親方の増加を招き、大工技術の習熟度による賃金体系を崩壊させ、特に大規模なビルダーの世界では、大工技術を持たない中堅大工が増加し、将来性が見いだせない組立工の職に嫌気をさして、多くの離職者を生み出している。

大工以外の設計者や工務店の現場監督、プレカット技術者等も、木造住宅・建築物を支える重要な技術者で、職業倫理とコンプライアンスが求められ、適切な設計や施工を遂行する上で、彼等の木造に関する知識・ノウハウ等が不可欠となっている。

これらの技術者の多くは、大学や工業高校といった教育機関における建築専門課程を経て、就職することが一般的であるが、これらの教育機関では、木造に関わる講義・実習の機会はほとんどなく、大学や工業高校等で木造建築に関わる知識やノウハウを習得することは困難な状況にある。

企業や個人の努力に負って来た木造技術や知識の習得が、業界の停滞により、急速に衰え、今後の健全な木造の生産活動が危惧される状況となっている。

木造建築を理解し、関連する専門的な職能を備えた担い手を育成しなければ、人材の空洞化は今後一層深刻になることは明らかで、健全な市場形成が危ぶまれる。木造建築の担い手のあり様や育成の枠組みを包括的に検討・提言することが求められている。

本調査では、平成 24 年度から調査を継続して、木造技能者としての大工・職人の実態に関するアンケート調査を実施し、大工・職人の実態を明らかにし、現状を把握することを目的とする。

1.2 調査の実施概要

1.2.1 大工・職人の実態調査実施概要

1.2.1.1 概要

- ・ 調査対象
：平成 26 年度 住宅省エネルギー技術 施工技術者講習会に参加した木造技能者等

- ・ 実施期間
：2014 年 7 月～2015 年 2 月

- ・ 調査場所
：全国 47 都道府県で開催の講習会(平成 26 年度 住宅省エネルギー技術 施工技術者講習会)会場。

- ・ アンケート票配布及び回収方法
：講習会で教材と共に配布。終了考査解答用紙と共に提出を原則義務づけ。

アンケート票回収数

：全国で 10,183 票。

1.2.1.2 アンケート調査票

大工・職人の実態調査で用いたアンケート調査票を次項に示す。

1.2.1.3 前回調査からの変更点

H25 年度調査からアンケート票の設問等の変更点は特に無い。

受講日:平成 年 月 日() 会場: _____ 会場(都道府県名でお書きください)

大工の実態に関するアンケート調査

施工C

現在、地域に根ざした木造住宅等の生産体制の強化に向けて、大工の実態把握に向けた調査を実施しております。お分りの範囲内で結構ですので、ご回答をお願い致します。

※なお、お答えいただいた情報は、個人を特定できる情報として外部に公表されることはありません。

全国木造住宅生産体制推進協議会

■あなたの職業等について、お答え下さい。

(1) 年齢 [] 歳 (2) 性別 [1. 男 2. 女]

(3) 職種(下欄のあてはまるもの1つに○をつけてください)

1. 建築大工 2. 内装大工 3. 設備組立工 4. その他[]

(4) 上記の職種の経験年数(下欄のあてはまるもの1つに○をつけてください)

1. 3年未満 2. 3~5年 3. 6~10年 4. 11~20年
5. 21~30年 6. 31~40年 7. 41~50年 8. 51年以上

(5) あなたはこの職種においてベテランだと思いますか。(下欄のあてはまるもの1つに○をつけてください)

1. ベテラン 2. ややベテラン 3. 中堅 4. やや中堅 5. 見習い

■あなたの雇用形態について、お答え下さい。

(6) あなたの雇用形態(工務店等との)は次のうちどれですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 工務店社員 2. 外注常用(日当制) 3. 外注常用(坪請主体) 4. その都度契約
5. 元請として仕事 6. その他(アルバイト等)

(7) 就業規則 [1. 有 2. 無] (8) 有給休暇 [1. 有 2. 無] (9) 年間就業日数 約[]日

(10) 保険等について、あなたが現在加入しているものをそれぞれお選びください。(複数選択可)

10-1) 年金 :1. 厚生年金 2. 国民年金 3. 企業年金
10-2) 労働保険:1. 雇用保険 2. 労災保険 3. 一人親方労災保険
10-3) 健康保険:1. 国民健康保険 2. 組合健康保険(建設国保) 3. 組合保険(建設国保以外)
4. その他の健康保険()

(11) 賃金の中に含まれ、自己負担となっているもの全てに○をつけてください。(複数選択可)

1. 手道具 2. 電動工具 3. クギ金物 4. 車(保険含む) 5. ガソリン 6. 全て所属する工務店等が負担

(12) あなたのおおよその賃金((10)、(11)の諸経費が含まれた1日あたりの平均単価)をお答えください。1日あたりの平均単価が不明な場合は、総月収を労働日数で割ったおおよその額でご回答ください。

1. 8,000円未満 2. 8,000~10,000円未満 3. 10,000~15,000円未満
4. 15,000~20,000円未満 5. 20,000~25,000円未満 6. 25,000円以上

■あなたがお持ちの資格や技能について、お答え下さい。

(13) 次の1~12の資格のうち、あなたがお持ちのもの全てに○をつけてください。

1. 1級建築士 2. 2級建築士 3. 木造建築士 4. 1級建築施工管理技士
5. 2級建築施工管理技士 6. 1級建築大工技能士 7. 2級建築大工技能士
8. 枠組壁建築技能士 9. 職業訓練指導員 10. 増改築相談員
11. 足場の組立て等作業主任者 12. 木造建築物組立て作業主任者 13. 玉掛け技能講習修了者
14. クレーン運転技能講習修了者 15. 木材加工用機械作業主任者

⇒大工職の方のみご回答ください。

(14) 次の各項目について、「はい」か「いいえ」のどちらかあてはまる方に○をつけてください。

- | | |
|---------------------------------|----------------|
| ①墨付けができますか。 | [1. はい 2. いいえ] |
| ②今でも手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか。(新築) | [1. はい 2. いいえ] |
| ③今でも手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか。(増改築) | [1. はい 2. いいえ] |
| ④和室造作ができますか。 | [1. はい 2. いいえ] |
| ⑤2×4工法の住宅の施工ができますか。 | [1. はい 2. いいえ] |

■仕事に対する満足度や今後の意向について、お答え下さい。

(15) あなたは現在の仕事の内容について満足していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. とても満足している 2. まあ満足している 3. あまり満足していない 4. 満足していない

(16) あなたは現在の仕事で得られる収入等について満足していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. とても満足している 2. まあ満足している 3. あまり満足していない 4. 満足していない

(17) あなたは今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 60歳で引退する 2. 65歳で引退する 3. 70歳で引退する 4. 75歳で引退する
5. 仕事が出る限り続ける 6. 仕事がないため近々退職・引退する予定である

■担い手育成について、お答え下さい。

(18) 現在、担い手(見習い等)の育成を行っていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 現在育てている 2. 現在は育てていないが、人材がいれば育てたい
3. 現在は育てていないし、今後も育てる予定はない

⇒「1. 現在育てている」と答えた方のみご回答ください。

(19) 育成期間の担い手の立場は次のうちどれですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 正社員(職業訓練校) 2. 正社員(弟子として)
3. 一人親方等にあずける(職業訓練校) 4. 一人親方等にあずける(弟子として)

(20) 上記の育成にかかる費用負担を行っていますか [1. 有 2. 無]

⇒「3. 現在は育てていないし、今後も育てる予定はない」と答えた方のみご回答ください。

(21) なぜ育てる予定はないのですか。その理由として、1～8のうちあてはまるもの全てに○をつけてください。

- | | | |
|-------------------------|-----------------|-------------|
| 1. 育てても、一人前になると辞めてしまうため | 2. 教えるのが面倒なため | |
| 3. 費用がかかるため | 4. 言うことを聞かないため | 5. 人材がいないため |
| 6. 育てる自信がないため | 7. 将来の保障ができないため | 8. 年齢のため |
| 9. 仕事がプレカットのため | 10. 新築が少ないため | 11. その他[] |

(22) 担い手の育成にかかる費用の公的補助について、1人/月当たりどの程度必要と考えますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 3万円/月 2. 5万円/月 3. 10万円/月 4. 15万円/月 5. 必要ない

(23) 担い手育成についてご意見等がございましたら、下欄にご自由にご記入下さい。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

設問別調査結果

2.1 職種別集計

2.1.1 職業等について

2.1.1.1 年齢

大工全体では、平均年齢は 45.1 歳だった。

30代の割合が 29.2%と最も高く、次いで 40代が 23.0%、50代が 19.9%、60代が 15.6%だった。

前回調査（H25 年度）と比較すると、30代、40代の割合が大きく、50代以上の割合が小さくなった。

職種	合計	(1)年齢									平均
		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明		
全体	10,183	0.9	9.7	27.9	25.6	20.1	12.6	1.4	2.0	44.43	
大工	5,021	0.7	8.9	29.2	23.0	19.9	15.6	1.6	1.2	45.12	
設備組立工	96	0.0	8.3	29.2	37.5	16.7	6.3	0.0	2.1	42.30	
その他	4,513	1.0	10.6	26.7	28.7	20.7	9.9	1.2	1.3	43.87	

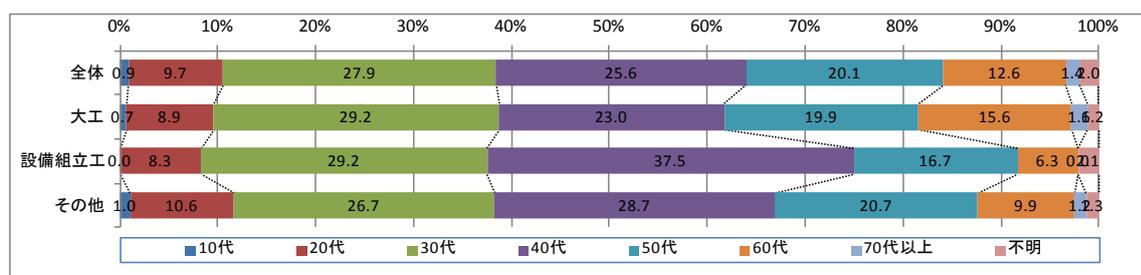


図 2.1 年齢 (H26 年度)

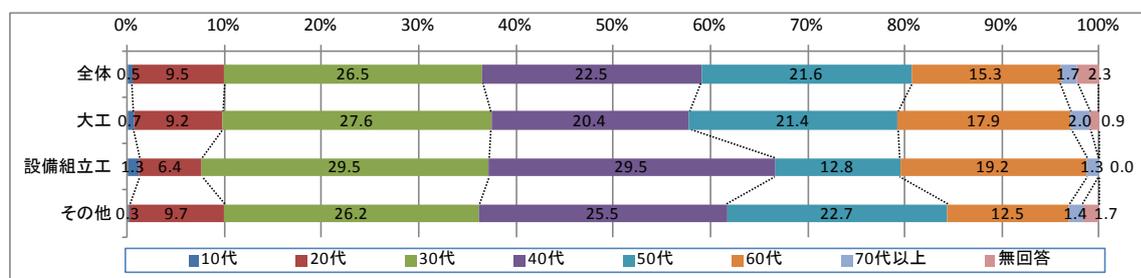


図 2.1# 年齢 (H25 年度)

2.1.1.2 性別

大工全体の性別は 98.0%が男性だった。

女性の割合は 0.4 で、今回のアンケート票数の合計 10,183 票に対して、約 40 票が女性となる。

前回調査（H25 年度）も、98.0%が男性であった。

	合計	(2)性別		
		男	女	不明
全体	10,183	93.2	4.8	2.0
職種				
大工	5,021	98.0	0.4	1.7
設備組立工	96	96.9	1.0	2.1
その他	4,513	89.1	9.7	1.2

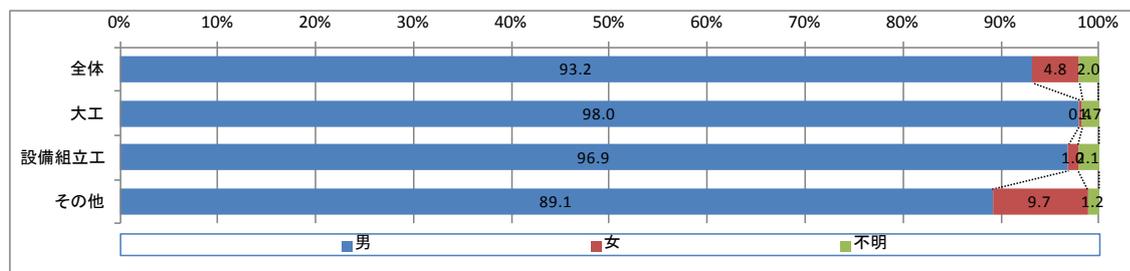


図 2.2 性別 (H26 年度)



図 2.2 性別 (H25 年度)

2.1.1.3 職種の経験年数

職種の経験年数は、「11～20年」の割合が30.3%で最も高い。次いで「21～30年」が18.7%、「31～40年」が16.4%、「41～50年」が14.8%だった。

大工の平均経験年数は23.8年だった。大工以外の職種では、設備組立工（17.3年）、その他（18.2年）であり、大工と比較すると約5年程度の経験年数の差が見られた。

前回調査（H25年度）と比較すると「21～30年」以下では全体的に割合が大きくなっており、「31～40年」以上の割合は小さくなった。

	合計	(4)職種の経験年数									平均 経験 年数 (年)	
		3年未満	3～5年	6～10年	11～20年	21～30年	31～40年	41～50年	51年以上	不明		
全体	10,183	7.5	5.2	10.5	27.5	18.8	14.7	9.2	1.4	5.4	21.1	
職 種	大工	5,021	4.4	3.8	9.1	30.3	18.7	16.4	14.8	2.2	0.5	23.8
	設備組立工	96	10.4	3.1	13.5	34.4	26.0	10.4	1.0	0.0	1.0	17.3
	その他	4,513	11.0	7.1	12.9	26.4	20.3	14.0	3.8	0.7	3.9	18.2

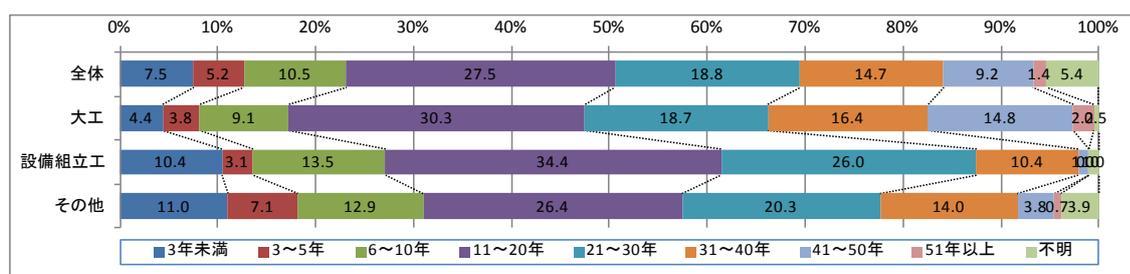


図 2.3 職種の経験年数 (H26年度)

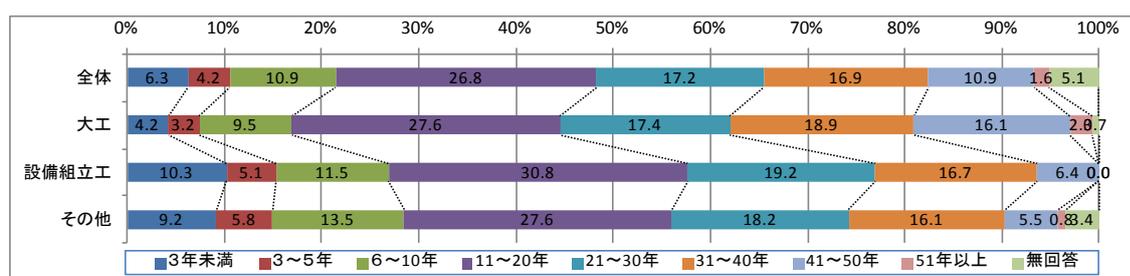


図 2.3 職種の経験年数 (H25年度)

2.1.1.4 職種においてベテランだと思いますか。

大工全体でみると、職種のベテラン割合は「中堅」の割合が34.1%で最も高かった。次いで、「ややベテラン」が21.4%、「ベテラン」が18.8%だった。

大工以外の職種と比較すると、大工の場合は「ややベテラン」、「ベテラン」の割合が大きかった。

前回調査（H25年度）も同様の割合構成だった。

	合計	(5)あなたのベテラン度合いについて					
		ベテラン	ややベテラン	中堅	やや中堅	見習い	不明
全体	10,183	16.2	18.0	31.5	14.0	12.6	7.7
職種 大工	5,021	18.8	21.4	34.1	13.4	9.8	2.5
設備組立工	96	20.8	14.6	35.4	12.5	12.5	4.2
その他	4,513	14.3	15.8	31.2	16.0	16.1	6.5

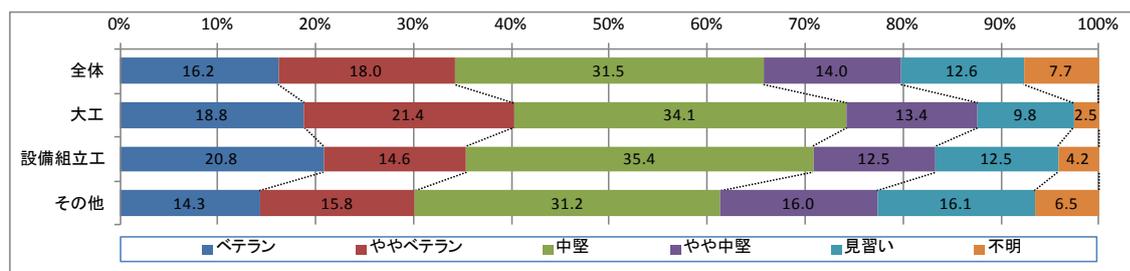


図 2.4 職種のベテラン度合 (H26 年度)

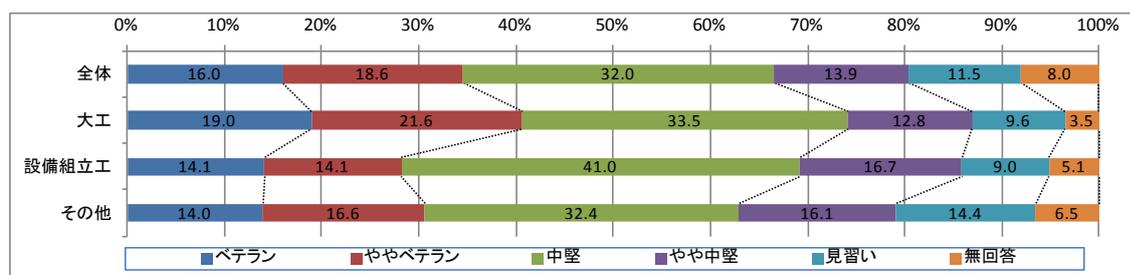


図 2.4# 職種のベテラン度合 (H25 年度)

2.1.2 雇用形態について

2.1.2.1 雇用形態（工務店等との）

大工の雇用形態では、「工務店社員」の割合が36.8%、「元請として仕事」が34.1%でほぼ等しい。その他には「外注常雇（日給制）」が12.0%、「外注常雇（坪請主体）」が10.3%、「その都度契約」が3.4%、「その他（アルバイト等）」が1.2%であった。

前回調査（H25年度）においても、大工の雇用形態の割合の構成は同様である。

大工の雇用形態としては、「工務店社員」、「元請として仕事」、「外注（日給、坪請主体、その都度）およびその他（アルバイト等）」の雇用形態がそれぞれ1/3ずつを占めて構成されていると考えられる。

職種	合計	(6)あなたの雇用形態						
		工務店社員	外注常雇(日給制)	外注常雇(坪請主体)	その都度契約	元請として仕事	その他(アルバイト等)	不明
全体	10,183	41.6	6.6	5.7	2.7	28.9	2.6	11.9
大工	5,021	36.8	12.0	10.3	3.4	34.1	1.2	2.2
設備組立工	96	33.3	4.2	7.3	9.4	35.4	2.1	8.3
その他	4,513	49.3	1.1	0.9	2.0	25.4	4.5	16.9

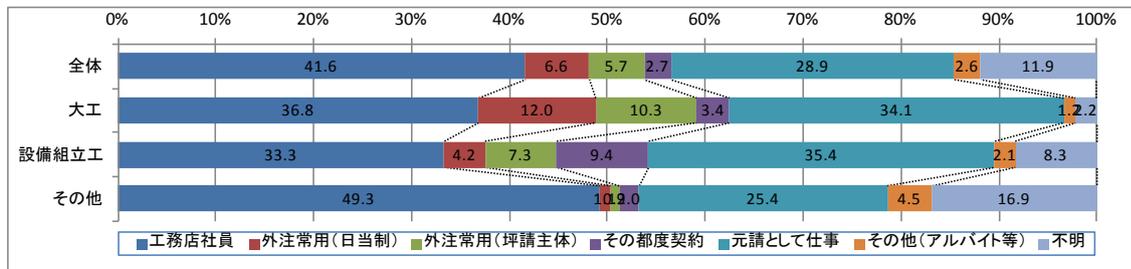


図 2.5 雇用形態（H26年度）

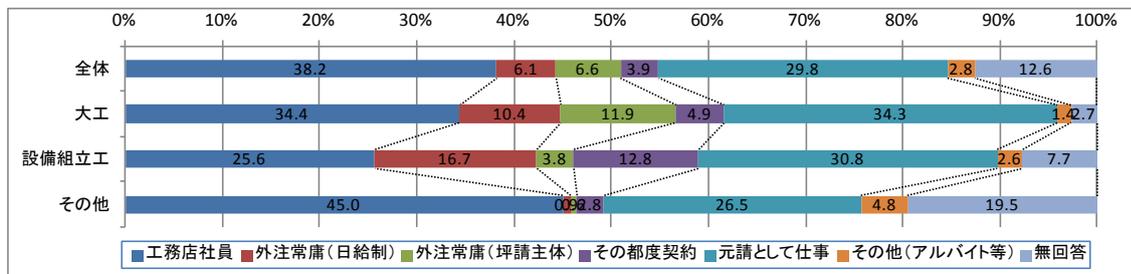


図 2.5 雇用形態（H25年度）

2.1.2.2 就業規則

大工の中で就業規則が「有る」と回答した割合は26.8%。「無い」と回答した割合は52.7%で、過半数を占めた。

大工以外の職種と比較すると、就業規則が「有る」と回答した割合は、設備組立工（51.0%）、その他（63.4%）であり、半数以上が「有る」と回答した。

		合計	(7)就業規則		
			有	無	不明
全体		10,183	42.9	34.3	22.8
職種	大工	5,021	26.8	52.7	20.5
	設備組立工	96	51.0	30.2	18.8
	その他	4,513	63.4	16.7	19.9

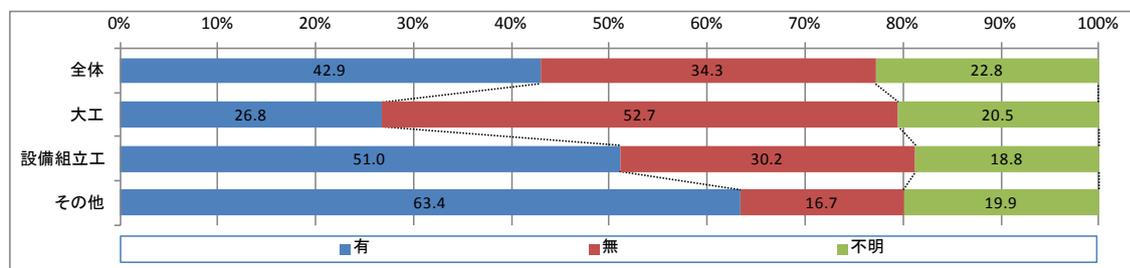


図 2.6 就業規則 (H26 年度)

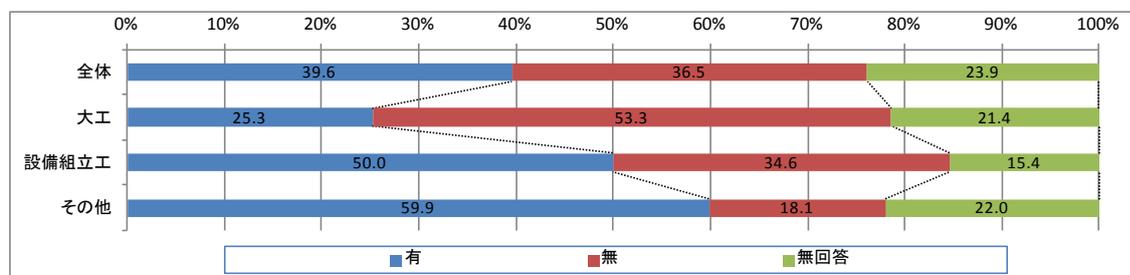


図 2.6 就業規則 (H25 年度)

2.1.2.3 有給休暇

大工で有給休暇が「有る」と回答した割合は 12.1%で、「無い」と回答した割合は 64.7%だった。有給休暇の無い大工が過半数を占める。

大工以外の職種で比較すると、有給休暇が「有る」と回答した割合は、設備組立工（37.5%）、その他（54.6%）であった。

	合計	(8)有給休暇		
		有	無	不明
全体	10,183	31.4	43.3	25.3
職種				
大工	5,021	12.1	64.7	23.2
設備組立工	96	37.5	43.8	18.8
その他	4,513	54.6	23.2	22.2

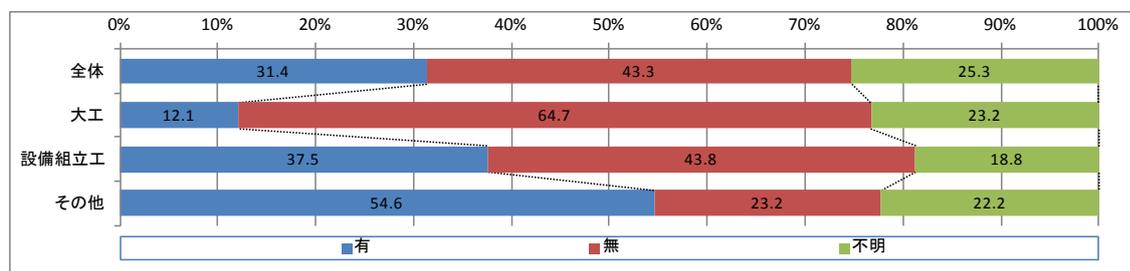


図 2.7 有給休暇 (H26 年度)

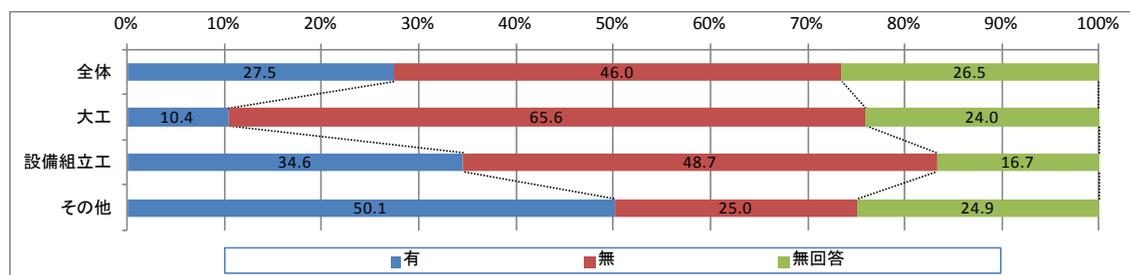


図 2.7 有給休暇 (H25 年度)

2.1.2.4 年間就業日数

大工全体の平均年間就業日数は 266.6 日だった。

大工以外の職種と平均年間就業日数を比較すると、設備組立工（251.7 日）、その他（245.2 日）であり、大工は最も平均年間就業日数が多かった。

大工の年間就業日数の割合は「300 日以上」が 27.9%で最も高く、次いで「250 日～275 日未満」が 20.4%だった。

職種	合計	(9)年間就業日数							平均
		100日未満	100～150日未満	150～200日未満	200～250日未満	250～300日未満	300日以上	不明	
全体	10,183	3.5	1.9	0.5	5.6	20.2	20.8	47.4	256.77
大工	5,021	3.0	0.6	0.6	6.0	20.4	27.9	41.5	266.65
設備組立工	96	5.2	1.0	0.0	8.3	19.8	21.9	43.8	251.74
その他	4,513	4.3	3.6	0.5	5.6	21.5	15.1	49.5	245.15

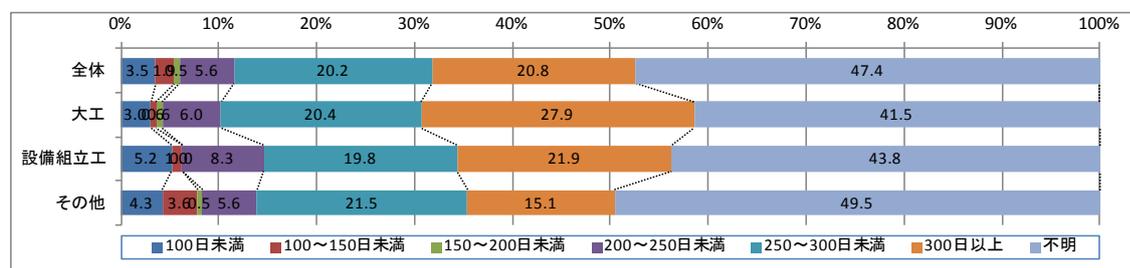


図 2.8 年間就業日数 (H26 年度)

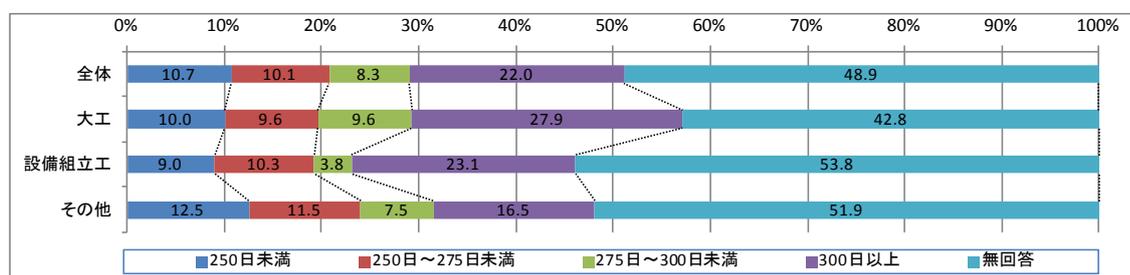


図 2.8# 年間就業日数 (H25 年度)

2.1.2.5 保険等について

2.1.2.5.1 年金保険

大工全体では、「国民年金」の割合が56.7%で最も多く、次いで「厚生年金」が30.1%だった。年金保険についての「無回答」は14.0%だった。

大工以外の職種では、設備組立工（「厚生年金」52.1%、「国民年金」39.6%）、その他（「厚生年金」68.0%、「国民年金」16.7%）であった。

大工の加入している年金保険は「国民年金」が過半数で、約6割を占めている。前回調査（H25年度）と比較して、大工の加入している年金保険の割合構成は、厚生年金の割合に増加が見られた。

	合計	(10-1)加入している年金			
		厚生年金	国民年金	企業年金	不明
全体	10,183	46.8	36.3	1.3	17.9
職種					
大工	5,021	30.1	56.7	0.8	14.0
設備組立工	96	52.1	39.6	1.0	8.3
その他	4,513	68.0	16.7	1.9	16.8

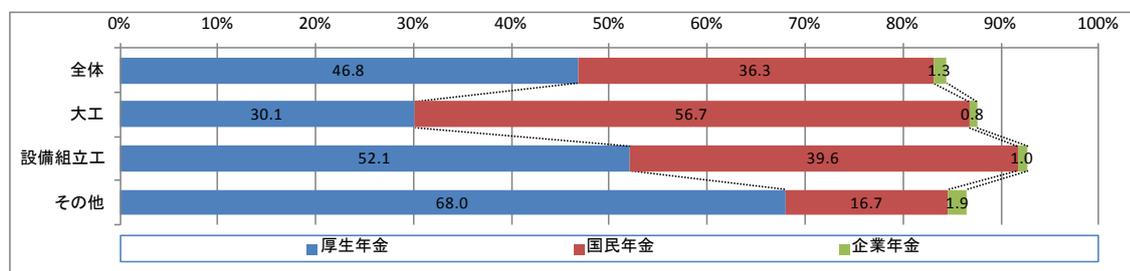


図 2.9 年金保険 (H26 年度)

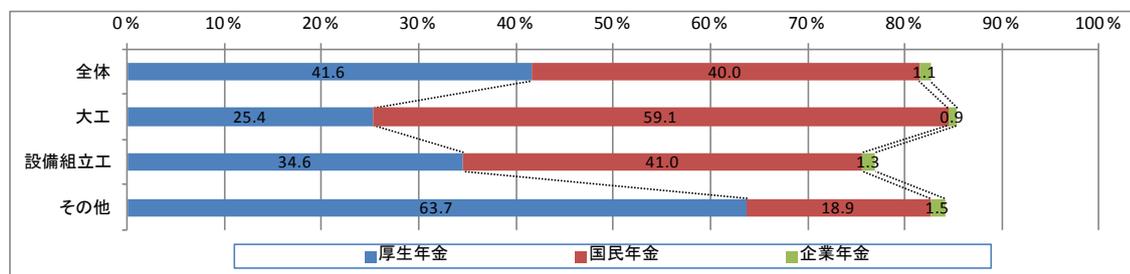


図 2.9# 年金保険 (H25 年度)

2.1.2.5.2 労働保険

大工全体では、雇用保険に加入している割合は19.1%であった。大工以外の職種と比較すると、設備組立工(41.7%)、その他(56.6%)であった。「2.1.2.1 雇用形態(工務店等との)」において「工務店社員」と回答した割合と照合してみても、大工で雇用保険に加入している割合は低い。

大工全体で、労災保険(一人親方労災保険を含む)に加入している割合は63.0%(労災保険:35.7%、一人親方労災保険:27.3%)であった。大工以外の職種では、設備組立工が42.5%(労災保険24.0%、一人親方労災保険18.8%)、その他が26.4%(労災保険22.4%、一人親方労災保険4.0%)だった。

職種	合計	(10-2)加入している労働保険			
		雇用保険	労災保険	一人親方労災保険	不明
全体	10,183	33.0	28.4	15.6	33.4
大工	5,021	19.1	35.7	27.3	28.8
設備組立工	96	41.7	24.0	18.8	29.2
その他	4,513	50.6	22.4	4.0	33.6

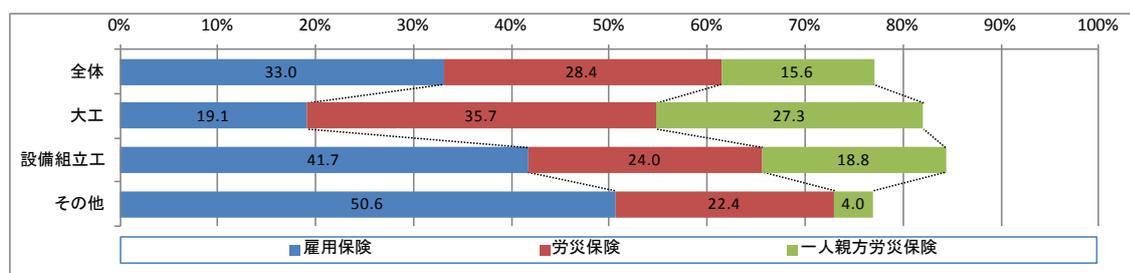


図 2.10 労働保険 (H26 年度)

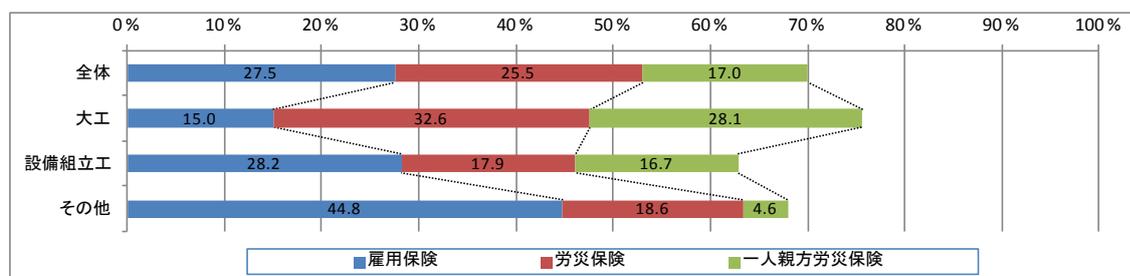


図 2.10# 労働保険 (H25 年度)

2.1.2.5.3 健康保険

大工が加入している健康保険の割合は、「組合健康保険（建設国保）」が41.8%で最も高く、次いで「国民健康保険」が30.0%だった。

前回調査（H25年度）においても、加入している健康保険の割合構成はほぼ同様だった。

大工以外の職種との比較では、「組合健康保険（建設国保）」よりも「国民健康保険」と回答する割合が多くみられた。

	合計	(10-3)加入している健康保険				
		国民健康保険	組合健康保険（建設国保）	組合保険（建設国保以外）	その他の健康保険	不明
全体	10,183	28.9	28.9	4.4	6.6	31.8
職種 大工	5,021	30.0	41.8	2.6	3.5	22.8
設備組立工	96	32.3	29.2	10.4	1.0	27.1
その他	4,513	29.5	16.9	6.6	10.7	36.6

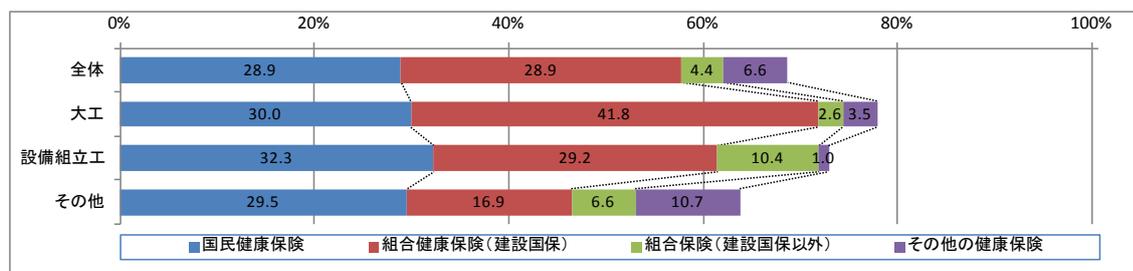


図 2.11 健康保険（H26年度）

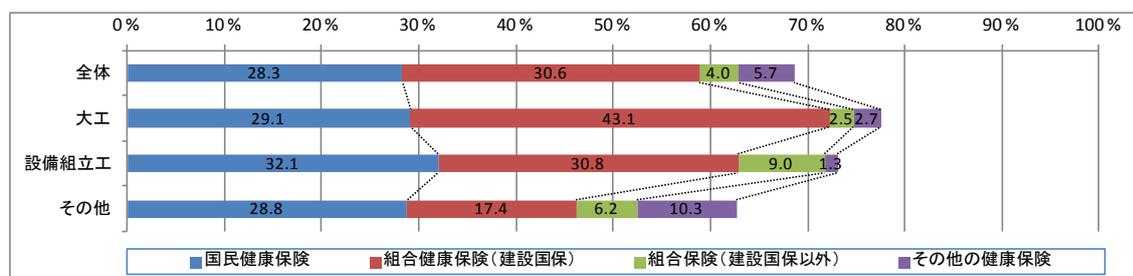


図 2.11# 健康保険（H25年度）

2.1.2.6 賃金の中に含まれ、自己負担となっているもの

大工で、賃金の中に含まれ、自己負担となっているものの割合の合計は、280.9%であった。大工以外の職種と比較して、自己負担となっているものの割合は最も高い。

自己負担となっているものの中で、最も割合が高いのは「手道具」が71.8%だった。次いで、「電動工具」が65.1%であった。「車（保険含む）」と「ガソリン」は、それぞれ52.5%、52.1%でほぼ同割合だった。

前回調査（H25年度）の結果もほぼ同じ割合構成となっている。

職種	合計	(11)自己負担となっているもの						
		手道具	電動工具	クギ金物	車(保険含む)	ガソリン	全て所属する工務店等が負担	不明
全体	10,183	42.5	37.6	14.1	34.5	32.0	22.3	26.1
大工	5,021	71.8	65.1	24.6	52.5	52.1	14.8	7.6
設備組立工	96	38.5	35.4	21.9	31.3	31.3	34.4	19.8
その他	4,513	13.7	10.0	3.5	17.5	12.3	31.8	41.3

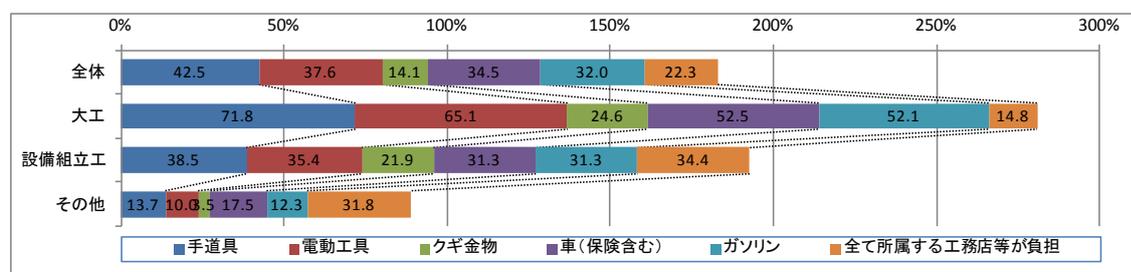


図 2.12 自己負担となっているもの（H26年度）

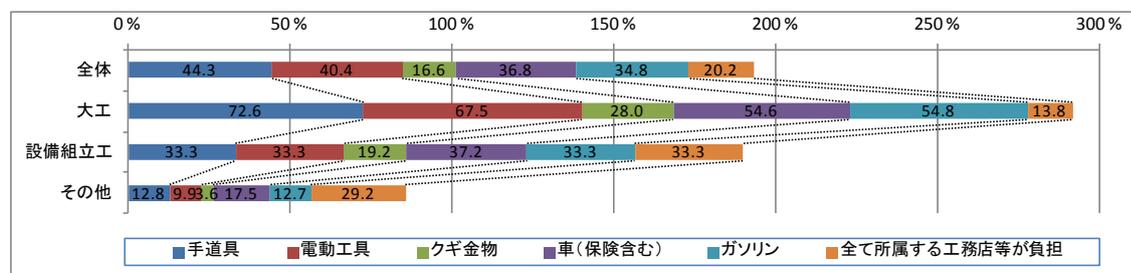


図 2.12# 自己負担となっているもの（H25年度）

2.1.2.7 おおよその賃金（諸経費が含まれた1日あたりの平均単価）

大工の1日あたりのおおよその賃金は14,944.9円だった。大工以外の職種と比較して、大工の賃金の平均は設備組立工より約100円低い。

大工の中では、「10,000～15,000円未満」の割合が最も高く38.5%、次いで「15,000～20,000円未満」が34.8%だった。

前回調査（H25年度）と比較して、割合の構成は殆ど同じであった。

	合計	(12)1日あたりのおおよその賃金							平均賃金
		8,000円未満	8,000～10,000円未満	10,000～15,000円未満	15,000～20,000円未満	20,000～25,000円未満	25,000円以上	不明	
全体	10,183	5.5	9.0	30.4	24.3	7.4	3.1	20.3	14735.8
職種									
大工	5,021	5.0	7.3	38.5	34.8	8.3	2.0	4.2	14944.9
設備組立工	96	5.2	11.5	33.3	30.2	11.5	3.1	5.2	15044.0
その他	4,513	6.4	11.3	24.0	14.7	7.0	4.5	32.2	14436.4

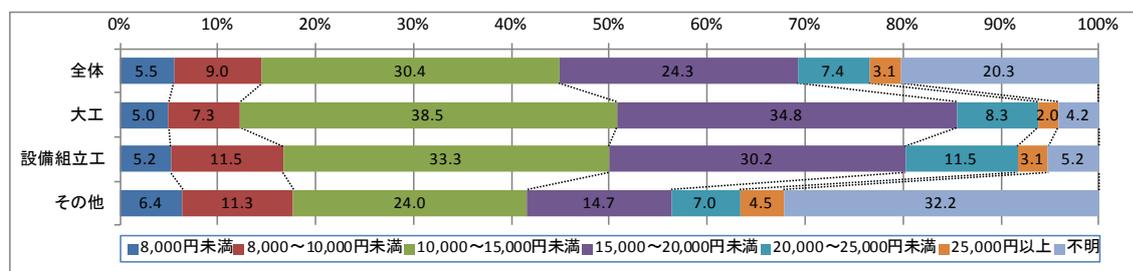


図 2.13 一日あたりのおおよその賃金（H26年度）

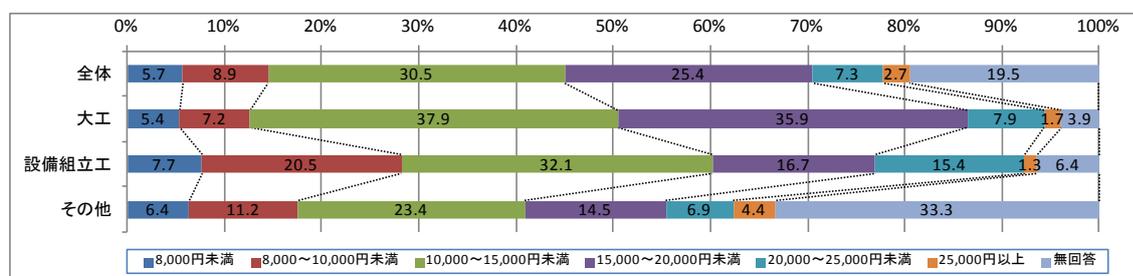


図 2.13# 一日あたりのおおよその賃金（H25年度）

2.1.3 資格や技能について

2.1.3.1 持っている資格

大工では、「木造建築物組立て作業主任者」（42.5%）、「玉掛け技能講習修了者」（43.6%）、「足場の組立て等作業主任者」（37.6%）の労働安全衛生法に定められた資格の取得割合が高い。建築大工技能士は、「1級建築大工技能士」（15.4%）、「2級建築大工技能士」（12.6%）であり、2級以上を取得している大工の割合は合計して28.0%である。施工管理技士では「2級建築施工管理技士」（15.0%）、建築士では「2級建築士」（31.8%）の取得している割合が高かった。

	合計	(13)お持ちの資格															
		1級建築士	2級建築士	木造建築士	1級建築施工管理技士	2級建築施工管理技士	1級建築大工技能士	2級建築大工技能士	枠組壁建築技能士	職業訓練指導員	増改築相談員	足場の組立て等作業主任者	木造建築物組立て作業主任者	玉掛け技能講習修了者	クレーン運転技能講習修了者	木材加工用機械作業主任者	不明
全体	10,183	12.0	32.0	2.3	11.1	14.0	8.1	6.6	1.3	6.9	7.0	28.1	27.8	32.9	14.6	7.2	25.3
職種																	
大工	5,021	5.2	31.8	3.6	3.9	15.0	15.4	12.6	2.2	12.1	8.8	37.6	42.5	43.6	19.3	12.4	18.1
設備組立工	96	2.1	3.1	0.0	0.0	5.2	0.0	2.1	3.1	2.1	5.2	18.8	4.2	37.5	21.9	1.0	44.8
その他	4,513	20.5	34.8	0.9	19.5	13.9	0.8	0.6	0.4	1.6	5.5	19.7	14.0	23.0	10.3	2.1	28.3

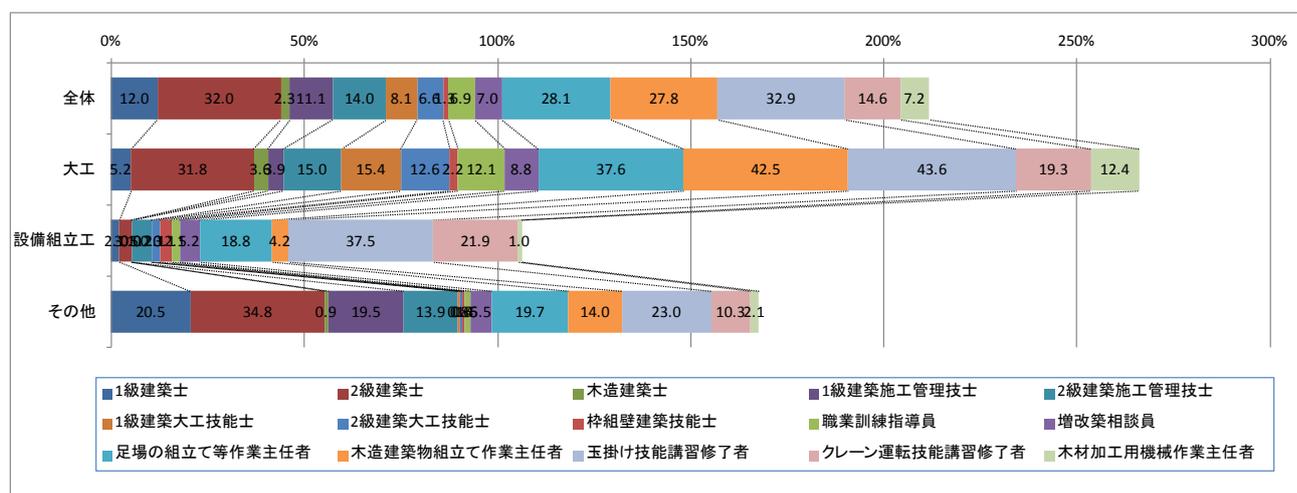


図 2.14 持っている資格（H26年度）

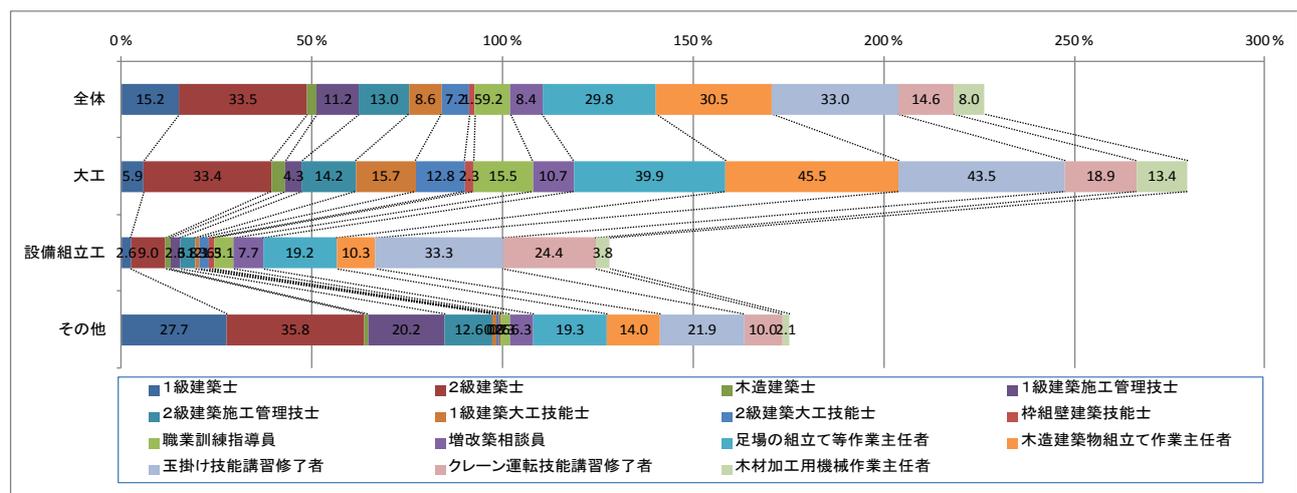


図 2.14# 持っている資格（H25年度）

2.1.3.2 **大工職のみ回答** 墨付けができますか。

墨付けができると回答した大工の割合は 74.7%だった。

前回調査（H25 年度）と比較して 1.0 ポイント増加している。

		合計	(14)①墨付けができますか		
			はい	いいえ	不明
全体		5,021	74.7	14.3	11.0
職種	大工	5,021	74.7	14.3	11.0
	設備組立工	5	60.0	0.0	40.0
	その他	33	54.5	15.2	30.3

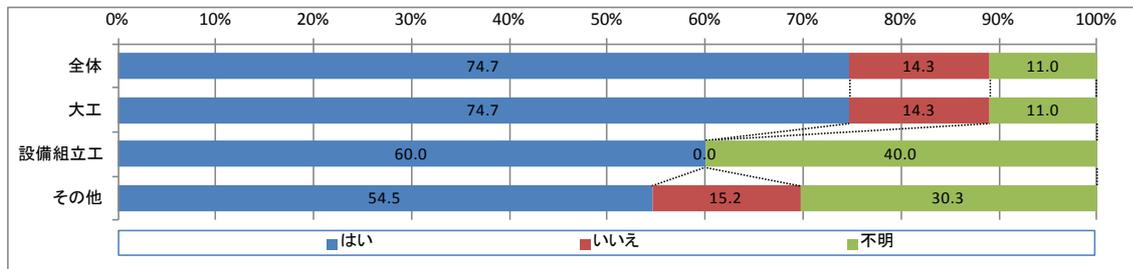


図 2.15 墨付け (H26 年度)

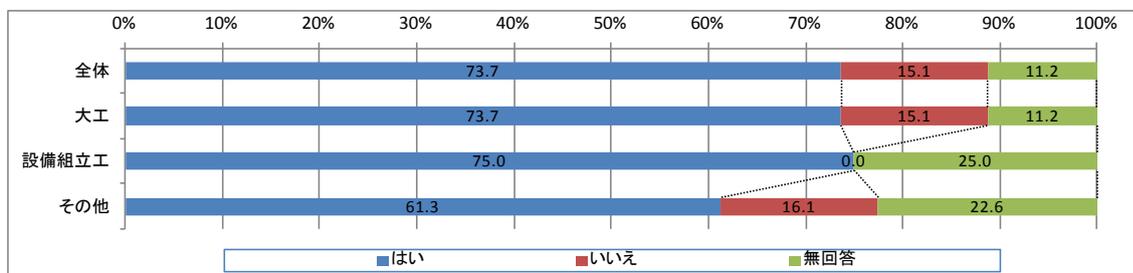


図 2.15# 墨付け (H25 年度)

2.1.3.3 **大工職のみ回答** 今でも手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか。（新築）

今でも新築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていると回答した大工の割合は、25.7%だった。「いいえ」と回答した大工の割合は61.7%で、半数以上の大工は新築の手刻み加工の仕事をやっていない。

前回調査（H25年度）と比較すると、「はい」と回答した割合は2.4ポイント減少しており、「いいえ」の割合は3.0ポイント増加している。

		合計	(14)②新築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか		
			はい	いいえ	不明
全体		5,021	25.7	61.7	12.6
職種	大工	5,021	25.7	61.7	12.6
	設備組立工	5	20.0	40.0	40.0
	その他	33	30.3	39.4	30.3

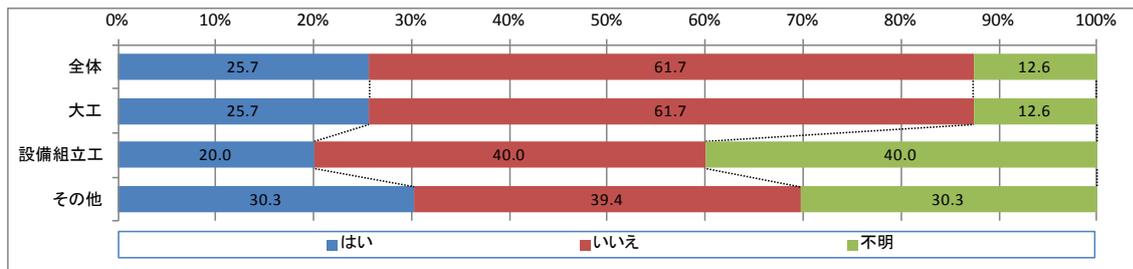


図 2.16 手刻み加工の仕事（新築）（H26年度）

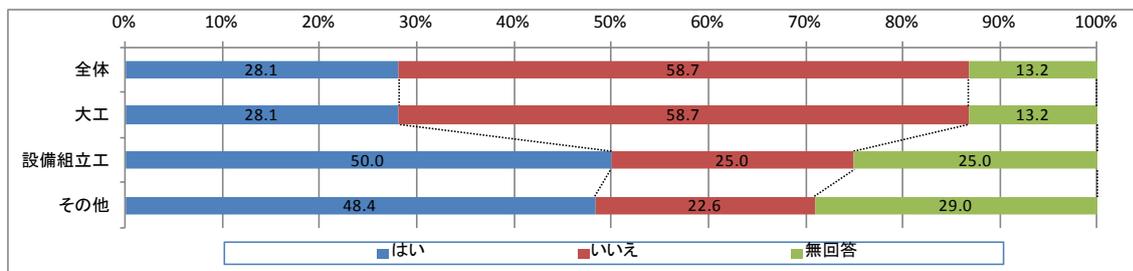


図 2.16# 手刻み加工の仕事（H25年度）

2.1.3.4 **大工職のみ回答** 今でも手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか。(増改築)

今でも増改築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていると回答した大工の割合は、51.8%だった。「いいえ」と回答した割合は36.1%。

前設問と照合してみると、大工の仕事の実態として、新築の仕事では手刻み加工はなくなってきているが、増改築の仕事で手刻み加工を行うことの方が多い。

		合計	(14)③増改築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか		
			はい	いいえ	不明
全体		5,021	51.8	36.1	12.0
職種	大工	5,021	51.8	36.1	12.0
	設備組立工	5	20.0	40.0	40.0
	その他	33	36.4	30.3	33.3

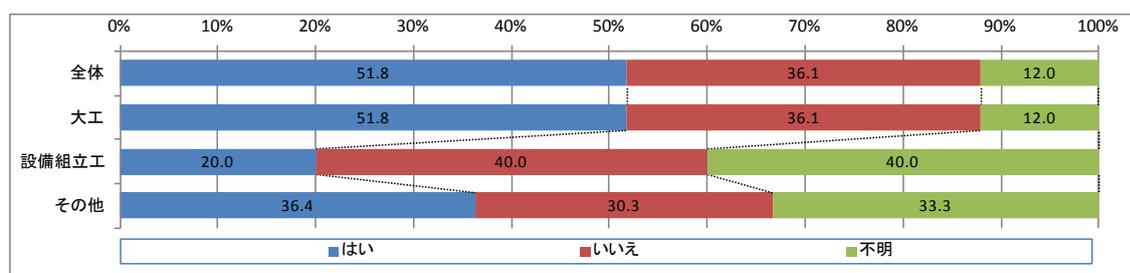


図 2.17 手刻み加工の仕事 (増改築) (H26 年度)

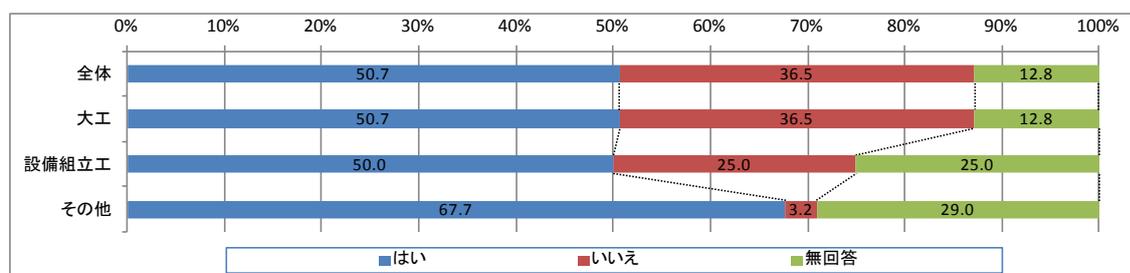


図 2.17# 手刻み加工の仕事 (増改築) (H25 年度)

2.1.3.5 大工職のみ回答 和室造作ができますか。

和室造作ができると回答した大工の割合は70.1%。「いいえ」と回答した割合は18.2%だった。前回調査（H25年度）と比較すると、「はい」は0.4ポイント減少、「いいえ」は0.5ポイント増加している。

		合計	(14)④和室造作ができますか		
			はい	いいえ	不明
全体		5,021	70.1	18.2	11.7
職種	大工	5,021	70.1	18.2	11.7
	設備組立工	5	40.0	0.0	60.0
	その他	33	51.5	18.2	30.3

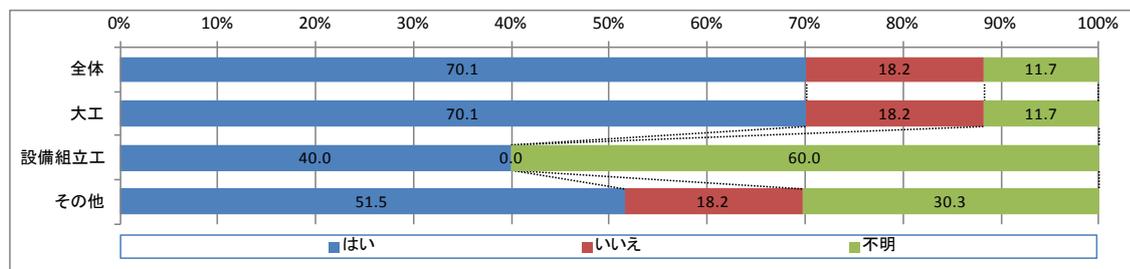


図 2.18 和室造作（H26年度）

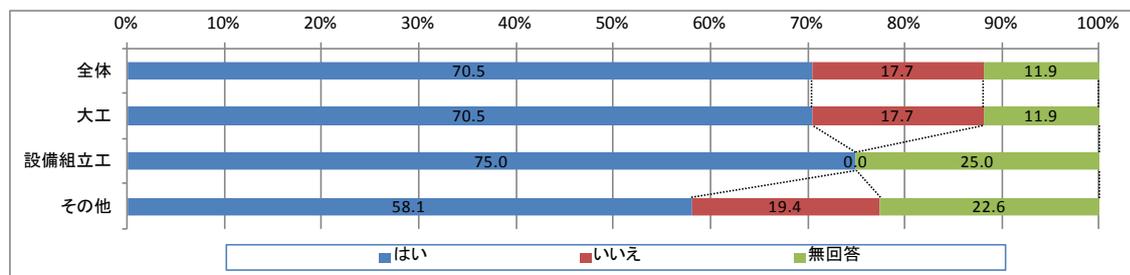


図 2.18# 和室造作（H25年度）

2.1.3.6 **大工職のみ回答** 2×4工法の住宅の施工ができますか。

2×4工法の住宅の施工ができると回答した大工の割合は27.3%。「いいえ」と回答した割合は59.5%だった。

前回調査（H25年度）の結果とほぼ等しい。

		合計	(14)⑤2×4工法の住宅の施工ができますか		
			はい	いいえ	不明
	全体	5,021	27.3	59.5	13.1
職種	大工	5,021	27.3	59.5	13.1
	設備組立工	5	40.0	20.0	40.0
	その他	33	12.1	57.6	30.3

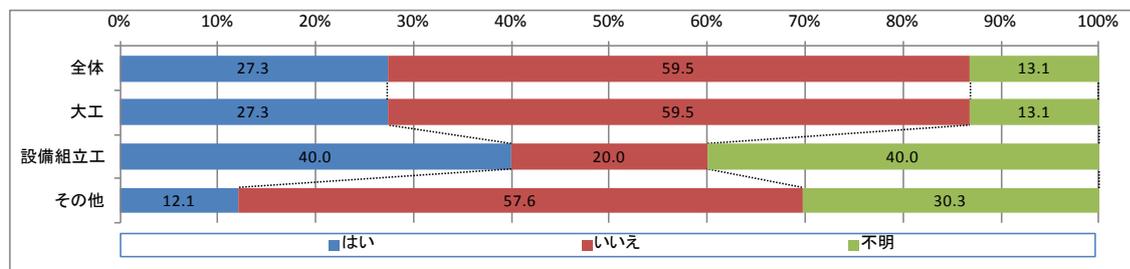


図 2.19 2×4工法の住宅の施工（H26年度）

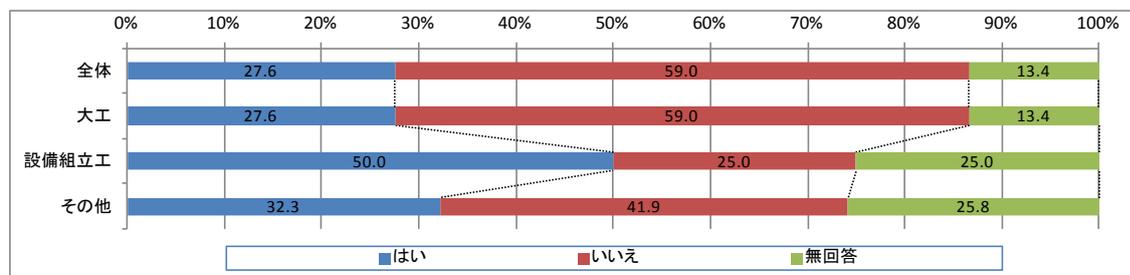


図 2.19# 2×4工法の住宅の施工（H25年度）

2.1.4 仕事に対する満足度や今後の意向について

2.1.4.1 現在の仕事の内容について満足していますか。

大工で、「とても満足している」（9.6%）、「まあ満足している」（50.9%）を合計した「満足している」割合は60.5%だった。一方で、「あまり満足していない」（24.6%）、「満足していない」（6.6%）を合計した「満足していない」割合は30.2%だった。大工の約6割が仕事の内容について満足している。

大工以外の職種と比較すると、大工は「満足していない」と回答する割合が高い。

前回調査（H25年度）においては、大工の「満足している」割合は59.8%であり、大工の満足度は0.7ポイント増加している。また「満足していない」割合は31.6%で、1.4ポイント減少した。

	合計	(15)現在の仕事の内容について満足度				
		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	不明
全体	10,183	9.0	48.2	20.0	5.0	17.9
職種 大工	5,021	9.6	50.9	24.6	6.6	8.3
設備組立工	96	11.5	59.4	9.4	6.3	13.5
その他	4,513	8.8	47.7	16.3	3.4	23.7

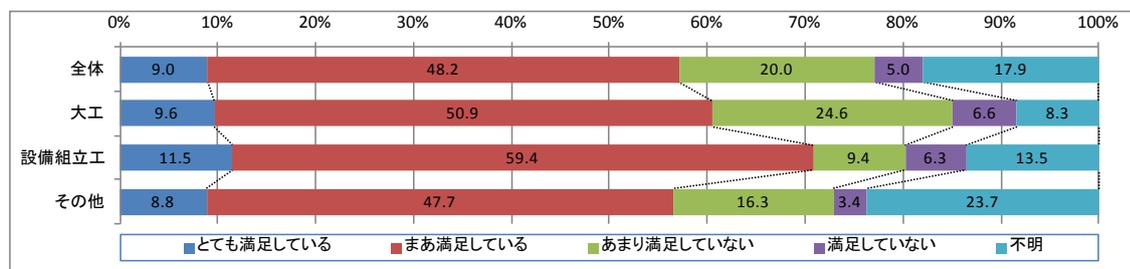


図 2.20 仕事の内容についての満足度（H26年度）

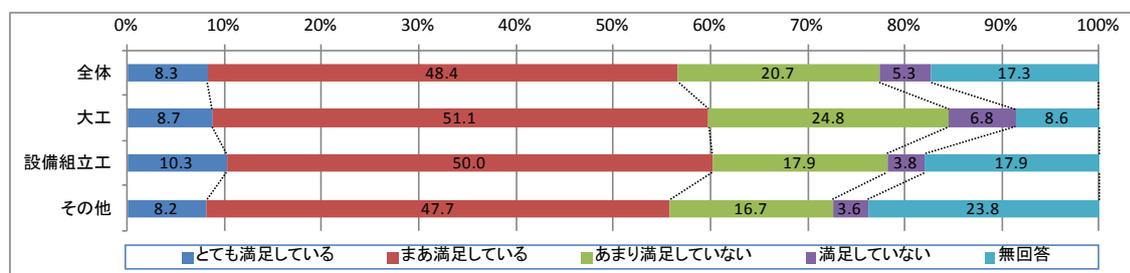


図 2.20# 仕事の内容についての満足度（H25年度）

2.1.4.2 現在の仕事で得られる収入等について満足していますか。

大工で、「とても満足している」(3.7%)、「まあ満足している」(31.5%)を合計した「満足している」割合は35.2%だった。一方で、「あまり満足していない」(39.1%)、「満足していない」(17.5%)を合計した「満足していない」割合は56.6%だった。大工の約6割は、仕事で得られる収入等について満足していない。

大工以外の職種と比較すると、大工は「満足していない」と回答する割合が高い。

前回調査(H25年度)においては、大工の「満足している」割合は33.7%であり、大工の満足度は1.5ポイント増加、「満足していない」割合は57.6%で、1.0ポイント減少している。

	合計	(16)現在の仕事で得られる収入等について満				
		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	不明
全体	10,183	3.5	31.5	33.6	13.4	18.0
職種 大工	5,021	3.7	31.5	39.1	17.5	8.3
設備組立工	96	6.3	38.5	24.0	16.7	14.6
その他	4,513	3.5	33.0	29.9	9.7	23.8

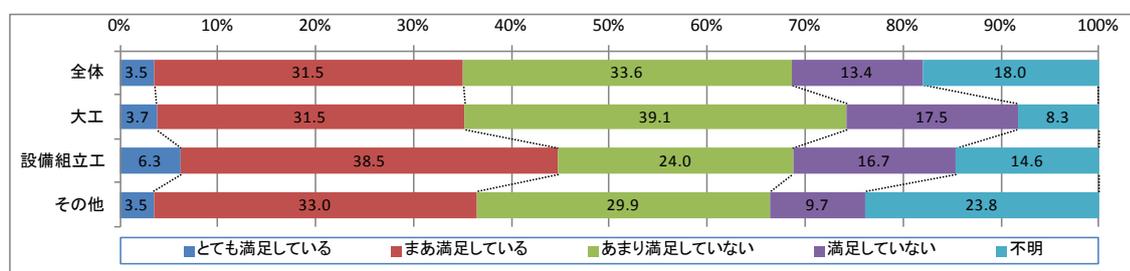


図 2.21 収入等についての満足度 (H26年度)

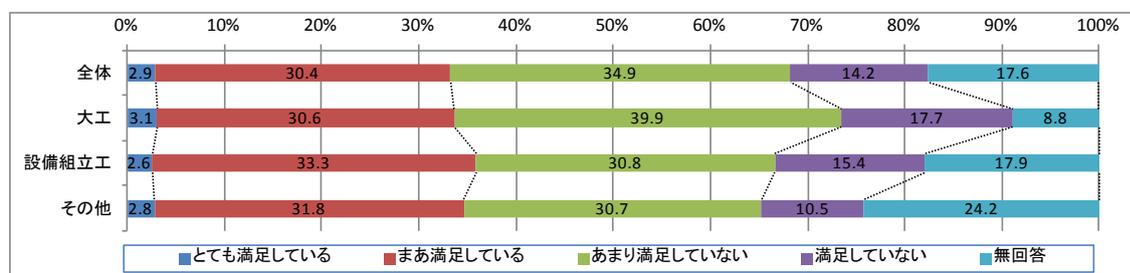


図 2.21 収入等についての満足度 (H25年度)

2.1.4.3 今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか。

大工では、「仕事ができる限り続ける」の割合が53.6%で最も高かった。次いで、「65歳で引退する」が15.4%だった。

大工以外の職種と比較しても、「仕事ができる限り続ける」の割合は大工が最も大きい。前回調査（H25年度）でも、大工の回答の割合構成はほぼ等しく、変化は見られなかった。

		合計	(17)今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか						
			60歳で引退する	65歳で引退する	70歳で引退する	75歳で引退する	仕事ができる限り続ける	仕事がないため近々退職・引退する予定である	不明
全体		10,183	8.8	18.3	9.3	1.9	41.8	0.8	19.0
職種	大工	5,021	6.6	15.4	12.2	2.5	53.6	1.0	8.8
	設備組立工	96	12.5	21.9	5.2	1.0	43.8	2.1	13.5
	その他	4,513	11.7	22.4	6.8	1.5	31.5	0.6	25.4

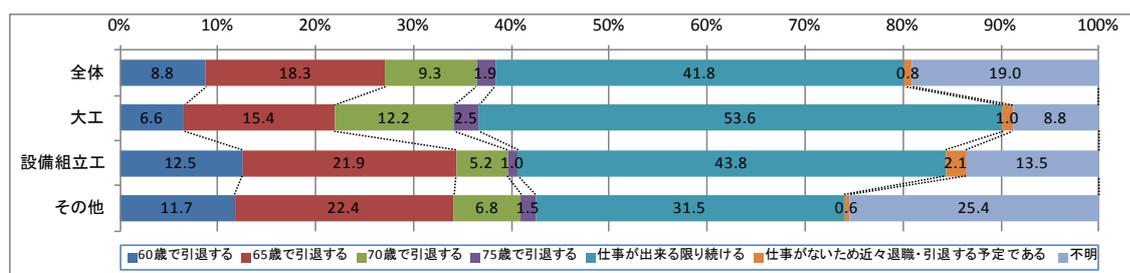


図 2.22 何歳まで仕事を続ける予定か（H26年度）

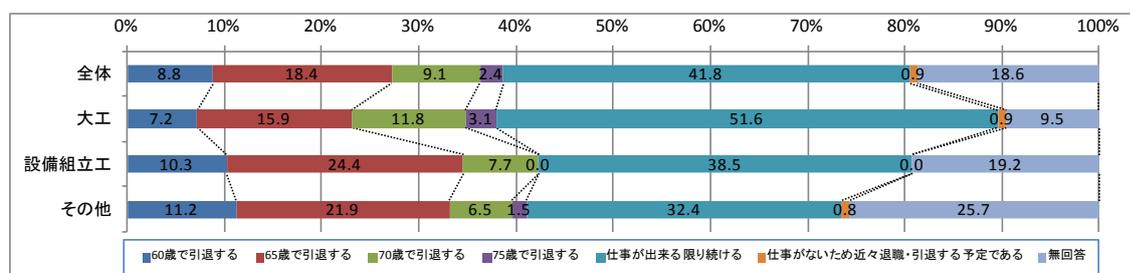


図 2.22#何歳まで仕事を続ける予定か（H25年度）

2.1.5 担い手育成について

2.1.5.1 現在、担い手（見習い等）の育成を行っていますか。

今回調査（H26年度）では、「過去には育てた」の選択項目を追加している。

「現在は育てていないが、人材がいれば育てたい」が40.2%で最も高く、次いで「現在は育てていないし、今後も育てる予定はない」が30.9%だった。「現在育てている」と回答した割合は、15.4%だった。

前回調査（H25年度）から選択項目が追加されているため、割合に多少変動が見られる。回答項目を「現在、育てている」、「現在、育てていない」の2種類に分類して比較すると、「現在、育てている」（12.3%→15.4%）で3.1ポイント増加、「現在、育てていない」（72.5%→71.1%）で1.4ポイント減少しており、担い手を育成している大工に増加が見られた。

		合計	(18)現在、担い手の育成を行っていますか			
			現在育てている	現在は育てていないが、人材がいれば育てたい	現在は育てていないし、今後も育てる予定はない	不明
全体		10,183	13.4	37.4	22.0	27.2
職種	大工	5,021	15.4	40.2	30.9	13.6
	設備組立工	96	25.0	45.8	12.5	16.7
	その他	4,513	11.8	36.8	13.6	37.8

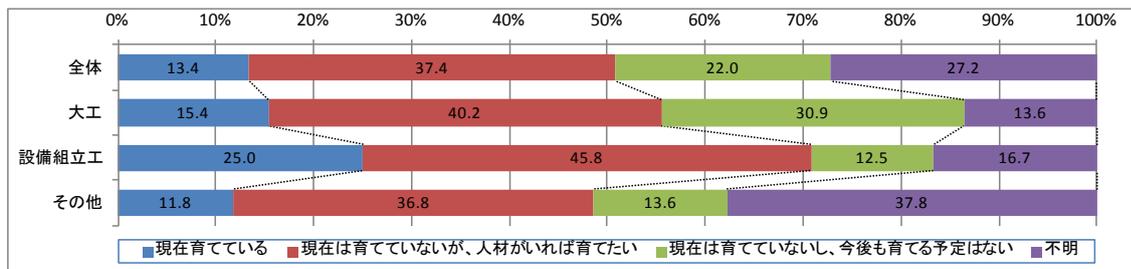


図 2.23 担い手の育成状況（H26年度）

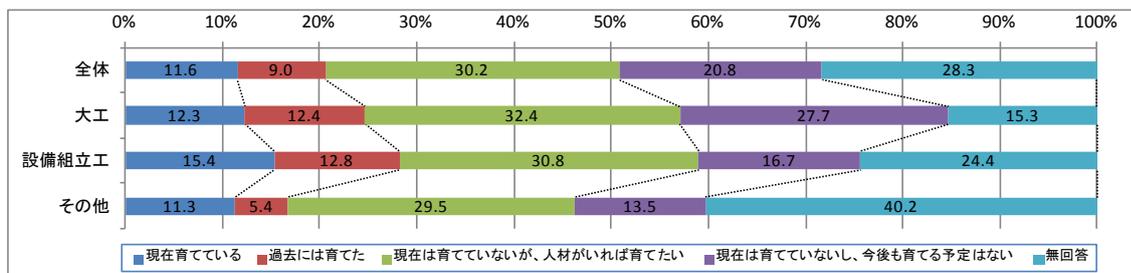


図 2.23# 担い手の育成状況（H25年度）

2.1.5.2 2.1.5.1 「1.現在育てている」および「2.過去には育てた」のみ回答

育成期間の担い手の立場

大工において、育成期間の担い手の立場としては、「正社員（弟子として）」が66.8%で最も割合が高い。次いで「一人親方等にあずける（弟子として）」が8.5%、「正社員（職業訓練校）」が18.4%だった。

大工以外の職種と比較すると、その他では「正社員（職業訓練校）」が35.1%と高い割合で見られた。

大工において、育成期間の担い手の立場としては、正社員として雇用するのが85.2%である。また、直接育成せずに他の大工へ担い手を預ける形で育成するのが11.2%となっている。

職種	合計	(19)育成期間の担い手の立場				
		正社員 (職業訓練校)	正社員 (弟子として)	一人親 方等に あずけ る(職業 訓練校)	一人親 方等に あずけ る(弟子 として)	不明
全体	1,365	24.9	59.9	2.0	6.7	6.6
大工	772	18.4	66.8	2.7	8.5	3.5
設備組立工	24	4.2	83.3	0.0	0.0	12.5
その他	533	35.1	48.8	1.1	4.5	10.5

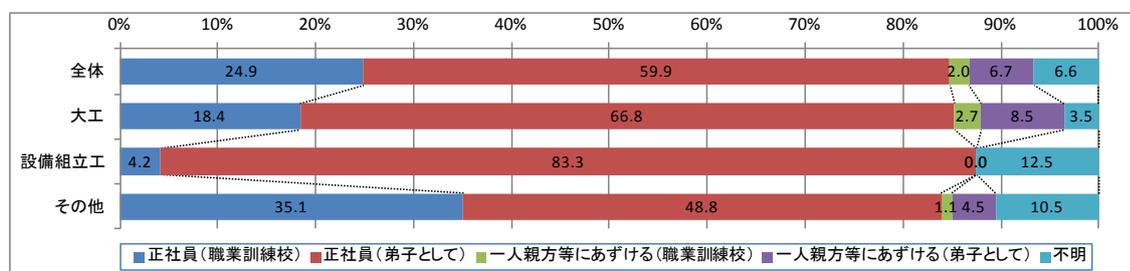


図 2.24 育成期間の担い手の立場 (H26 年度)

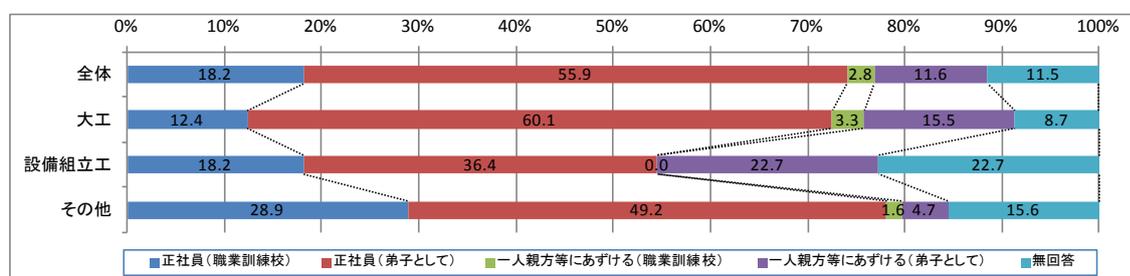


図 2.24 育成期間の担い手の立場 (H25 年度)

2.1.5.3 2.1.5.1 「1.現在育てている」および「2.過去には育てた」のみ回答

育成にかかる費用負担

育成期間にかかる費用の負担について、大工で「有る」と回答した割合は31.5%だった。「無い」の割合は18.8%。49.7%は無回答だった。

	合計	(20)育成期間にかかる費用の負担を行っているか		
		有	無	不明
全体	1,365	27.8	18.2	54.1
職種				
大工	772	31.5	18.8	49.7
設備組立工	24	8.3	25.0	66.7
その他	533	24.2	16.9	58.9

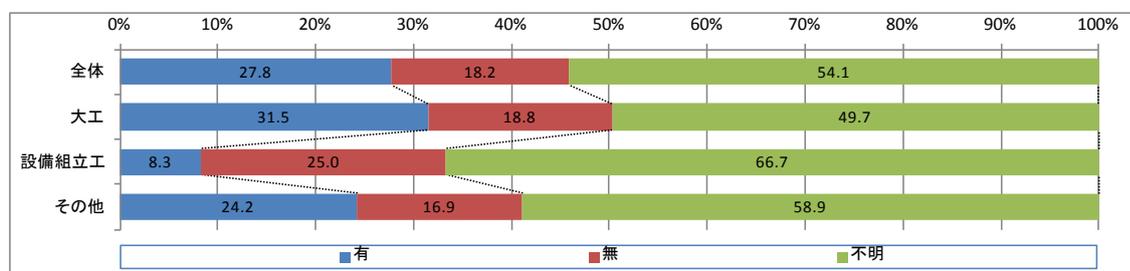


図 2.25 育成期間にかかる費用負担 (H26 年度)

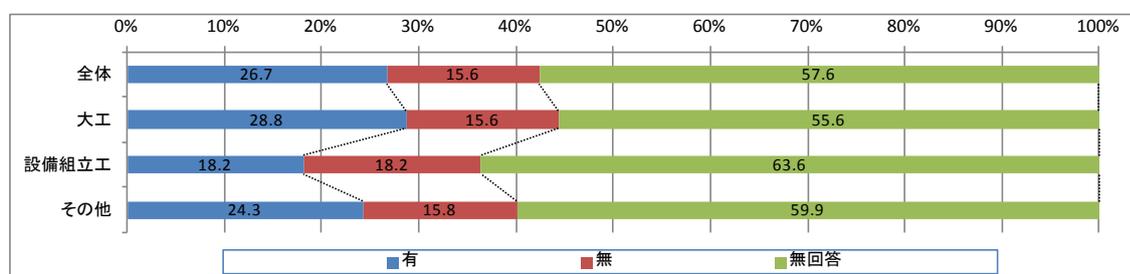


図 2.25 育成期間にかかる費用負担 (H25 年度)

2.1.5.4 2.1.5.1 「4.現在は育てていないし、今後も育てる予定はない」のみ回答

なぜ育てる予定はないのか。

大工の育てる予定がない理由として、「将来の保障ができないため」が41.7%で最も高い。ついで、「人材がないため」が22.0%、「費用がかかるため」が20.4%だった。

大工以外の職種では、「人材がないため」という回答の割合が高い。

大工では「将来の保障ができないため」の割合が突出しており、大工自身が将来性に大きな不安を抱いていることが考えられる。

	合計	(21)なぜ育てる予定はないのですか											
		育てても、一人前になると辞めてしまうため	教えるのが面倒なため	費用がかかるため	言うことを聞かないため	人材がないため	育てる自信がないため	将来の保障ができないため	年齢のため	仕事がプレカットのため	新築が少ないため	その他	不明
全体	2,240	7.3	7.2	17.7	2.9	21.7	10.9	34.8	11.8	7.0	14.5	8.3	15.7
大工	1,552	7.1	7.7	20.4	3.0	22.0	12.0	41.7	12.6	9.3	18.7	5.0	12.8
設備組立工	12	8.3	8.3	8.3	8.3	16.7	8.3	25.0	0.0	0.0	0.0	16.7	25.0
その他	614	7.7	5.5	11.1	2.8	20.5	8.6	17.6	9.3	1.3	4.2	17.3	22.3

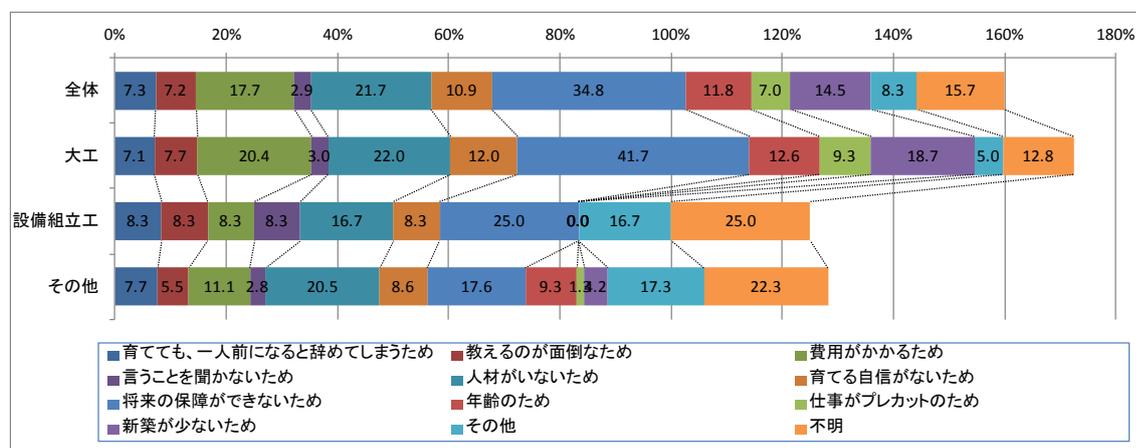


図 2.26 なぜ育てる予定はないのか（H26年度）

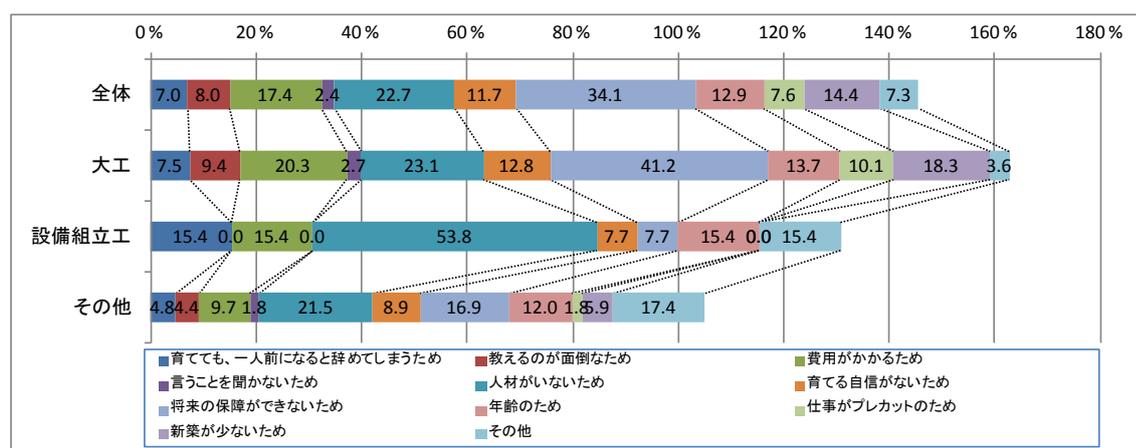


図 2.26#なぜ育てる予定はないのか（H25年度）

2.1.5.5 担い手の育成にかかる費用の公的補助について、1人/月当たりどの程度必要と考えますか。

大工の回答では、「10万円/月」が30.2%で最も割合が高かった。次いで「15万円/月」が18.6%だった。

	合計	(22)担い手の育成にかかる費用の公的補助はどの程度必要か					
		3万円/月	5万円/月	10万円/月	15万円/月	必要ない	不明
全体	10,183	3.5	12.7	24.4	14.5	3.2	41.7
職種 大工	5,021	4.1	14.9	30.2	18.6	3.2	29.0
設備組立工	96	3.1	17.7	22.9	21.9	4.2	30.2
その他	4,513	3.3	11.2	19.7	11.1	3.4	51.5

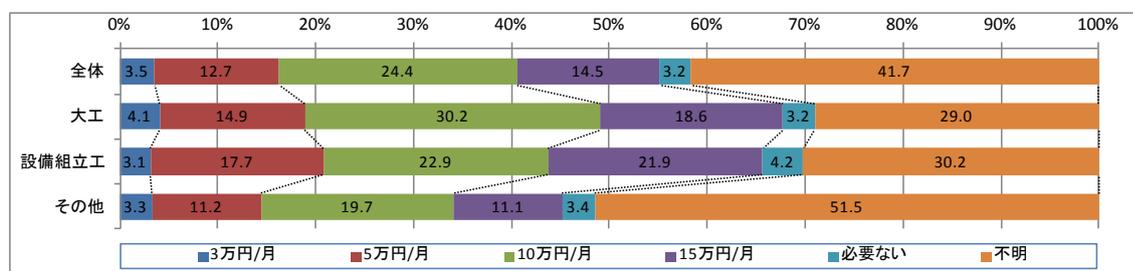


図 2.27 公的補助について、1人/月当たりどの程度必要か (H26年度)

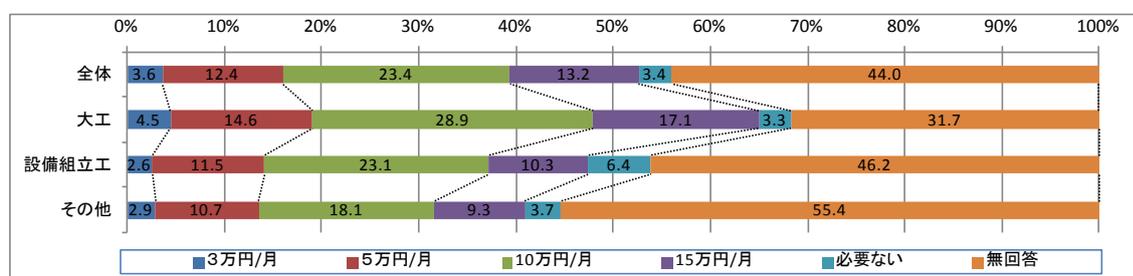


図 2.27# 公的補助について、1人/月当たりどの程度必要か (H25年度)

2.2. 地方別集計

2.2.1 職業等について

2.2.1.1 年齢

平均年齢は、各地域で 44 歳~46 歳の範囲で大きな差は無い。

「九州・沖縄」の平均年齢が 46.6 歳で最も高く、「北海道」の平均年齢が 42.2 歳で最も低い。

	合計	(1)年齢									平均
		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明		
全体	5,021	0.7	8.9	29.2	23.0	19.9	15.6	1.6	1.2	45.12	
地域											
北海道	97	0.0	14.4	37.1	19.6	12.4	16.5	0.0	0.0	42.20	
東北	775	0.8	11.2	32.0	16.8	19.5	16.9	1.5	1.3	44.59	
関東	1,396	0.9	7.8	23.4	27.7	18.9	17.3	2.9	1.2	46.51	
北陸	426	0.9	7.3	34.5	22.8	15.7	16.7	0.7	1.4	44.17	
中部	723	0.4	8.7	29.0	26.1	22.3	11.8	1.0	0.7	44.26	
近畿	336	0.0	8.6	31.3	24.7	19.3	12.8	0.3	3.0	44.25	
中国	596	0.7	10.4	32.0	23.0	19.3	13.3	0.7	0.7	43.75	
四国	229	0.4	6.6	33.6	14.4	22.3	19.7	1.3	1.7	46.21	
九州・沖縄	443	0.7	8.1	28.4	18.1	25.3	16.5	2.5	0.5	46.58	

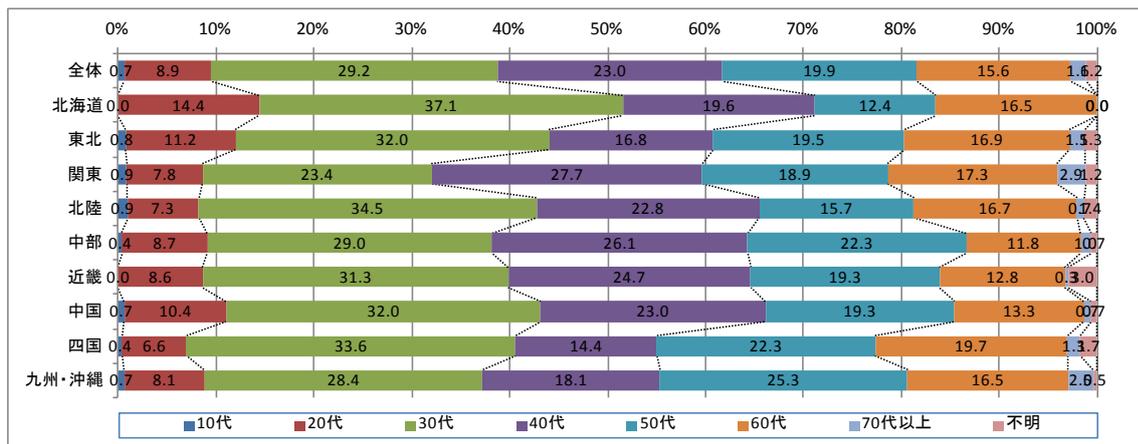


図 3.1. 年齢(H26年度)

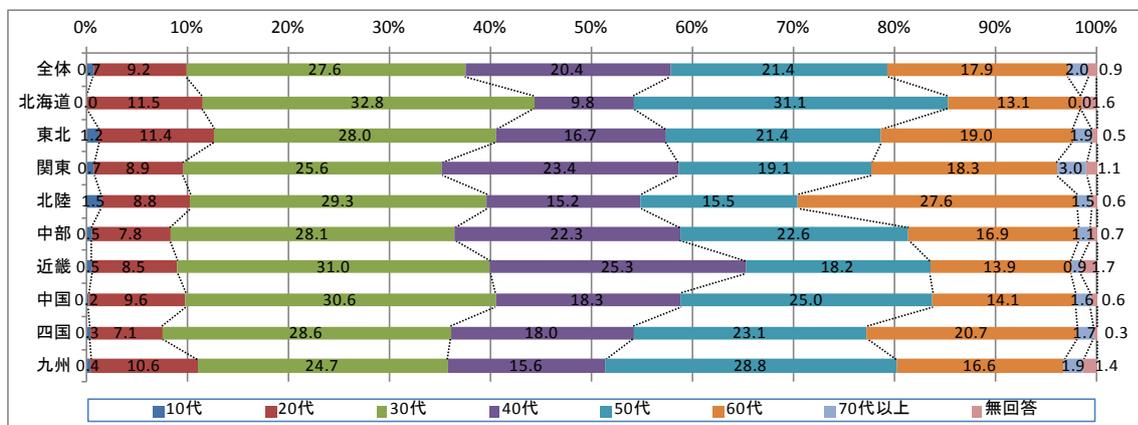


図 3.1# 年齢(H25年度)

2.2.1.2 性別

地域毎の女性の占める割合は「近畿」が3.3%で最も高い。また、「四国」は0.0%だった。

	合計	(2)性別		
		男	女	不明
全体	5,021	98.0	0.4	1.7
地域				
北海道	97	99.0	1.0	0.0
東北	775	97.9	0.6	1.4
関東	1,396	97.6	0.4	2.0
北陸	426	97.7	0.0	2.3
中部	723	98.5	0.6	1.0
近畿	336	96.4	0.3	3.3
中国	596	98.8	0.3	0.8
四国	229	97.8	0.0	2.2
九州・沖縄	443	98.4	0.2	1.4

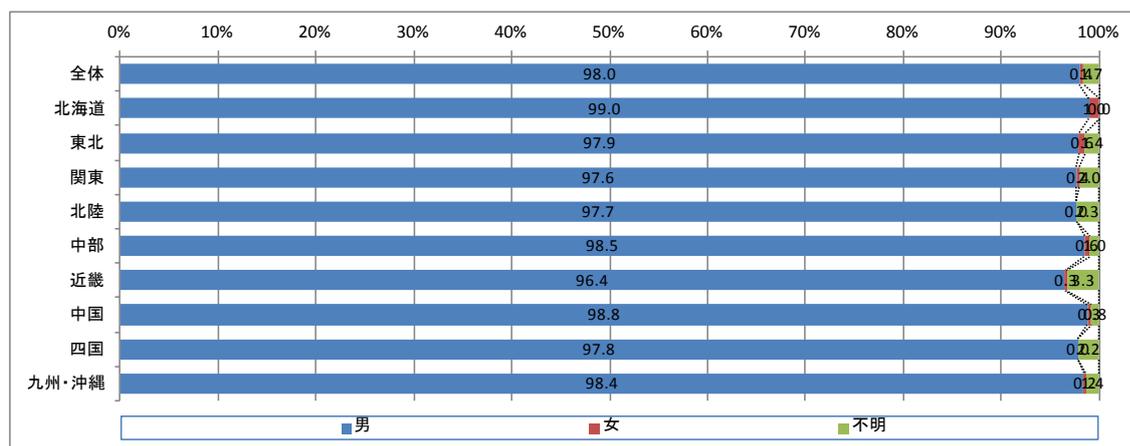


図 3.2. 性別(H26年度)

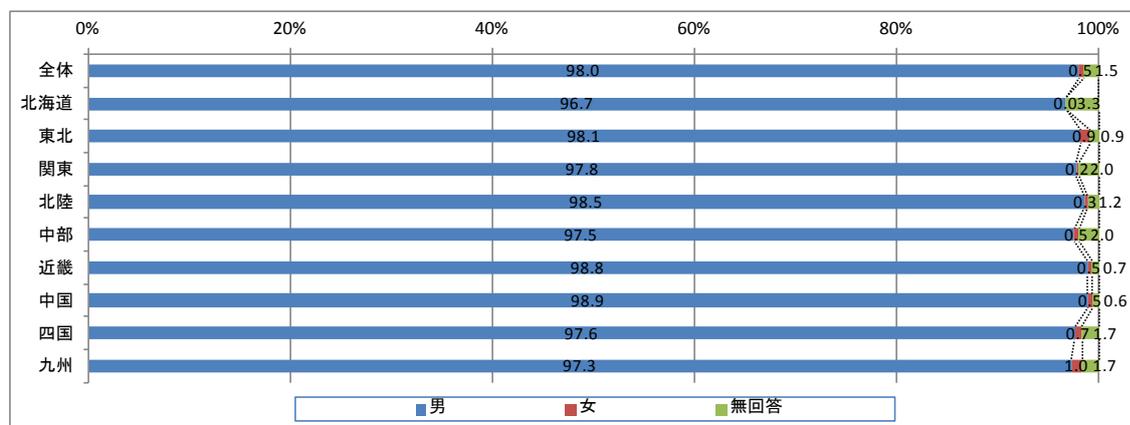


図 3.2# 性別 (H25年度)

2.2.1.3 職種の経験年数

職種の平均経験年数は23.5年。

地域毎の平均経験年数では、「九州・沖縄」が25.5年で最も高く、「北海道」が21.3年で最も低い。

	合計	(4)職種の経験年数									平均経験年数(年)
		3年未満	3～5年	6～10年	11～20年	21～30年	31～40年	41～50年	51年以上	不明	
全体	5,021	4.4	3.8	9.1	30.3	18.7	16.4	14.8	2.2	0.5	23.8
地域											
北海道	97	7.2	4.1	11.3	34.0	17.5	11.3	12.4	2.1	0.0	21.3
東北	775	5.0	5.9	10.8	29.3	14.1	14.6	17.9	1.5	0.8	23.3
関東	1,396	4.5	3.4	7.2	26.2	22.1	16.8	15.4	3.9	0.4	25.3
北陸	426	4.9	3.8	9.6	33.3	16.7	15.3	14.6	1.2	0.7	22.9
中部	723	4.7	3.9	8.4	31.3	22.0	15.9	12.2	1.2	0.4	22.9
近畿	336	3.0	2.7	11.9	33.0	22.6	14.3	11.3	0.9	0.3	22.4
中国	596	4.0	3.7	9.4	35.2	16.3	16.8	12.8	0.8	1.0	22.6
四国	229	2.6	3.1	9.6	31.4	15.7	17.5	17.9	1.7	0.4	24.8
九州・沖縄	443	3.8	2.0	9.0	29.8	14.7	21.2	16.0	3.4	0.0	25.5

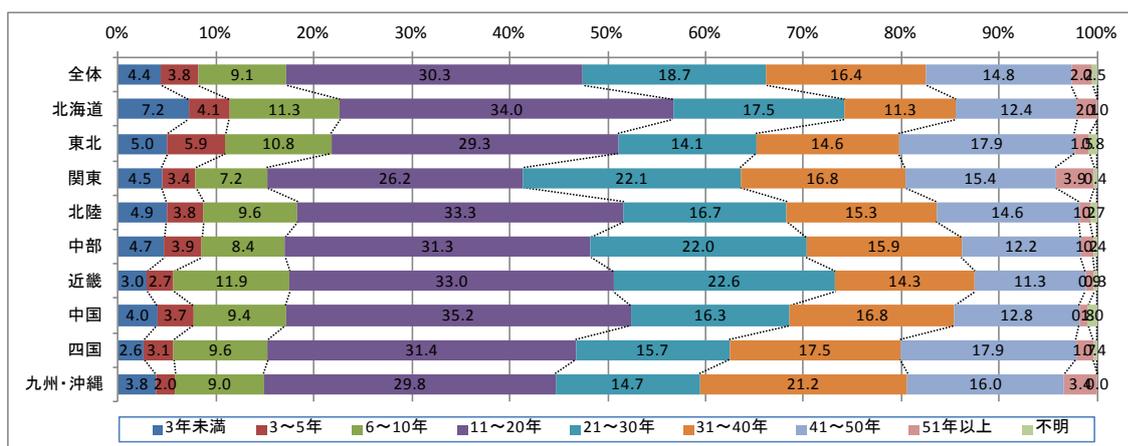


図 3.3. 職種の経験年数(H26 年度)

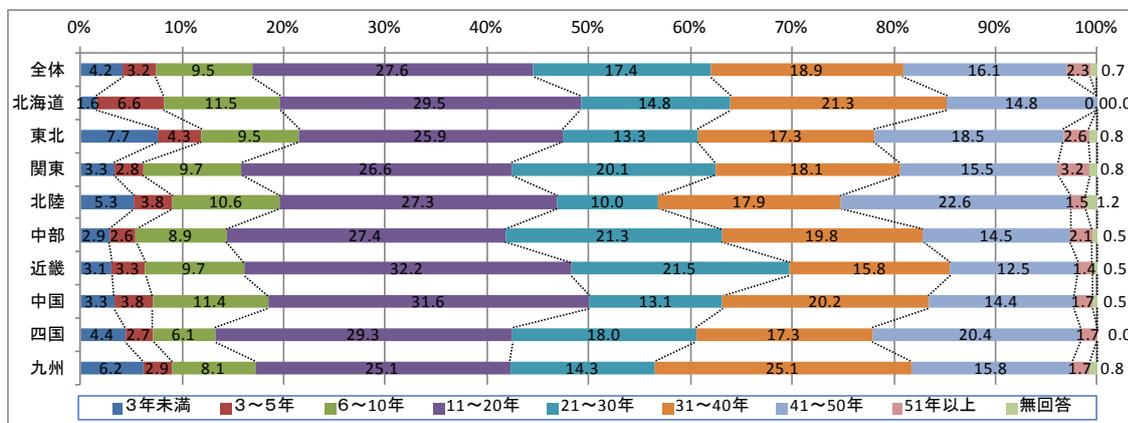


図 3.3# 職種の経験年数 (H25 年度)

2.2.1.4 職種においてベテランだと思いませんか。

「ベテラン」、「ややベテラン」を合計し、地域毎の自己評価のベテラン度合の割合を比較すると、「九州・沖縄」が45.8%で最も高い。

「中堅」、「やや中堅」の割合が高いのは、「中国」で52.2%だった。

「見習い」の割合が高いのは、「東北」で12.6%。

	合計	(5)あなたのベテラン度合いについて					
		ベテラン	ややベテラン	中堅	やや中堅	見習い	不明
全体	5,021	18.8	21.4	34.1	13.4	9.8	2.5
地域							
北海道	97	26.8	16.5	34.0	13.4	6.2	3.1
東北	775	17.0	21.4	31.6	13.8	12.6	3.5
関東	1,396	20.0	23.7	31.9	12.9	9.7	1.9
北陸	426	17.6	19.2	35.9	12.7	12.0	2.6
中部	723	19.6	17.7	37.1	13.8	9.4	2.4
近畿	336	20.2	19.9	34.5	14.9	6.5	3.9
中国	596	16.4	19.3	36.9	15.3	10.1	2.0
四国	229	16.6	23.1	34.5	13.1	10.0	2.6
九州・沖縄	443	19.6	26.2	34.1	10.4	7.0	2.7

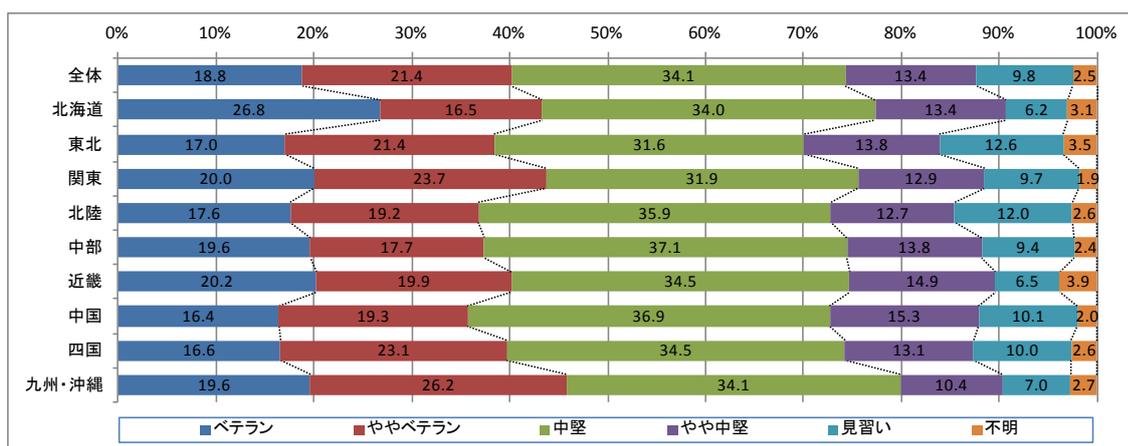


図 3.4. 職種のベテラン度合(H26年度)

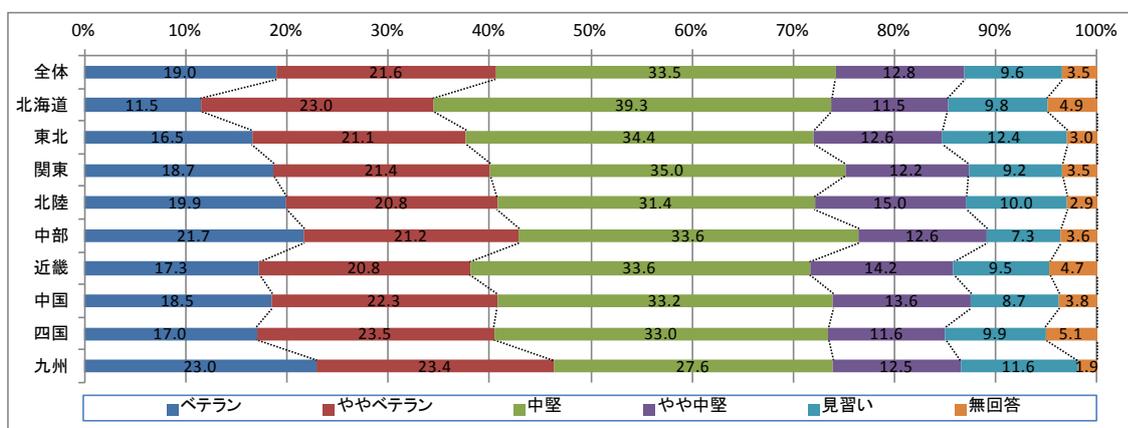


図 3.4# 職種のベテラン度合 (H25年度)

2.2.2 雇用形態について

2.2.2.1 雇用形態（工務店等との）

「工務店社員」の割合が高い地域は「東北」で52.5%。

「外注常庸（日給制）」の割合が高い地域は「中国」で18.3%。

「外注常庸（坪請主体）」の割合が高い地域は「北陸」で14.1%。

「その都度契約」の割合が高い地域は「近畿」で5.4%。

「元請として仕事」の割合が高い地域は「近畿」で40.2%。

	合計	(6)あなたの雇用形態						
		工務店社員	外注常庸(日給制)	外注常庸(坪請主体)	その都度契約	元請として仕事	その他(アルバイト等)	不明
全体	5,021	36.8	12.0	10.3	3.4	34.1	1.2	2.2
地域								
北海道	97	49.5	8.2	3.1	0.0	33.0	1.0	5.2
東北	775	52.5	11.2	5.0	1.3	27.2	0.8	1.9
関東	1,396	35.0	9.5	9.8	2.9	40.0	1.3	1.4
北陸	426	40.1	10.1	14.1	2.8	29.8	0.7	2.3
中部	723	31.3	11.1	13.0	4.1	37.2	1.0	2.4
近畿	336	26.8	13.4	11.6	5.4	40.2	0.6	2.1
中国	596	35.4	18.3	10.6	4.0	27.2	2.0	2.5
四国	229	24.9	17.9	13.5	5.2	35.4	1.3	1.7
九州・沖縄	443	34.1	13.1	11.1	5.0	31.4	1.6	3.8

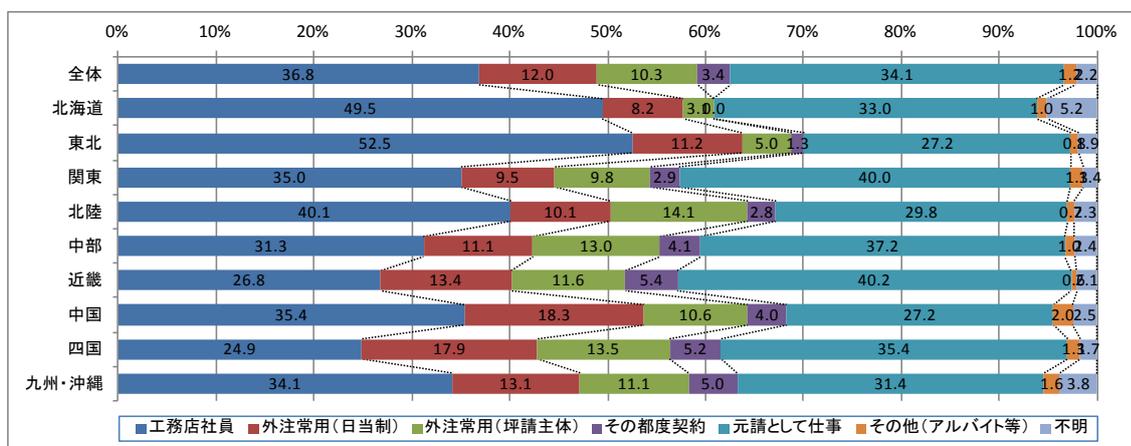


図 3.5. 雇用形態(H26年度)

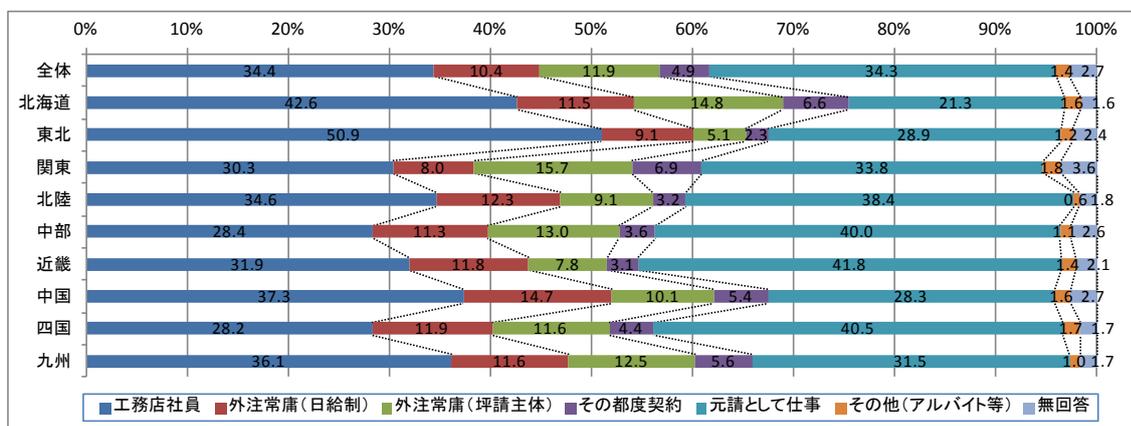


図 3.5# 雇用形態 (H25年度)

2.2 地方別集計

2.2.2.2 就業規則

就業規則が「有る」と回答した割合が高い地域は「北海道」で50.5%。

「無い」と回答した割合が高い地域は「近畿」で64.0%。

	合計	(7)就業規則		
		有	無	不明
全体	5,021	26.8	52.7	20.5
地域				
北海道	97	50.5	22.7	26.8
東北	775	37.7	39.2	23.1
関東	1,396	21.8	57.4	20.8
北陸	426	33.6	50.2	16.2
中部	723	23.5	58.6	17.8
近畿	336	16.1	64.0	19.9
中国	596	30.0	51.2	18.8
四国	229	16.2	61.6	22.3
九州・沖縄	443	26.4	49.4	24.2

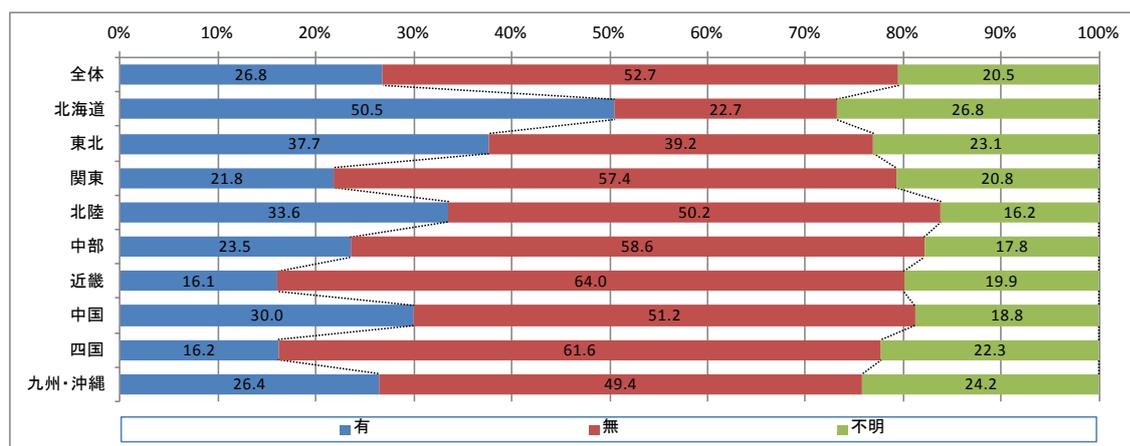


図 3.6. 就業規則(H26年度)

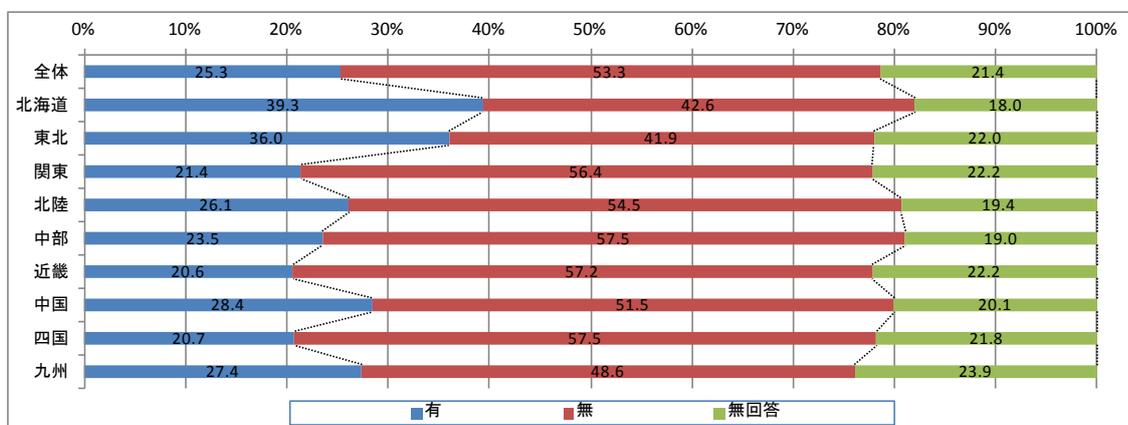


図 3.6# 就業規則 (H25年度)

2.2.2.3 有給休暇

有給休暇が「有る」と回答した割合が高い地域は「北海道」で27.8%。

有給休暇が「無い」と回答した割合が高い地域は「四国」で69.9%。

	合計	(8)有給休暇		
		有	無	不明
全体	5,021	12.1	64.7	23.2
地域				
北海道	97	27.8	49.5	22.7
東北	775	14.1	60.1	25.8
関東	1,396	12.7	63.4	23.9
北陸	426	11.5	70.9	17.6
中部	723	11.9	67.2	20.9
近畿	336	5.7	72.3	22.0
中国	596	13.8	64.8	21.5
四国	229	7.0	69.9	23.1
九州・沖縄	443	9.5	61.2	29.3

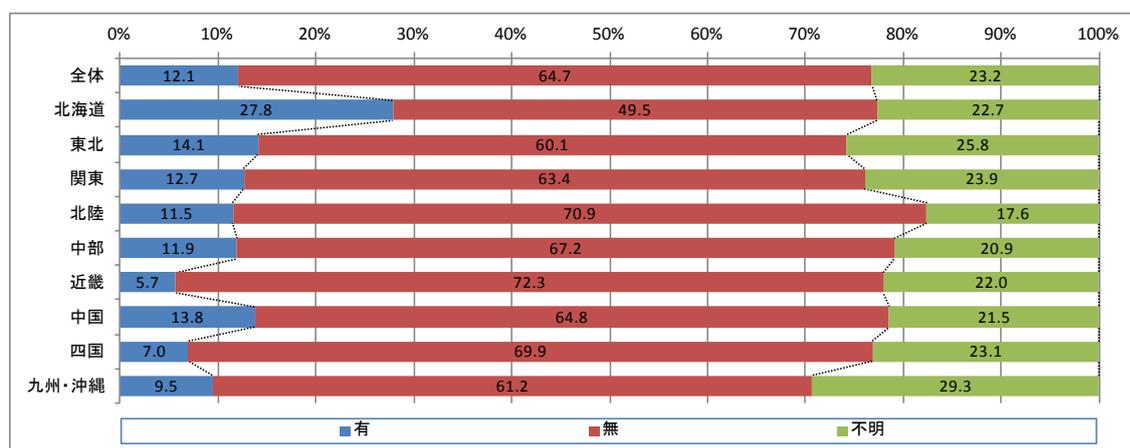


図 3.7. 有給休暇(H26年度)

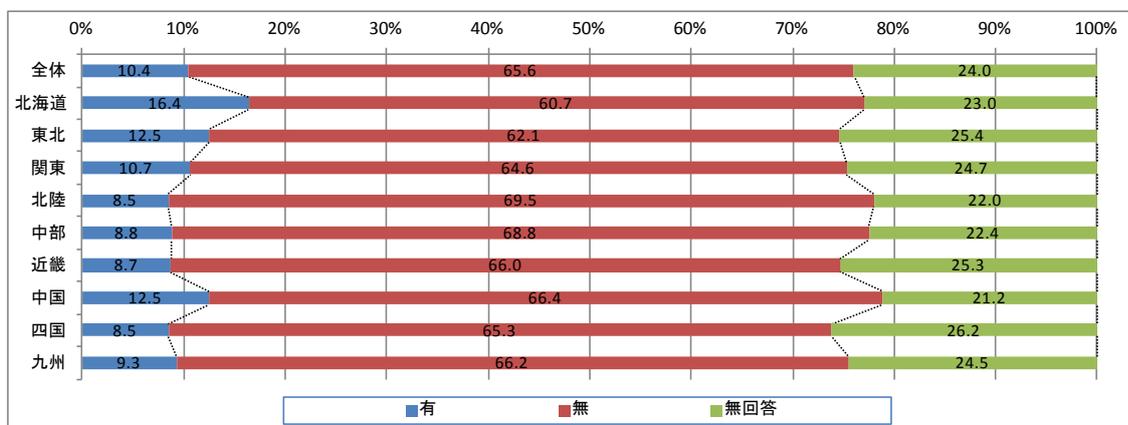


図 3.7# 有給休暇 (H25年度)

2.2.2.4 年間就業日数

平均年間就業日数が最も多い地域は「関東」で272.8日。

平均年間就業日数が最も少ない地域は「九州・沖縄」で258.4日。

	合計	(9)年間就業日数							不明	平均
		100日未満	100～150日未満	150～200日未満	200～250日未満	250～300日未満	300日以上			
全体	5,021	3.0	0.6	0.6	6.0	20.4	27.9	41.5	266.65	
地域										
北海道	97	3.1	2.1	3.1	2.1	20.6	22.7	46.4	259.23	
東北	775	1.9	0.5	0.5	7.4	23.6	19.6	46.5	264.21	
関東	1,396	2.9	0.1	0.4	4.5	17.3	31.2	43.6	272.78	
北陸	426	2.3	0.7	0.7	8.7	27.5	23.2	36.9	264.33	
中部	723	2.9	1.1	0.8	5.3	21.2	31.8	36.9	269.06	
近畿	336	3.6	1.2	0.6	3.6	16.7	35.4	39.0	268.67	
中国	596	3.5	0.7	0.7	7.0	23.0	27.2	37.9	262.85	
四国	229	4.4	0.4	0.9	9.6	19.2	31.0	34.5	260.15	
九州・沖縄	443	4.3	0.5	0.5	6.1	16.7	24.8	47.2	258.40	

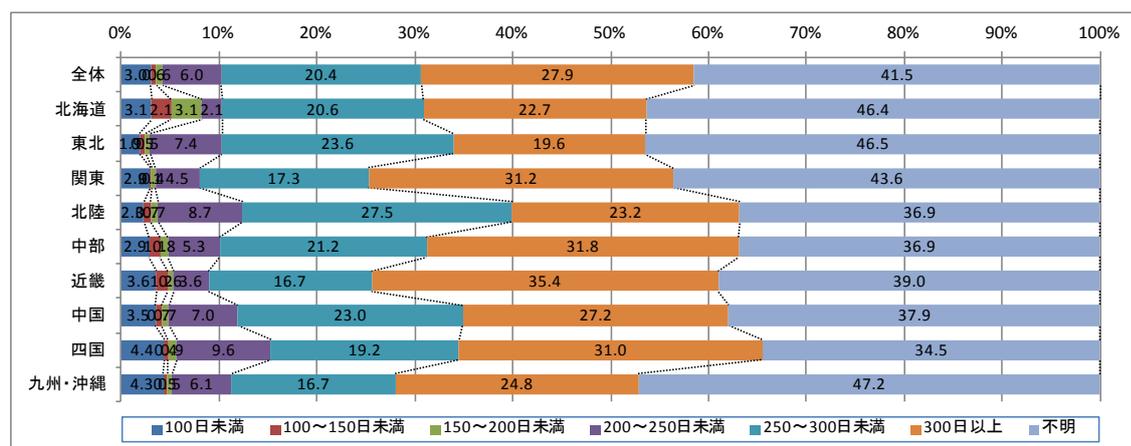


図 3.8. 年間就業日数(H26年度)

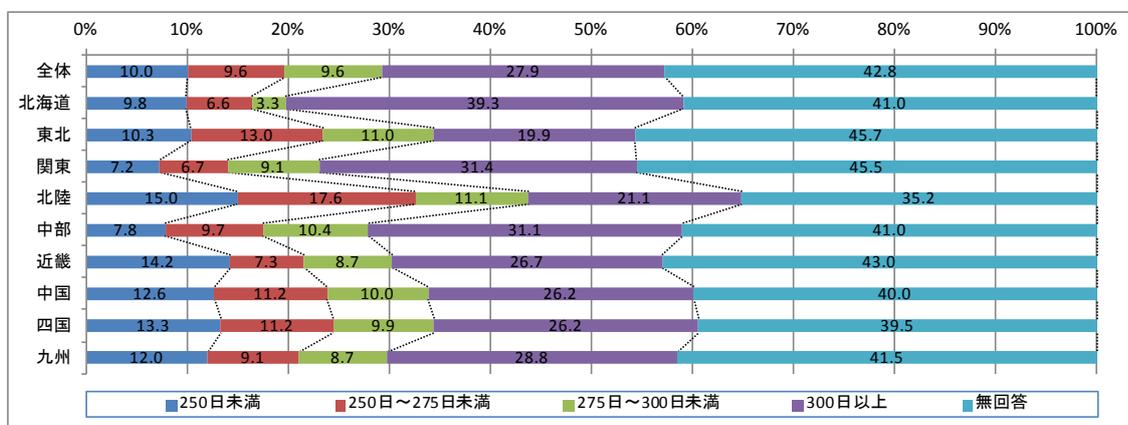


図 3.8# 年間就業日数 (H25年度)

2.2.2.5 保険等について

2.2.2.5.1 年金保険

年金保険に加入している割合の合計が最も高かったのは「北海道」で94.9%。最もすくなかったのは「近畿」で82.8%だった。

厚生年金に加入している割合が最も高かったのは「北海道」で72.2%。

国民年金に加入している割合が最も高かったのは「近畿」で63.4%。

	合計	(10-1)加入している年金			
		厚生年金	国民年金	企業年金	不明
全体	5,021	30.1	56.7	0.8	14.0
地域					
北海道	97	72.2	22.7	0.0	7.2
東北	775	41.5	46.6	0.6	12.6
関東	1,396	26.9	58.3	0.8	15.0
北陸	426	30.5	62.0	0.9	9.2
中部	723	26.0	63.2	1.1	11.3
近畿	336	18.8	63.4	0.6	18.8
中国	596	31.4	52.7	0.7	17.3
四国	229	21.0	62.4	1.3	17.5
九州・沖縄	443	28.9	58.0	0.7	14.2

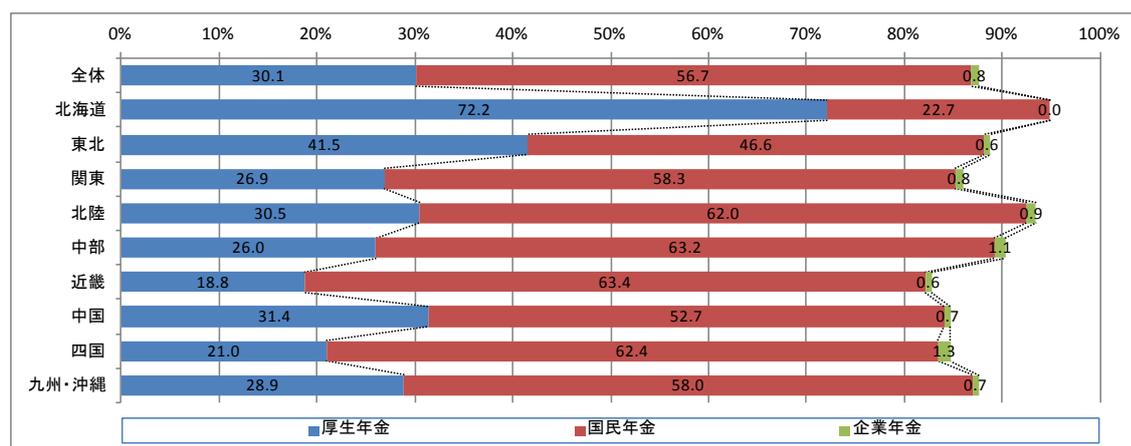


図 3.9. 年金保険(H26年度)

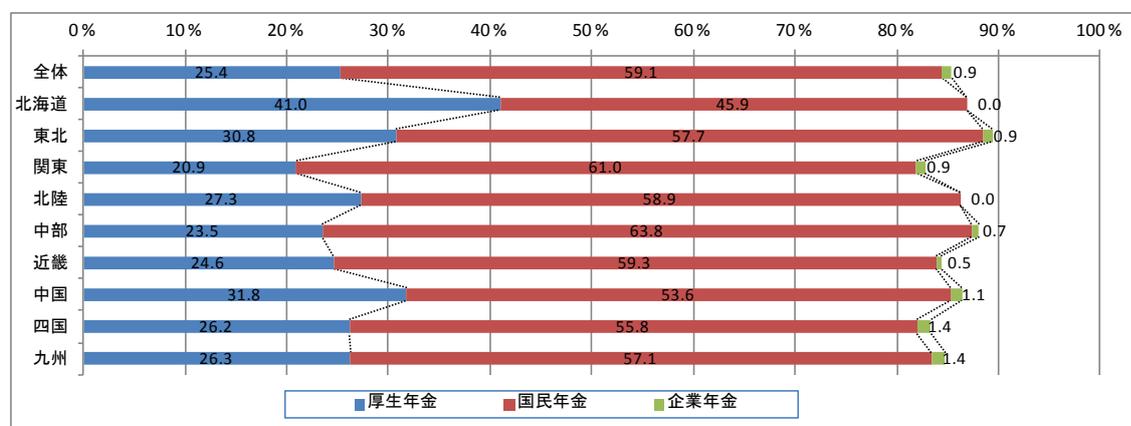


図 3.9# 年金保険 (H25年度)

2.2.2.5.2 労働保険

雇用保険に加入している割合が最も高かったのは「北海道」で 39.2%。

労災保険および一人親方労災保険に加入している割合が最も高かったのは「関東」で 68.9%。最も低かったのは「北海道」で 40.2%。

「労災保険」の加入している割合が高かったのは「関東」で 41.0%。

「一人親方労災保険」に加入している割合が高かったのは「中国」、「四国」で 34.9%。

	合計	(10-2)加入している労働保険			
		雇用保険	労災保険	一人親方労災保険	不明
全体	5,021	19.1	35.7	27.3	28.8
地域					
北海道	97	39.2	32.0	8.2	36.1
東北	775	33.8	37.5	13.0	29.5
関東	1,396	12.0	41.0	27.9	29.4
北陸	426	25.6	35.4	29.3	22.1
中部	723	17.2	30.2	33.6	27.4
近畿	336	11.9	32.7	33.9	30.7
中国	596	20.3	31.5	34.9	24.3
四国	229	9.6	33.2	34.9	28.8
九州・沖縄	443	16.9	35.0	22.8	37.5

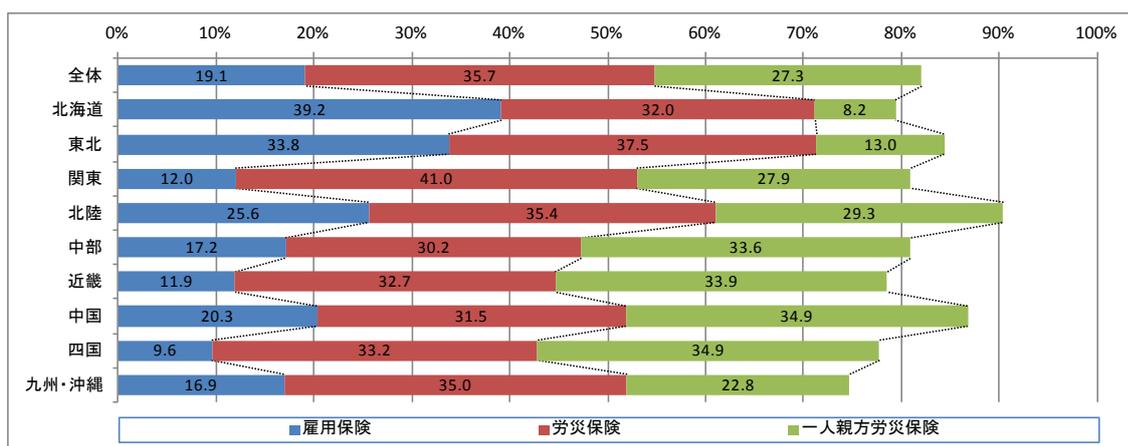


図 3.10. 労働保険(H26年度)

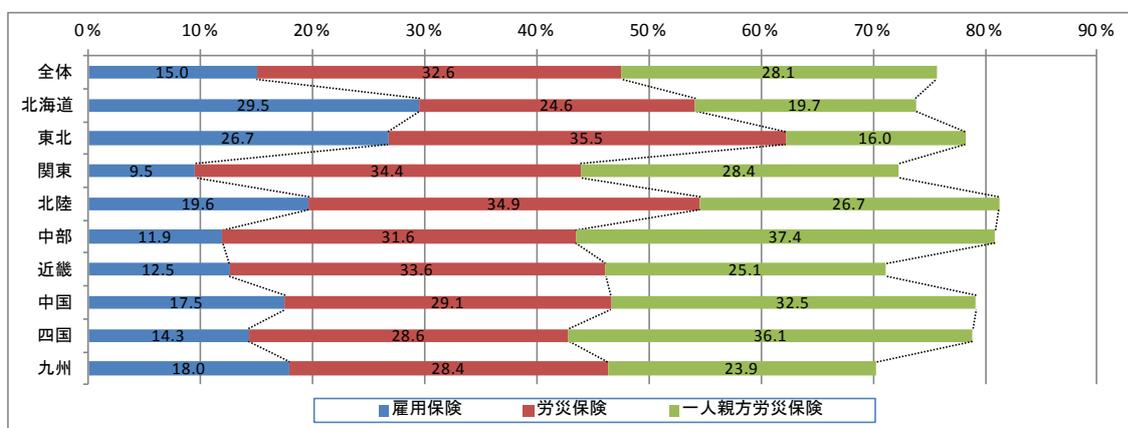


図 3.10# 労働保険 (H25年度)

2.2.2.5.3 健康保険

健康保険の加入していると回答した割合の合計が最も高かったのは「北陸」で80.4%。最も低かったのは「北海道」で66.0%。

「国民健康保険」の加入している割合が最も高かったのは、「近畿」で35.7%。

「組合健康保険（建設国保）」の割合が最も高かったのは「中国」で54.2%。

「組合健康保険（建設国保以外）」の割合が最も高かったのは「北海道」で7.2%。

	合計	(10-3)加入している健康保険				
		国民健康保険	組合健康保険(建設国保)	組合健康保険(建設国保以外)	その他の健康保険	不明
全体	5,021	30.0	41.8	2.6	3.5	22.8
地域						
北海道	97	22.7	25.8	7.2	10.3	36.1
東北	775	31.2	33.0	3.0	5.7	27.5
関東	1,396	34.7	39.8	2.4	2.7	21.0
北陸	426	26.1	50.5	3.8	4.9	16.4
中部	723	33.1	42.2	2.2	2.5	20.5
近畿	336	35.7	40.2	1.8	2.7	19.9
中国	596	18.6	54.2	2.0	2.3	23.5
四国	229	23.1	53.3	2.6	2.2	19.7
九州・沖縄	443	27.3	37.0	2.9	4.1	30.0

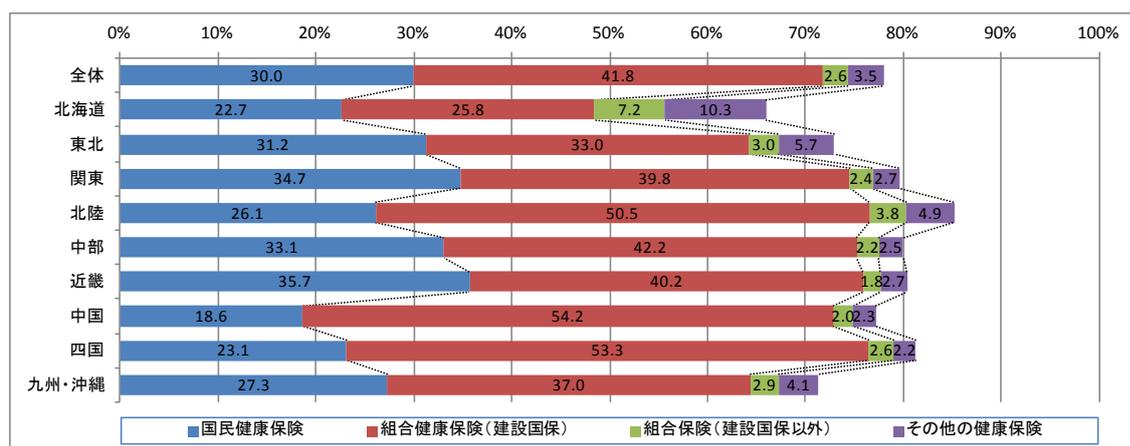


図 3.11. 健康保険(H26年度)

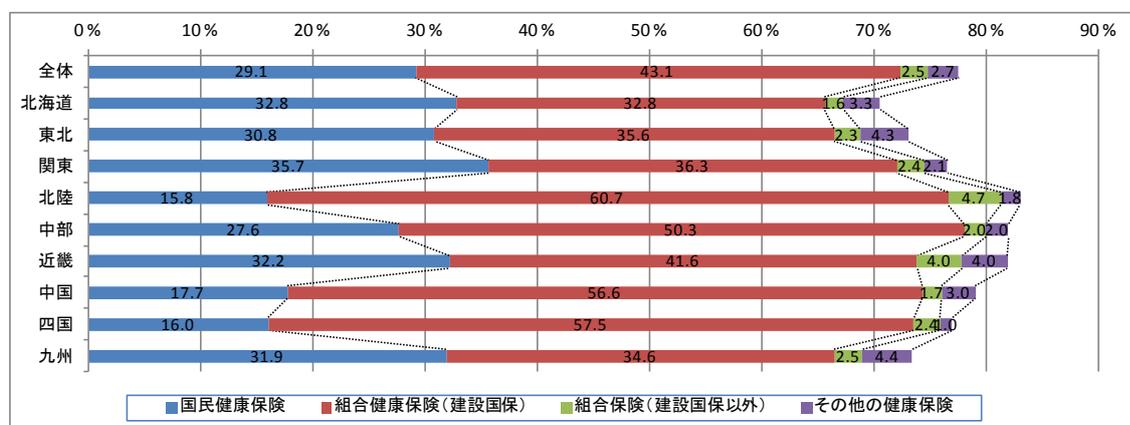


図 3.11# 健康保険 (H25年度)

2.2.2.6 賃金の中に含まれ、自己負担となっているもの

自己負担の割合の合計が最も高かったのは「四国」で 298.3%。

自己負担の割合の合計が最も低かったのは「関東」で 238.3%。

地域	合計	(11)自己負担となっているもの						
		手道具	電動工具	クギ金物	車(保険含む)	ガソリン	全て所属する工務店等が負担	不明
全体	5,021	71.8	65.1	24.6	52.5	52.1	14.8	7.6
北海道	97	76.3	67.0	3.1	57.7	49.5	10.3	7.2
東北	775	77.2	68.1	12.3	50.5	51.4	10.8	5.7
関東	1,396	63.6	56.3	25.7	47.1	45.6	22.9	9.0
北陸	426	74.2	68.1	23.9	49.1	49.1	12.4	8.0
中部	723	74.7	68.7	34.4	55.9	54.1	14.7	6.5
近畿	336	70.2	65.5	30.7	56.5	57.1	14.9	7.1
中国	596	76.5	72.1	25.3	59.1	59.2	9.4	7.2
四国	229	74.7	69.4	31.9	59.0	63.3	10.9	6.1
九州・沖縄	443	73.1	66.1	22.6	54.0	55.1	8.8	9.5

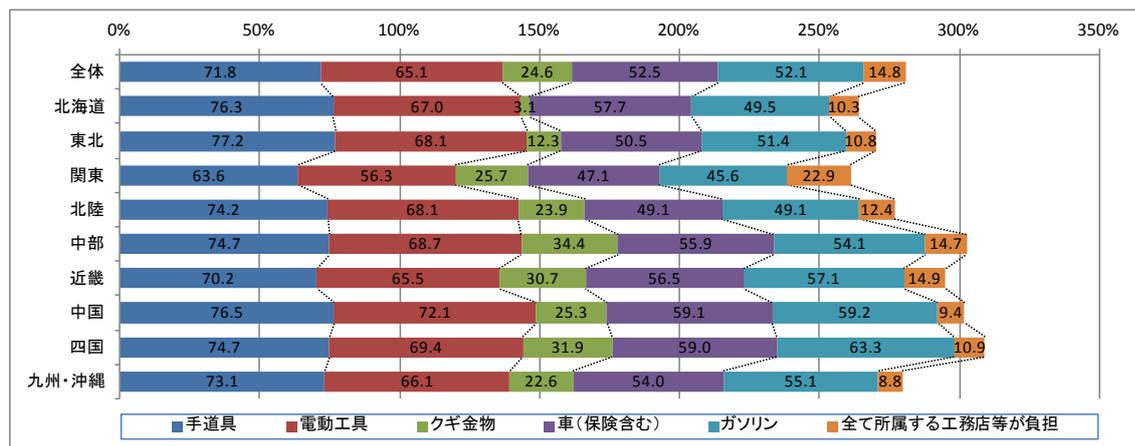


図 3.12. 自己負担となっているもの(H26年度)

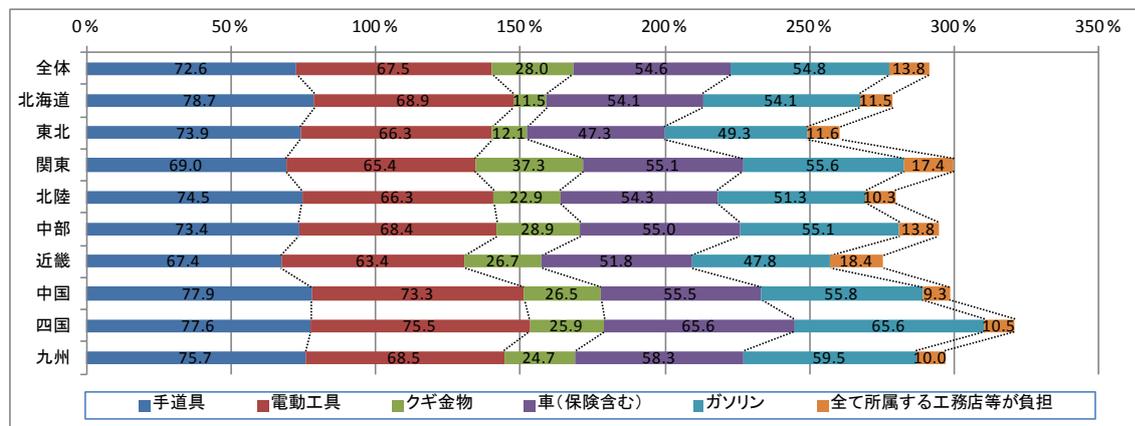


図 3.12# 自己負担となっているもの (H25年度)

2.2.2.7 おおよその賃金（諸経費が含まれた1日あたりの平均単価）

平均賃金が最も高かった地域は「近畿」で16,570.3円。

平均賃金が最も低かった地域は「東北」で12,823.8円。

	合計	(12)1日あたりのおおよその賃金							平均賃金
		8,000円未満	8,000～10,000円未満	10,000～15,000円未満	15,000～20,000円未満	20,000～25,000円未満	25,000円以上	不明	
全体	5,021	5.0	7.3	38.5	34.8	8.3	2.0	4.2	14944.9
地域									
北海道	97	5.2	11.3	52.6	23.7	3.1	1.0	3.1	13526.6
東北	775	6.1	11.4	61.0	13.7	1.8	0.9	5.2	12823.8
関東	1,396	4.7	5.0	28.5	40.0	14.0	3.2	4.6	16084.8
北陸	426	5.4	8.5	39.4	35.9	5.6	0.9	4.2	14523.3
中部	723	5.3	5.7	27.1	45.5	10.8	2.4	3.3	15823.3
近畿	336	3.6	4.8	22.0	47.3	14.3	3.3	4.8	16570.3
中国	596	4.2	7.6	35.2	40.9	7.0	2.0	3.0	15129.8
四国	229	3.5	9.6	48.9	32.8	0.4	0.0	4.8	13747.7
九州・沖縄	443	5.9	8.6	56.2	22.6	2.3	1.1	3.4	13463.8

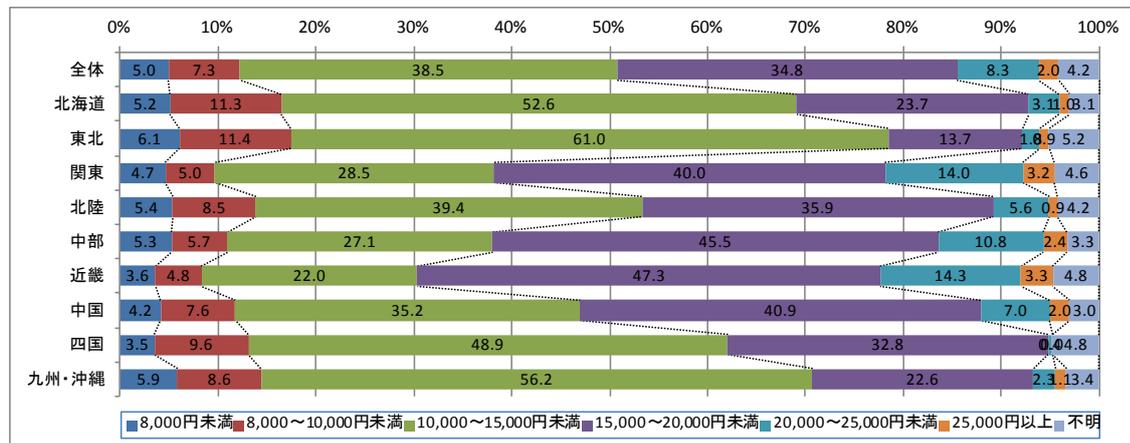


図 3.13. 1日あたりのおおよその賃金(H26年度)

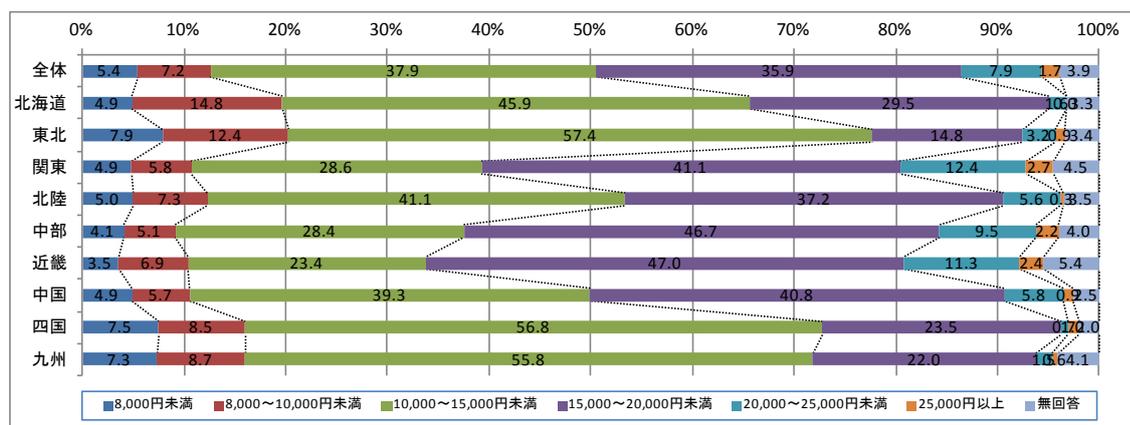


図 3.13 1日あたりのおおよその賃金 (H25年度)

2.2.3 資格や技能について

2.2.3.1 持っている資格

持っている資格の割合の合計が最も高かったのは「北海道」で、356.7%。最も低かった地域は「近畿」で208.3%。

「北海道」では、他地域と比較して「クレーン運転技能講習修了者」の割合が高い。

地域	合計	(13)お持ちの資格														不明	
		1級建築士	2級建築士	木造建築士	1級建築施工管理技士	2級建築施工管理技士	1級建築大工技能士	2級建築大工技能士	枠組壁建築技能士	職業訓練指導員	増改築相談員	足場の組立て等作業主任者	木造建築物組立て作業主任者	玉掛け技能講習修了者	クレーン運転技能講習修了者		木材加工用機械作業主任者
全体	5,021	5.2	31.8	3.6	3.9	15.0	15.4	12.6	2.2	12.1	8.8	37.6	42.5	43.6	19.3	12.4	18.1
北海道	97	6.2	32.0	2.1	6.2	20.6	27.8	21.6	11.3	22.7	16.5	45.4	34.0	55.7	41.2	13.4	13.4
東北	775	2.5	34.3	3.2	3.4	18.6	17.2	18.6	2.6	17.3	8.1	39.5	47.5	48.4	25.3	11.5	16.9
関東	1,396	6.7	31.2	3.0	4.1	16.4	10.8	10.4	1.7	12.2	11.4	36.0	37.6	32.7	16.2	11.5	21.3
北陸	426	4.0	36.6	2.6	2.1	12.4	26.5	14.6	0.9	12.2	7.0	40.1	53.5	64.6	23.2	24.9	10.1
中部	723	5.0	29.6	4.7	3.9	10.0	18.5	14.5	1.7	15.9	5.4	40.4	45.1	53.5	24.6	16.3	15.1
近畿	336	7.4	29.2	4.2	4.5	15.2	11.3	6.5	2.1	7.1	7.7	28.6	30.4	31.3	11.9	11.0	28.3
中国	596	4.2	28.9	4.7	3.0	11.2	13.9	10.9	2.3	6.4	7.9	40.8	50.0	51.2	17.8	9.4	14.3
四国	229	7.4	38.0	5.7	4.8	8.7	10.9	3.5	2.2	1.3	3.9	37.6	39.7	33.6	13.5	8.3	23.6
九州・沖縄	443	4.5	30.7	2.7	6.1	22.3	15.8	13.5	3.4	11.5	11.5	32.7	37.0	35.0	12.4	5.2	18.1

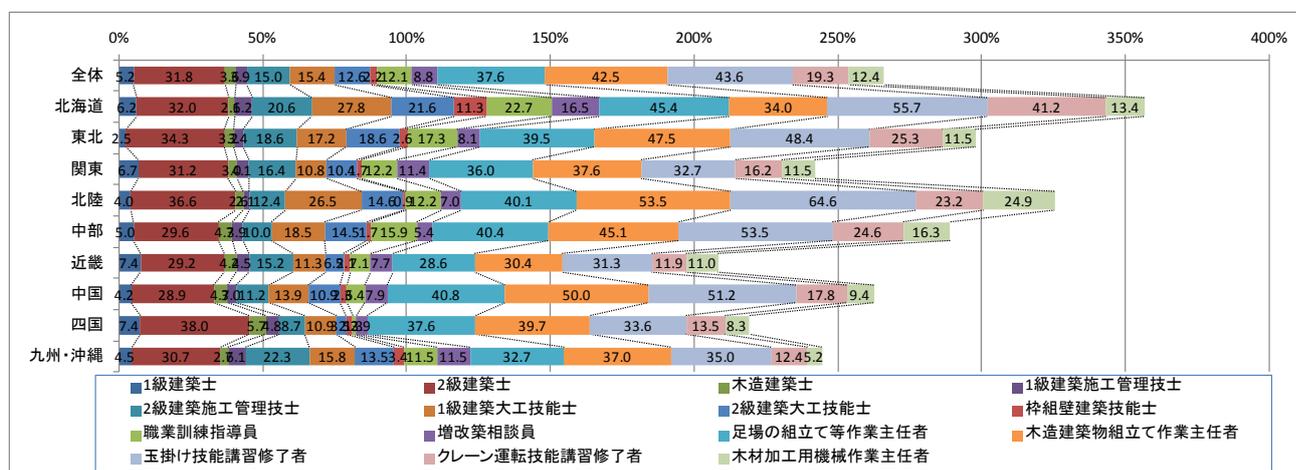


図 3.14. 持っている資格(H26年度)

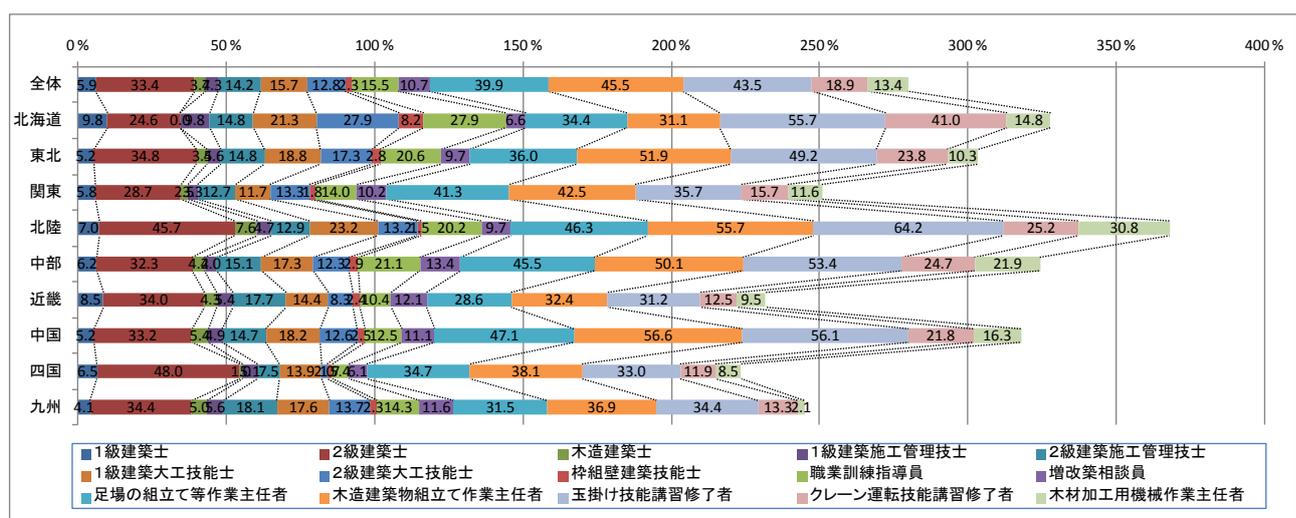


図 3.14# 持っている資格 (H25年度)

2.2.3.2 **大工職のみ回答** 墨付けができますか。

手刻み加工ができると回答した割合が最も高かった地域は、「中部」で78.8%。

	合計	(14)①墨付けができますか		
		はい	いいえ	不明
全体	5,021	74.7	14.3	11.0
地域				
北海道	97	61.9	17.5	20.6
東北	775	72.5	16.1	11.4
関東	1,396	73.3	14.3	12.4
北陸	426	76.3	17.4	6.3
中部	723	78.8	13.0	8.2
近畿	336	72.9	12.2	14.9
中国	596	75.3	15.1	9.6
四国	229	74.7	14.4	10.9
九州・沖縄	443	78.1	10.4	11.5

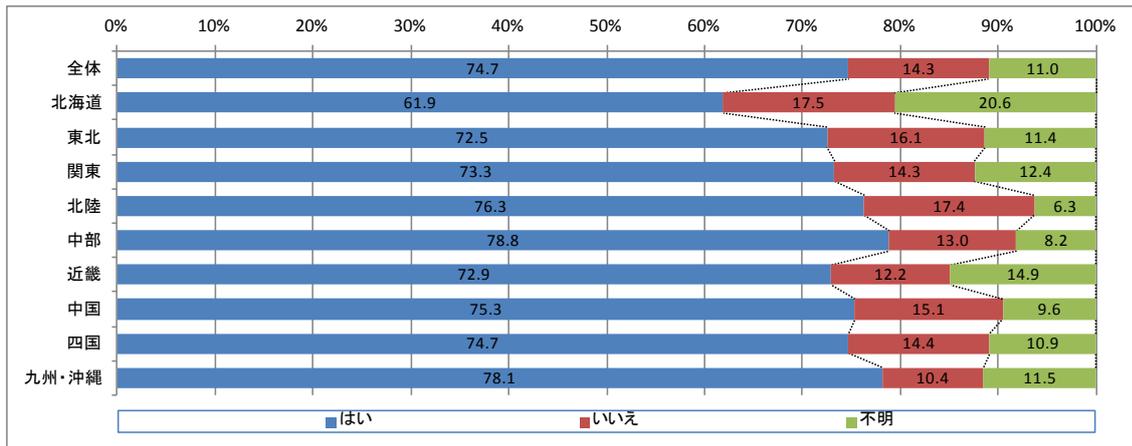


図 3.15. 墨付け(H26年度)

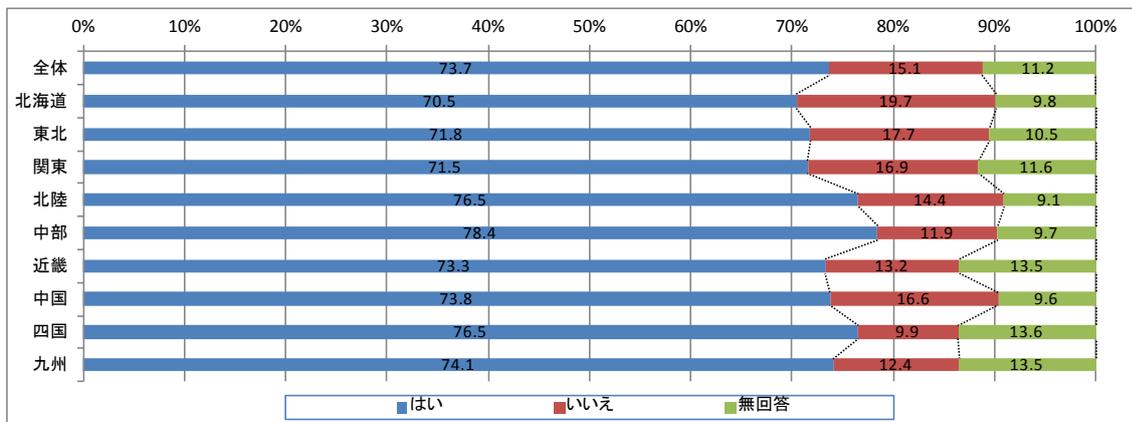


図 3.15# 墨付け (H25年度)

2.2.3.3 **大工職のみ回答** 今でも手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか。(新築)

新築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っている割合が最も高かったのは「東北」で34.8%。最も低かったのは「関東」で20.2%。

	合計	(14)②新築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか			
		はい	いいえ	不明	
全体	5,021	25.7	61.7	12.6	
地域	北海道	97	33.0	46.4	20.6
	東北	775	34.8	52.4	12.8
	関東	1,396	20.2	65.1	14.7
	北陸	426	27.0	66.4	6.6
	中部	723	24.5	66.0	9.5
	近畿	336	25.0	60.4	14.6
	中国	596	24.5	62.9	12.6
	四国	229	27.1	59.8	13.1
	九州・沖縄	443	27.1	59.6	13.3

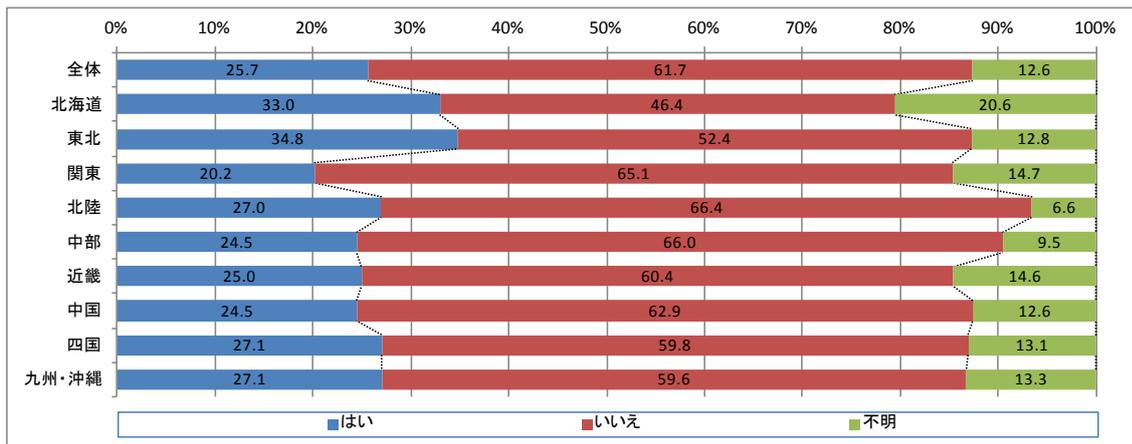


図 3.16. 手刻み加工の仕事（新築）（H26年度）

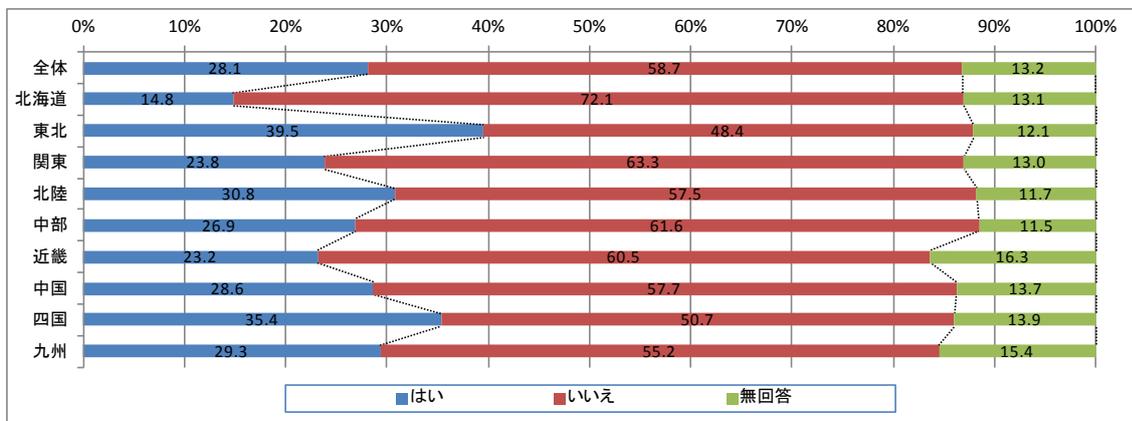


図 3.16# 手刻み加工の仕事（H25年度）

2.2.3.4 **大工職のみ回答** 今でも手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか。(増改築)

増改築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っている割合が最も高かったのは「東北」で57.9%。最も低かったのは「北海道」で39.2%。

	合計	(14)③増改築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか		
		はい	いいえ	不明
全体	5,021	51.8	36.1	12.0
地域				
北海道	97	39.2	37.1	23.7
東北	775	57.9	29.9	12.1
関東	1,396	46.3	40.1	13.5
北陸	426	52.6	41.5	5.9
中部	723	52.4	38.6	9.0
近畿	336	52.4	32.4	15.2
中国	596	55.0	33.2	11.7
四国	229	48.9	37.1	14.0
九州・沖縄	443	56.2	31.4	12.4

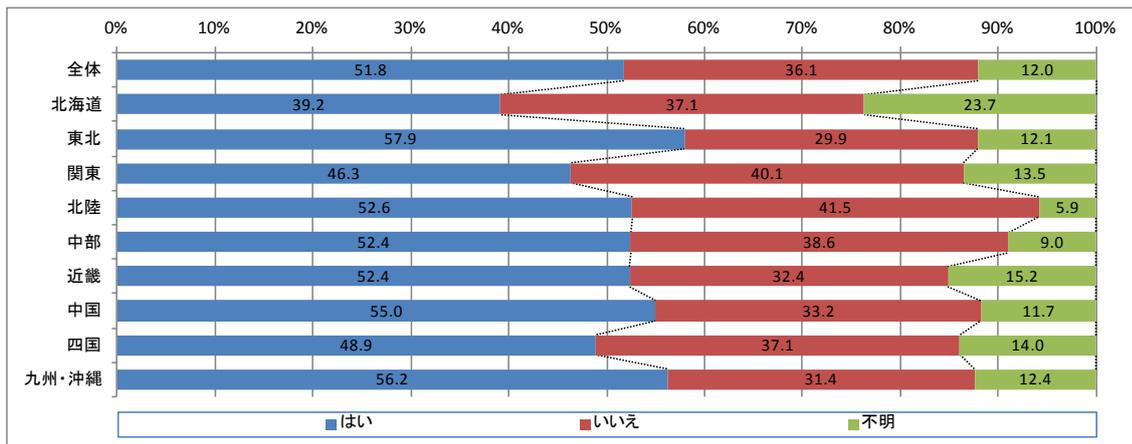


図 3.17. 手刻み加工の仕事（増改築）（H26年度）

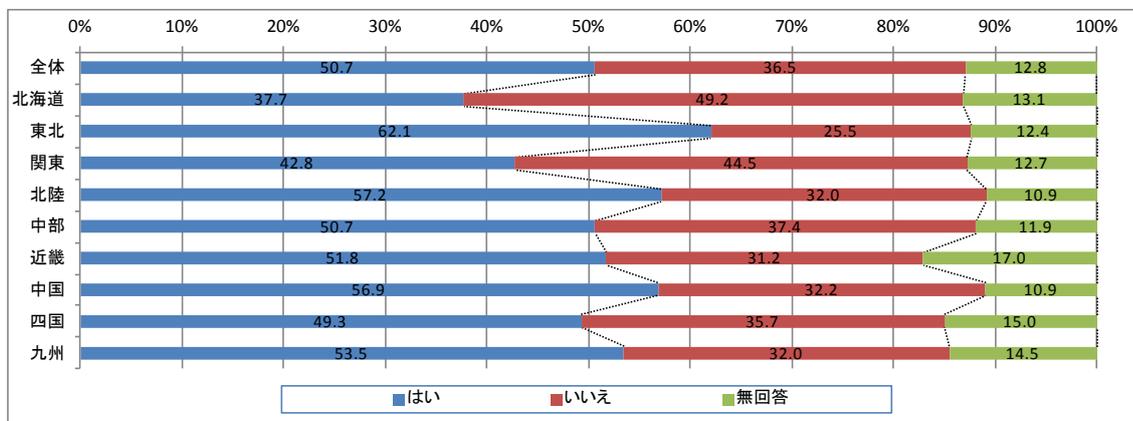


図 3.17 手刻み加工の仕事（増改築）（H25年度）

2.2.3.5 大工職のみ回答 和室造作ができますか。

和室造作ができると回答した割合が最も高かったのは「北陸」で77.7%。最も低かったのは「北海道」で50.5%。

	合計	(14)④和室造作ができますか		
		はい	いいえ	不明
全体	5,021	70.1	18.2	11.7
地域				
北海道	97	50.5	27.8	21.6
東北	775	64.4	23.9	11.7
関東	1,396	68.6	18.1	13.3
北陸	426	77.7	16.4	5.9
中部	723	73.7	17.4	8.9
近畿	336	70.2	14.9	14.9
中国	596	72.3	16.6	11.1
四国	229	72.1	15.7	12.2
九州・沖縄	443	72.0	14.9	13.1

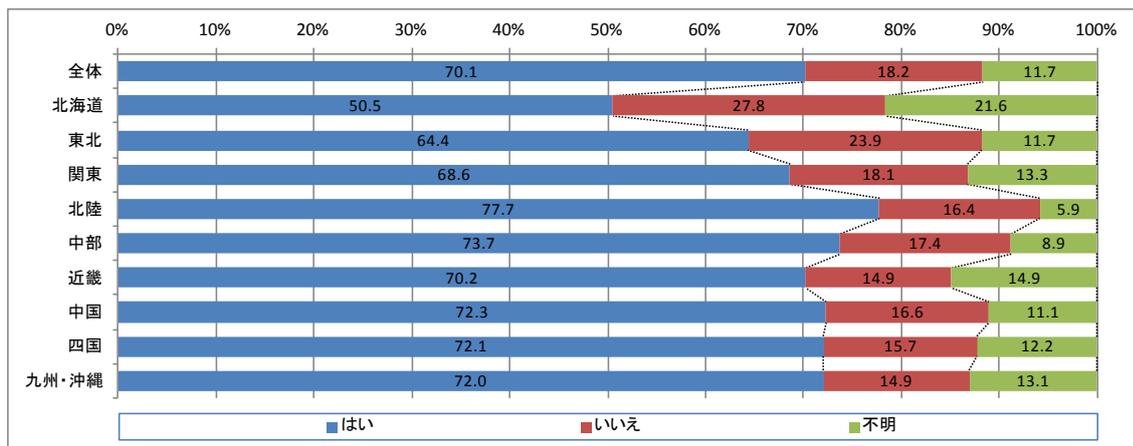


図 3.18. 和室造作(H26年度)

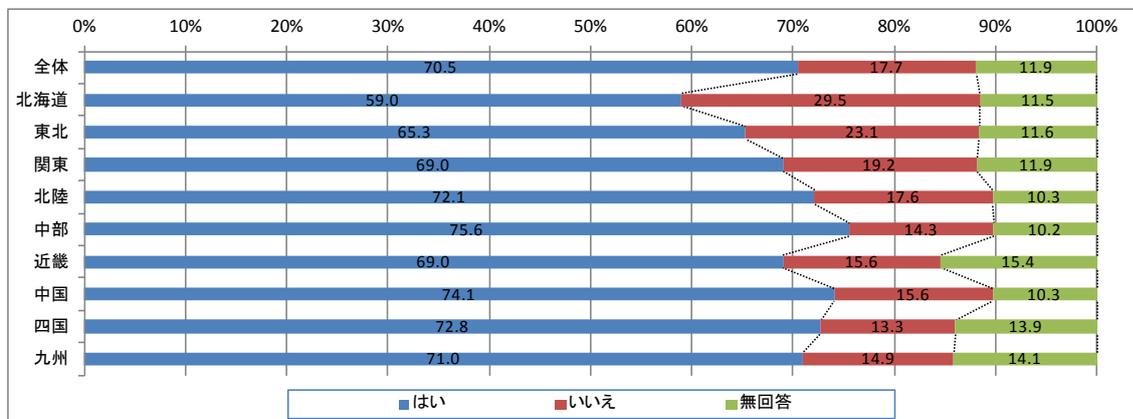


図 3.18# 和室造作 (H25年度)

2.2.3.6 **大工職のみ回答** 2×4工法の住宅の施工ができますか。

2×4工法の住宅の施工ができると回答した割合は「北海道」が最も高く46.4%だった。前回調査（H25年度）においても「北海道」が最も割合が高かった。

	合計	(14)⑤2×4工法の住宅の施工ができますか			
		はい	いいえ	不明	
全体	5,021	27.3	59.5	13.1	
地域	北海道	97	46.4	33.0	20.6
	東北	775	27.0	59.9	13.2
	関東	1,396	24.1	61.0	14.8
	北陸	426	23.7	67.8	8.5
	中部	723	28.9	61.4	9.7
	近畿	336	29.2	55.1	15.8
	中国	596	30.5	57.6	11.9
	四国	229	30.1	55.0	14.8
	九州・沖縄	443	27.8	57.1	15.1

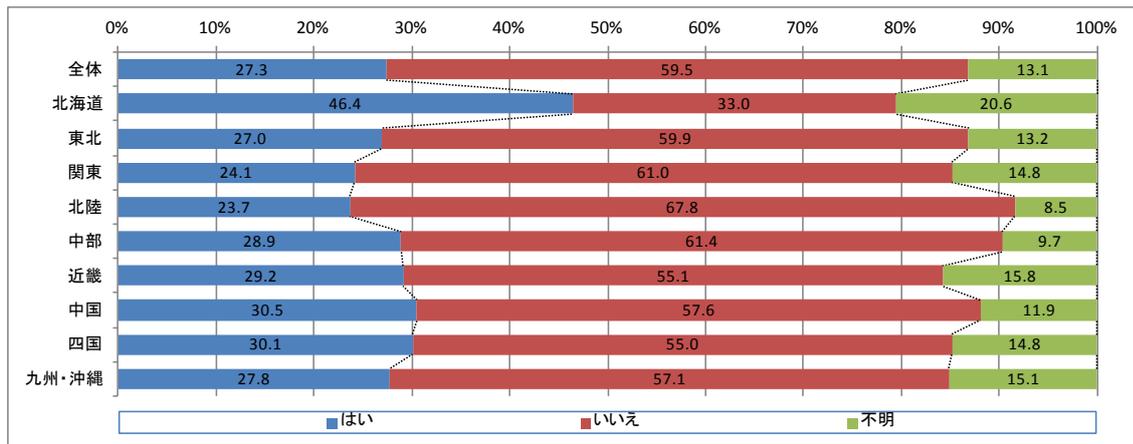


図 3.19. 2×4工法の住宅の施工(H26年度)

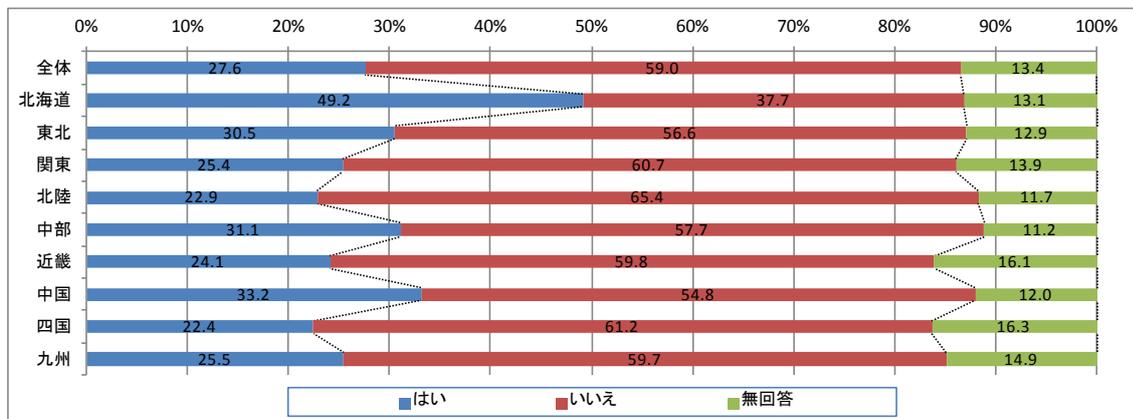


図 3.19# 2×4工法の住宅の施工 (H25年度)

2.2.4 仕事に対する満足度や今後の意向について

2.2.4.1 現在の仕事の内容について満足していますか。

「とても満足している」、「まあ満足している」を合計した「満足している」割合が最も高かったのは「北海道」で73.2%だった。

「あまり満足していない」、「満足していない」を合計した「満足していない」割合が最も高かったのは「北陸」で41.9%だった。

	合計	(15)現在の仕事の内容について満足度				
		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	不明
全体	5,021	9.6	50.9	24.6	6.6	8.3
地域						
北海道	97	14.4	58.8	11.3	3.1	12.4
東北	775	12.0	54.8	21.0	4.4	7.7
関東	1,396	9.4	49.1	24.9	6.7	10.0
北陸	426	6.8	46.0	32.2	9.6	5.4
中部	723	10.4	50.2	26.0	7.1	6.4
近畿	336	8.6	47.0	26.2	6.8	11.3
中国	596	8.1	50.2	26.8	8.1	6.9
四国	229	5.7	57.2	24.0	4.4	8.7
九州・沖縄	443	11.5	54.2	19.4	5.9	9.0

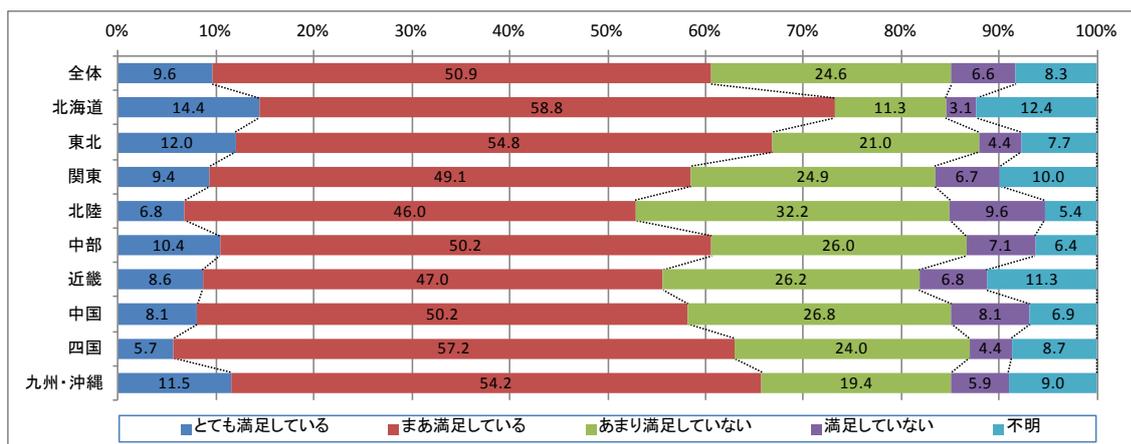


図 3.20. 仕事の内容についての満足度(H26年度)

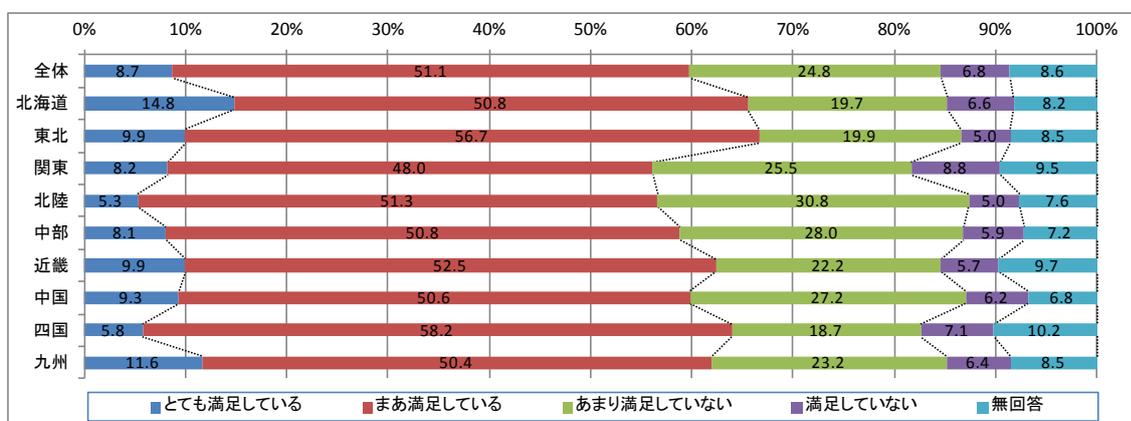


図 3.20# 仕事の内容についての満足度 (H25年度)

2.2.4.2 現在の仕事で得られる収入等について満足していますか。

「とても満足している」、「まあ満足している」を合計した「満足している」割合が最も高かったのは「北海道」で43.3%だった。

「あまり満足していない」、「満足していない」を合計した「満足していない」割合が最も高かったのは「四国」で62.0%だった。

	合計	(16)現在の仕事で得られる収入等について満				
		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	不明
全体	5,021	3.7	31.5	39.1	17.5	8.3
地域						
北海道	97	9.3	34.0	35.1	10.3	11.3
東北	775	4.1	36.3	36.9	14.6	8.1
関東	1,396	2.9	30.1	39.3	17.6	10.1
北陸	426	2.8	31.0	39.0	22.5	4.7
中部	723	3.6	30.0	41.1	18.8	6.5
近畿	336	3.3	28.3	41.1	17.3	10.1
中国	596	5.4	32.2	36.9	18.3	7.2
四国	229	2.2	27.5	40.6	21.4	8.3
九州・沖縄	443	4.3	33.2	40.4	13.8	8.4

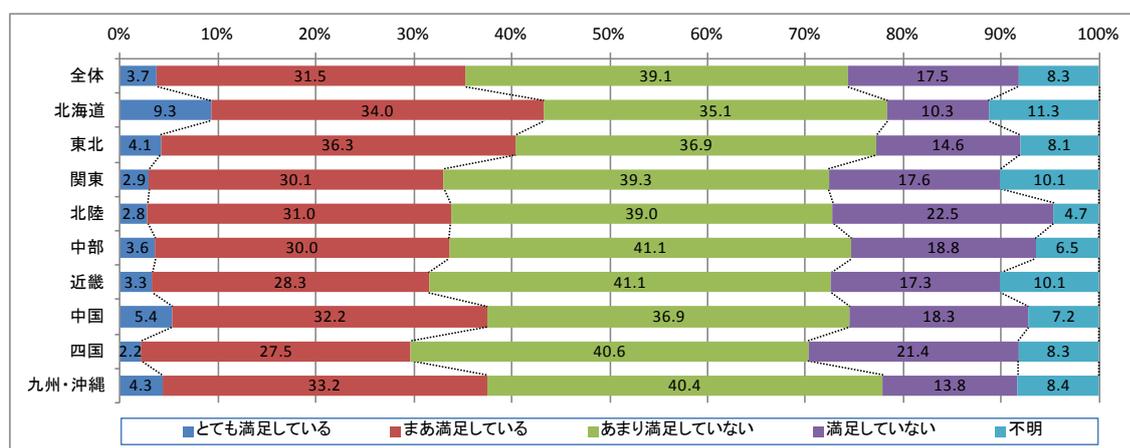


図 3.21. 収入等についての満足度(H26年度)

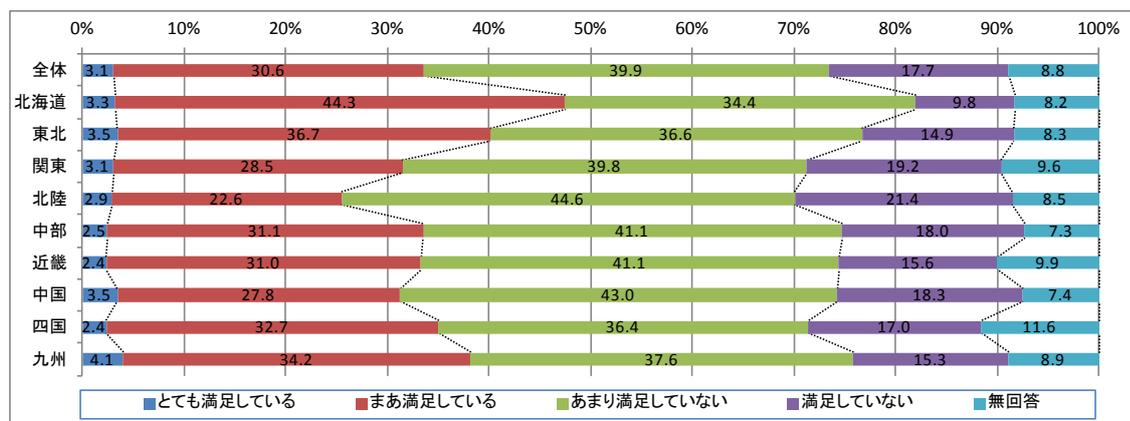


図 3.21# 収入等についての満足度 (H25年度)

2.2.4.3 今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか。

「仕事ができる限り続ける」と回答した割合が最も高かったのは、「近畿」で56.3%。最も低かったのは「北海道」で50.5%。

「北海道」では「65歳で引退する」が16.5%で「仕事ができる限り続ける」に次いで割合が高かった。

	合計	(17)今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか						
		60歳で引退する	65歳で引退する	70歳で引退する	75歳で引退する	仕事ができる限り続ける	仕事がないため近々退職・引退する予定である	不明
全体	5,021	6.6	15.4	12.2	2.5	53.6	1.0	8.8
地域								
北海道	97	7.2	16.5	8.2	3.1	50.5	1.0	13.4
東北	775	6.7	17.5	11.1	2.7	51.6	1.3	9.0
関東	1,396	6.2	12.0	12.3	3.3	55.2	0.5	10.5
北陸	426	6.6	20.7	10.8	2.1	53.3	2.1	4.5
中部	723	6.6	18.1	14.0	1.4	52.0	0.8	7.1
近畿	336	7.7	12.5	10.4	1.5	56.3	0.9	10.7
中国	596	5.4	15.6	11.1	2.5	56.4	1.5	7.6
四国	229	6.6	12.7	16.6	3.1	51.1	1.7	8.3
九州・沖縄	443	7.7	15.8	13.8	2.0	50.6	0.7	9.5

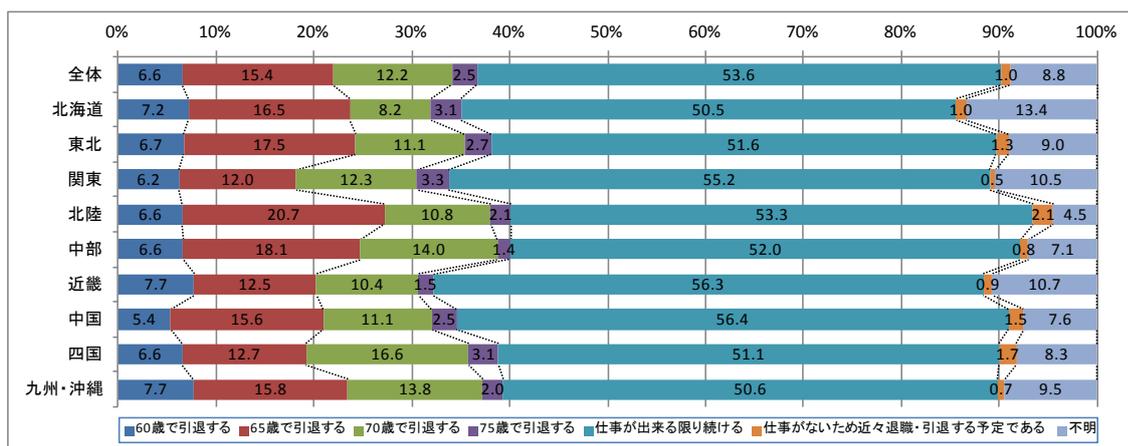


図 3.22. 何歳まで仕事を続ける予定か(H26年度)

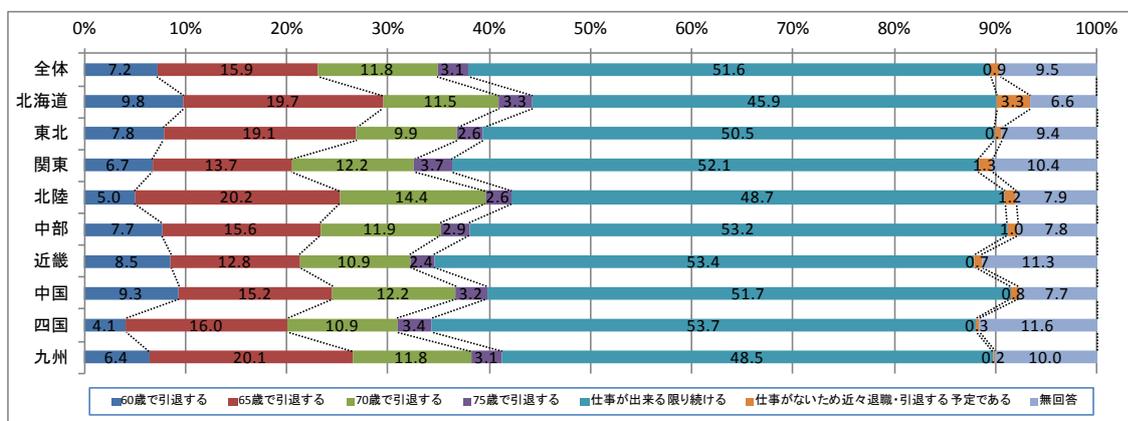


図 3.22 何歳まで仕事を続ける予定か (H25年度)

2.2.5 担い手育成について

2.2.5.1 現在、担い手（見習い等）の育成を行っていますか。

「現在育てている」の割合が最も高かった地域は「北海道」で21.6%。最も低かった地域は「四国」で13.1%。「北海道」では「過去には育てた」の割合も高かった。

「現在は育てていないし、今後も育てる予定はない」と回答した割合が最も高かったのは「関東」で41.2%。最も低かったのは「北海道」で13.4%だった

	合計	(18)現在、担い手の育成を行っていますか			
		現在育てている	現在は育てていないが、人材がいれば育てたい	現在は育てていないし、今後も育てる予定はない	不明
全体	5,021	15.4	40.2	30.9	13.6
地域					
北海道	97	21.6	49.5	13.4	15.5
東北	775	18.2	40.6	24.6	16.5
関東	1,396	13.8	41.2	30.3	14.7
北陸	426	17.8	40.8	30.0	11.3
中部	723	12.6	38.2	37.6	11.6
近畿	336	15.8	40.5	31.0	12.8
中国	596	16.1	37.6	34.7	11.6
四国	229	13.1	34.5	38.9	13.5
九州・沖縄	443	16.0	42.7	28.2	13.1

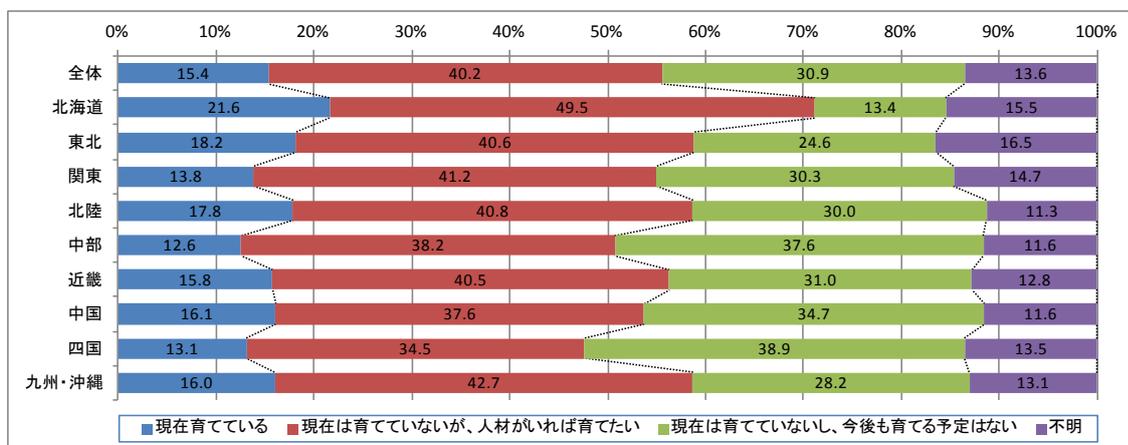


図 3.23. 担い手の育成状況(H26年度)

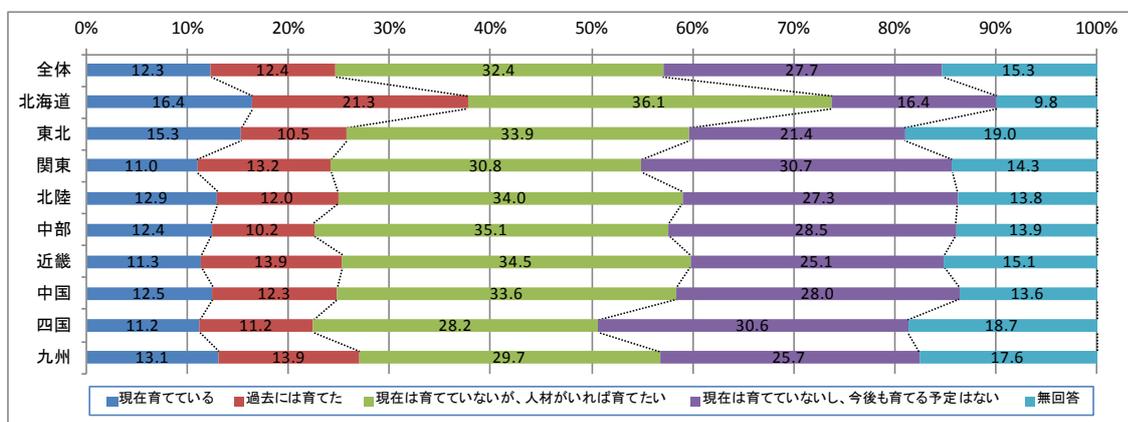


図 3.23# 担い手の育成状況 (H25年度)

2.2.5.2 2.2.5.1 「1.現在育てている」および「2.過去には育てた」のみ回答

育成期間の担い手の立場

担い手の立場が「正社員（職業訓練校および弟子として）」の割合が最も高かった地域は「東北」で91.5%。

「一人親方にあずける（職業訓練校および弟子として）」の割合が最も高かった地域は「近畿」で18.9%だった。

「職業訓練校（正社員および一人親方にあずける）」の割合は、「北海道」が47.7%で最も高かった。

	合計	(19)育成期間の担い手の立場				
		正社員 (職業訓練校)	正社員 (弟子として)	一人親方等 にあずける (職業訓練校)	一人親方等 にあずける (弟子として)	不明
全体	772	18.4	66.8	2.7	8.5	3.5
地域						
北海道	21	42.9	47.6	4.8	4.8	0.0
東北	141	28.4	63.1	2.1	4.3	2.1
関東	193	11.9	72.5	3.6	5.7	6.2
北陸	76	28.9	60.5	1.3	6.6	2.6
中部	91	15.4	67.0	2.2	12.1	3.3
近畿	53	7.5	69.8	1.9	17.0	3.8
中国	96	17.7	65.6	3.1	10.4	3.1
四国	30	13.3	76.7	0.0	10.0	0.0
九州・沖縄	71	12.7	66.2	4.2	14.1	2.8

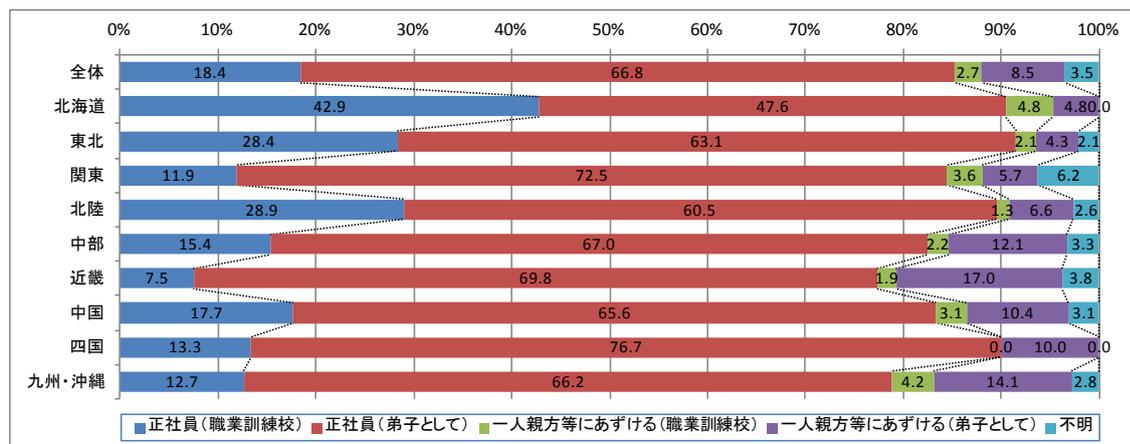


図 3.24. 育成期間の担い手の立場(H26年度)

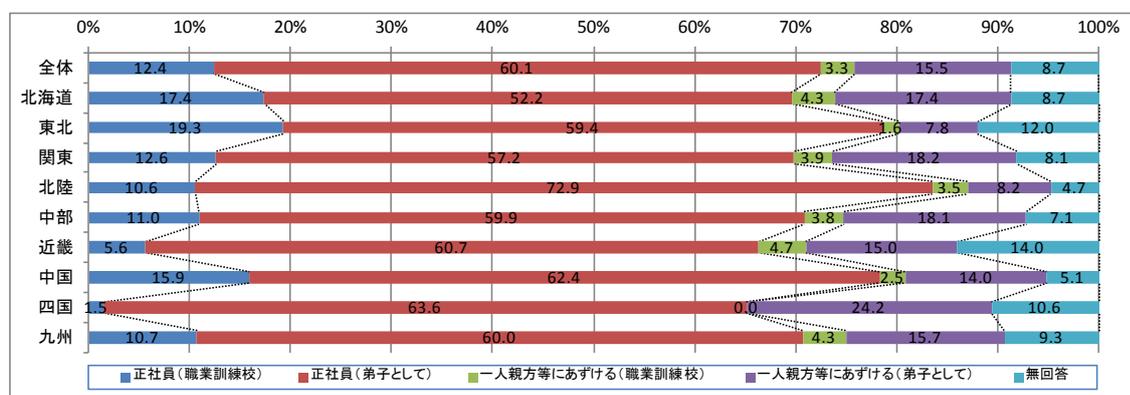


図 3.24 ㊦ 育成期間の担い手の立場 (H25年度)

2.2.5.3 2.2.5.1 「1.現在育てている」および「2.過去には育てた」のみ回答

育成にかかる費用負担

育成にかかる費用負担が「有」と回答した割合が最も高かった地域は「近畿」で37.7%。
「無い」と回答した割合が最も高かった地域は「四国」で26.7%。

	合計	(20)育成期間にかかる費用の負担を行っているか		
		有	無	不明
全体	772	31.5	18.8	49.7
地域				
北海道	21	23.8	9.5	66.7
東北	141	33.3	12.8	53.9
関東	193	35.8	23.3	40.9
北陸	76	30.3	21.1	48.7
中部	91	28.6	18.7	52.7
近畿	53	37.7	13.2	49.1
中国	96	22.9	22.9	54.2
四国	30	26.7	26.7	46.7
九州・沖縄	71	32.4	14.1	53.5

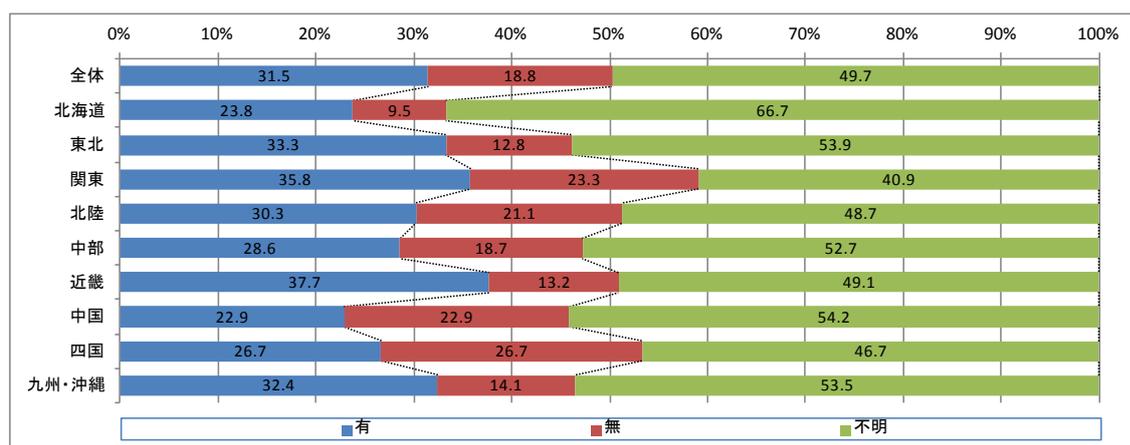


図 3.25. 育成期間にかかる費用負担(H26年度)

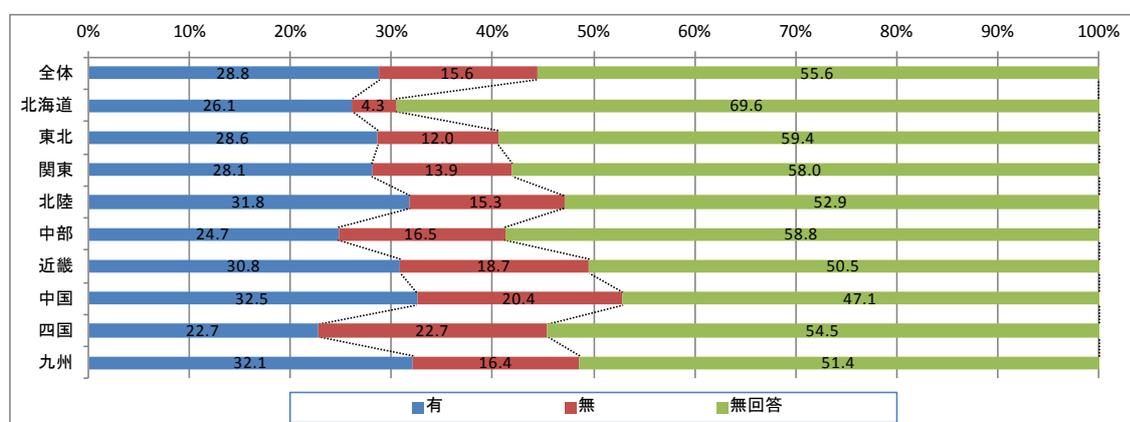


図 3.25 育 育成期間にかかる費用負担 (H25年度)

2.2.5.4 2.2.5.1 「4.現在は育てていないし、今後も育てる予定はない」のみ回答

なぜ育てる予定はないのか。

育てる予定はない理由では、「関東」で最も多く回答が見られた。特に「将来の保障ができないため」、「新築が少ないため」が他の地域よりも高い割合だった。

	合計	(21)なぜ育てる予定はないのですか											
		育てても、一人前になると辞めてしまうため	教えるのが面倒なため	費用がかかるため	言うことを聞かないため	人材がないため	育てる自信がないため	将来の保障ができないため	年齢のため	仕事がプレカートのため	新築が少ないため	その他	不明
全体	1,552	7.1	7.7	20.4	3.0	22.0	12.0	41.7	12.6	9.3	18.7	5.0	12.8
地域													
北海道	13	0.0	15.4	15.4	0.0	23.1	30.8	30.8	7.7	15.4	0.0	0.0	15.4
東北	191	6.8	6.8	12.6	5.2	25.1	13.6	38.7	14.7	7.3	14.1	6.3	9.9
関東	423	8.3	8.5	25.8	3.1	22.5	13.0	46.3	14.9	9.0	23.4	4.3	8.7
北陸	128	4.7	3.1	16.4	3.1	20.3	14.1	38.3	8.6	12.5	15.6	2.3	18.8
中部	272	6.3	7.4	23.2	2.2	22.1	11.0	42.3	12.5	9.6	20.6	6.6	12.1
近畿	104	12.5	9.6	24.0	2.9	17.3	9.6	44.2	6.7	13.5	19.2	7.7	10.6
中国	207	7.2	8.7	13.5	2.4	22.7	14.5	38.6	12.1	9.7	17.4	3.9	19.3
四国	89	4.5	10.1	23.6	1.1	13.5	6.7	40.4	13.5	7.9	14.6	3.4	16.9
九州・沖縄	125	5.6	6.4	19.2	4.0	26.4	6.4	37.6	11.2	5.6	15.2	6.4	13.6

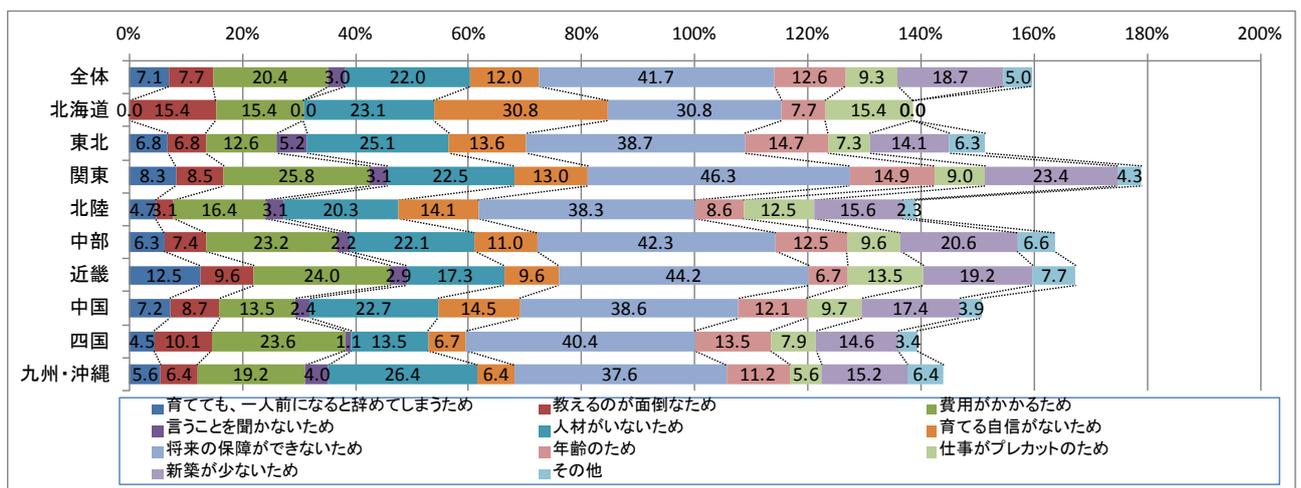


図 3.26. なぜ育てる予定はないのか(H26年度)

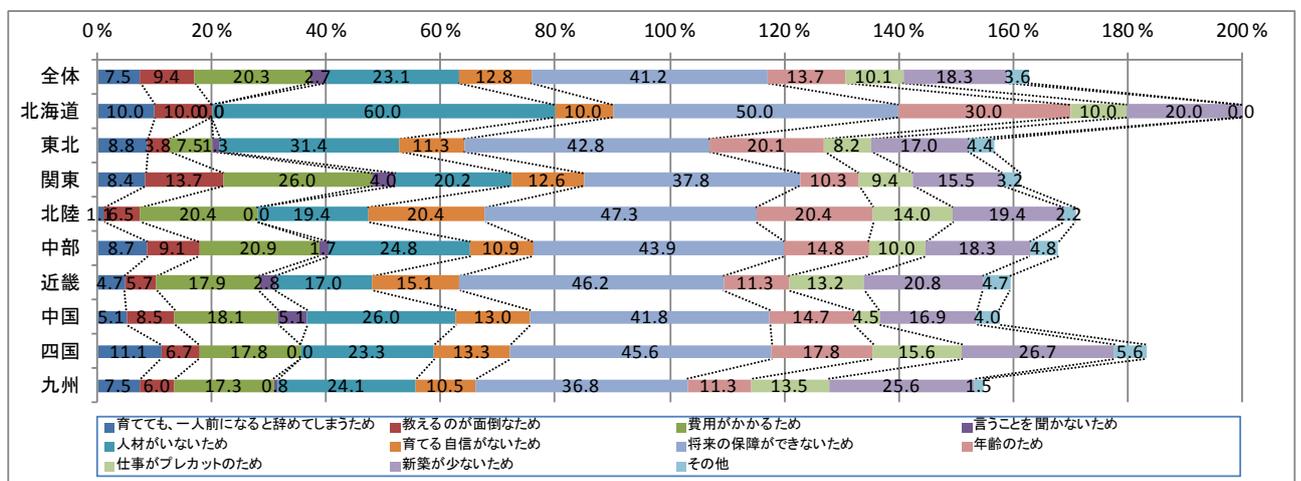


図 3.26# なぜ育てる予定はないのか (H25年度)

2.2.5.5 担い手の育成にかかる費用の公的補助について、1人/月当たりどの程度必要と考えますか。

担い手の育成にかかる費用の公的補助については、「10万円/月」が全地域で共通して高い割合となった。

	合計	(22)担い手の育成にかかる費用の公的補助はどの程度必要か					
		3万円/月	5万円/月	10万円/月	15万円/月	必要ない	不明
全体	5,021	4.1	14.9	30.2	18.6	3.2	29.0
地域							
北海道	97	4.1	12.4	24.7	20.6	8.2	29.9
東北	775	4.5	13.2	29.5	16.4	3.1	33.3
関東	1,396	3.2	15.7	28.8	19.8	2.4	30.0
北陸	426	6.6	13.8	32.4	17.4	3.5	26.3
中部	723	3.2	16.9	30.3	20.3	3.3	26.0
近畿	336	3.9	15.8	34.5	20.8	3.6	21.4
中国	596	4.4	14.9	29.2	16.6	3.9	31.0
四国	229	4.8	13.5	27.5	16.6	5.7	31.9
九州・沖縄	443	4.3	13.3	33.9	19.0	2.0	27.5

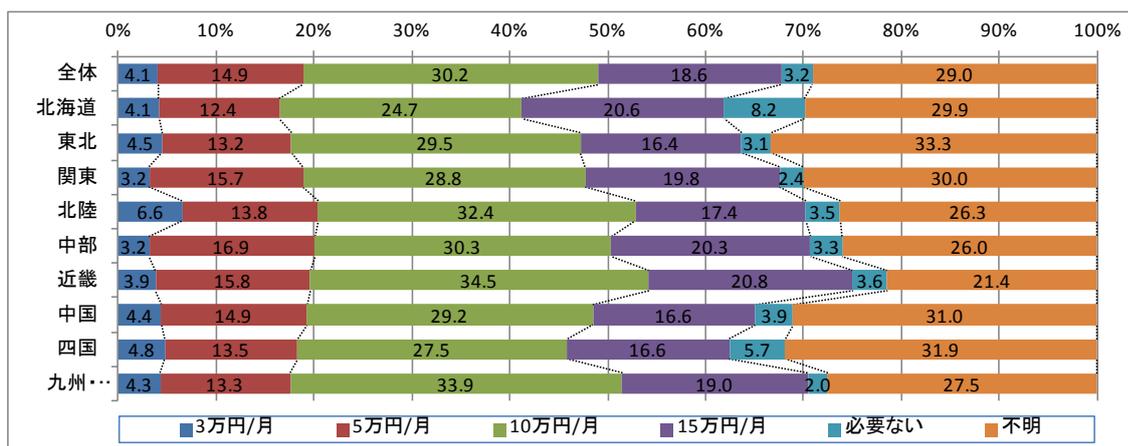


図 3.27. 公的補助について、1人/月当たりどの程度必要か(H26年度)

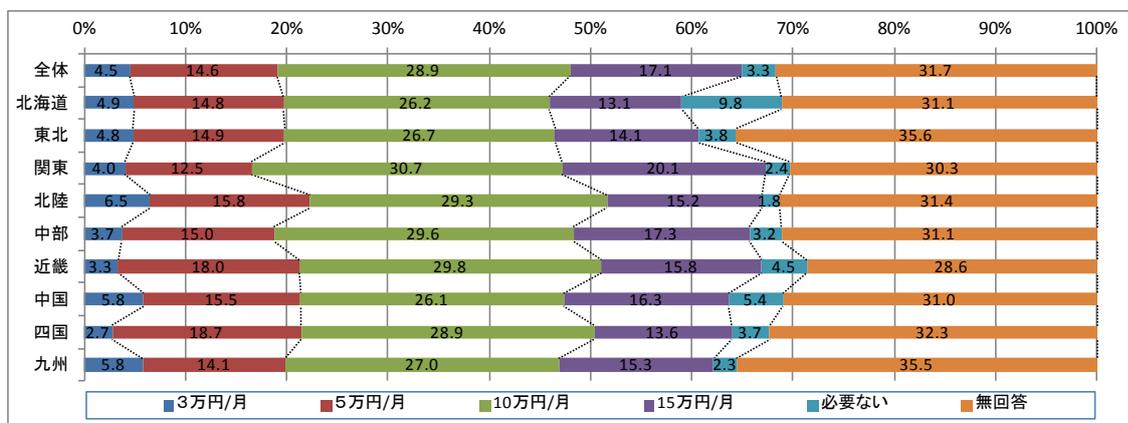


図 3.27. 公的補助について、1人/月当たりどの程度必要か(H25年度)

2.3 年齢別集計

2.3.1 職業等について

2.3.1.1 職種の経験年数

「20代」の大工では、前回調査（H25年度）では「3年未満」および「3～5年」の合計が51.0%、30代以上では経験年数「3年未満」の大工は殆どおらず、大工の新規入職は10代～20代の期間に集中していると考えられる。55.0%だった。

年齢	合計	(4)職種の経験年数									平均経験年数(年)
		3年未満	3～5年	6～10年	11～20年	21～30年	31～40年	41～50年	51年以上	不明	
全体	5,021	4.4	3.8	9.1	30.3	18.7	16.4	14.8	2.2	0.5	23.8
10代	33	87.9	12.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8
20代	446	28.5	26.5	37.4	6.5	0.4	0.4	0.0	0.0	0.2	5.7
30代	1,466	2.5	3.3	16.2	72.0	5.0	0.4	0.1	0.0	0.4	13.8
40代	1,154	1.3	1.2	2.9	32.6	57.2	4.0	0.3	0.0	0.4	21.1
50代	998	0.5	0.3	0.8	3.5	17.7	61.5	14.2	0.5	0.9	33.6
60代	785	0.1	0.0	0.8	0.6	2.0	17.8	72.1	6.4	0.1	42.9
70代以上	81	0.0	0.0	0.0	2.5	1.2	3.7	25.9	66.7	0.0	50.3

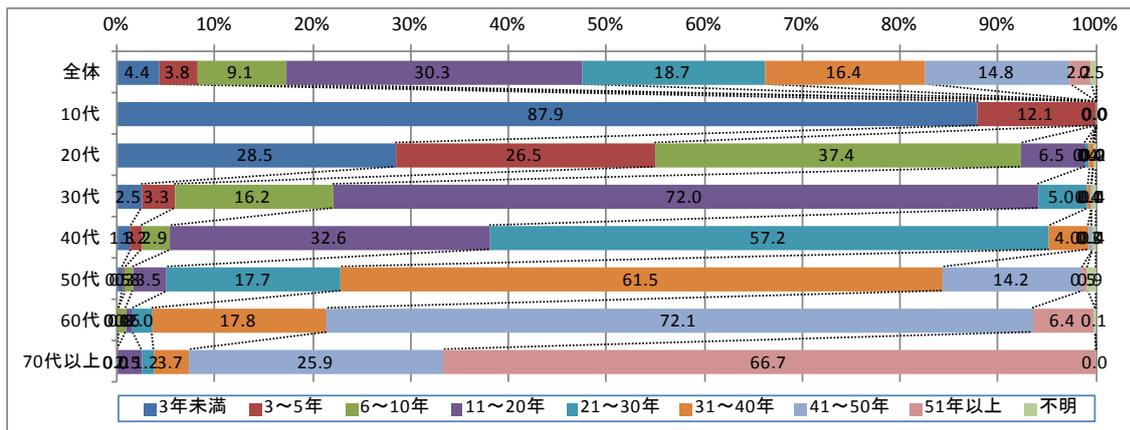


図 4.1. 職種の経験年数 (H26年度)

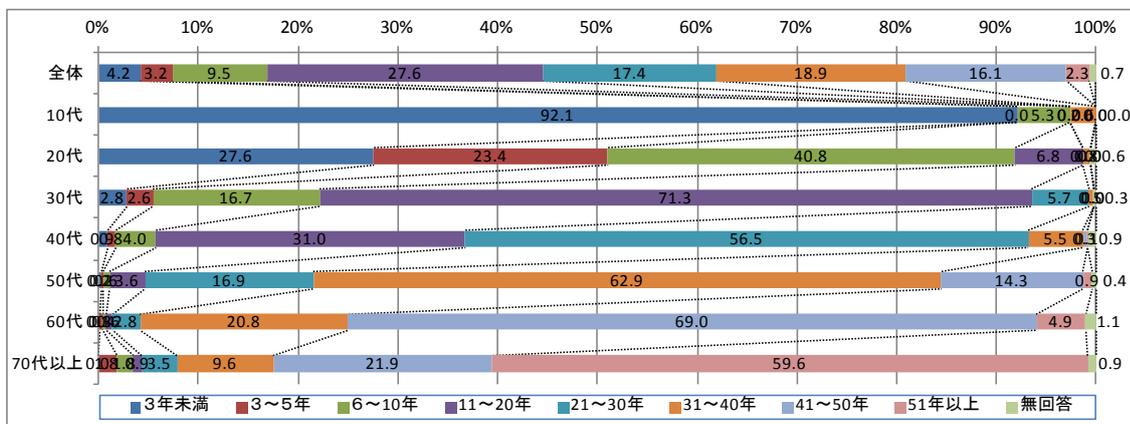


図 4.1# 職種の経験年数 (H25年度)

2.3.1.2 職種においてベテランだと思いますか。

「20代」の大工は53.6%が「見習い」だと自己評価している。

「30代」、「40代」では半数以上が「中堅（「やや中堅」を含む）」と自己評価している。

「50代」で過半数の66.0%が「ベテラン（「ややベテラン」を含む）」と自己評価している。

	合計	(5)あなたのベテラン度合いについて						
		ベテラン	ややベテラン	中堅	やや中堅	見習い	不明	
全体	5,021	18.8	21.4	34.1	13.4	9.8	2.5	
年齢	10代	33	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	20代	446	1.6	2.0	15.5	26.5	53.6	0.9
	30代	1,466	5.0	12.3	46.9	23.4	9.8	2.7
	40代	1,154	12.7	22.1	47.7	11.4	3.6	2.4
	50代	998	29.3	36.7	26.3	3.9	1.4	2.5
	60代	785	48.9	28.5	14.3	3.8	1.8	2.7
	70代以上	81	39.5	34.6	13.6	6.2	1.2	4.9

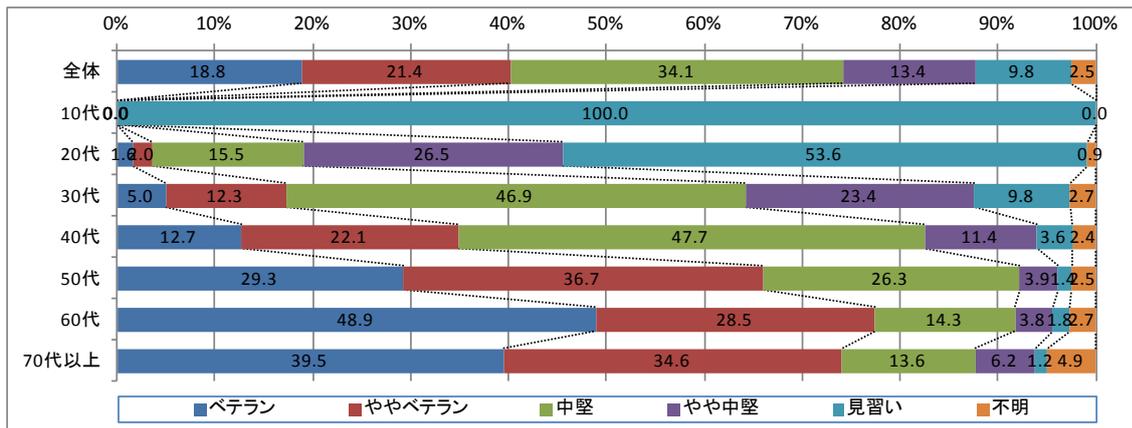


図 4.2. 職種のベテラン度合（H26年度）

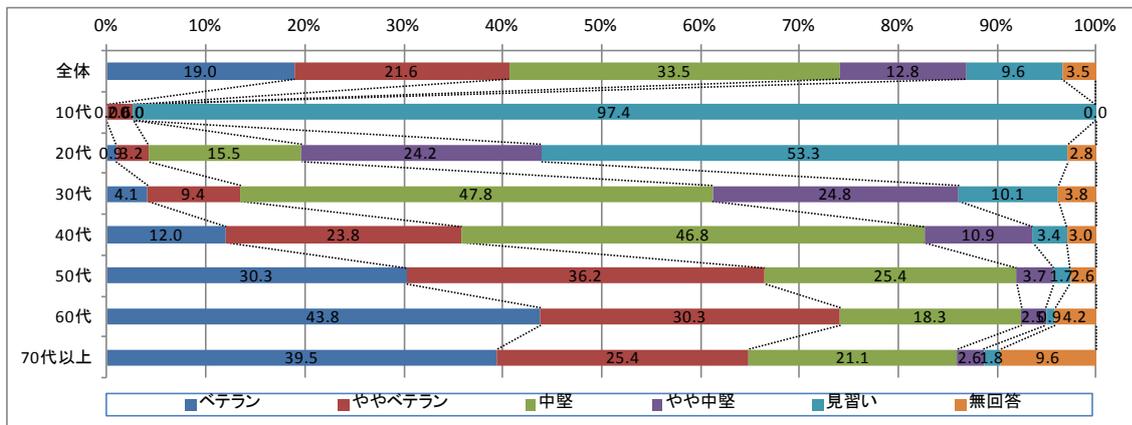


図 4.2# 職種のベテラン度合（H25年度）

2.3.2 雇用形態について

2.3.2.1 雇用形態（工務店等との）

大工の雇用形態は、「10代」、「20代」、「30代」までは「工務店社員」の割合が最も高い。

「元請として仕事」は「30代」で19.5%。年齢層が上がるにつれて割合は高くなり、「40代」以上では大工の雇用形態の中で最も割合が高くなった。「その他（アルバイト等）」は10代で多く見られた。

前回調査（H25年度）においても同様の割合構成が見られた。

	合計	(6)あなたの雇用形態						
		工務店社員	外注常用(日当制)	外注常用(坪請主体)	その都度契約	元請として仕事	その他(アルバイト等)	不明
全体	5,021	36.8	12.0	10.3	3.4	34.1	1.2	2.2
年齢								
10代	33	72.7	3.0	0.0	0.0	3.0	12.1	9.1
20代	446	72.9	10.5	2.7	1.6	7.0	3.1	2.2
30代	1,466	52.0	13.0	9.9	2.3	19.5	1.1	2.1
40代	1,154	33.5	10.6	12.6	4.7	36.5	1.0	1.2
50代	998	23.4	12.8	11.6	4.2	45.3	0.5	2.1
60代	785	12.4	12.2	11.1	3.7	56.9	1.0	2.7
70代以上	81	8.6	8.6	4.9	1.2	71.6	0.0	4.9

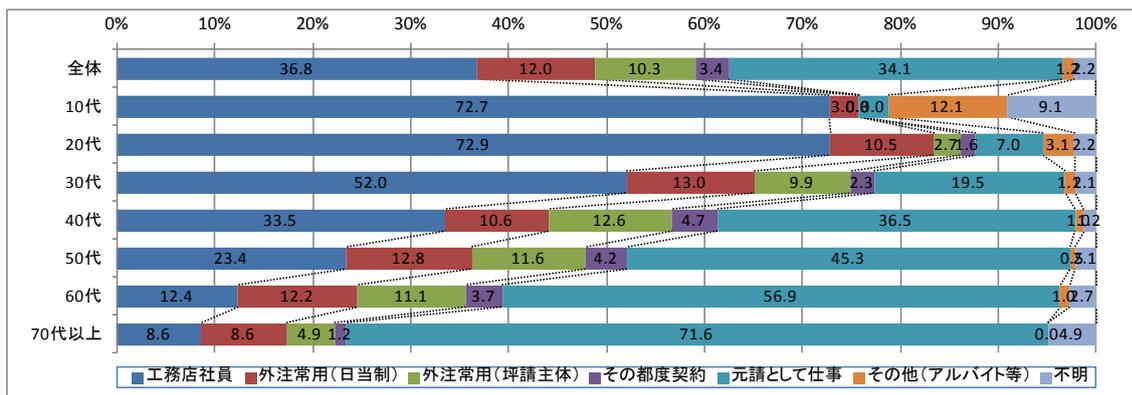


図 4.3. 雇用形態（H26年度）

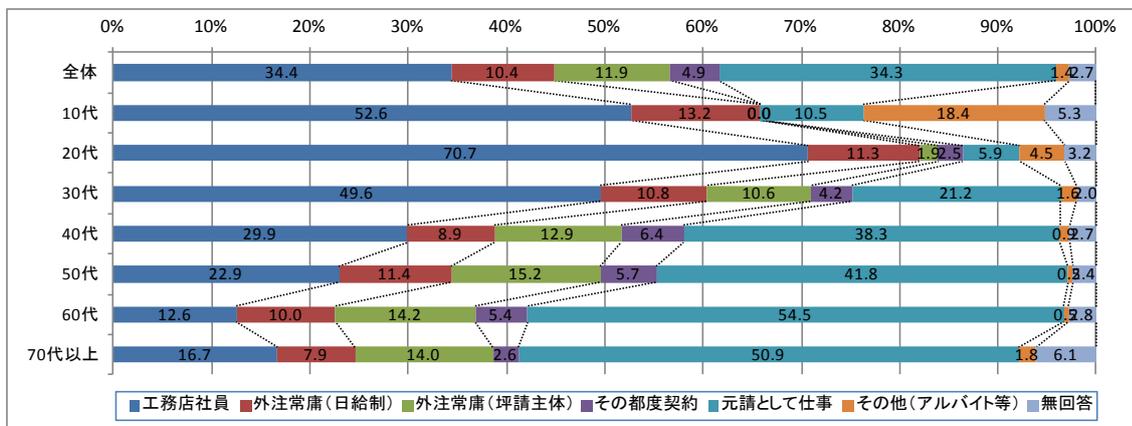


図 4.3# 雇用形態（H25年度）

2.3.2.2 就業規則

就業規則が「有る」と回答した割合が最も高いのは「20代」で38.1%。

「無い」と回答した割合が最も高いのは「40代」で60.1%だった。

	合計	(7)就業規則			
		有	無	不明	
全体	5,021	26.8	52.7	20.5	
年齢	10代	33.3	36.4	30.3	
	20代	446	38.1	39.7	22.2
	30代	1,466	29.9	51.7	18.3
	40代	1,154	26.4	60.1	13.5
	50代	998	23.6	56.8	19.5
	60代	785	21.0	49.0	29.9
	70代以上	81	14.8	38.3	46.9

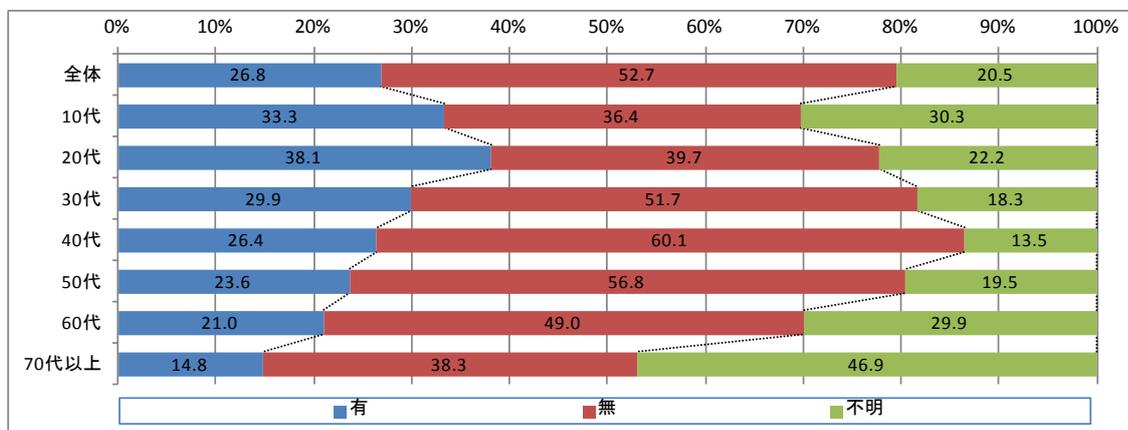


図 4.4. 就業規則 (H26年度)

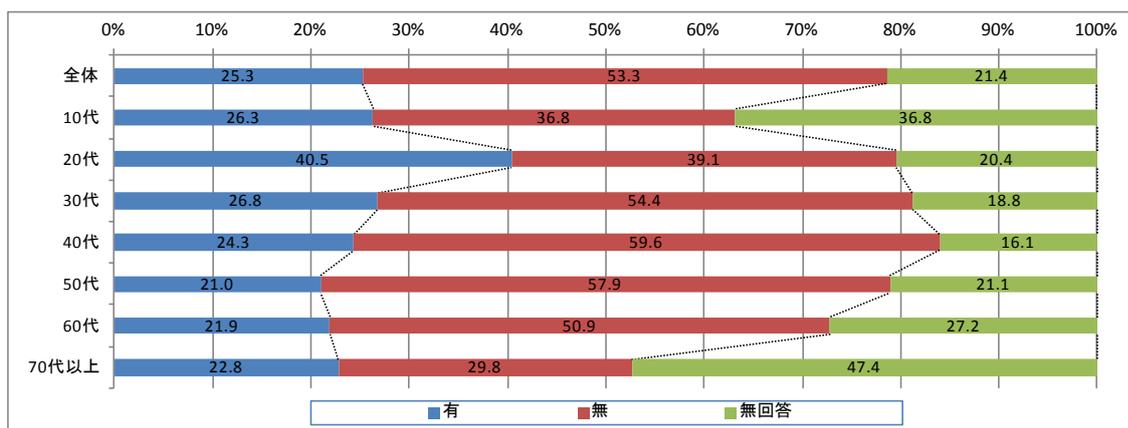


図 4.4 井 就業規則 (H25年度)

2.3.2.3 有給休暇

有給休暇が「有る」と回答した割合が最も高いのは「20代」で19.7%。

「無い」と回答した割合が最も高いのは「40代」で72.7%。

	合計	(8)有給休暇			
		有	無	不明	
全体	5,021	12.1	64.7	23.2	
年齢	10代	33	18.2	51.5	30.3
	20代	446	19.7	63.5	16.8
	30代	1,466	14.3	70.1	15.7
	40代	1,154	12.5	72.7	14.8
	50代	998	8.5	62.8	28.7
	60代	785	7.6	51.3	41.0
	70代以上	81	8.6	37.0	54.3

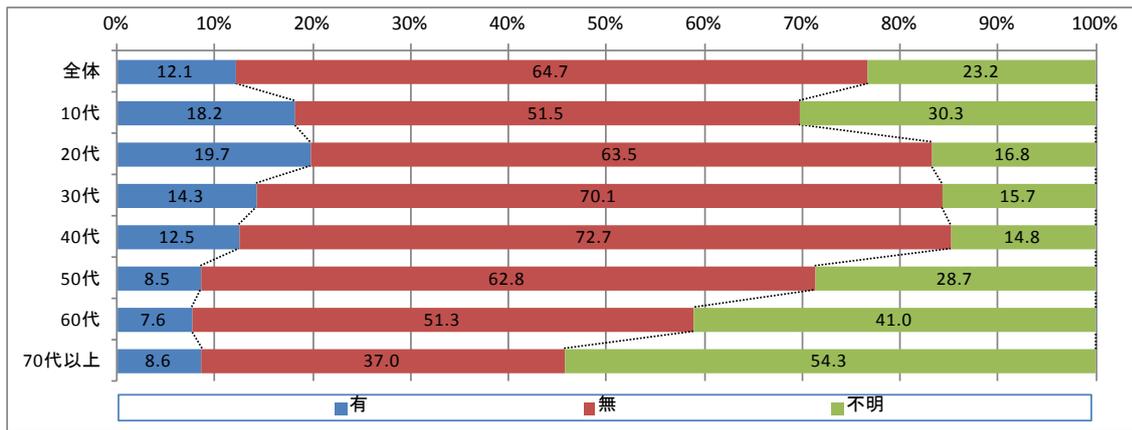


図 4.5. 有給休暇 (H26 年度)

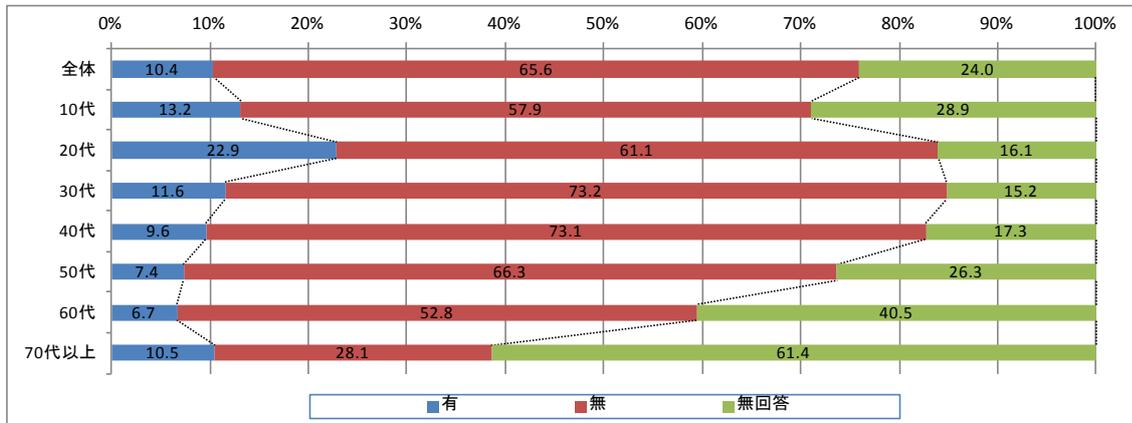


図 4.5 有給休暇 (H25 年度)

2.3.2.4 年間就業日数

平均年間就業日数が最も多かったのは、「10代」で285.5日だった。
最も少なかったのは、「70代以上」で223.9日。

	合計	(9)年間就業日数							不明	平均
		100日未満	100～150日未満	150～200日未満	200～250日未満	250～300日未満	300日以上			
全体	5,021	3.0	0.6	0.6	6.0	20.4	27.9	41.5	266.65	
年齢	10代	33	0.0	0.0	0.0	3.0	18.2	33.3	45.5	285.56
	20代	446	4.3	0.2	0.7	4.3	15.5	26.7	48.4	265.23
	30代	1,466	3.3	0.3	0.2	3.5	19.9	34.7	38.1	274.16
	40代	1,154	3.0	0.4	0.2	3.6	20.3	33.6	38.9	274.96
	50代	998	2.7	1.0	0.5	7.3	24.7	23.0	40.7	260.69
	60代	785	2.4	1.1	2.3	12.1	20.6	16.7	44.7	249.54
	70代以上	81	3.7	1.2	1.2	19.8	13.6	7.4	53.1	223.95

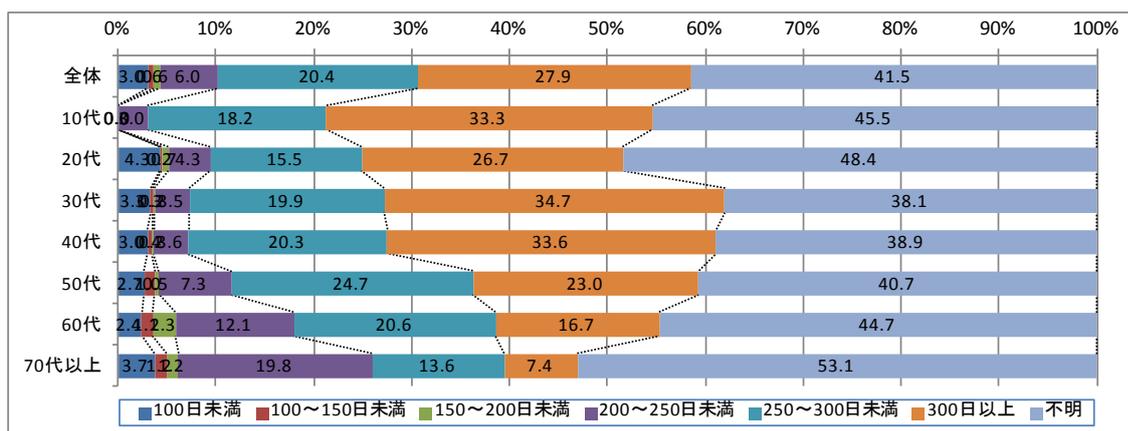


図 4.6. 年間就業日数 (H26 年度)

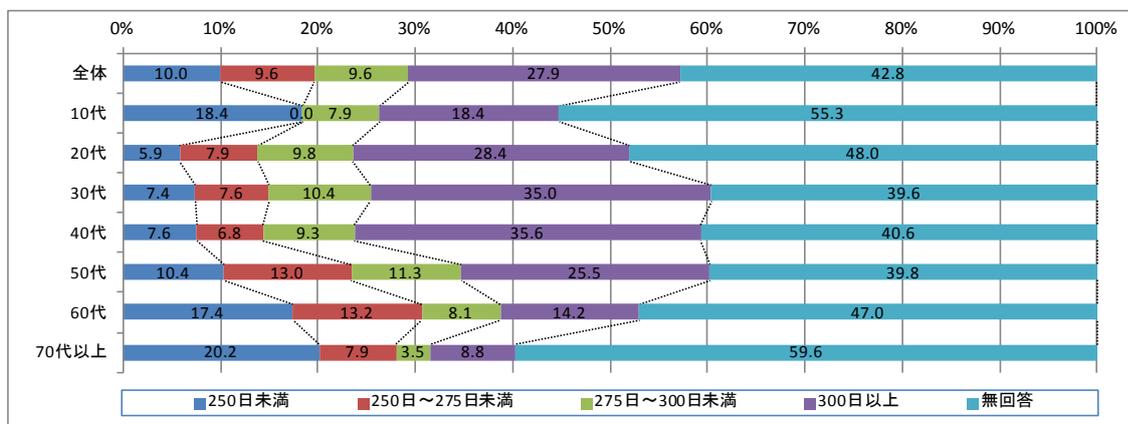


図 4.6# 年間就業日数 (H25 年度)

2.3.2.5 賃金の中に含まれ、自己負担となっているもの

自己負担となっているものの割合の合計が最も高かったのは「60代」で290%。最も少なかったのは「10代」で154.5%。

	合計	(11)自己負担となっているもの							
		手道具	電動工具	クギ金物	車(保険含む)	ガソリン	全て所属する工務店等が負担	不明	
全体	5,021	71.8	65.1	24.6	52.5	52.1	14.8	7.6	
年齢	10代	33	63.6	39.4	9.1	18.2	24.2	18.2	12.1
	20代	446	67.0	53.4	9.0	39.7	40.1	19.3	6.1
	30代	1,466	73.5	66.3	19.4	50.9	49.9	14.1	5.6
	40代	1,154	71.0	64.0	27.8	52.2	51.2	16.9	6.6
	50代	998	72.5	68.8	28.9	57.0	56.7	13.9	8.4
	60代	785	72.6	67.5	32.5	58.2	59.2	11.1	12.2
	70代以上	81	59.3	59.3	32.1	53.1	53.1	18.5	12.3

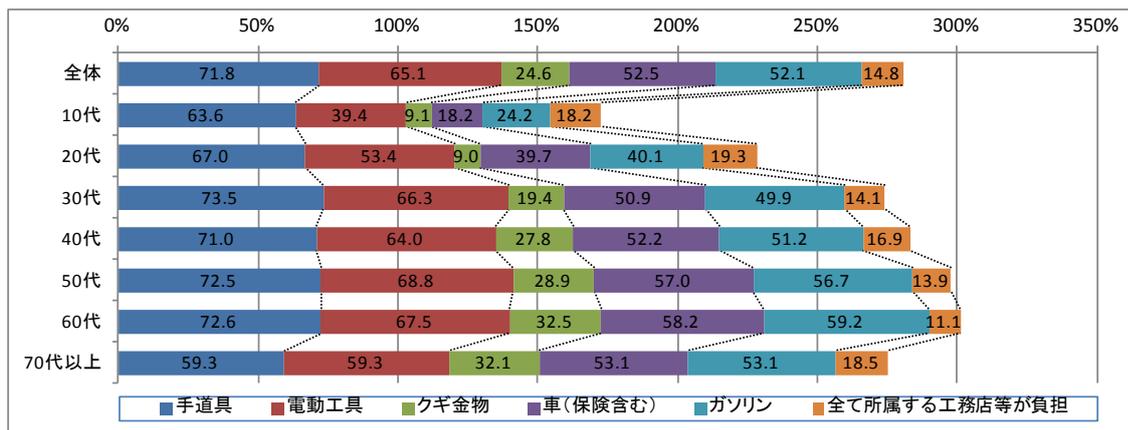


図 4.7. 自己負担となっているもの (H26 年度)

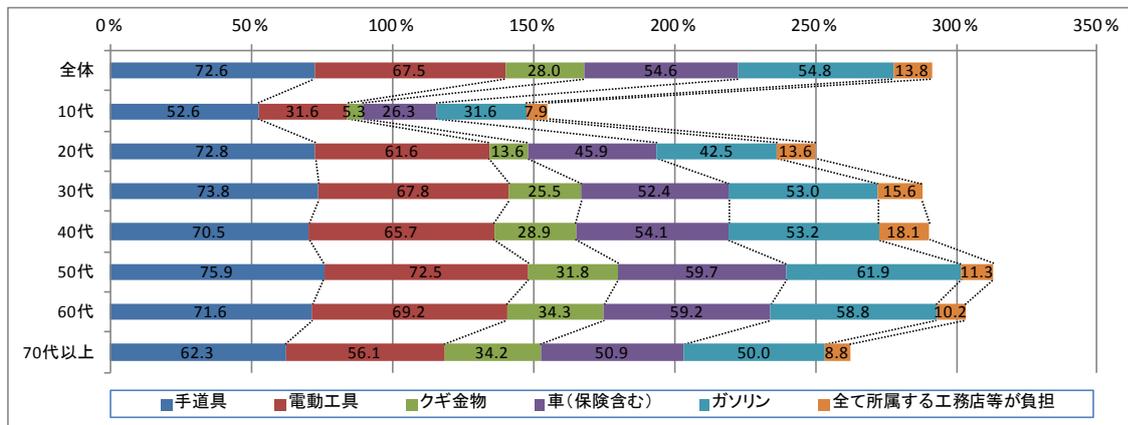


図 4.7# 自己負担となっているもの (H25 年度)

2.3.2.6 おおよその賃金（諸経費が含まれた1日あたりの平均単価）

平均賃金が最も高かったのは「40代」で16,059.8円。

平均賃金が最も低かったのは「10代」で8,500.0円。

	合計	(12)1日あたりのおおよその賃金							平均賃金
		8,000円未満	8,000～10,000円未満	10,000～15,000円未満	15,000～20,000円未満	20,000～25,000円未満	25,000円以上	不明	
全体	5,021	5.0	7.3	38.5	34.8	8.3	2.0	4.2	14,944.9
年齢									
10代	33	78.8	6.1	9.1	0.0	0.0	0.0	6.1	8,500.0
20代	446	25.3	25.1	35.4	6.3	2.5	0.4	4.9	11,024.8
30代	1,466	2.6	10.1	47.0	28.7	6.3	1.9	3.3	14,402.6
40代	1,154	1.6	3.4	35.0	42.5	11.9	2.7	2.9	16,059.8
50代	998	2.1	2.5	35.2	44.8	9.1	2.1	4.2	15,874.0
60代	785	3.3	3.6	36.2	40.0	9.0	1.8	6.1	15,539.3
70代以上	81	2.5	8.6	32.1	35.8	11.1	2.5	7.4	15,520.0

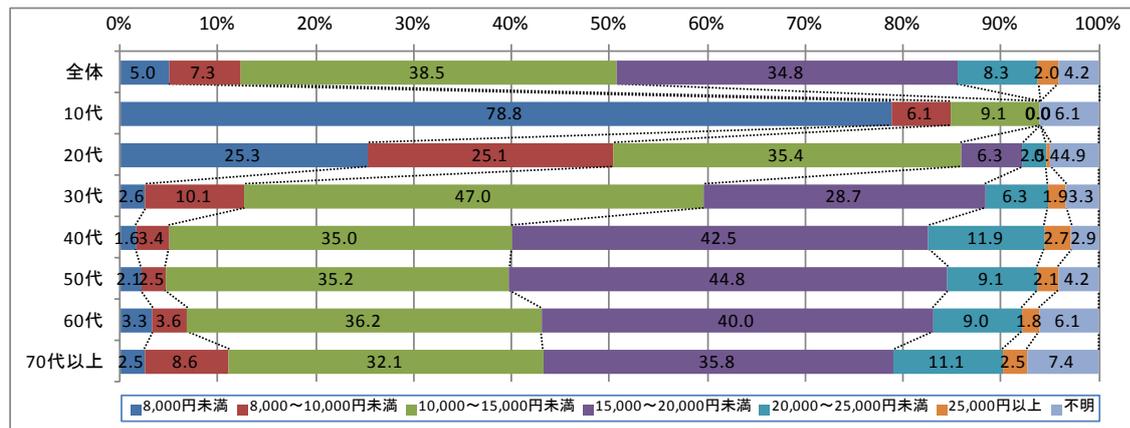


図 4.8. 1日あたりのおおよその賃金（H26年度）

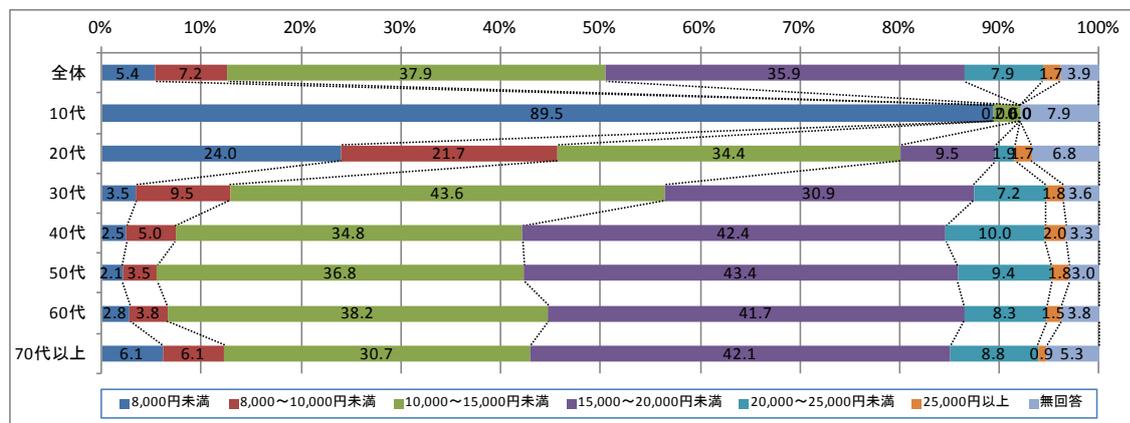


図 4.8# 1日あたりのおおよその賃金（H25年度）

2.3.3 資格や技能について

2.3.3.1 持っている資格

資格の割合の合計が最も高かったのは「70代以上」で414.7%。最も低かったのは「10代」で51.5%。年齢層が上がるほど、資格の取得している割合は高くなる。

高齢の大工で割合が高い資格としては「2級建築士」、「1級建築大工技能士」、「職業訓練指導員」、「増改築相談員」、「足場の組立て等作業主任者」、「木造建築物組立て作業主任者」等が挙げられる。その他の資格は「30代」、「40代」以上になると大きく変化しない。

年齢	合計	(13)お持ちの資格															
		1級建築士	2級建築士	木造建築士	1級建築施工管理技士	2級建築施工管理技士	1級建築大工技能士	2級建築大工技能士	枠組壁建築技能士	職業訓練指導員	増改築相談員	足場の組立て等作業主任者	木造建築物組立て作業主任者	玉掛け技能講習修了者	クレーン運転技能講習修了者	木材加工用機械作業主任者	不明
全体	5,021	5.2	31.8	3.6	3.9	15.0	15.4	12.6	2.2	12.1	8.8	37.6	42.5	43.6	19.3	12.4	18.1
10代	33	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.1	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0	27.3	9.1	0.0	66.7
20代	446	1.1	14.1	0.4	0.7	6.3	6.5	17.7	0.9	2.2	0.2	14.6	18.8	39.2	15.5	2.2	40.1
30代	1,466	2.7	30.7	1.8	3.3	9.8	16.2	14.5	1.2	5.1	4.2	31.7	37.4	45.8	16.5	6.6	18.4
40代	1,154	6.6	37.7	1.9	5.2	13.5	13.3	10.1	1.5	7.5	6.9	37.1	41.4	44.3	20.2	10.5	15.9
50代	998	9.2	32.9	5.5	5.6	23.4	16.1	11.1	2.5	15.8	11.9	42.0	50.4	44.4	21.3	13.5	13.9
60代	785	4.6	34.3	8.3	2.8	21.3	20.9	11.6	5.2	30.3	18.9	54.5	58.0	42.7	23.7	29.2	12.2
70代以上	81	8.6	39.5	7.4	8.6	23.5	24.7	12.3	3.7	44.4	30.9	72.8	56.8	30.9	18.5	32.1	3.7

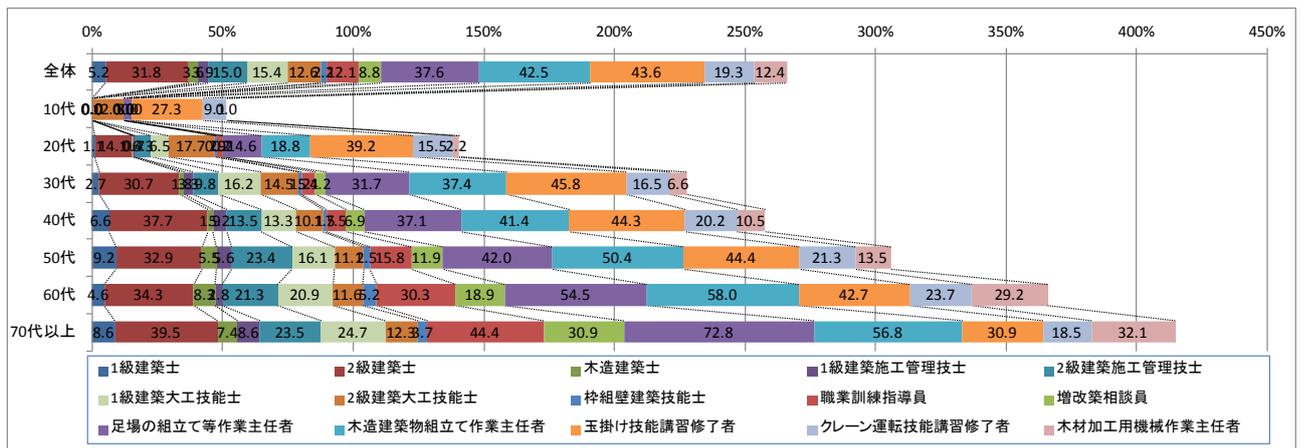


図 4.9. 持っている資格 (H26 年度)

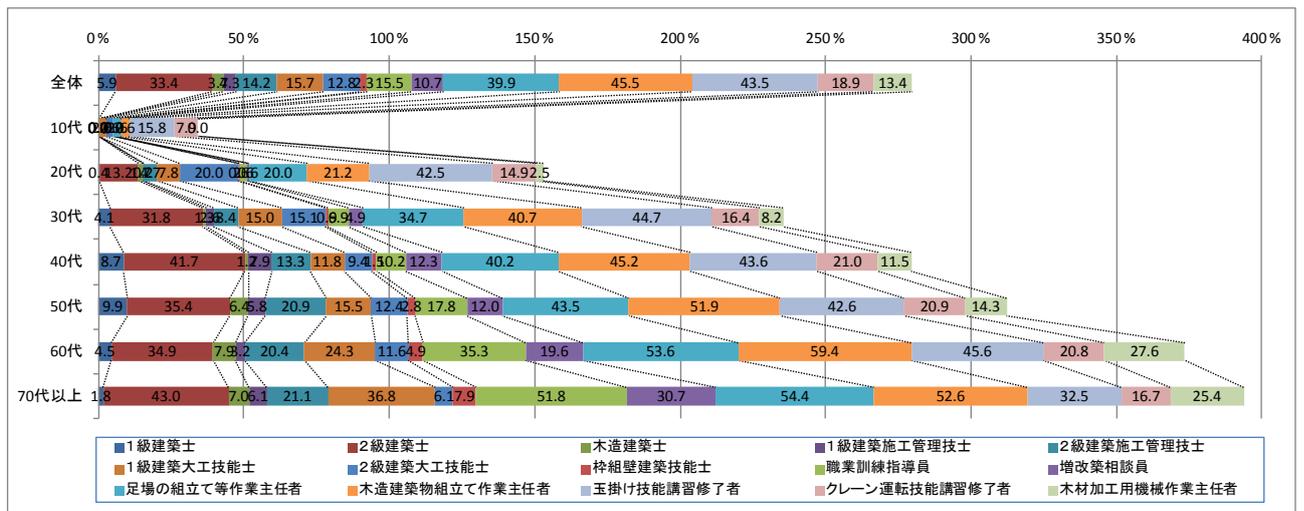


図 4.9# 持っている資格 (H25 年度)

2.3.3.2 大工職のみ回答 墨付けができますか。

墨付けができると回答した割合は、「20代」以下では半数に満たない。

「30代」以上の大工で約7割ができると回答しており、「20代」と「30代」で技能のレベルに大きな差がみられる。

前回調査（H25年度）においても、同様の傾向がみられた。

	合計	(14)①墨付けができますか			
		はい	いいえ	不明	
全体	5,021	74.7	14.3	11.0	
年齢	10代	33	36.4	54.5	9.1
	20代	446	40.6	46.9	12.6
	30代	1,466	68.7	22.2	9.1
	40代	1,154	80.2	9.8	10.0
	50代	998	84.7	3.3	12.0
	60代	785	85.7	1.4	12.9
	70代以上	81	82.7	2.5	14.8

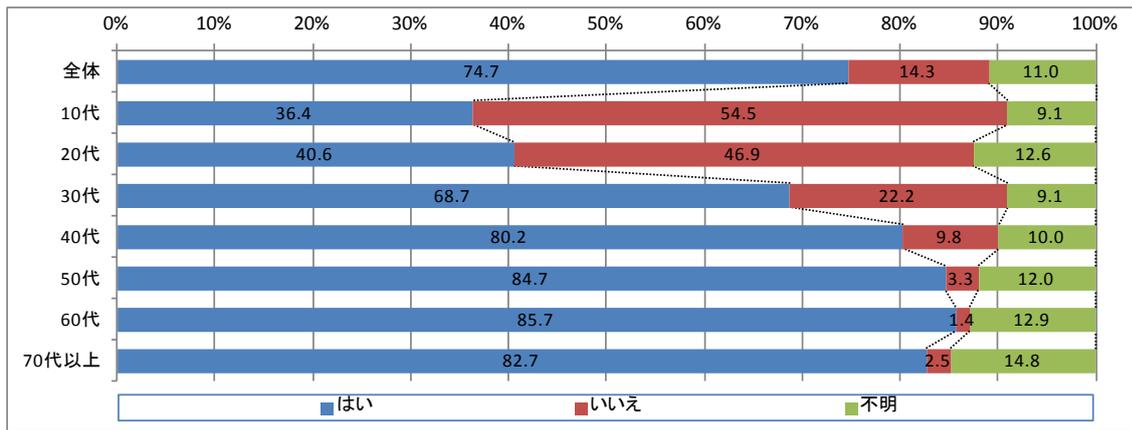


図 4.10. 墨付け (H26年度)

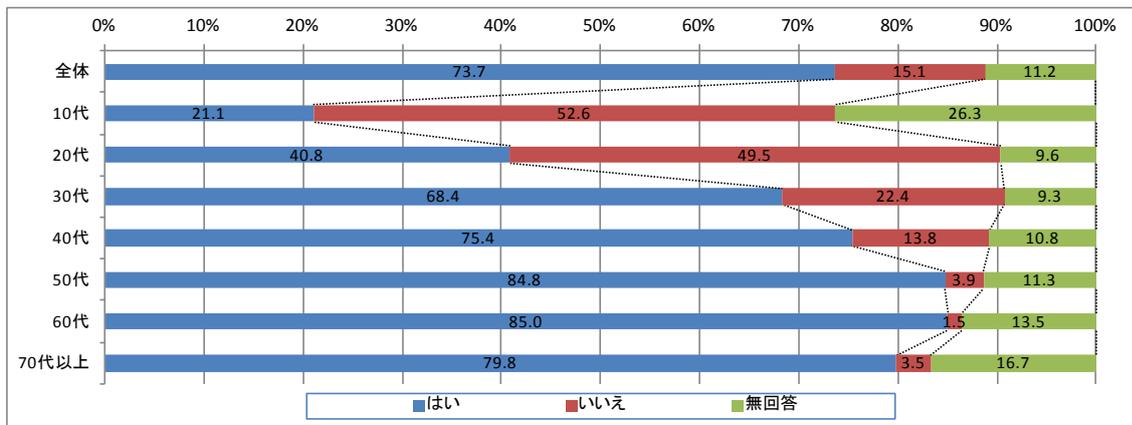


図 4.10# 墨付け (H25年度)

2.3.3.3 **大工職のみ回答** 今でも手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか。(新築)

新築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っている割合が最も高かったのは「60代」で34.0%だった。次いで「70代以上」が29.6%だった。最も低いのは「10代」で12.1%、次いで「40代」で22.0%だった。

前回調査（H25年度）と同様に「20代」の方が「30代」、「40代」よりも新築の手刻み加工の仕事を行っているという結果となった。

		(14)②新築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか			
合計		はい	いいえ	不明	
全体	5,021	25.7	61.7	12.6	
年齢	10代	33	12.1	78.8	9.1
	20代	446	25.8	62.6	11.7
	30代	1,466	24.7	66.0	9.3
	40代	1,154	22.0	67.1	10.9
	50代	998	24.6	60.7	14.6
	60代	785	34.0	48.4	17.6
	70代以上	81	29.6	45.7	24.7

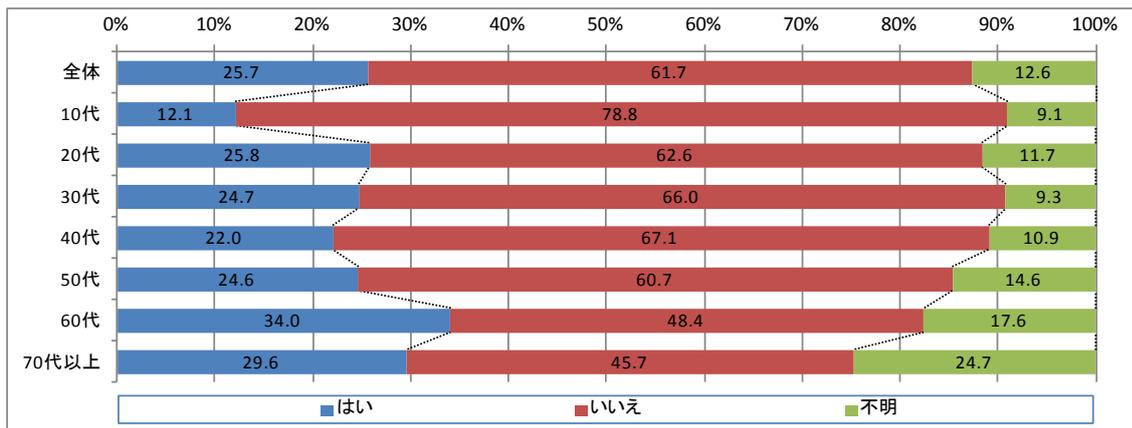


図 4.11. 手刻み加工の仕事（新築）（H26年度）

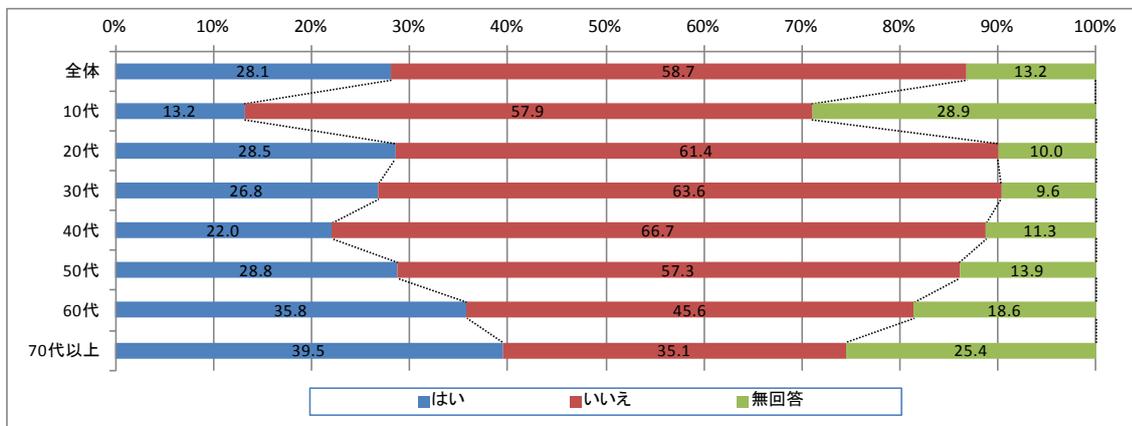


図 4.11 手刻み加工の仕事（H25年度）

2.3.3.4 **大工職のみ回答** 今でも手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか。(増改築)

増改築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていると回答した割合が最も高かったのは「60代」で59.1%。最も低かったのは「10代」で24.2%。

「20代」より年齢が上がると4割以上が増改築で手刻み加工の仕事を年1棟以上行っている。

	合計	(14)③増改築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか			
		はい	いいえ	不明	
全体	5,021	51.8	36.1	12.0	
年齢	10代	33	24.2	66.7	9.1
	20代	446	44.2	43.9	11.9
	30代	1,466	51.3	39.6	9.1
	40代	1,154	50.3	39.1	10.6
	50代	998	53.1	33.1	13.8
	60代	785	59.1	25.2	15.7
	70代以上	81	54.3	22.2	23.5

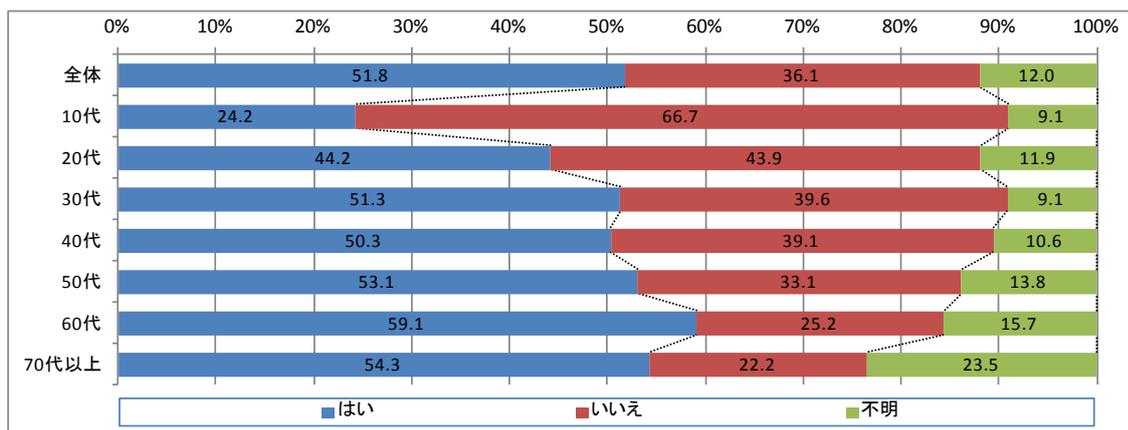


図 4.12. 手刻み加工の仕事（増改築）（H26 年度）

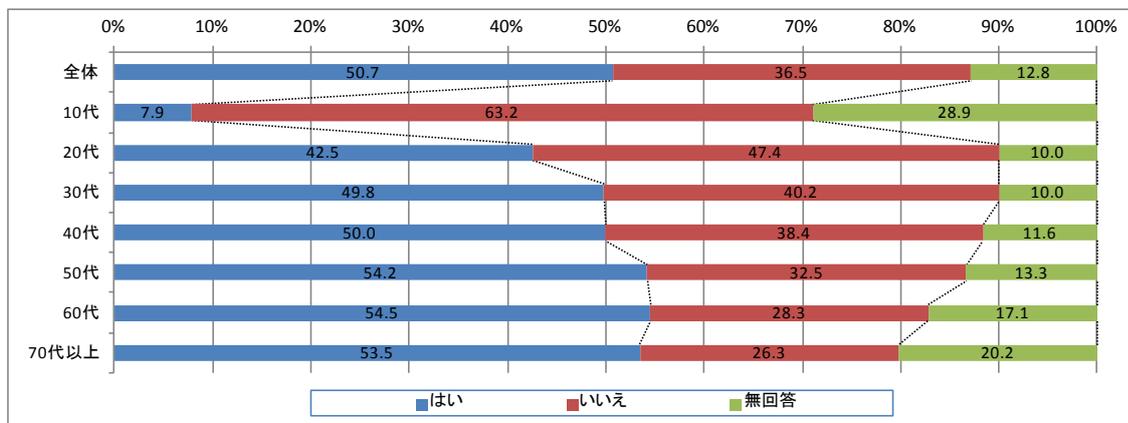


図 4.12# 手刻み加工の仕事（増改築）（H25 年度）

2.3.3.5 大工職のみ回答 和室造作ができますか。

和室造作ができると回答した割合は「60代」が最も高く 83.4%。最も低かったのは「10代」で 2.6%だった。

「30代」以上の年齢層では半数が以上ができると回答しているが、「20代」では半数に満たない。「20代」と「30代」には 41.2 ポイントの差が見られた。

	合計	(14)④和室造作ができますか			
		はい	いいえ	不明	
全体	5,021	70.1	18.2	11.7	
年齢	10代	33	0.0	90.9	9.1
	20代	446	23.3	63.7	13.0
	30代	1,466	64.5	26.1	9.5
	40代	1,154	76.9	12.8	10.2
	50代	998	83.0	3.8	13.2
	60代	785	83.4	2.2	14.4
	70代以上	81	79.0	2.5	18.5

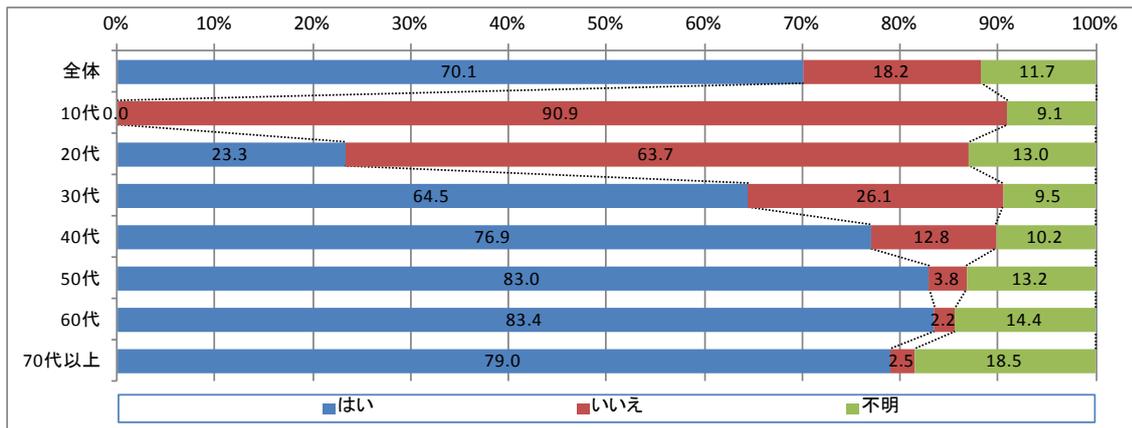


図 4.13. 和室造作 (H26年度)

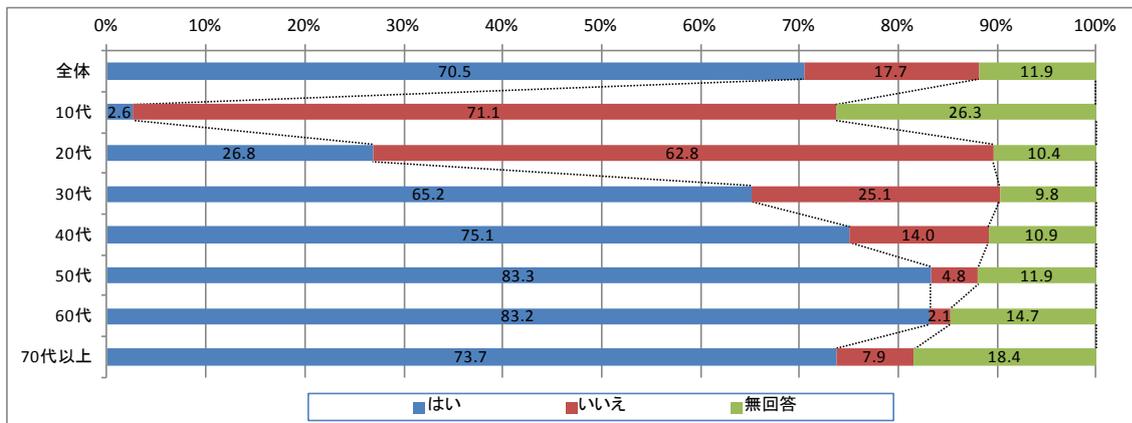


図 4.13# 和室造作 (H25年度)

2.3.3.6 **大工職のみ回答** 2×4工法の住宅の施工ができますか。

2×4工法の住宅の施工ができると回答した割合が最も高かったのは「60代」で34.4%。最も低かったのは、「10代」で6.1%だった。

		合計	(14)⑤2×4工法の住宅の施工ができますか		
			はい	いいえ	不明
全体		5,021	27.3	59.5	13.1
年齢	10代	33	6.1	84.8	9.1
	20代	446	15.5	72.9	11.7
	30代	1,466	23.1	67.3	9.7
	40代	1,154	29.1	59.3	11.6
	50代	998	32.8	51.5	15.7
	60代	785	34.4	48.3	17.3
	70代以上	81	24.7	48.1	27.2

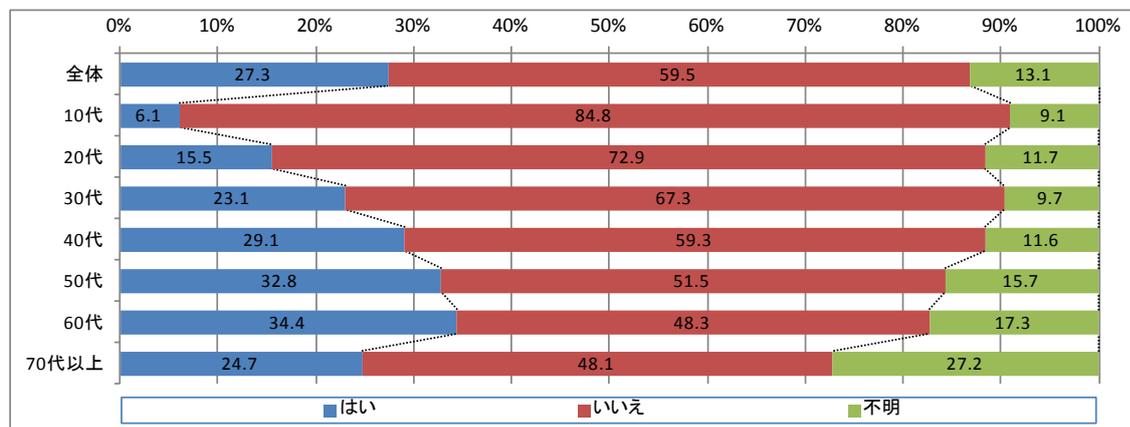


図 4.14. 2×4工法の住宅の施工（H26年度）

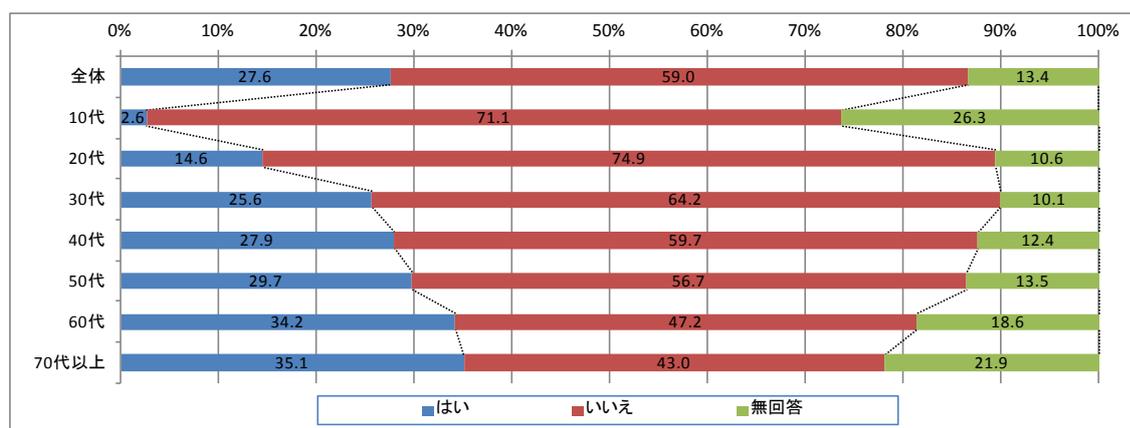


図 4.14# 2×4工法の住宅の施工（H25年度）

2.3.4 仕事に対する満足度や今後の意向について

2.3.4.1 現在の仕事の内容について満足していますか。

仕事の内容に満足していると回答した割合が最も高かったのは「10代」で75.8%。

満足している割合が最も低かったのは「50代」で53.8%だった。

前回調査（H25年度）においても同様に、「40代」、「50代」で満足している割合が低下する傾向がみられた。

	合計	(15)現在の仕事の内容について満足度				
		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	不明
全体	5,021	9.6	50.9	24.6	6.6	8.3
年齢						
10代	33	27.3	48.5	15.2	6.1	3.0
20代	446	14.6	53.6	17.7	6.1	8.1
30代	1,466	10.0	53.8	24.0	7.0	5.3
40代	1,154	7.9	50.6	27.8	6.1	7.6
50代	998	6.3	47.5	29.6	6.6	10.0
60代	785	11.6	48.7	20.8	6.6	12.4
70代以上	81	14.8	54.3	13.6	1.2	16.0

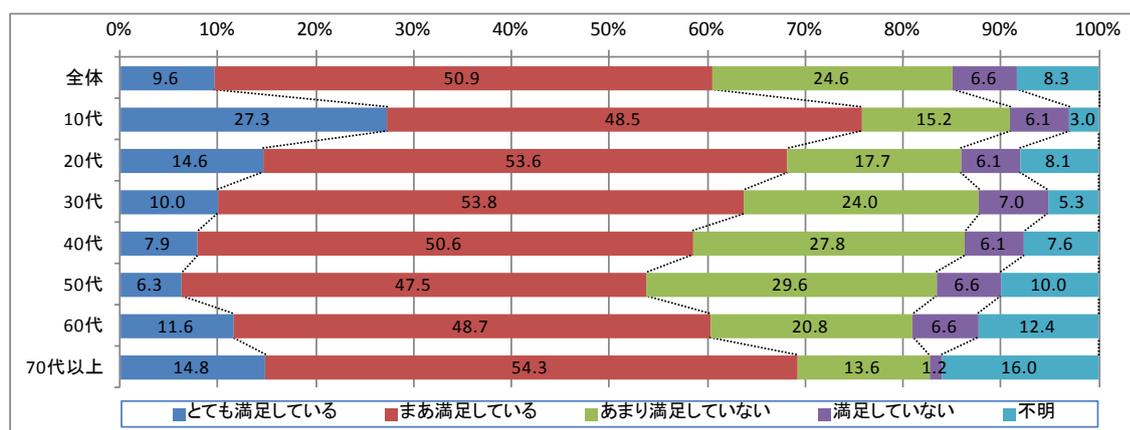


図 4.15. 仕事の内容についての満足度（H26年度）

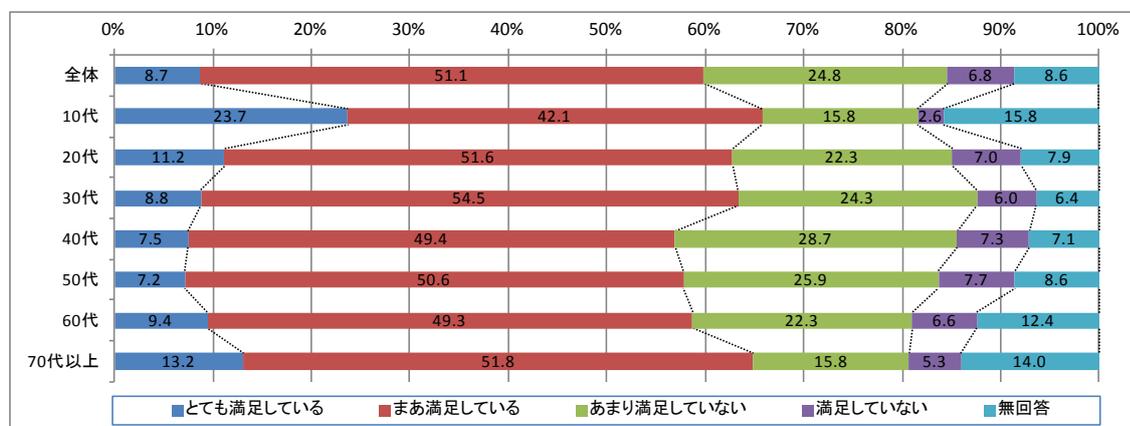


図 4.15# 仕事の内容についての満足度（H25年度）

2.3.4.2 現在の仕事で得られる収入等について満足していますか。

仕事で得られる収入等について満足していると回答した割合が最も高かったのは「10代」で51.5%だった。満足している割合が最も低かったのは「50代」で29.5%だった。

前回調査（H25年度）においても同様に、「40代」、「50代」で満足している割合が低下する傾向がみられた。

	合計	(16)現在の仕事で得られる収入等について満足度					
		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	不明	
全体	5,021	3.7	31.5	39.1	17.5	8.3	
年齢	10代	33	9.1	42.4	36.4	9.1	3.0
	20代	446	4.9	36.1	34.8	16.6	7.6
	30代	1,466	4.3	34.3	38.1	17.9	5.4
	40代	1,154	3.9	29.2	41.6	17.9	7.5
	50代	998	2.3	27.2	41.7	19.3	9.5
	60代	785	3.6	31.7	37.5	14.8	12.5
	70代以上	81	1.2	35.8	37.0	8.6	17.3

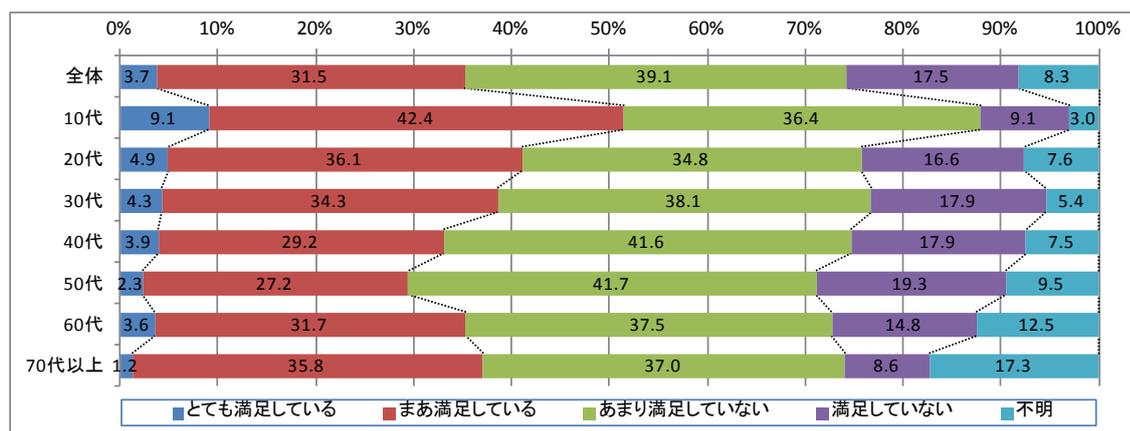


図 4.16. 収入等についての満足度（H26年度）

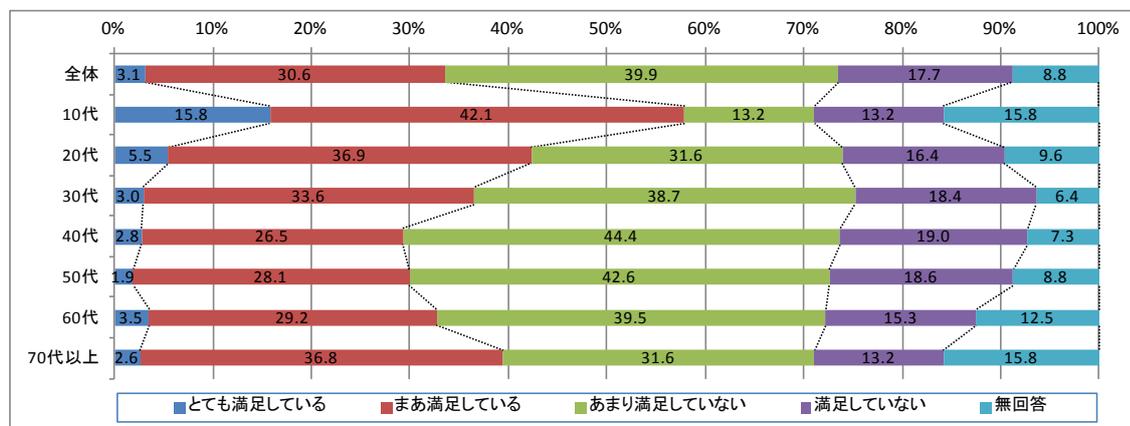


図 4.16 収入等についての満足度（H25年度）

2.3.4.3 今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか。

「仕事ができる限り続ける」と回答した割合は、「10代」が最も高く84.8%だった。次いで高いのは「20代」で67.7%だった。「20代」よりも上の年齢層では、「仕事ができる限り続ける」という回答は減少し、「60代」で最も低く38.0%となった。

「50代」では「65歳で引退する」の割合が22.8%で高くなり、「60代」では「70歳で引退する」の割合が29.9%で高くなった。

	合計	(17)今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか						
		60歳で引退する	65歳で引退する	70歳で引退する	75歳で引退する	仕事ができる限り続ける	仕事がないため近々退職・引退する予定である	不明
全体	5,021	6.6	15.4	12.2	2.5	53.6	1.0	8.8
年齢								
10代	33	3.0	3.0	0.0	0.0	84.8	0.0	9.1
20代	446	8.3	8.7	2.2	0.2	67.7	2.2	10.5
30代	1,466	10.1	14.6	5.3	0.8	61.9	1.3	6.0
40代	1,154	8.6	16.1	8.7	1.6	56.3	1.0	7.7
50代	998	3.6	22.8	18.7	2.0	42.5	0.5	9.8
60代	785	0.1	12.4	29.9	7.1	38.0	0.6	11.8
70代以上	81	0.0	0.0	0.0	21.0	60.5	2.5	16.0

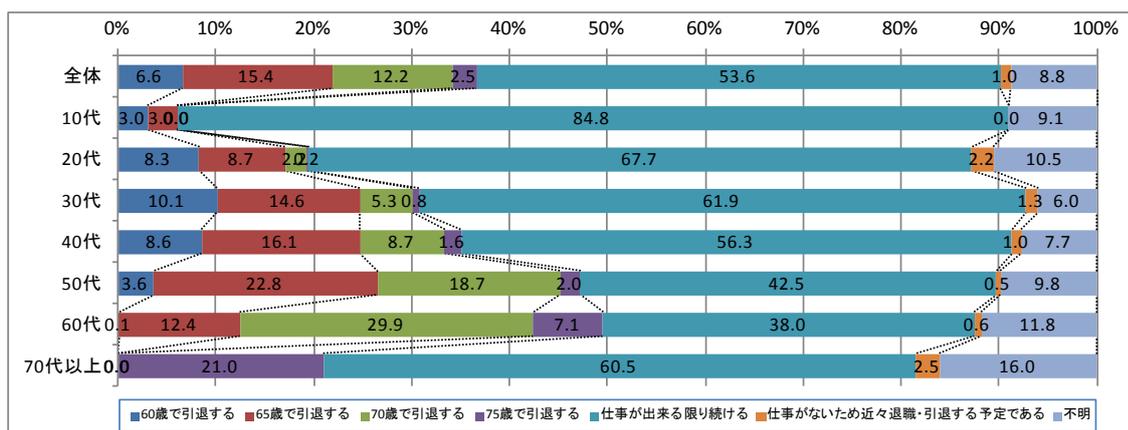


図 4.17. 何歳まで仕事を続ける予定か (H26 年度)

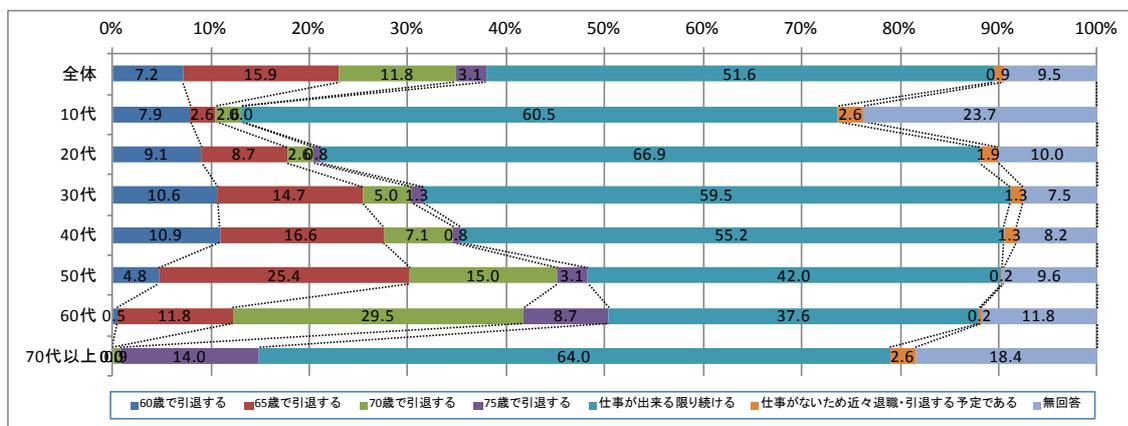


図 4.17 何歳まで仕事を続ける予定か (H25 年度)

2.3.5 担い手育成について

2.3.5.1 現在、担い手（見習い等）の育成を行っていますか。

「現在育てている」の割合が最も高かったのは「70代以上」で25.9%だった。

「人材がいれば育てたい」の割合は、「40代」が最も高く48.8%だった。

「育てる予定はない」の割合は、「70代以上」で最も高く42.0%だった。

	合計	(18)現在、担い手の育成を行っていますか				
		現在育てている	現在は育てていないが、人材がいれば育てたい	現在は育てていないし、今後も育てる予定はない	不明	
全体	5,021	15.4	40.2	30.9	13.6	
年齢	10代	3.0	27.3	36.4	33.3	
	20代	446	8.7	33.2	25.6	32.5
	30代	1,466	13.8	48.2	27.4	10.5
	40代	1,154	13.6	48.8	28.7	8.9
	50代	998	17.2	33.7	36.2	12.9
	60代	785	22.0	28.4	35.4	14.1
	70代以上	81	25.9	16.0	42.0	16.0

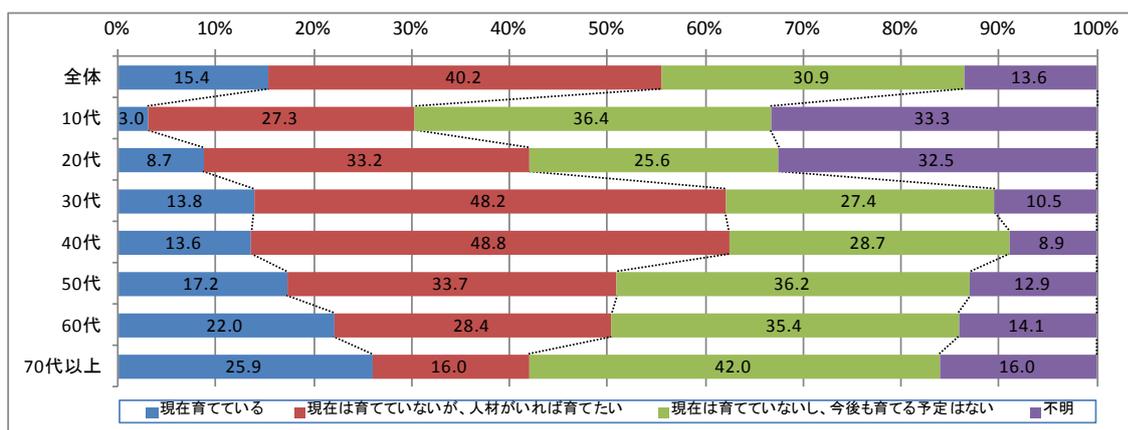


図 4.18. 担い手の育成状況（H26年度）

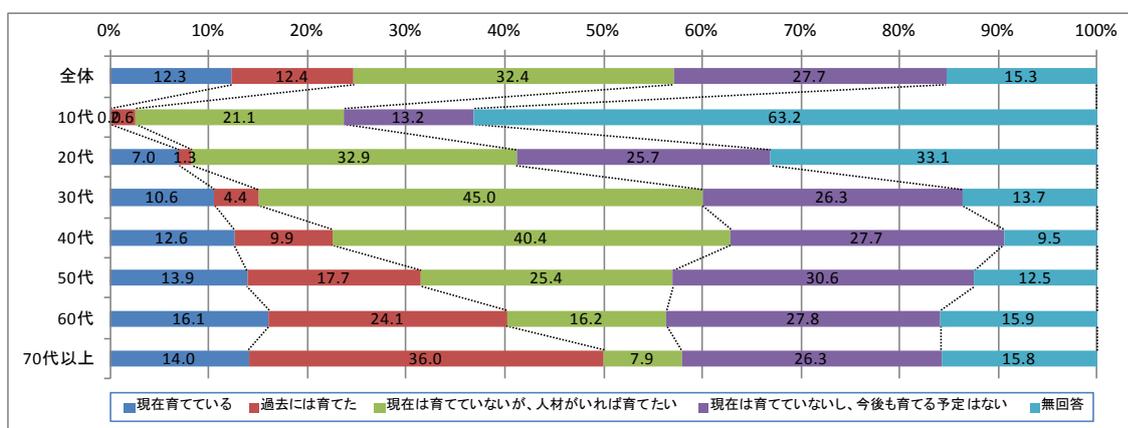


図 4.18# 担い手の育成状況（H25年度）

2.3.5.2 2.3.5.1 「1.現在育てている」 および 「2.過去には育てた」 のみ回答

育成期間の担い手の立場

育成期間の担い手の立場では「正社員（職業訓練校）」は「30代」で最も高く 23.2%、「正社員（弟子として）」が「20代」で最も高く 79.5%、「一人親方等にあずける（職業訓練校）」が「70代以上」で最も高く 14.3%、「一人親方等にあずける（弟子として）」が「60代」で最も高く 9.8%という割合構成だった。

	合計	(19)育成期間の担い手の立場					
		正社員 (職業訓練校)	正社員 (弟子として)	一人親 方等に あずける (職業訓練校)	一人親 方等に あずける (弟子として)	不明	
全体	772	18.4	66.8	2.7	8.5	3.5	
年齢	10代	1	100.0	0.0	0.0	0.0	
	20代	39	15.4	79.5	0.0	2.6	2.6
	30代	203	23.2	63.1	2.0	8.9	3.0
	40代	157	12.7	75.2	1.9	8.3	1.9
	50代	172	19.8	65.7	1.2	9.3	4.1
	60代	173	15.0	65.9	4.6	9.8	4.6
	70代以上	21	33.3	47.6	14.3	0.0	4.8

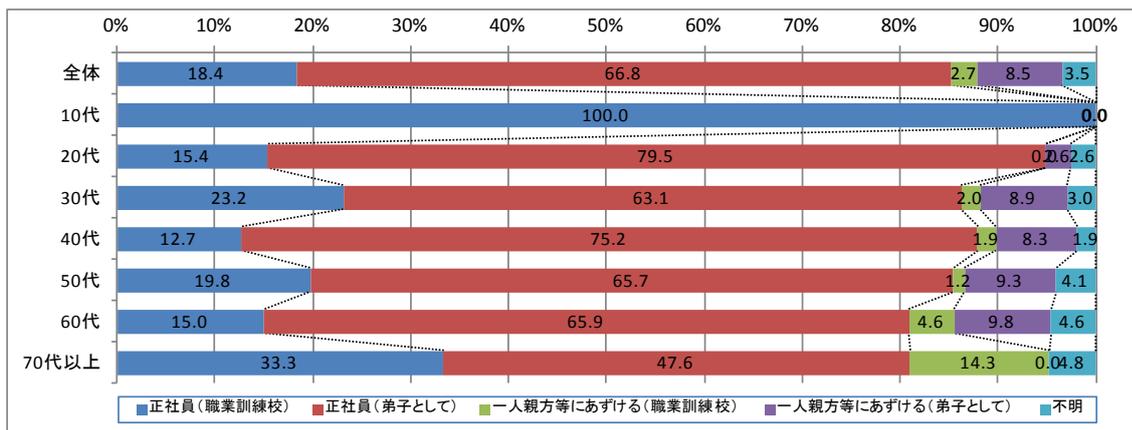


図 4.19. 育成期間の担い手の立場（H26 年度）

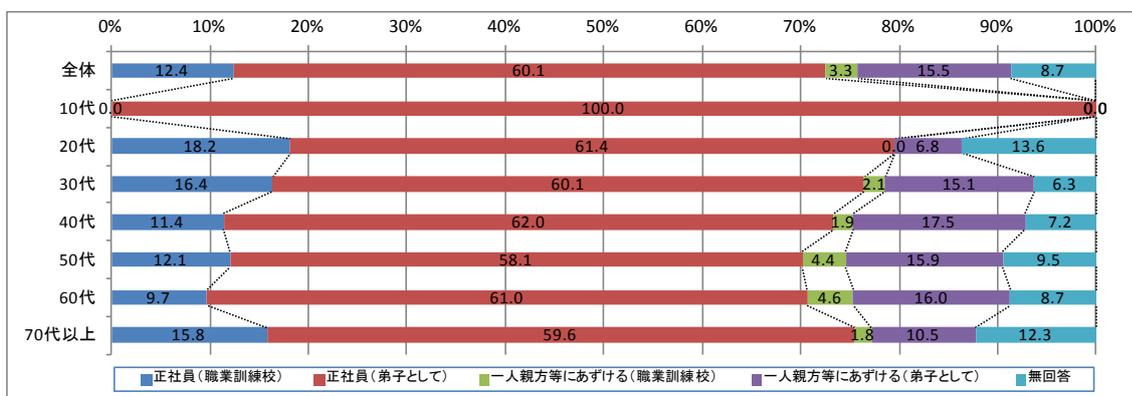


図 4.19# 育成期間の担い手の立場（H25 年度）

2.3.5.3 2.3.5.1 「1.現在育てている」 および 「2.過去には育てた」 のみ回答

育成にかかる費用負担

育成期間にかかる費用の負担が「有」と回答した割合が最も高かったのは「70代以上」で38.1%
「無い」と回答した割合が最も高かったのは「20代」で28.2%。

	合計	(20)育成期間にかかる費用の負担を行っているか		
		有	無	不明
全体	772	31.5	18.8	49.7
年齢				
10代	1	0.0	0.0	100.0
20代	39	25.6	28.2	46.2
30代	203	30.5	23.6	45.8
40代	157	24.8	23.6	51.6
50代	172	33.7	15.1	51.2
60代	173	36.4	12.1	51.4
70代以上	21	38.1	4.8	57.1

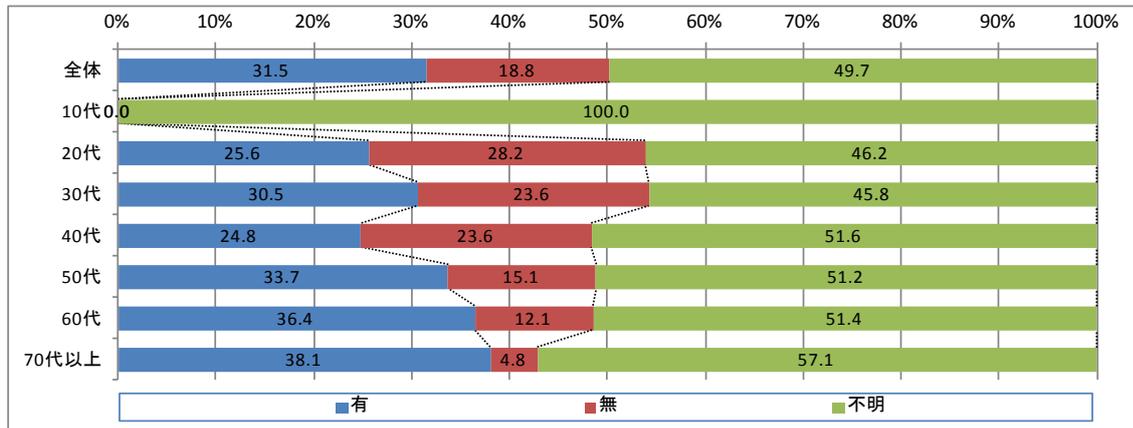


図 4.20. 育成期間にかかる費用負担 (H26 年度)

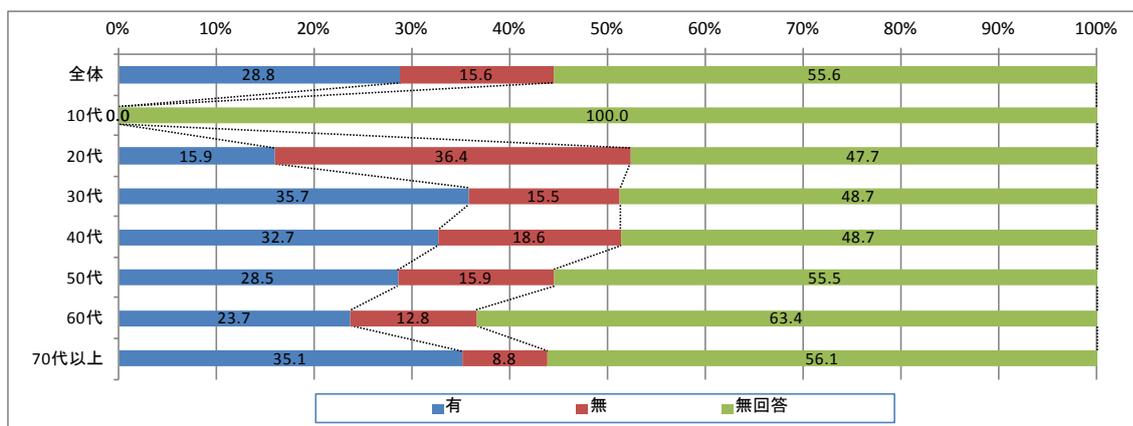


図 4.20# 育成期間にかかる費用負担 (H25 年度)

2.3.5.4 2.3.5.1「4.現在は育てていないし、今後も育てる予定はない」のみ回答

なぜ育てる予定はないのか。

「将来の保障ができないため」と回答した割合が最も高かったのは「50代」で50.1%。

「年齢のため」の割合は「10代」および「60代」より上で高くなった。

「費用がかかるため」の割合は「40代」で26.9%と最も高くなった。

	合計	(21)なぜ育てる予定はないのですか											
		育てても、一人前になると辞めてしまうため	教えるのが面倒なため	費用がかかるため	言うことを聞かないため	人材がないため	育てる自信がないため	将来の保障ができないため	年齢のため	仕事がプレカットのため	新築が少ないため	その他	不明
全体	1,552	7.1	7.7	20.4	3.0	22.0	12.0	41.7	12.6	9.3	18.7	5.0	12.8
10代	12	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	50.0	8.3	33.3	0.0	0.0	0.0	8.3
20代	114	5.3	14.0	14.0	2.6	15.8	17.5	25.4	11.4	4.4	8.8	14.9	18.4
30代	402	8.2	11.7	22.4	3.7	23.4	16.4	40.3	2.5	9.5	13.7	4.5	12.2
40代	331	4.8	7.9	26.9	2.7	20.8	14.2	47.4	2.4	8.2	19.9	5.1	13.9
50代	361	10.5	6.4	21.9	4.2	28.0	8.9	50.1	13.3	11.4	27.7	4.7	8.0
60代	278	5.0	1.4	12.9	1.8	19.4	5.4	39.2	34.9	11.2	18.3	2.9	12.9
70代以上	34	5.9	0.0	11.8	0.0	11.8	2.9	11.8	29.4	2.9	17.6	2.9	32.4

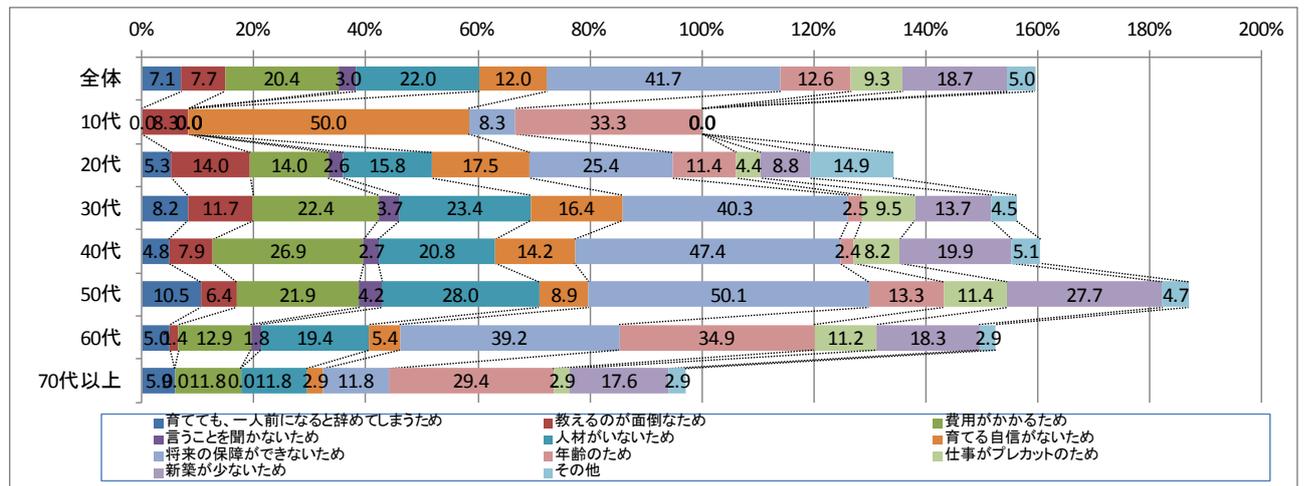


図 4.21. なぜ育てる予定はないのか (H26 年度)

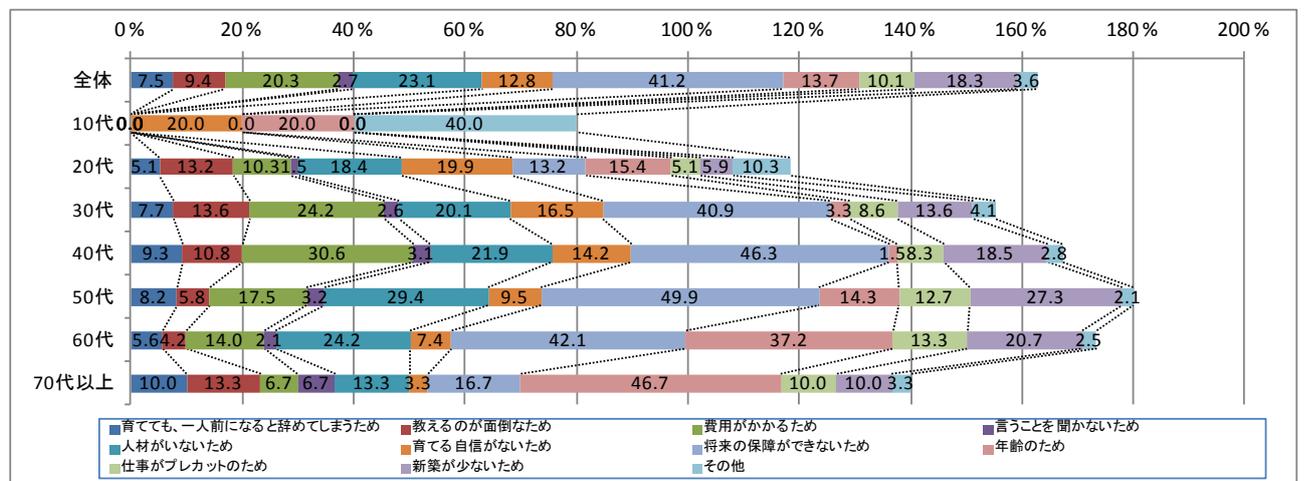


図 4.21# なぜ育てる予定はないのか (H25 年度)

2.3.5.5 担い手の育成にかかる費用の公的補助について、1人/月当たりどの程度必要と考えますか。

「5万円/月」の割合が最も高いのは「30代」で16.3%。

「10万円/月」の割合が最も高いのは「40代」で33.8%。

「15万円/月」の割合が最も高いのは「40代」で23.0%。

	合計	(22)担い手の育成にかかる費用の公的補助はどの程度必要か						
		3万円/月	5万円/月	10万円/月	15万円/月	必要ない	不明	
全体	5,021	4.1	14.9	30.2	18.6	3.2	29.0	
年齢	10代	33	3.0	15.2	12.1	9.1	12.1	48.5
	20代	446	1.8	12.8	18.8	16.4	4.0	46.2
	30代	1,466	4.2	16.3	31.0	21.1	3.1	24.3
	40代	1,154	3.5	15.3	33.8	23.0	3.0	21.5
	50代	998	4.8	15.1	31.9	16.9	3.1	28.2
	60代	785	4.6	13.6	28.9	14.0	2.8	36.1
	70代以上	81	7.4	11.1	24.7	2.5	6.2	48.1

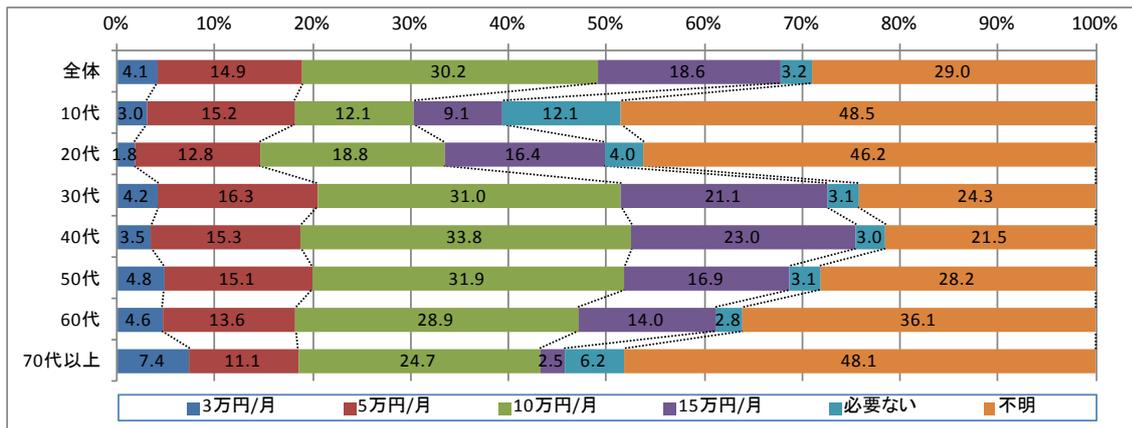


図 4.22. 公的補助について、1人/月当たりどの程度必要か（H26年度）

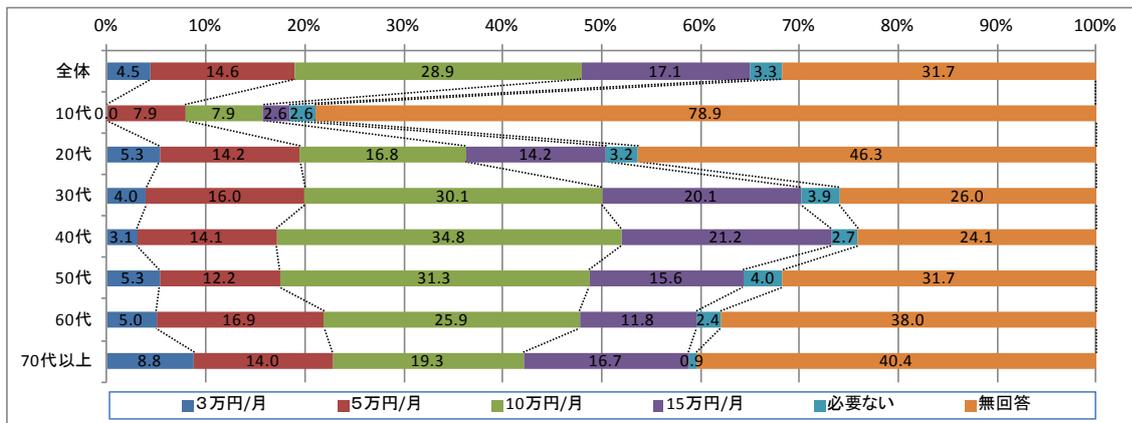


図 4.22 #2 公的補助について、1人/月当たりどの程度必要か（H25年度）

2.4 経験年数別集計

2.4.1 職業等について

2.4.1.1 職種においてベテランだと思いますか。

「見習い」の割合は「3年未満」が91.0%で最も割合が高い。

「中堅（「やや中堅」を含む）は「6~10年」で76.6%と割合が最も高い。

「ベテラン（「ややベテラン」を含む）は「41~50年」が79.5%で割合が最も高い。

	合計	(5)あなたのベテラン度合いについて						
		ベテラン	ややベテラン	中堅	やや中堅	見習い	不明	
全体	5,021	18.8	21.4	34.1	13.4	9.8	2.5	
経験年数	3年未満	221	0.9	0.5	0.9	5.0	91.0	1.8
	3~5年	189	1.6	1.1	9.5	23.8	62.4	1.6
	6~10年	456	1.3	4.8	36.2	40.4	16.0	1.3
	11~20年	1,519	6.0	14.3	51.9	20.5	3.9	3.4
	21~30年	939	16.4	30.4	43.2	6.4	1.9	1.7
	31~40年	821	32.5	35.6	25.0	3.7	1.3	1.9
	41~50年	742	50.4	29.1	13.6	2.7	1.2	3.0
	51年以上	109	41.3	30.3	17.4	4.6	2.8	3.7

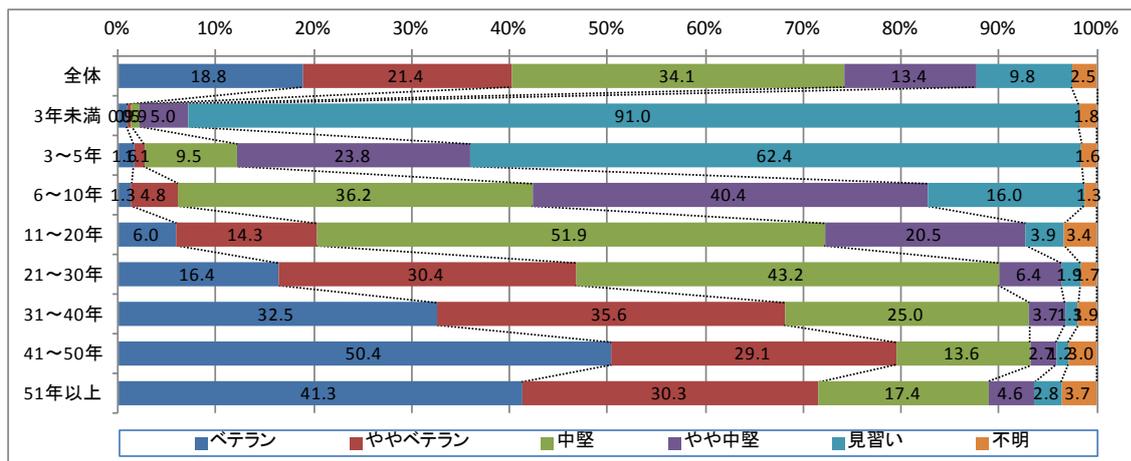


図 5.1. 職種のベテラン度合 (H26 年度)

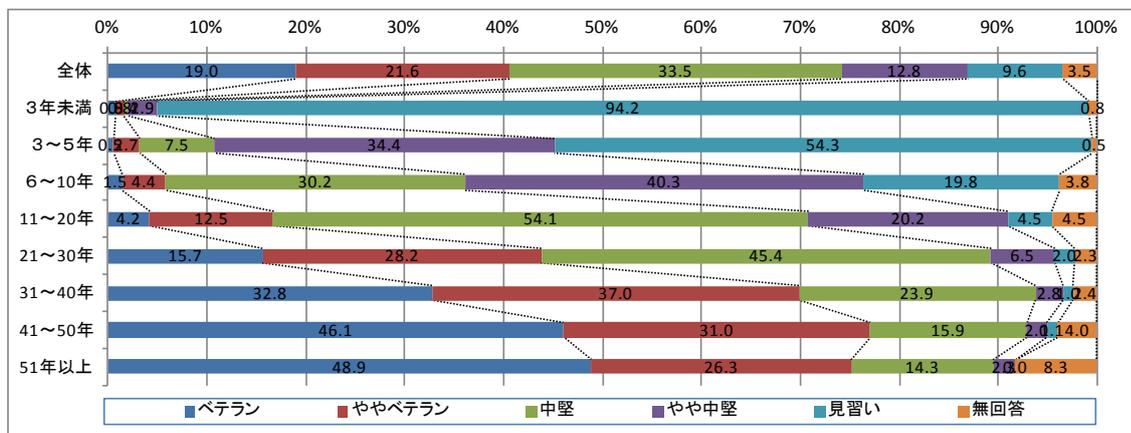


図 5.1# 職種のベテラン度合 (H25 年度)

2.4.2 雇用形態について

2.4.2.1 雇用形態（工務店等との）

「工務店社員」は「3年未満」が71.5%で割合が最も高い。

「外注常雇（日給制）」、「外注常雇（坪請主体）」、「その都度契約」を合計した「外注」の大工は「21～30年」が29.1%で割合が最も高い。

「元請として仕事」は「51年以上」で65.1%で割合が最も高い。

	合計	(6)あなたの雇用形態							
		工務店社員	外注常雇(日給制)	外注常雇(坪請主体)	その都度契約	元請として仕事	その他(アルバイト等)	不明	
全体	5,021	36.8	12.0	10.3	3.4	34.1	1.2	2.2	
経験年数	3年未満	221	71.5	10.0	0.9	0.5	5.4	7.2	4.5
	3～5年	189	71.4	9.0	2.6	0.0	10.1	4.2	2.6
	6～10年	456	62.1	13.2	4.2	2.0	14.9	2.0	1.8
	11～20年	1,519	46.1	12.4	11.3	3.4	24.4	0.7	1.7
	21～30年	939	30.2	10.9	13.2	5.0	38.7	0.5	1.5
	31～40年	821	21.6	12.8	11.7	3.8	47.0	0.4	2.8
	41～50年	742	12.4	12.9	11.6	3.4	56.6	0.7	2.4
	51年以上	109	11.0	10.1	7.3	2.8	65.1	1.8	1.8

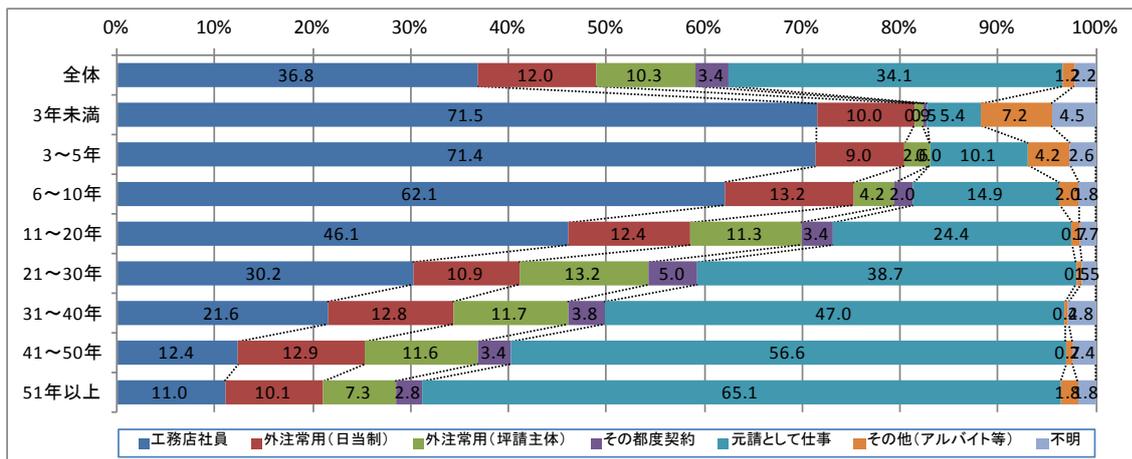


図 5.2. 雇用形態（H26年度）

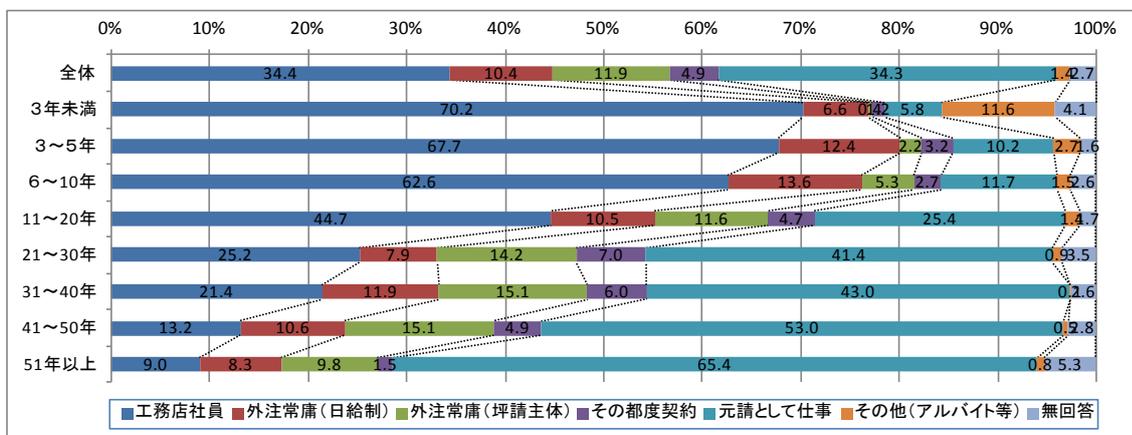


図 5.2 雇用形態（H25年度）

2.4.2.2 就業規則

就業規則が「有る」と回答した割合は「6～10年」が37.7%で最も高い。

「無い」と回答した割合は「21～30年」が59.9%で最も高い。

	合計	(7)就業規則			
		有	無	不明	
全体	5,021	26.8	52.7	20.5	
経験年数	3年未満	221	37.6	35.7	26.7
	3～5年	189	37.0	43.9	19.0
	6～10年	456	37.7	43.0	19.3
	11～20年	1,519	27.9	55.6	16.5
	21～30年	939	24.6	59.9	15.5
	31～40年	821	22.0	55.2	22.8
	41～50年	742	21.8	51.6	26.5
	51年以上	109	16.5	33.9	49.5

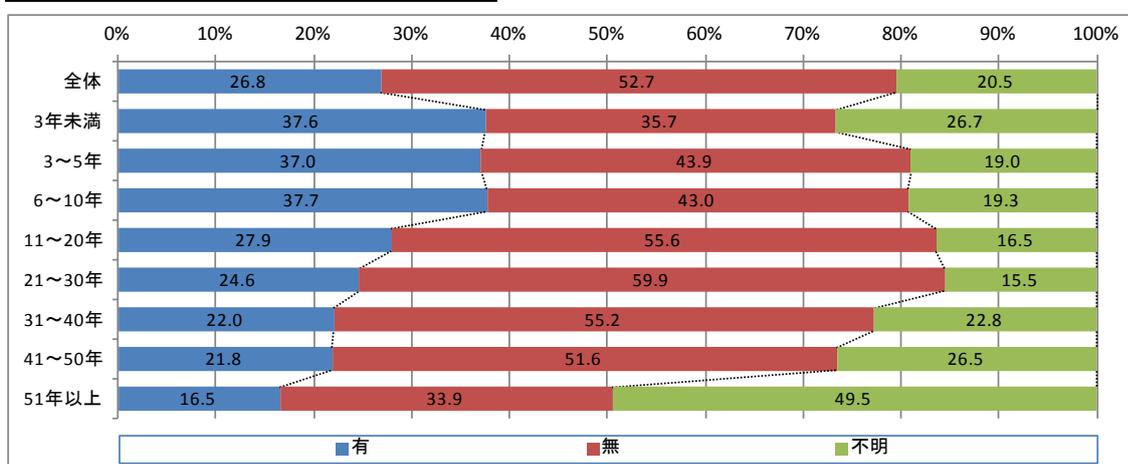


図 5.3. 就業規則 (H26年度)

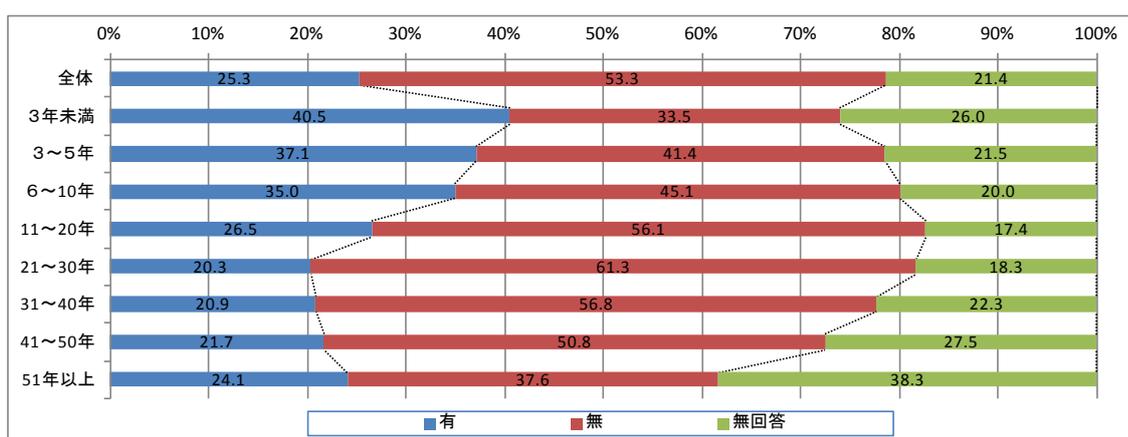


図 5.3 Ⅱ 就業規則 (H25年度)

2.4.2.3 有給休暇

有給休暇が「有る」と回答した割合は「3年未満」が24.4%で最も高い。

「無い」と回答した割合は「11~20年」が72.4%で最も高い。

	合計	(8)有給休暇			
		有	無	不明	
全体	5,021	12.1	64.7	23.2	
経験年数	3年未満	221	24.4	55.2	20.4
	3~5年	189	22.2	60.8	16.9
	6~10年	456	18.9	64.5	16.7
	11~20年	1,519	13.2	72.4	14.4
	21~30年	939	9.9	72.0	18.1
	31~40年	821	8.5	58.8	32.6
	41~50年	742	6.5	55.3	38.3
	51年以上	109	11.9	33.9	54.1

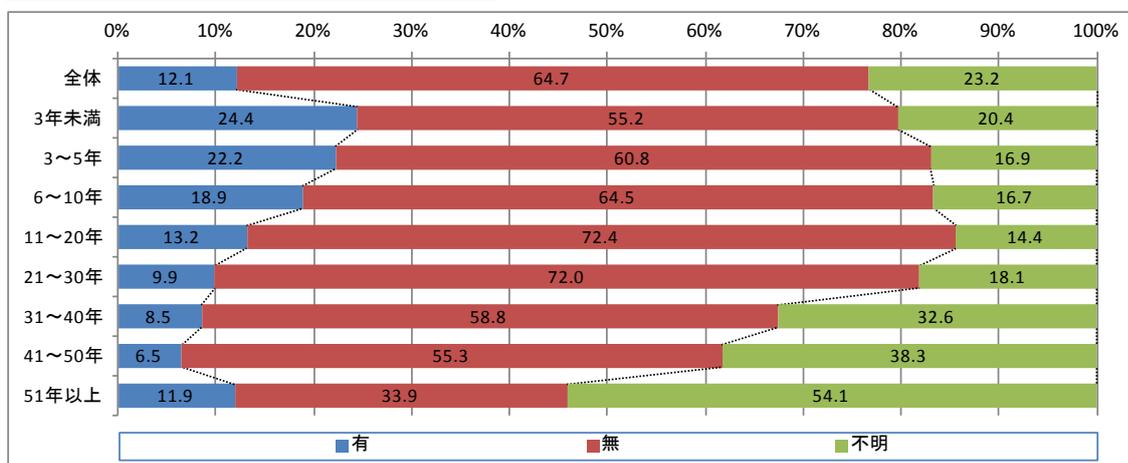


図 5.4. 有給休暇 (H26年度)

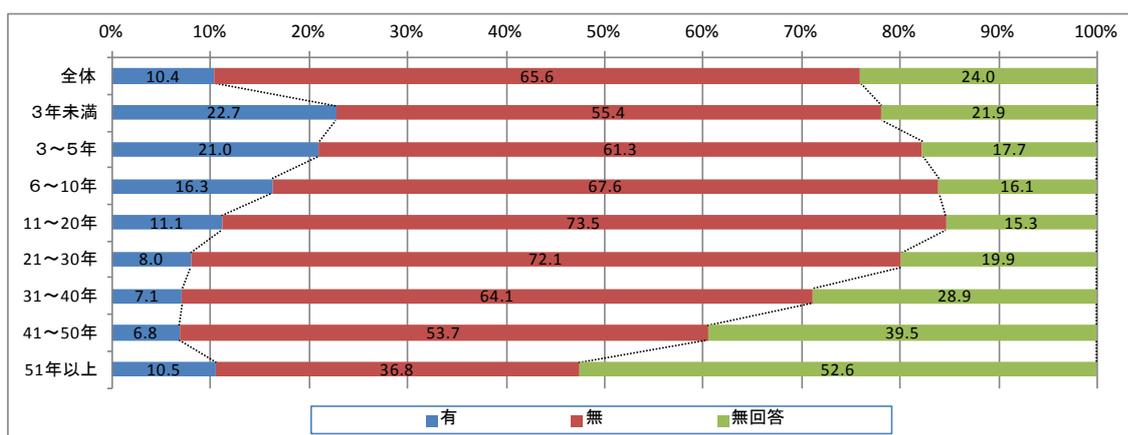


図 5.4 有給休暇 (H25年度)

2.4.2.4 年間就業日数

平均年間就業日数が最も多いのは「3～5年」で275.5日。

平均年間就業日数が最も少ないのは「51年以上」で233.9日。

	合計	(9)年間就業日数							平均
		100日未満	100～150日未満	150～200日未満	200～250日未満	250～300日未満	300日以上	不明	
全体	5,021	3.0	0.6	0.6	6.0	20.4	27.9	41.5	266.65
経験年数									
3年未満	221	2.3	0.9	0.5	5.0	20.8	16.7	53.8	263.75
3～5年	189	2.1	0.0	0.5	5.3	15.9	30.2	46.0	275.55
6～10年	456	4.6	0.9	0.4	4.6	20.0	28.9	40.6	262.31
11～20年	1,519	3.2	0.2	0.3	3.3	20.2	36.1	36.7	274.98
21～30年	939	3.2	0.9	0.2	4.9	19.8	31.5	39.5	271.71
31～40年	821	2.3	0.6	0.9	6.7	23.3	24.2	42.0	264.00
41～50年	742	2.7	0.9	1.9	12.1	21.8	16.2	44.3	248.83
51年以上	109	1.8	0.9	0.9	13.8	11.0	7.3	64.2	233.97

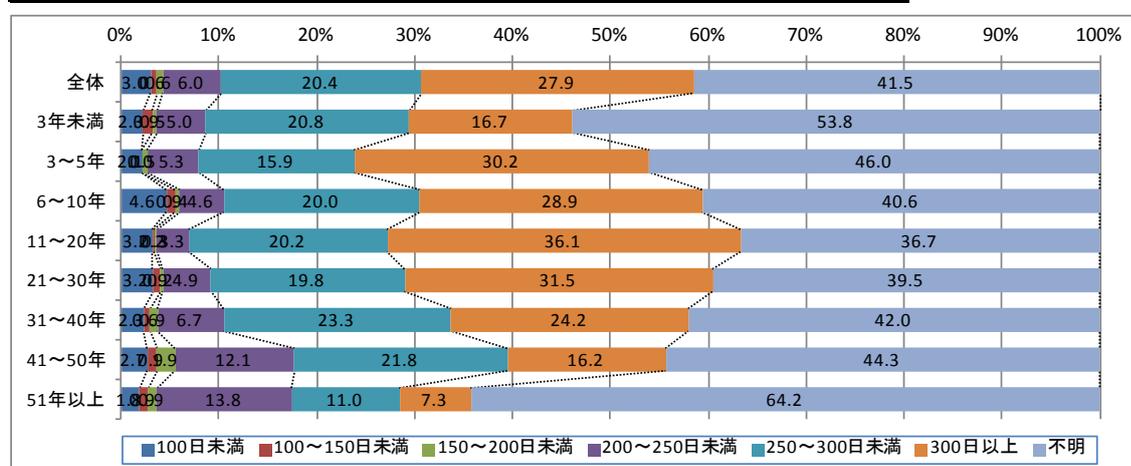


図 5.5. 年間就業日数 (H26 年度)

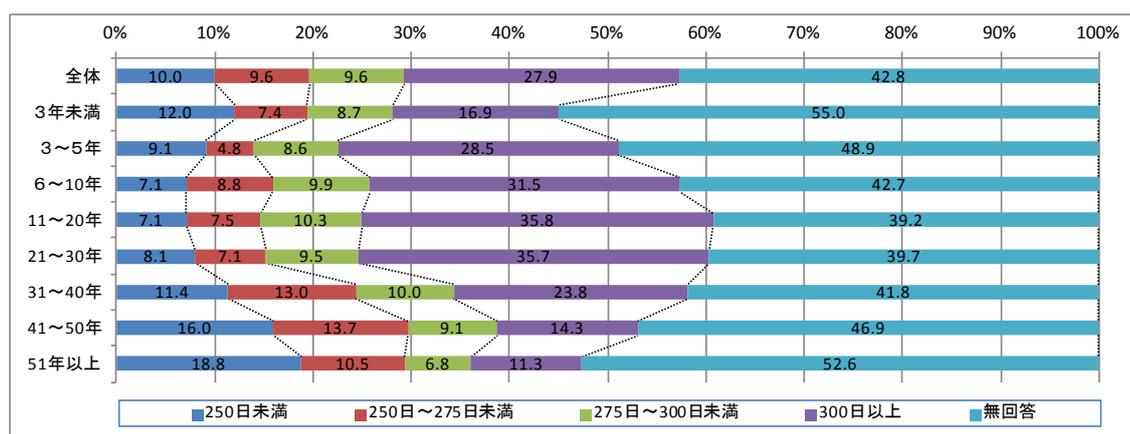


図 5.5# 年間就業日数 (H25 年度)

2.4.2.5 賃金の中に含まれ、自己負担となっているもの

賃金の中に含まれ、自己負担となっているものの割合の合計が最も高いのは「41~50年」で295.4%。最も低いのは「3年未満」で154.8%。

	合計	(11)自己負担となっているもの							
		手道具	電動工具	クギ金物	車(保険含む)	ガソリン	全て所属する工務店等が負担	不明	
全体	5,021	71.8	65.1	24.6	52.5	52.1	14.8	7.6	
経験年数	3年未満	221	58.4	37.6	3.6	26.7	28.5	21.3	10.4
	3~5年	189	66.7	52.4	7.9	39.2	34.9	18.5	7.9
	6~10年	456	66.7	58.8	12.1	44.5	46.5	18.6	5.5
	11~20年	1,519	74.9	67.9	22.2	52.6	51.4	14.0	5.0
	21~30年	939	71.9	67.1	30.4	54.8	53.2	16.5	7.0
	31~40年	821	72.5	68.0	30.9	56.3	57.4	13.3	9.7
	41~50年	742	73.6	69.5	31.9	60.0	60.4	10.6	10.5
	51年以上	109	68.8	61.5	34.9	58.7	56.0	16.5	13.8

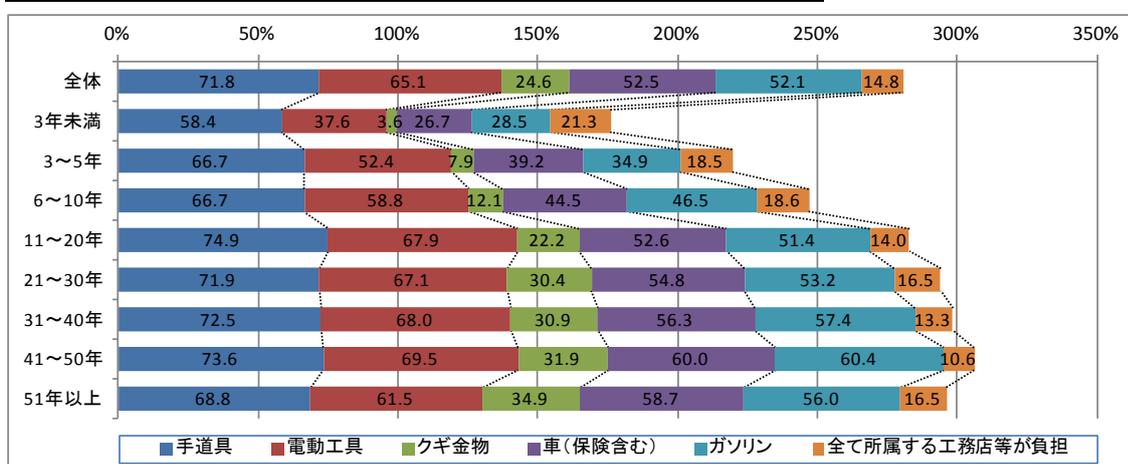


図 5.6. 自己負担となっているもの (H26 年度)

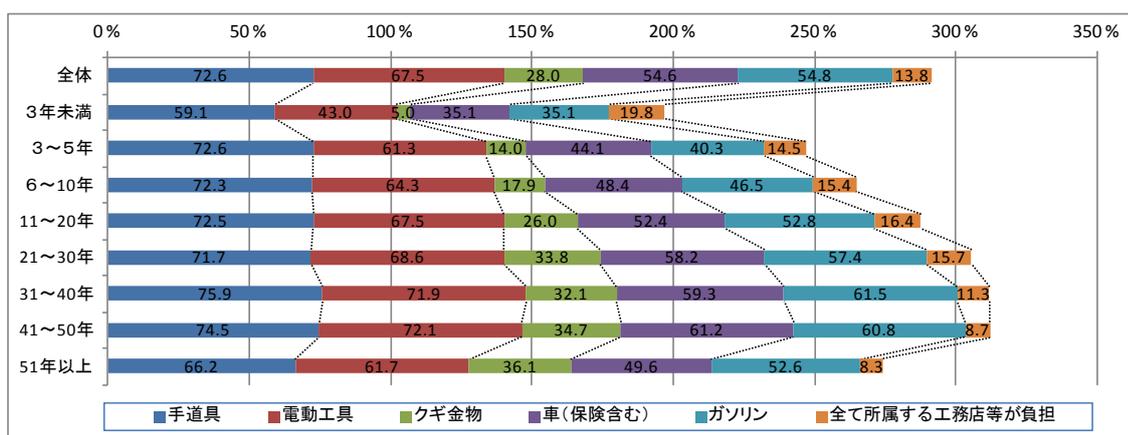


図 5.6 自己負担となっているもの (H25 年度)

2.4.2.6 おおよその賃金（諸経費が含まれた1日あたりの平均単価）

平均賃金が最も高かったのは「21～30年」で16,304.8円。

平均賃金が最も低かったのは「3年未満」で9,492.6円。

	合計	(12)1日あたりのおおよその賃金							平均賃金	
		8,000円未満	8,000～10,000円未満	10,000～15,000円未満	15,000～20,000円未満	20,000～25,000円未満	25,000円以上	不明		
全体	5,021	5.0	7.3	38.5	34.8	8.3	2.0	4.2	14944.9	
経験年数	3年未満	221	45.2	27.6	14.9	4.5	0.0	0.0	7.7	9492.6
	3～5年	189	23.8	32.3	33.3	5.8	1.1	0.5	3.2	10704.9
	6～10年	456	4.6	16.2	53.7	17.5	3.3	1.1	3.5	13088.6
	11～20年	1,519	1.9	6.2	46.3	32.7	8.2	2.2	2.6	14985.1
	21～30年	939	1.4	2.8	31.2	46.0	11.8	2.6	4.3	16304.8
	31～40年	821	1.8	2.3	35.0	43.8	10.0	2.9	4.1	16040.0
	41～50年	742	3.0	3.1	34.8	42.5	8.8	1.8	6.2	15672.4
	51年以上	109	3.7	6.4	38.5	31.2	12.8	1.8	5.5	15339.8

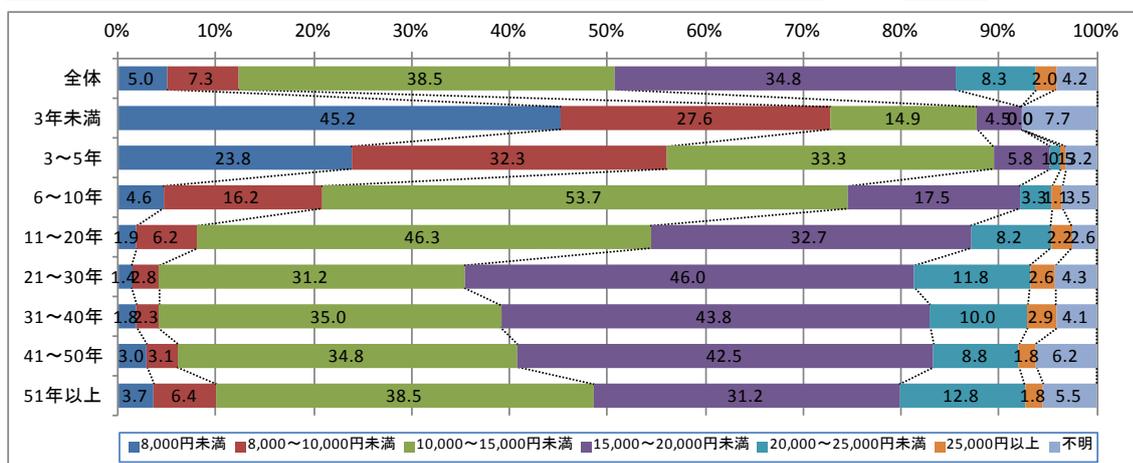


図 5.7. 1日あたりのおおよその賃金（H26年度）

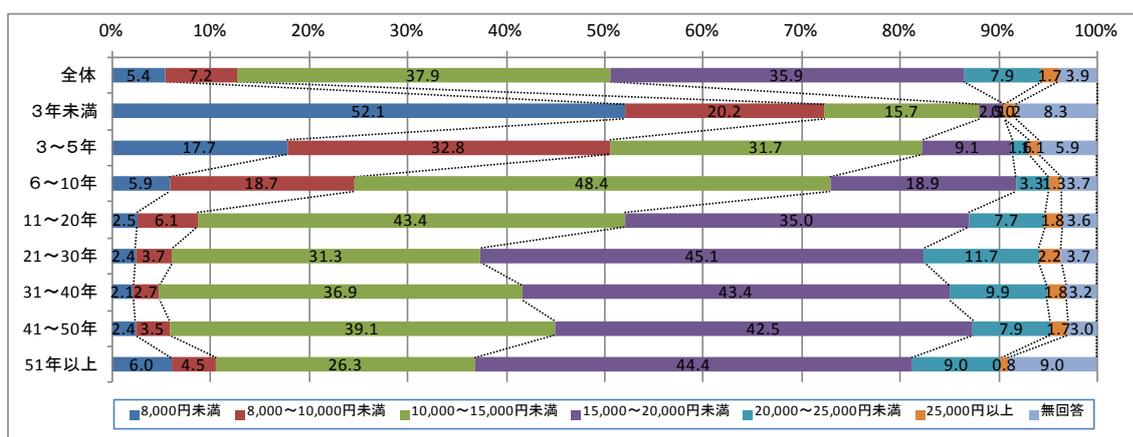


図 5.7# 1日あたりのおおよその賃金（H25年度）

2.4.3 資格や技能について

2.4.3.1 持っている資格

持っている資格の割合の合計が最も高いのは「51年以上」で403.7%。

持っている資格の割合の合計が最も低いのは「3年未満」で82.1%。

経験年数	合計	(13)お持ちの資格															
		1級建築士	2級建築士	木造建築士	1級建築施工管理技士	2級建築施工管理技士	1級建築大工技能士	2級建築大工技能士	枠組壁建築技能士	職業訓練指導員	増改築相談員	足場の組立て等作業主任者	木造建築物組立て作業主任者	玉掛け技能講習修了者	クレーン運転技能講習修了者	木材加工用機械作業主任者	不明
全体	5,021	5.2	31.8	3.6	3.9	15.0	15.4	12.6	2.2	12.1	8.8	37.6	42.5	43.6	19.3	12.4	18.1
3年未満	221	0.9	8.6	0.5	1.4	1.8	0.0	7.7	0.5	0.5	0.9	5.9	5.4	32.6	14.5	0.9	54.8
3～5年	189	1.6	13.8	1.1	0.5	7.9	2.1	13.8	1.1	2.1	1.1	13.8	14.3	43.9	17.5	2.1	37.6
6～10年	456	3.5	26.8	2.2	3.7	11.8	9.0	17.1	0.7	2.6	1.8	26.3	29.8	44.3	18.6	3.5	23.5
11～20年	1,519	4.6	33.4	1.8	4.5	9.8	16.7	13.8	1.4	5.6	5.3	34.0	39.0	45.2	17.2	8.4	18.2
21～30年	939	7.2	34.5	2.4	4.7	16.2	14.8	10.2	1.7	9.4	7.8	39.0	44.8	43.5	19.2	10.8	13.8
31～40年	821	7.2	34.3	5.2	4.1	22.7	15.7	11.0	2.8	15.7	13.2	43.7	51.2	44.0	21.6	14.7	13.0
41～50年	742	4.4	36.8	9.0	2.7	22.5	24.3	13.7	5.5	31.7	17.8	55.1	61.7	44.7	23.9	28.0	10.2
51年以上	109	7.3	35.8	7.3	7.3	20.2	23.9	11.0	2.8	48.6	29.4	64.2	56.0	33.9	19.3	36.7	8.3

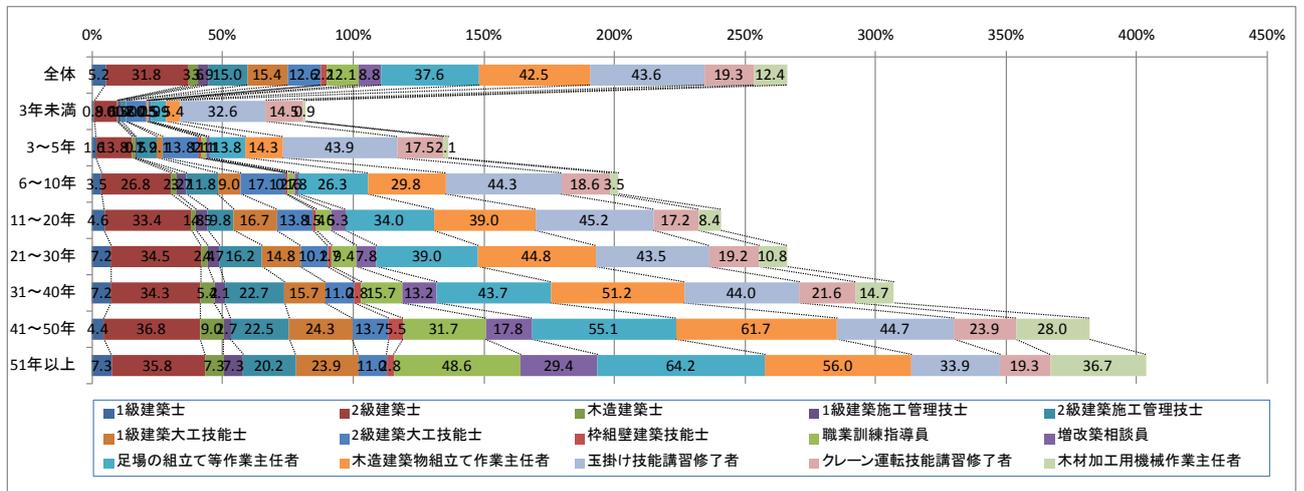


図 5.8. 持っている資格 (H26 年度)

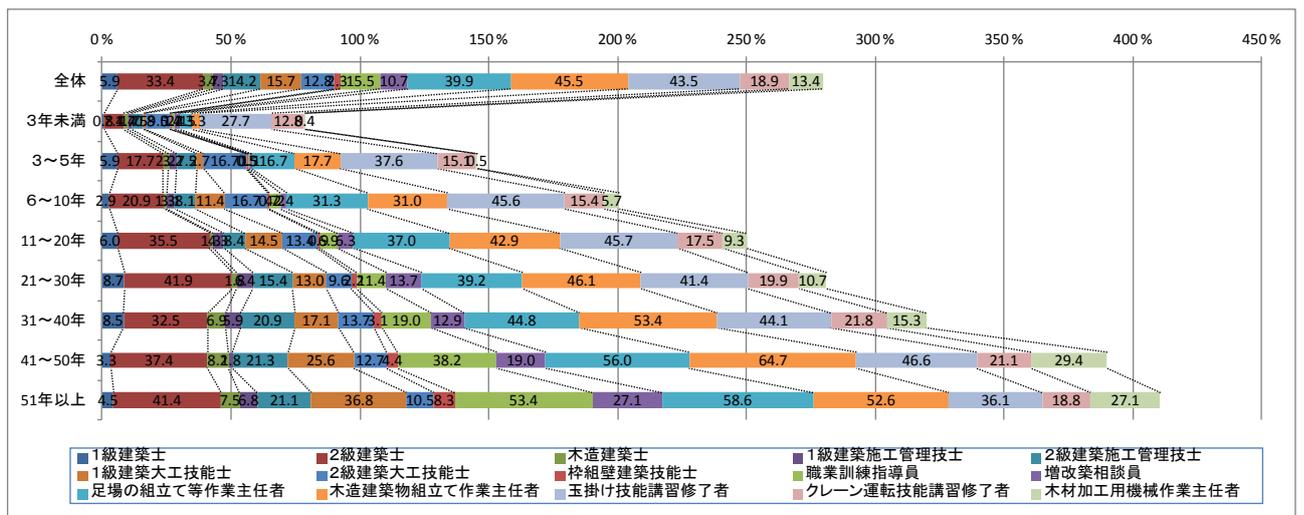


図 5.8# 持っている資格 (H25 年度)

2.4.3.2 **大工職のみ回答** 墨付けができますか。

墨付けができると回答した割合は、経験年数の階級が上がるほど高くなり、「51年以上」で最も高くなり 88.1%。

「3年未満」では 27.1%ができると回答した。

	合計	(14)①墨付けができますか			
		はい	いいえ	不明	
全体	5,021	74.7	14.3	11.0	
経験年数	3年未満	221	27.1	57.9	14.9
	3～5年	189	26.5	61.4	12.2
	6～10年	456	53.5	33.6	12.9
	11～20年	1,519	74.9	16.3	8.9
	21～30年	939	83.7	5.4	10.9
	31～40年	821	86.8	2.1	11.1
	41～50年	742	87.6	0.8	11.6
	51年以上	109	88.1	0.0	11.9

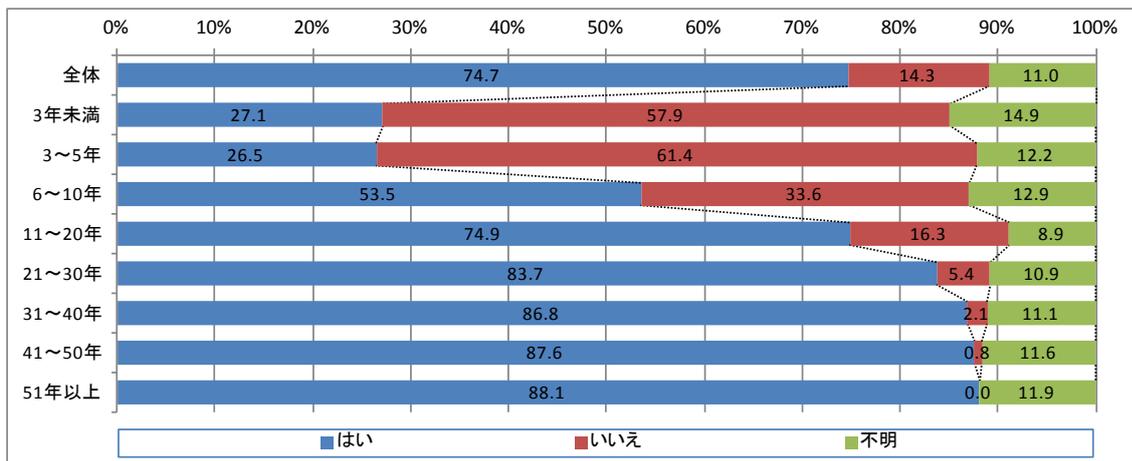


図 5.9. 墨付け (H26 年度)

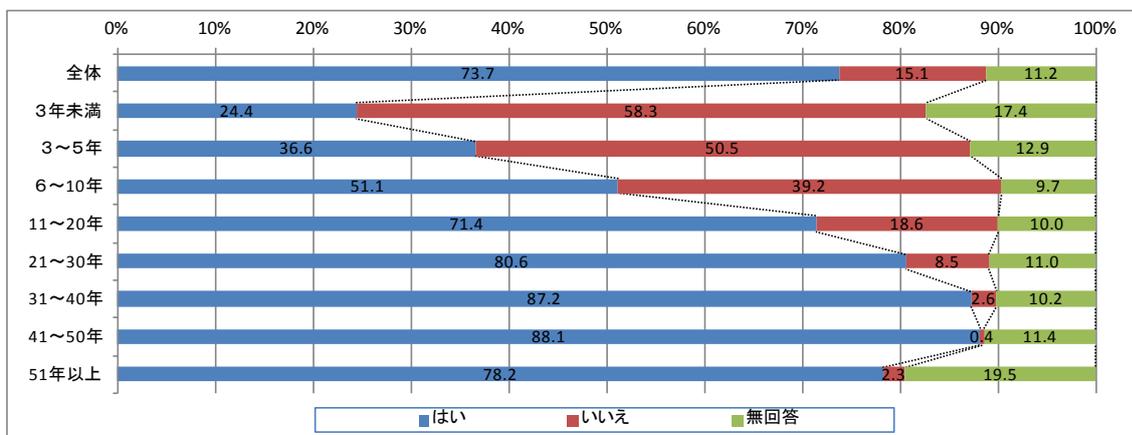


図 5.9# 墨付け (H25 年度)

2.4.3.3 **大工職のみ回答** 今でも手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか。（新築）

新築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていると回答した割合が最も高いのは「41～50年」で34.4%。次いで、「51年以上」が33.9%。

手刻み加工の仕事をを行っている割合が最も低いのは、「3年未満」で20.4%、次いで「21～30年」で20.6%。

	合計	(14)②新築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか			
		はい	いいえ	不明	
全体	5,021	25.7	61.7	12.6	
経験年数	3年未満	221	20.4	65.2	14.5
	3～5年	189	20.6	68.8	10.6
	6～10年	456	22.6	64.3	13.2
	11～20年	1,519	24.4	66.5	9.2
	21～30年	939	23.0	64.3	12.7
	31～40年	821	26.7	59.2	14.1
	41～50年	742	34.4	49.5	16.2
	51年以上	109	33.9	47.7	18.3

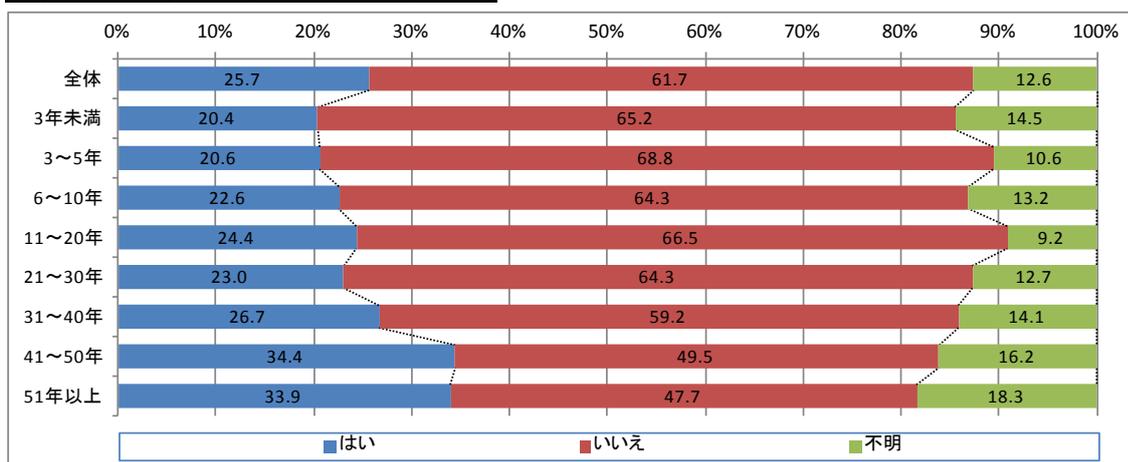


図 5.10. 手刻み加工の仕事（新築）（H26年度）

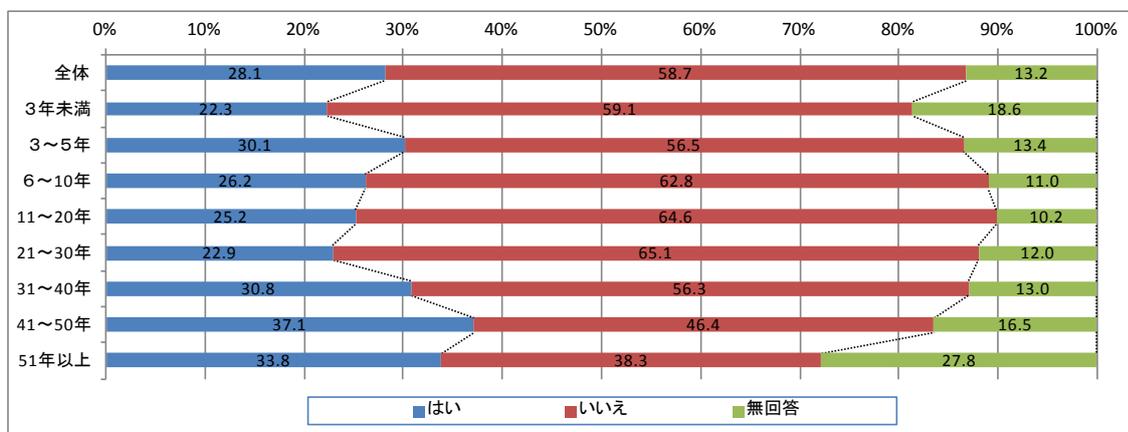


図 5.10# 手刻み加工の仕事（H25年度）

2.4.3.4 **大工職のみ回答** 今でも手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか。(増改築)

増改築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っている割合が最も高かったのは「41~50年」で62.0%、次いで、「51年以上」で57.8%。

手刻み加工の仕事をを行っている割合が最も低かったのは「3年未満」で31.7%、次いで「3~5年」で37.6%。

	合計	(14)③増改築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか			
		はい	いいえ	不明	
全体	5,021	51.8	36.1	12.0	
経験年数	3年未満	221	31.7	54.3	14.0
	3~5年	189	37.6	51.3	11.1
	6~10年	456	46.3	40.4	13.4
	11~20年	1,519	52.0	39.1	8.9
	21~30年	939	52.1	35.6	12.4
	31~40年	821	53.6	33.3	13.2
	41~50年	742	62.0	23.9	14.2
	51年以上	109	57.8	24.8	17.4

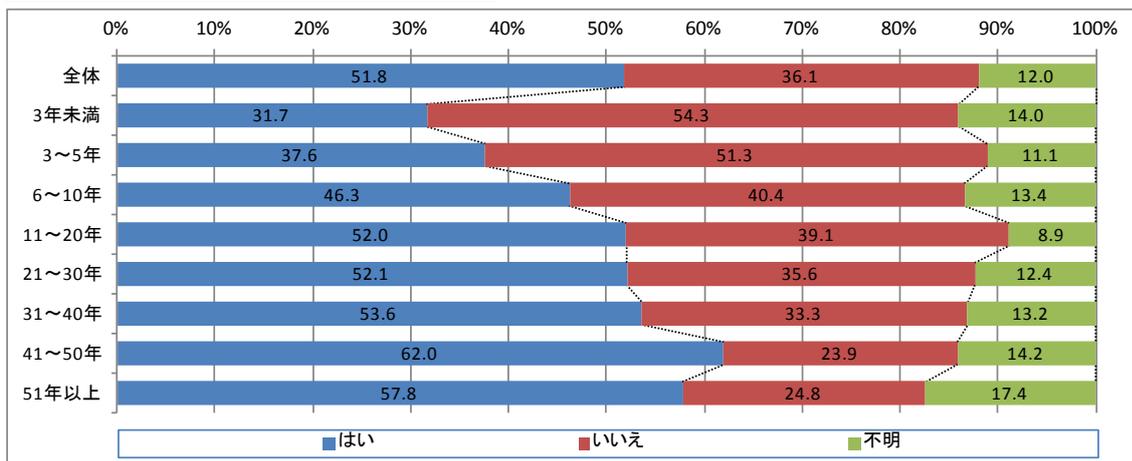


図 5.11. 手刻み加工の仕事 (増改築) (H26 年度)

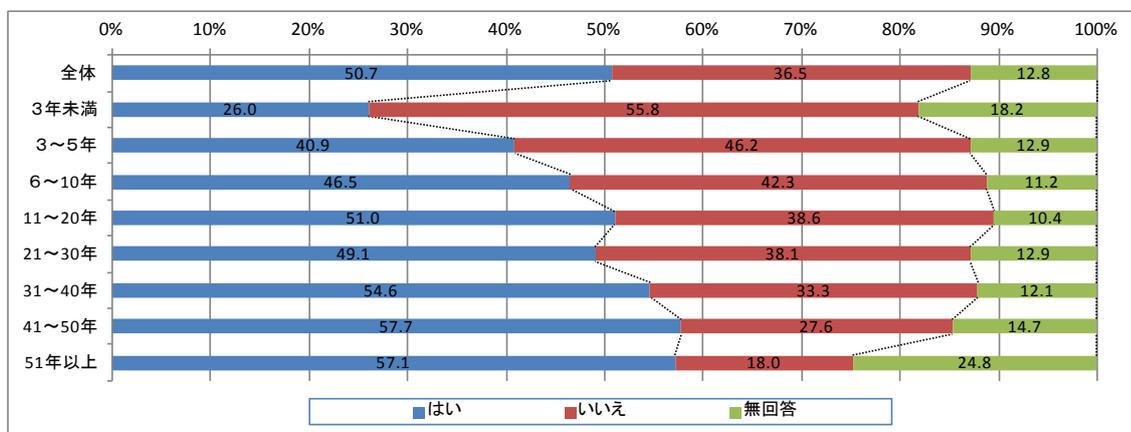


図 5.11 手刻み加工の仕事 (増改築) (H25 年度)

2.4.3.5 大工職のみ回答 和室造作ができますか。

和室造作ができると回答した割合が最も高かったのは「51年以上」で86.2%、次いで「41～50年」で85.8%。

できると回答した割合が最も低いのは「3年未満」で4.1%、次いで「3～5年」で12.7%。

「6～10年」から「11～20年」の間では、32.1ポイントの差が見られた。

	合計	(14)④和室造作ができますか			
		はい	いいえ	不明	
全体	5,021	70.1	18.2	11.7	
経験年数	3年未満	221	4.1	79.6	16.3
	3～5年	189	12.7	75.7	11.6
	6～10年	456	39.7	46.9	13.4
	11～20年	1,519	71.8	18.9	9.3
	21～30年	939	81.9	6.5	11.6
	31～40年	821	85.4	2.3	12.3
	41～50年	742	85.8	1.3	12.8
	51年以上	109	86.2	0.0	13.8

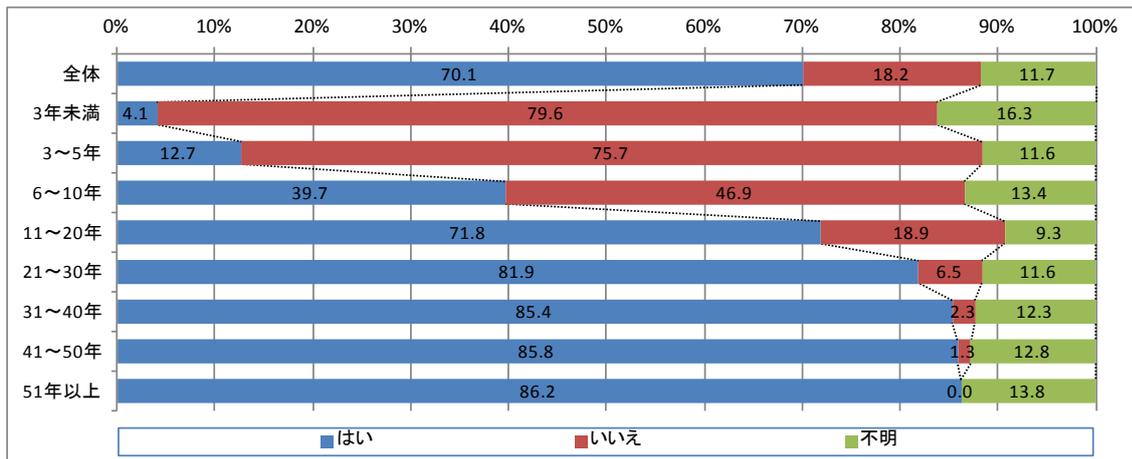


図 5.12. 和室造作 (H26 年度)

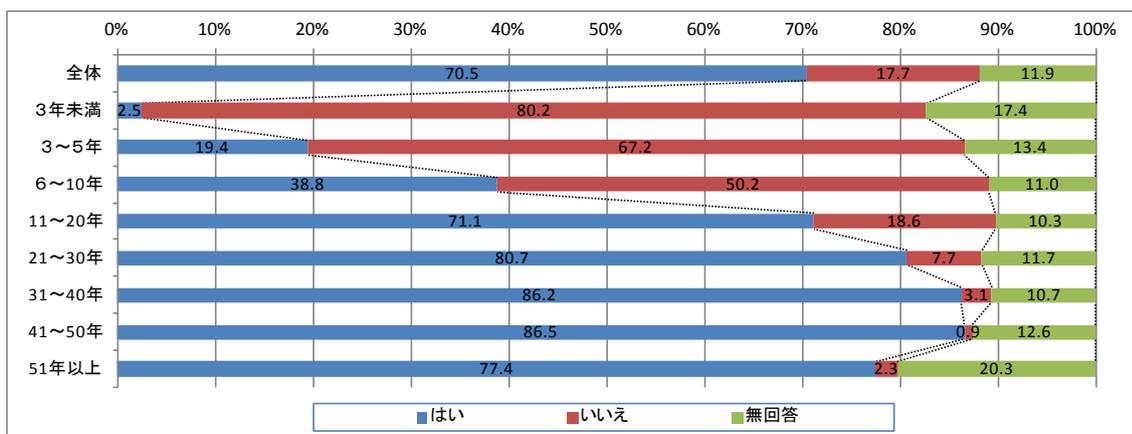


図 5.12# 和室造作 (H25 年度)

2.4.3.6 大工職のみ回答 2×4工法の住宅の施工ができますか

2×4工法の住宅の施工ができると回答した割合が最も高いのは「31～40年」で35.4%。できると回答した割合が最も低いのは「3年未満」で8.1%。

	合計	(14)⑤2×4工法の住宅の施工ができますか		
		はい	いいえ	不明
全体	5,021	27.3	59.5	13.1
経験年数				
3年未満	221	8.1	76.0	15.8
3～5年	189	11.6	77.2	11.1
6～10年	456	21.7	66.4	11.8
11～20年	1,519	25.0	65.2	9.8
21～30年	939	29.0	57.3	13.7
31～40年	821	35.4	49.2	15.3
41～50年	742	33.7	50.8	15.5
51年以上	109	31.2	47.7	21.1

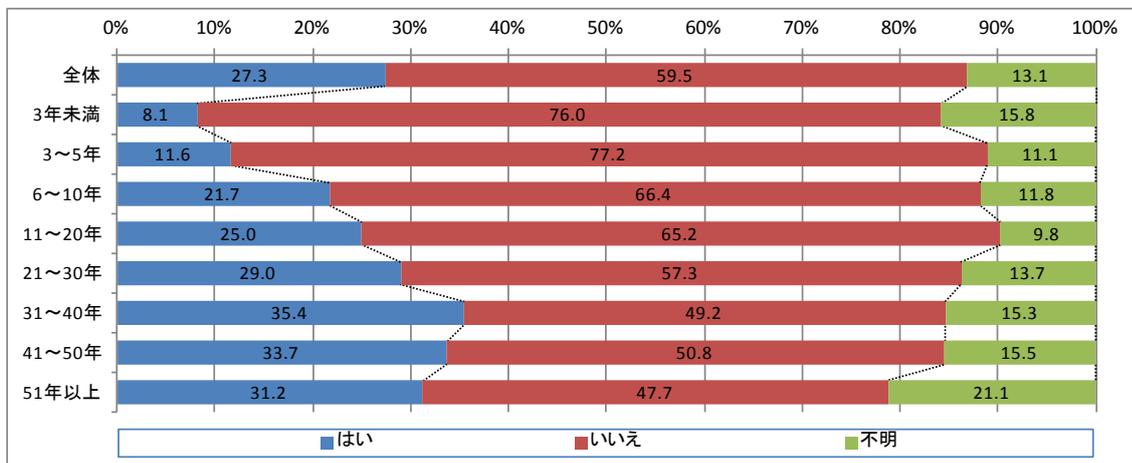


図 5.13. 2×4工法の住宅の施工 (H26年度)

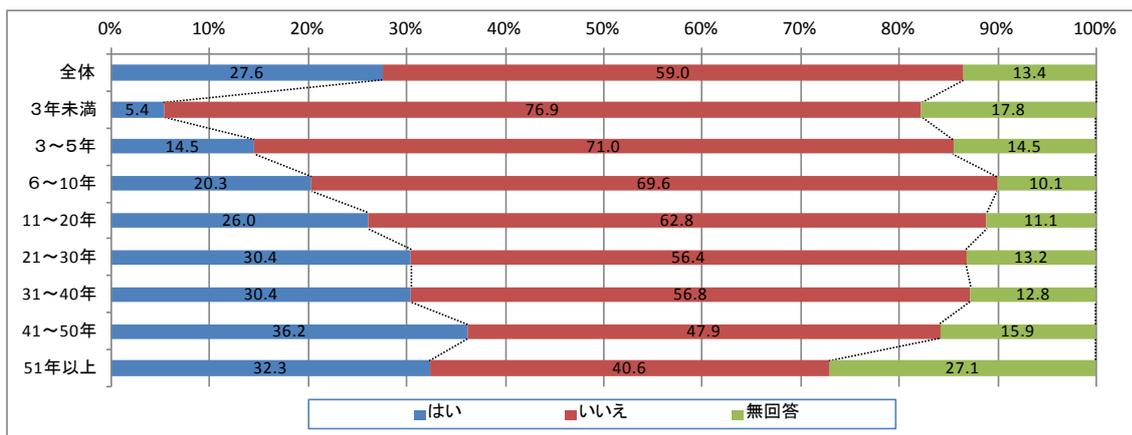


図 5.13# 2×4工法の住宅の施工 (H25年度)

2.4.4 仕事に対する満足度や今後の意向について

2.4.4.1 現在の仕事の内容について満足していますか。

「とても満足している」、「まあ満足している」を合計した満足している割合が最も高いのは「3年未満」で69.3%。

「あまり満足していない」、「満足していない」を合計した満足していない割合が最も高いのは「31～40年」の35.5%。

	合計	(15)現在の仕事の内容について満足度					
		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	不明	
全体	5,021	9.6	50.9	24.6	6.6	8.3	
経験年数	3年未満	221	18.6	50.7	14.9	5.0	10.9
	3～5年	189	10.1	57.1	18.5	6.9	7.4
	6～10年	456	10.5	55.0	22.4	5.7	6.4
	11～20年	1,519	8.8	52.6	25.9	7.0	5.8
	21～30年	939	9.2	48.0	27.8	6.3	8.7
	31～40年	821	6.2	48.6	28.7	6.8	9.6
	41～50年	742	11.6	50.3	20.5	6.3	11.3
	51年以上	109	15.6	47.7	16.5	6.4	13.8

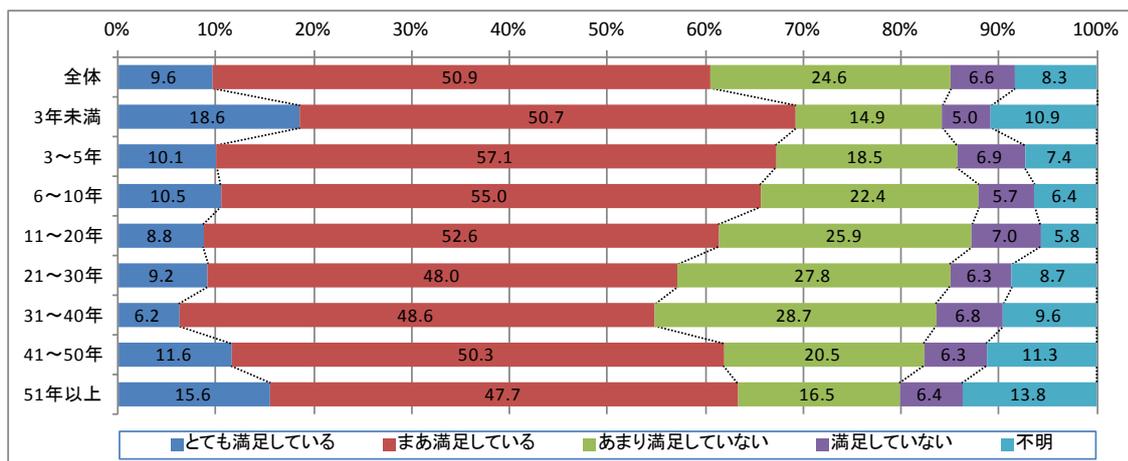


図 5.14. 仕事の内容についての満足度 (H26 年度)

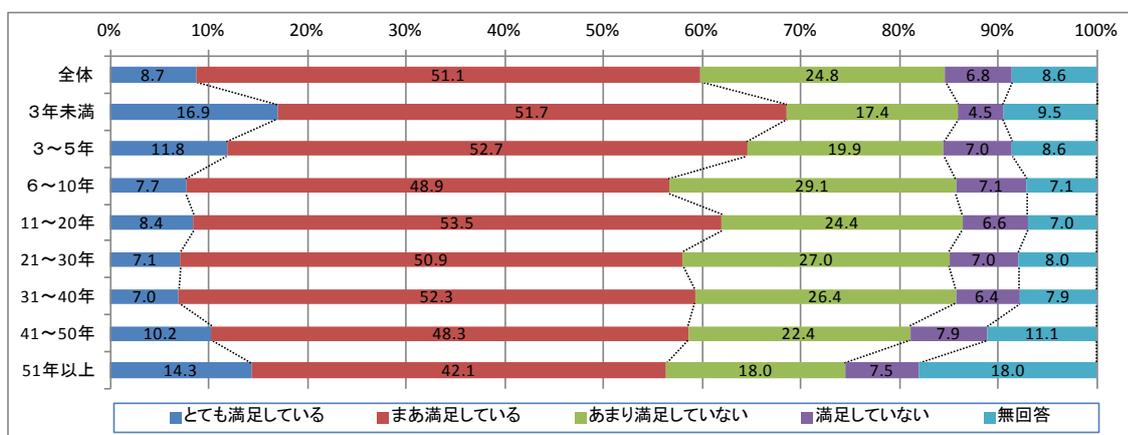


図 5.14# 仕事の内容についての満足度 (H25 年度)

2.4.4.2 現在の仕事で得られる収入等について満足していますか。

「とても満足している」、「まあ満足している」を合計した満足している割合が最も高いのは「3～5年」で45.5%。

「あまり満足していない」、「満足していない」を合計した満足していない割合が最も高いのは「21～30年」の59.7%。

	合計	(16)現在の仕事で得られる収入等について満足度					
		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	不明	
全体	5,021	3.7	31.5	39.1	17.5	8.3	
経験年数	3年未満	221	7.7	34.8	32.1	14.9	10.4
	3～5年	189	3.2	42.3	31.7	16.4	6.3
	6～10年	456	4.2	36.6	37.1	15.4	6.8
	11～20年	1,519	4.0	31.8	40.4	18.0	5.8
	21～30年	939	3.8	28.3	40.7	19.0	8.2
	31～40年	821	2.2	29.5	40.2	18.6	9.5
	41～50年	742	3.4	30.6	38.4	16.0	11.6
	51年以上	109	4.6	28.4	38.5	13.8	14.7

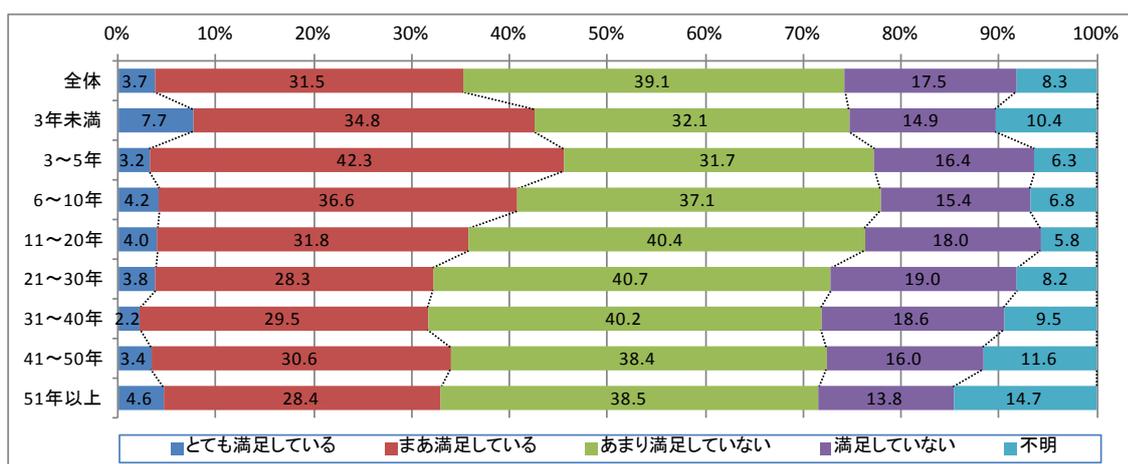


図 5.15. 収入等についての満足度 (H26 年度)

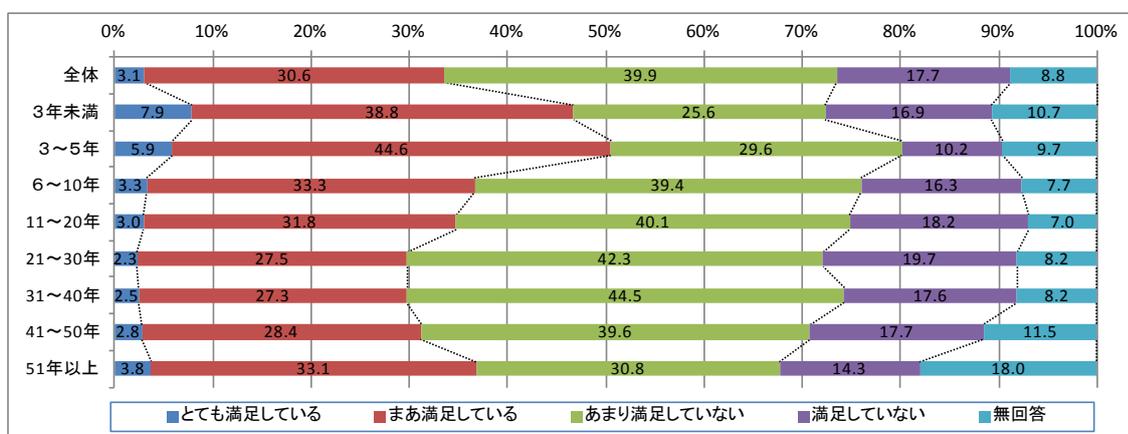


図 5.15 収入等についての満足度 (H25 年度)

2.4.4.3 今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか。

「仕事ができる限り続ける」と回答した割合が最も高いのは「3～5年」で74.1%だった。

「65歳で引退する」の割合が最も高いのは「31～40年」で22.0%だった。

「70歳で引退する」の割合が最も高いのは「41～50年」で28.2%だった。

	合計	(17)今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか							
		60歳で引退する	65歳で引退する	70歳で引退する	75歳で引退する	仕事ができる限り続ける	仕事がないため近々退職・引退する予定である	不明	
全体	5,021	6.6	15.4	12.2	2.5	53.6	1.0	8.8	
経験年数	3年未満	221	8.6	7.2	1.8	0.5	66.1	1.8	14.0
	3～5年	189	4.2	8.5	2.1	0.5	74.1	1.6	9.0
	6～10年	456	9.4	13.2	3.5	0.9	62.9	2.9	7.2
	11～20年	1,519	9.5	16.3	6.5	1.3	59.0	1.0	6.5
	21～30年	939	8.9	15.7	11.5	1.4	53.0	0.7	8.7
	31～40年	821	3.4	22.0	19.6	2.7	42.6	0.2	9.4
	41～50年	742	0.3	12.8	28.2	6.1	40.8	0.7	11.2
	51年以上	109	0.0	1.8	9.2	17.4	55.0	2.8	13.8

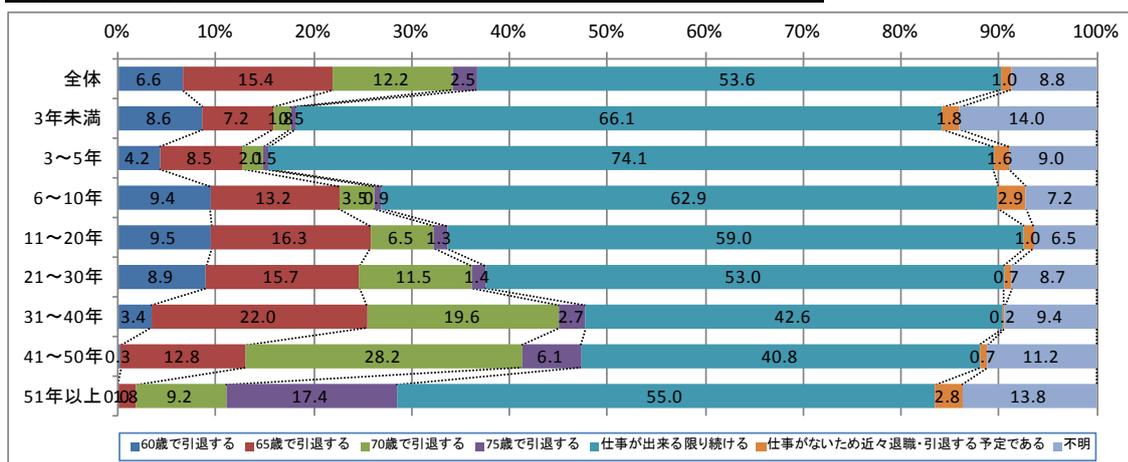


図 5.16. 何歳まで仕事を続ける予定か (H26 年度)

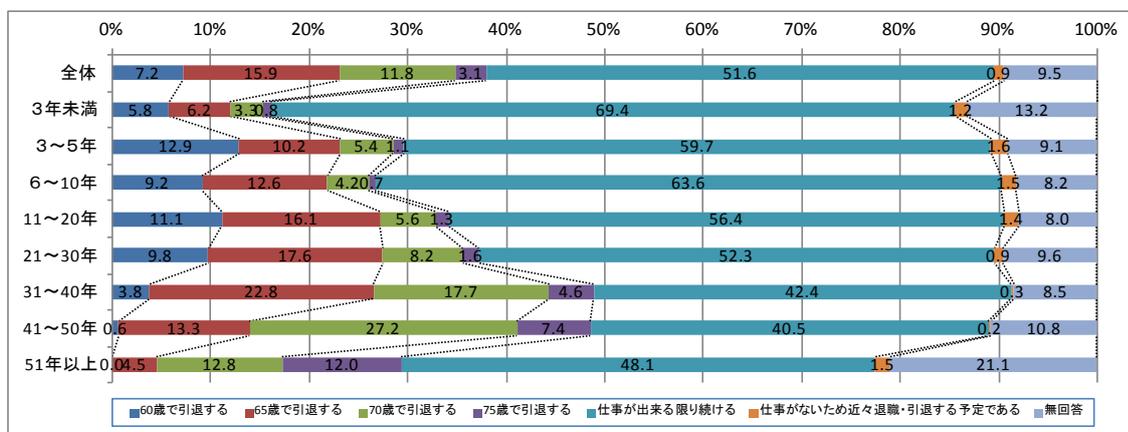


図 5.16 何歳まで仕事を続ける予定か (H25 年度)

2.4.5 担い手育成について

2.4.5.1 現在、担い手（見習い等）の育成を行っていますか。

「現在育てている」の割合が最も高いのは「51年以上」で23.9%。

「人材がいれば育てたい」の割合が最も高いのは「11~20年」で48.8%。

「育てる予定はない」の割合が最も高いのは「51年以上」で43.1%。

	合計	(18)現在、担い手の育成を行っていますか			
		現在育てている	現在は育てていないが、人材がいれば育てたい	現在は育てていないし、今後も育てる予定はない	不明
全体	5,021	15.4	40.2	30.9	13.6
経験年数					
3年未満	221	5.4	24.9	24.9	44.8
3~5年	189	5.8	38.1	24.9	31.2
6~10年	456	11.4	45.8	27.0	15.8
11~20年	1,519	13.4	48.8	28.8	9.0
21~30年	939	15.7	44.9	29.2	10.2
31~40年	821	19.0	33.3	35.4	12.3
41~50年	742	21.8	28.7	36.3	13.2
51年以上	109	23.9	20.2	43.1	12.8

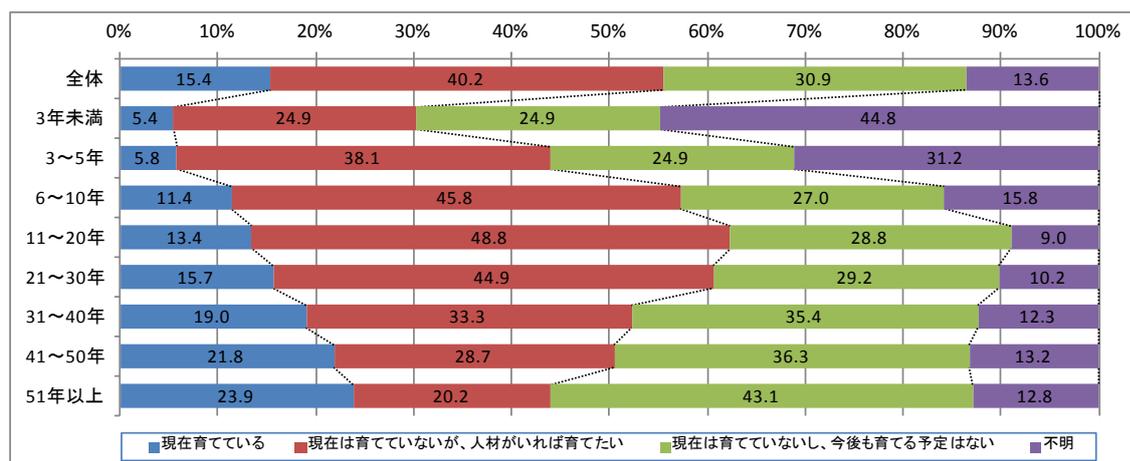


図 5.17. 担い手の育成状況（H26年度）

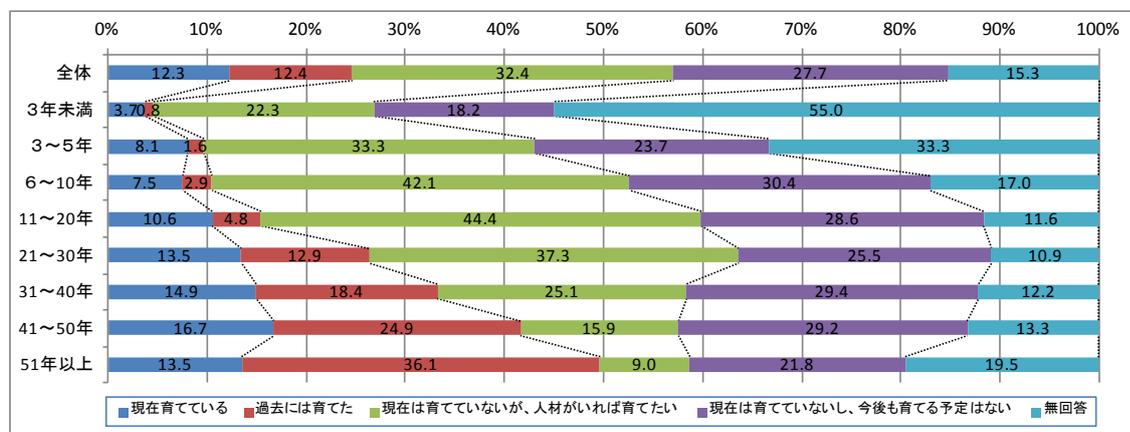


図 5.17# 担い手の育成状況（H25年度）

2.4.5.2 2.4.5.1 「1.現在育てている」および「2.過去には育てた」のみ回答

育成期間の担い手の立場

「正社員（職業訓練校）」の割合が最も高いのは「3～5年」で36.4%。

「正社員（弟子として）」の割合が最も高いのは「6～10年」で75.0%。

「一人親方にあずける（職業訓練校）」の割合が最も高いのは「41～50年」で4.9%。

「一人親方にあずける（弟子として）」の割合が最も高いのは「31～40年」で10.9%。

	合計	(19)育成期間の担い手の立場					
		正社員 (職業訓練校)	正社員 (弟子として)	一人親 方等に あずけ る(職業 訓練校)	一人親 方等に あずけ る(弟子 として)	不明	
全体	772	18.4	66.8	2.7	8.5	3.5	
経験 年数	3年未満	12	25.0	66.7	0.0	8.3	0.0
	3～5年	11	36.4	45.5	0.0	9.1	9.1
	6～10年	52	17.3	75.0	0.0	3.8	3.8
	11～20年	204	20.6	64.7	2.0	9.3	3.4
	21～30年	147	15.6	75.5	2.0	6.1	0.7
	31～40年	156	15.4	64.7	3.2	10.9	5.8
	41～50年	162	17.3	65.4	4.9	9.3	3.1
	51年以上	26	30.8	50.0	3.8	7.7	7.7

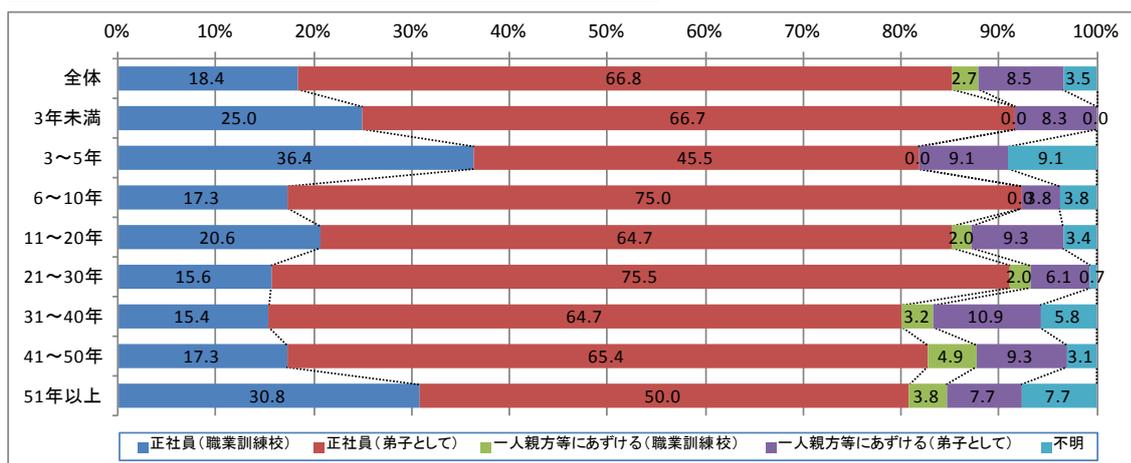


図 5.18. 育成期間の担い手の立場 (H26 年度)

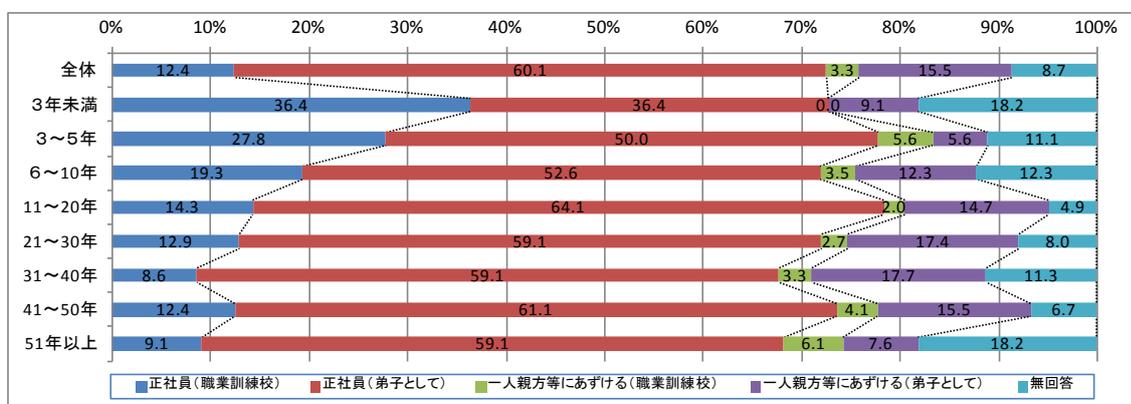


図 5.18#2 育成期間の担い手の立場 (H25 年度)

2.4.5.3 2.4.5.1 「1.現在育てている」および「2.過去には育てた」のみ回答

育成にかかる費用負担

費用負担が「有る」と回答した割合が最も高いのは「3～5年」で45.5%。

「無い」と回答した割合が最も高いのは「11～20年」で24.0%。

	合計	(20)育成期間にかかる費用の負担を行っているか			
		有	無	不明	
全体	772	31.5	18.8	49.7	
経験年数	3年未満	12	16.7	33.3	50.0
	3～5年	11	45.5	18.2	36.4
	6～10年	52	32.7	21.2	46.2
	11～20年	204	28.4	24.0	47.5
	21～30年	147	29.3	21.8	49.0
	31～40年	156	32.1	16.7	51.3
	41～50年	162	35.8	12.3	51.9
	51年以上	26	34.6	3.8	61.5

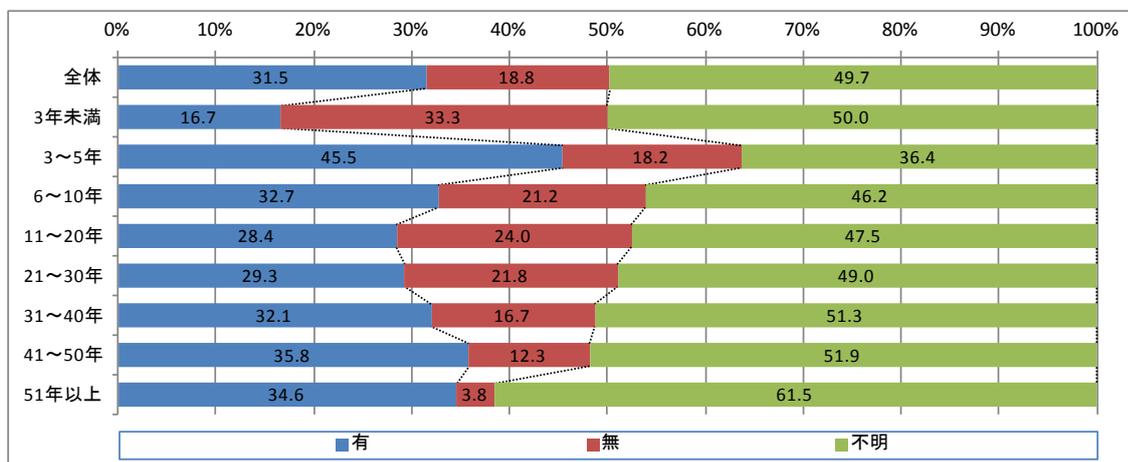


図 5.19. 育成期間にかかる費用負担 (H26 年度)

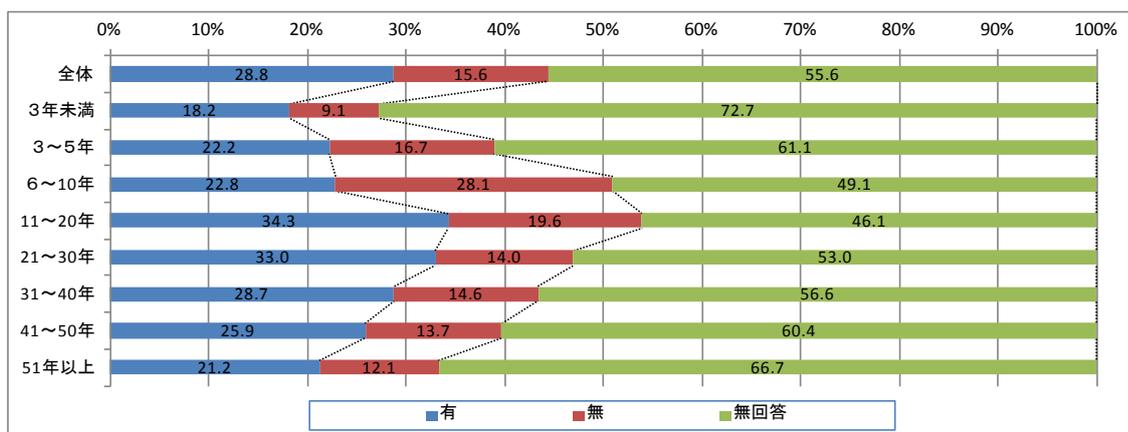


図 5.19# 育成期間にかかる費用負担 (H25 年度)

2.4.5.4 2.4.5.1 「4.現在は育てていないし、今後も育てる予定はない」のみ回答

なぜ育てる予定はないのか。

「将来の保障ができないため」の割合が最も高いのは「31～40年」で51.2%。

「費用がかかるため」の割合が最も高いのは「21～30年」で29.2%。

「人材がないため」の割合が最も高いのは「31～40年」で26.1%。

	合計	(21)なぜ育てる予定はないのですか											
		育てても、一人前になると辞めてしまうため	教えるのが面倒なため	費用がかかるため	言うことを聞かないため	人材がないため	育てる自信がないため	将来の保障ができないため	年齢のため	仕事がプレカットのため	新築が少ないため	その他	不明
全体	1,552	7.1	7.7	20.4	3.0	22.0	12.0	41.7	12.6	9.3	18.7	5.0	12.8
経験年数													
3年未満	55	0.0	3.6	7.3	1.8	9.1	23.6	7.3	27.3	1.8	0.0	14.5	23.6
3～5年	47	2.1	12.8	12.8	2.1	25.5	8.5	25.5	8.5	0.0	19.1	17.0	8.5
6～10年	123	10.6	13.0	17.9	4.9	24.4	17.9	30.1	5.7	8.1	11.4	4.9	13.0
11～20年	437	7.1	11.2	23.6	3.0	22.0	16.5	44.2	2.7	9.8	16.5	5.3	14.0
21～30年	274	7.3	6.9	29.2	3.6	21.9	12.8	46.0	3.3	8.8	21.2	2.9	11.3
31～40年	291	7.6	7.2	16.8	3.1	26.1	7.9	51.2	14.4	11.3	24.4	4.1	10.0
41～50年	269	7.1	2.2	17.5	2.2	21.6	5.9	41.3	33.8	10.8	20.8	4.1	11.2
51年以上	47	6.4	2.1	8.5	2.1	8.5	2.1	25.5	31.9	4.3	19.1	2.1	25.5

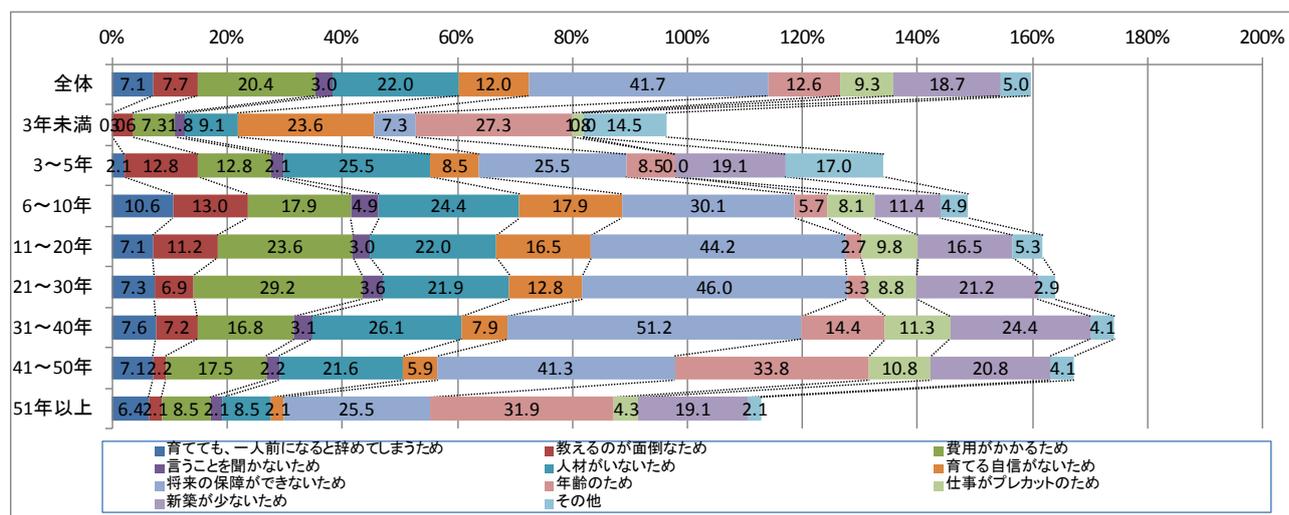


図 5.20. なぜ育てる予定はないのか (H26年度)

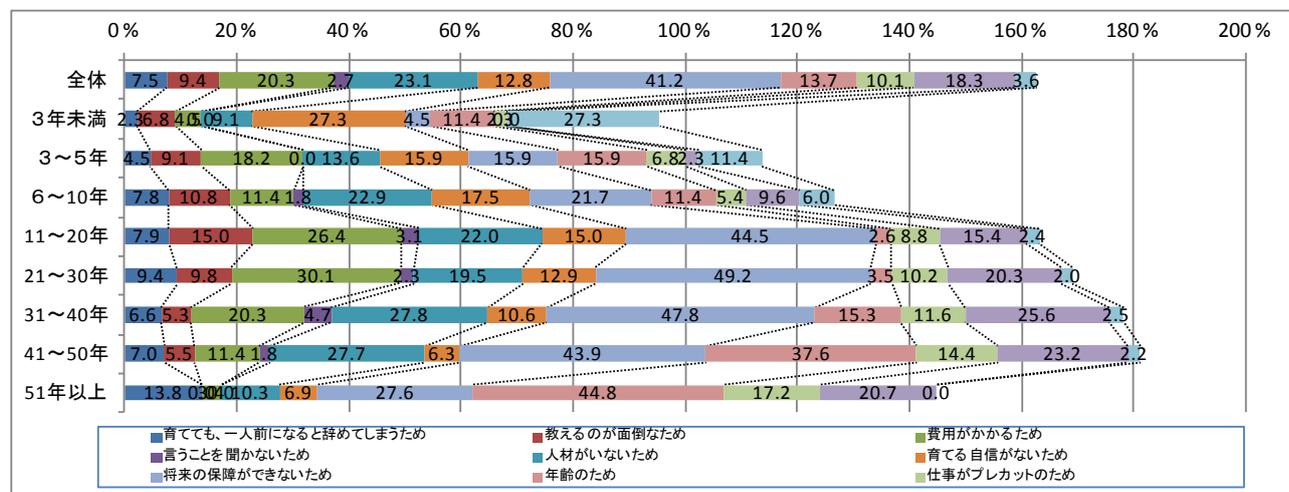


図 5.20# なぜ育てる予定はないのか (H25年度)

2.4.5.5 担い手の育成にかかる費用の公的補助について、1人/月当たりどの程度必要と考えますか。

「3万円/月」の割合が最も高いのは「41～50年」で5.4%。
 「5万円/月」の割合が最も高いのは「11～20年」で16.3%。
 「10万円/月」の割合が最も高いのは「11～20年」で32.9%。
 「15万円/月」の割合が最も高いのは「21～30年」で24.1%。

	合計	(22)担い手の育成にかかる費用の公的補助はどの程度必要か						
		3万円/月	5万円/月	10万円/月	15万円/月	必要ない	不明	
全体	5,021	4.1	14.9	30.2	18.6	3.2	29.0	
経験年数	3年未満	221	3.6	11.8	12.7	10.4	4.1	57.5
	3～5年	189	2.1	9.5	24.3	13.8	2.6	47.6
	6～10年	456	2.6	15.4	27.6	17.3	5.0	32.0
	11～20年	1,519	4.1	16.3	32.9	21.9	3.2	21.7
	21～30年	939	3.7	15.0	32.1	24.1	2.6	22.6
	31～40年	821	5.1	14.4	31.4	16.2	3.3	29.6
	41～50年	742	5.4	14.8	29.6	13.2	2.7	34.2
	51年以上	109	0.0	10.1	30.3	12.8	5.5	41.3

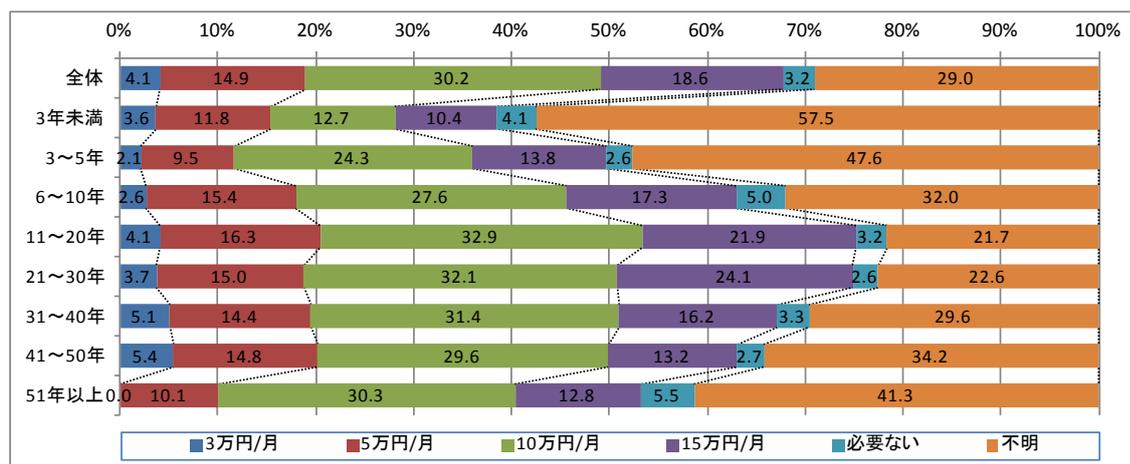


図 5.21. 公的補助について、1人/月当たりどの程度必要か（H26年度）

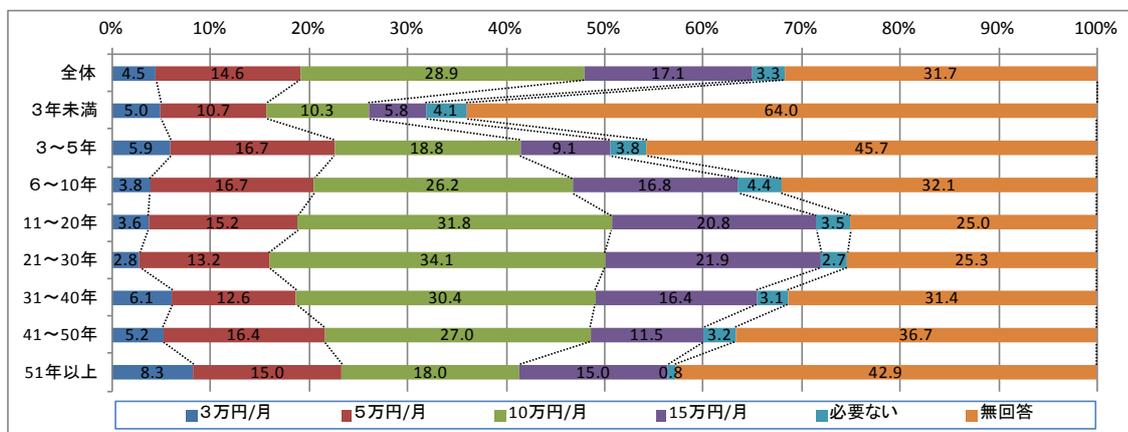


図 5.21 # 公的補助について、1人/月当たりどの程度必要か（H25年度）

2.5 雇用形態別集計

2.5.1 職業等について

2.5.1.1 職種においてベテランだと思いませんか。

「見習い」の割合は「その他（アルバイト等）」が54.2%で最も高い。

「中堅（「やや中堅」を含む）」の割合は「工務店社員」で54.4%で最も高い。

「ベテラン（「ややベテラン」を含む）」の割合は「元請として仕事」が56.1%で最も高い。

	合計	(5)あなたのベテラン度合いについて					
		ベテラン	ややベテラン	中堅	やや中堅	見習い	不明
全体	5,021	18.8	21.4	34.1	13.4	9.8	2.5
雇用形態							
工務店社員	1,850	9.9	16.4	35.5	18.9	17.0	2.3
外注常用(日当制)	604	13.1	21.7	37.4	14.4	9.9	3.5
外注常用(坪請主体)	515	21.6	24.5	37.1	10.9	3.7	2.3
その都度契約	169	18.9	27.2	37.3	12.4	2.4	1.8
元請として仕事	1,714	30.2	25.9	31.2	7.8	2.8	2.1
その他(アルバイト等)	59	6.8	10.2	13.6	13.6	54.2	1.7

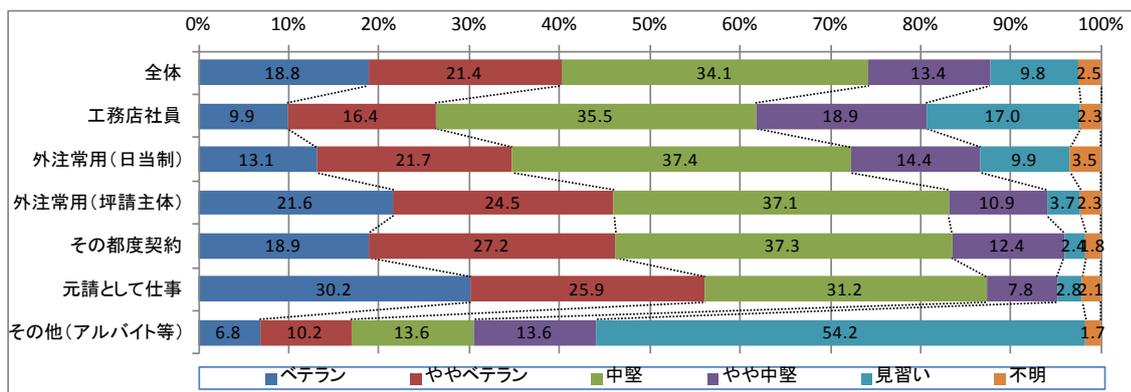


図 6.1 職種のベテラン度合 (H26 年度)

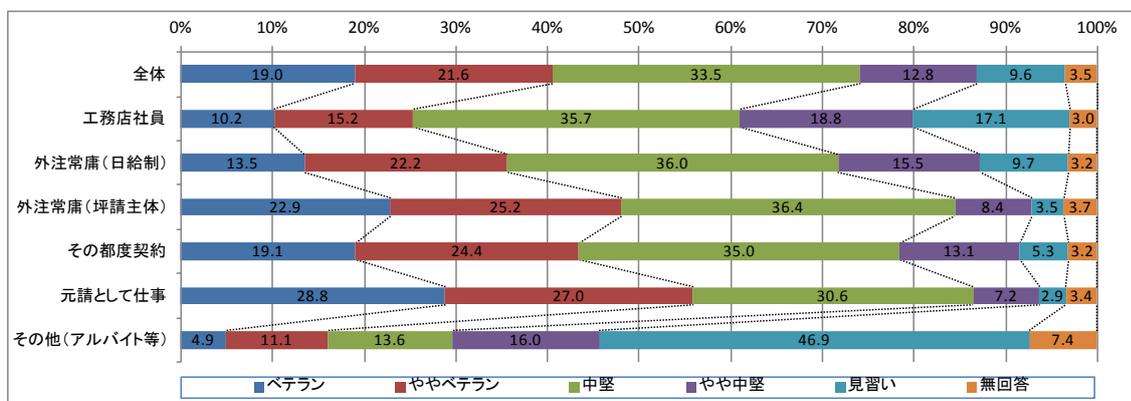


図 6.1# 年齢 (H25 年度)

2.5.2 雇用形態について

2.5.2.1 就業規則

就業規則が「有る」と回答した割合は「工務店社員」が41.6%で最も高い。

「無い」と回答した割合は「その都度契約」が71.6%で最も高い。

	合計	(7)就業規則		
		有	無	不明
全体	5,021	26.8	52.7	20.5
雇用形態				
工務店社員	1,850	41.6	37.6	20.8
外注常用(日当制)	604	16.6	61.8	21.7
外注常用(坪請主体)	515	9.1	70.1	20.8
その都度契約	169	11.8	71.6	16.6
元請として仕事	1,714	21.6	60.0	18.4
その他(アルバイト等)	59	20.3	59.3	20.3

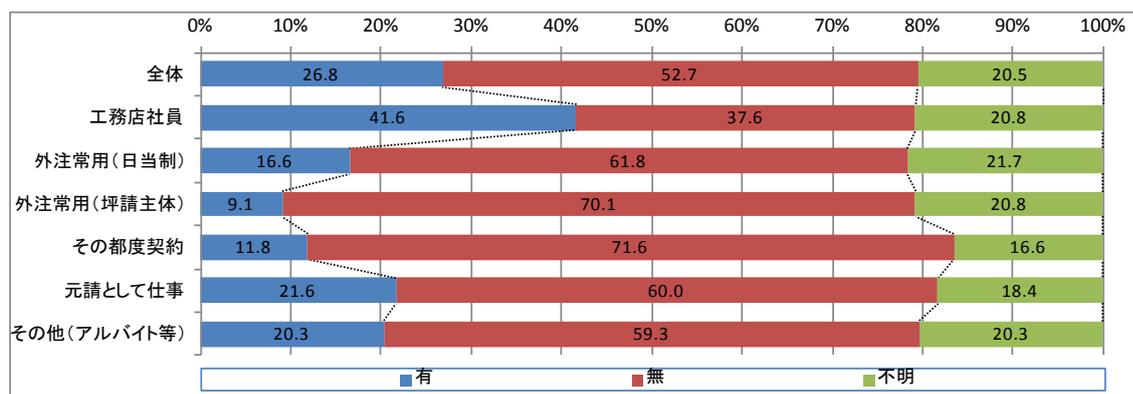


図 6.2 就業規則 (H26年度)

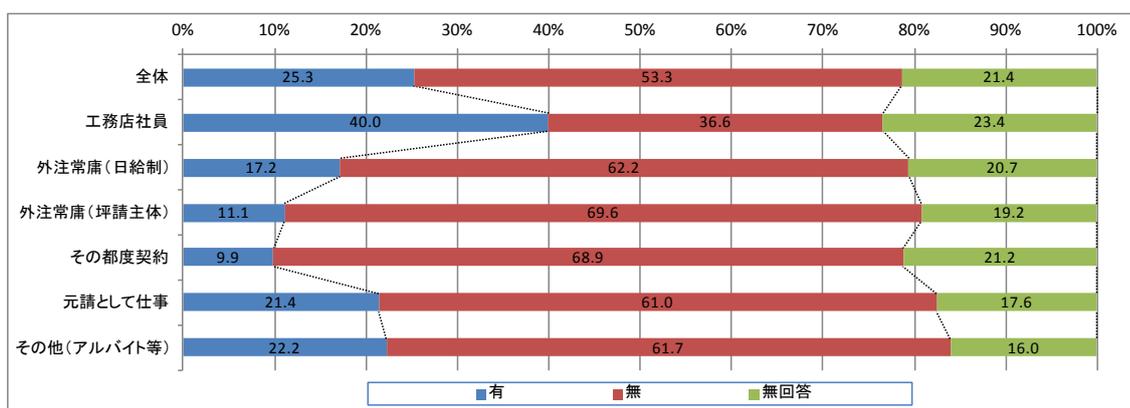


図 6.2 就業規則 (H25年度)

2.5.2.2 有給休暇

有給休暇が「有る」と回答した割合が最も高いのは「工務店社員」で 21.6%。

「無い」と回答した割合が最も高いのは「その都度契約」で 80.5%。

	合計	(8)有給休暇		
		有	無	不明
全体	5,021	12.1	64.7	23.2
雇用形態				
工務店社員	1,850	21.6	59.1	19.2
外注常用(日当制)	604	3.0	71.9	25.2
外注常用(坪請主体)	515	2.5	70.9	26.6
その都度契約	169	2.4	80.5	17.2
元請として仕事	1,714	8.9	66.0	25.1
その他(アルバイト等)	59	11.9	69.5	18.6

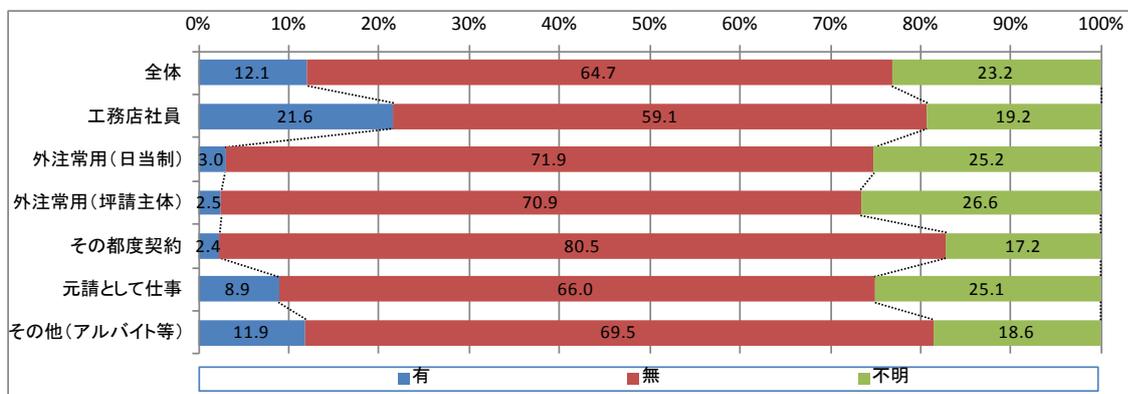


図 6.3 有給休暇 (H26 年度)

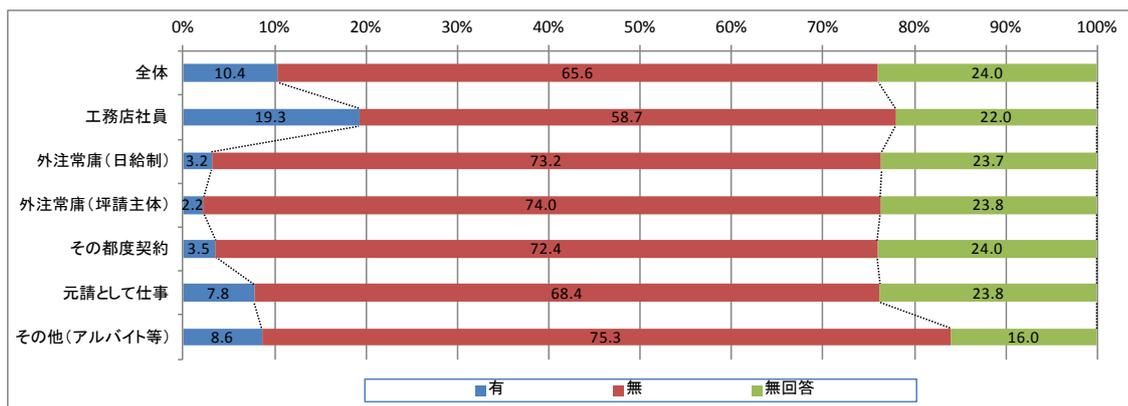


図 6.3 有給休暇 (H25 年度)

2.5.2.3 年間就業日数

平均年間就業日数が最も高いのは「外注常用（坪請主体）」で273.2日。
平均年間就業日数が最も低いのは「その他（アルバイト等）」で242.9日。

	合計	(9)年間就業日数							平均
		100日未 満	100～ 150日未 満	150～ 200日未 満	200～ 250日未 満	250～ 300日未 満	300日以 上	不明	
全体	5,021	3.0	0.6	0.6	6.0	20.4	27.9	41.5	266.65
雇用 形態									
工務店社員	1,850	3.6	0.5	0.2	4.5	21.9	25.2	44.1	264.89
外注常用(日当制)	604	1.7	0.3	1.3	8.4	21.7	27.0	39.6	266.02
外注常用(坪請主体)	515	3.1	0.6	0.8	5.0	15.3	37.9	37.3	273.21
その都度契約	169	4.1	0.6	1.2	8.3	17.2	34.9	33.7	264.27
元請として仕事	1,714	2.7	0.8	0.8	6.9	21.0	28.4	39.4	267.17
その他(アルバイト等)	59	5.1	0.0	1.7	6.8	13.6	18.6	54.2	242.96

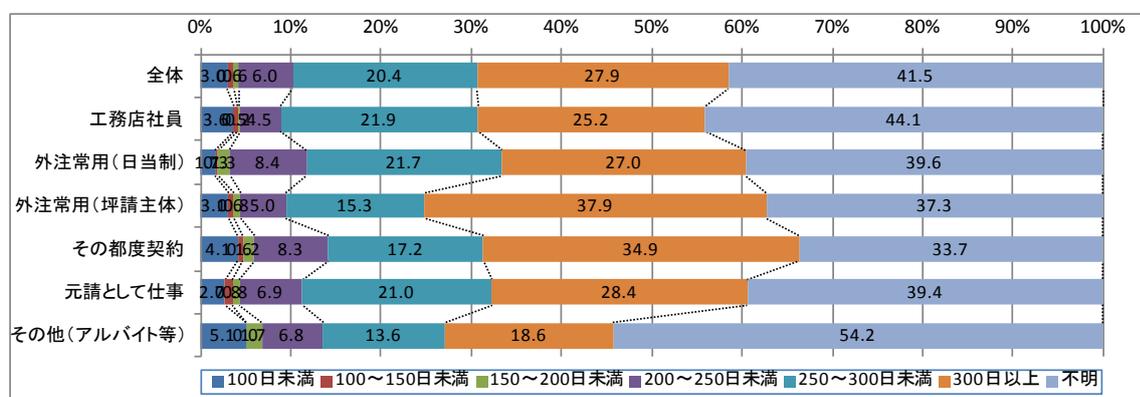


図 6.4 年間就業日数 (H26 年度)

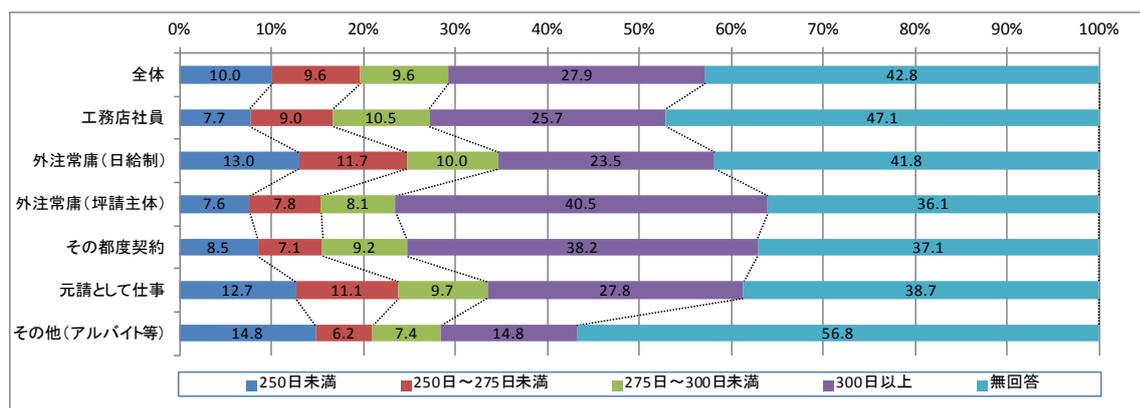


図 6.4 年間就業日数 (H25 年度)

2.5.2.1 保険等について

2.5.2.1.1 年金保険

「厚生年金」の加入している割合は「工務店社員」が最も高く 54.1%。

「国民年金」の加入している割合は「外注常雇（日当制坪請主体）」が最も高く 79.8%。

「企業年金」の加入している割合は「元請として仕事」が最も高く 1.2%。

	合計	(10-1)加入している年金				
		厚生年金	国民年金	企業年金	不明	
全体	5,021	30.1	56.7	0.8	14.0	
雇用形態	工務店社員	1,850	54.1	37.2	0.6	10.1
	外注常用(日当制)	604	5.1	75.7	0.3	19.4
	外注常用(坪請主体)	515	2.7	79.8	0.8	17.7
	その都度契約	169	3.6	77.5	0.6	18.9
	元請として仕事	1,714	24.2	62.8	1.2	13.7
	その他(アルバイト等)	59	22.0	50.8	0.0	28.8

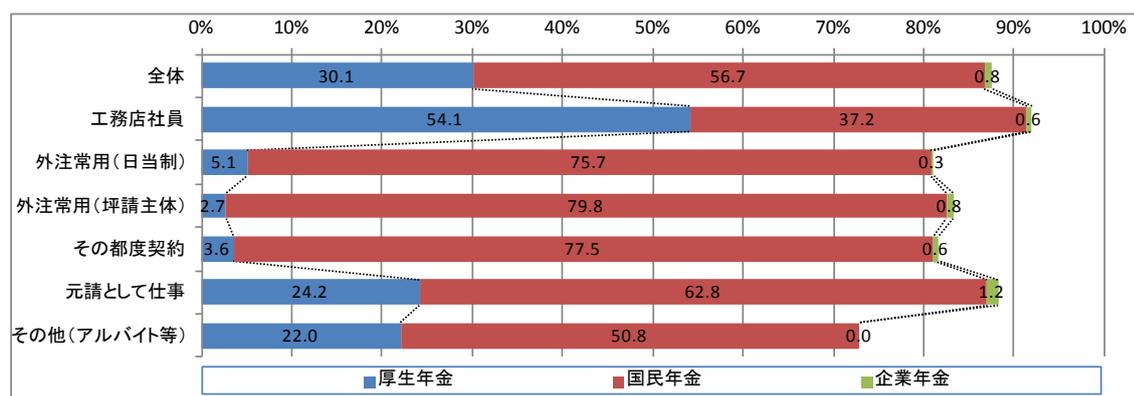


図 6.5 年金保険（H26年度）

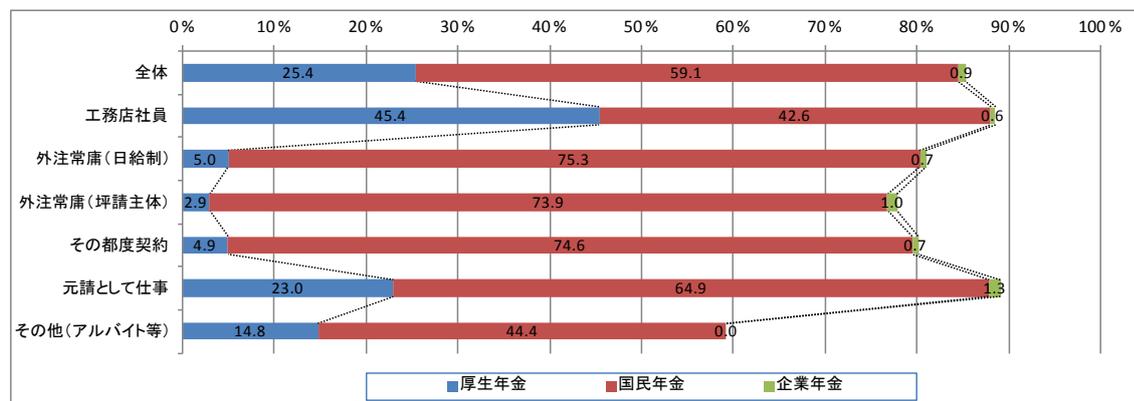


図 6.5 年金保険（H25年度）

2.5.2.1.2 労働保険

「雇用保険」の割合が最も高いのは「工務店社員」で37.0%。

「労災保険」の割合が最も高いのは「元請として仕事」で46.1%。

「一人親方労災保険」の割合が最も高いのは「外注常雇（坪請主体）」で57.5%。

	合計	(10-2)加入している労働保険				
		雇用保 険	労災保 険	一人親 方労災 保険	不明	
全体	5,021	19.1	35.7	27.3	28.8	
雇 用 形 態	工務店社員	1,850	37.0	36.6	5.9	31.6
	外注常用(日当制)	604	5.8	23.0	39.1	36.8
	外注常用(坪請主体)	515	2.1	20.0	57.5	24.7
	その都度契約	169	3.6	22.5	51.5	29.0
	元請として仕事	1,714	11.7	46.1	35.1	22.7
	その他(アルバイト等)	59	8.5	22.0	18.6	52.5

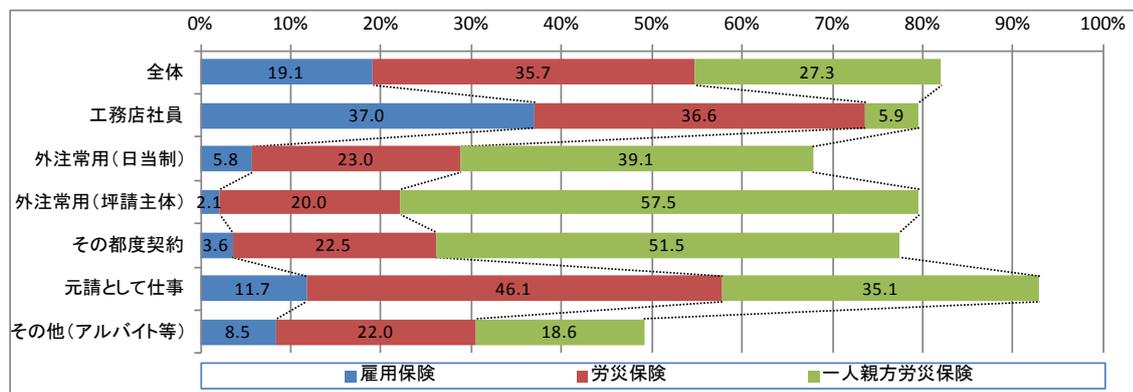


図 6.6 労働保険 (H26 年度)

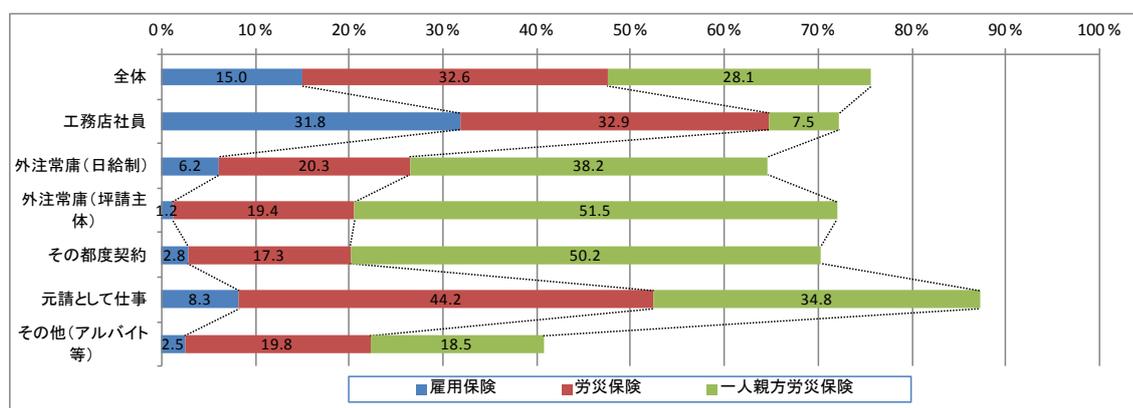


図 6.6 労働保険 (H25 年度)

2.5.2.1.3 健康保険

「国民健康保険」の割合が最も高いのは「外注常用（日当制）」で35.9%。

「組合健康保険（建設国保）」の割合が最も高いのは「外注常用（坪請主体）」で54.6%。

「組合健康保険（建設国保以外）」の割合が最も高いのは「その他（アルバイト等）」で5.1%。

「その他の健康保険」の割合が最も高いのは「工務店社員」で5.7%。

	合計	(10-3)加入している健康保険				
		国民健康保険	組合健康保険 (建設国保)	組合健康保険 (建設国保以外)	その他の健康保険	不明
全体	5,021	30.0	41.8	2.6	3.5	22.8
雇用形態						
工務店社員	1,850	32.4	29.7	2.5	5.7	30.4
外注常用(日当制)	604	35.9	43.9	1.7	1.0	17.9
外注常用(坪請主体)	515	26.8	54.6	2.7	0.6	15.7
その都度契約	169	30.2	53.3	4.1	0.0	13.0
元請として仕事	1,714	26.6	49.8	2.9	3.3	18.2
その他(アルバイト等)	59	30.5	37.3	5.1	1.7	27.1

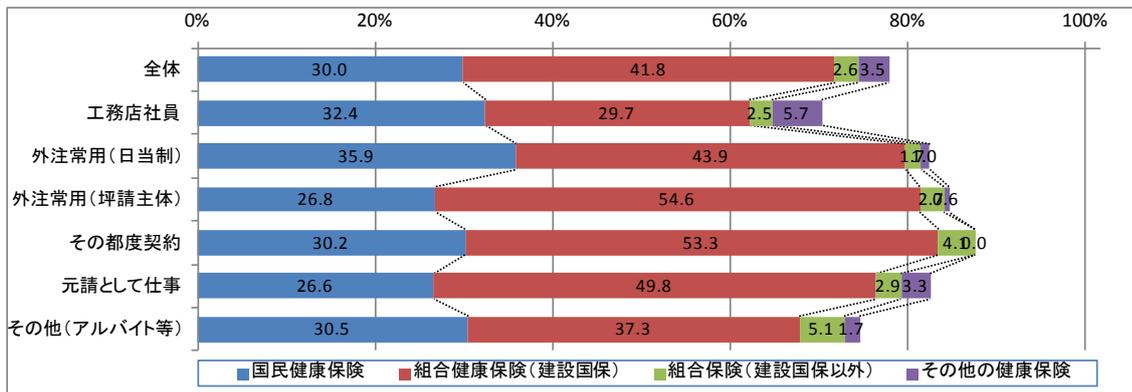


図 6.7 健康保険 (H26 年度)

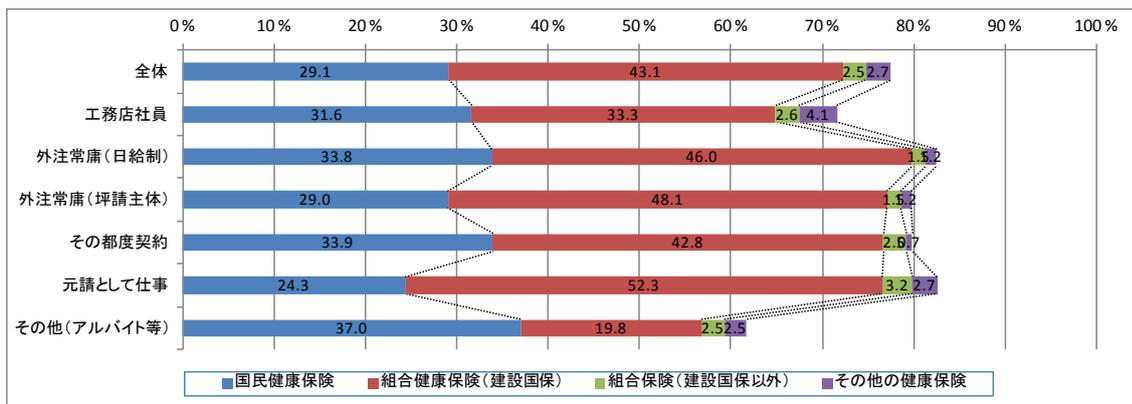


図 6.7# 健康保険 (H25 年度)

2.5.2.2 賃金の中に含まれ、自己負担となっているもの

自己負担となっているものの割合の合計が最も高いのは「外注常庸（坪請主体）」で442.7%。最も低いのは「工務店社員」で189.2%。

	合計	(11)自己負担となっているもの						
		手道具	電動工具	クギ金物	車(保険含む)	ガソリン	全て所属する工務店等が負担	不明
全体	5,021	71.8	65.1	24.6	52.5	52.1	14.8	7.6
雇用形態								
工務店社員	1,850	66.3	53.7	3.9	33.2	32.1	20.1	5.9
外注常用(日当制)	604	86.9	86.8	22.2	75.5	76.5	2.6	3.1
外注常用(坪請主体)	515	94.0	94.6	71.5	91.7	90.9	1.9	1.6
その都度契約	169	89.3	89.9	56.8	82.8	84.6	3.6	4.7
元請として仕事	1,714	64.9	59.7	31.2	50.9	50.9	18.7	11.8
その他(アルバイト等)	59	57.6	49.2	13.6	50.8	45.8	15.3	18.6

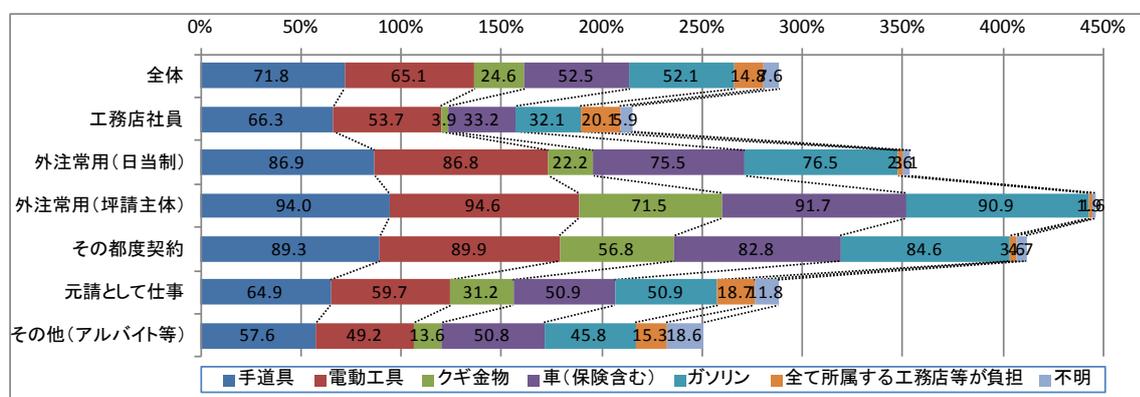


図 6.8 自己負担となっているもの (H26年度)

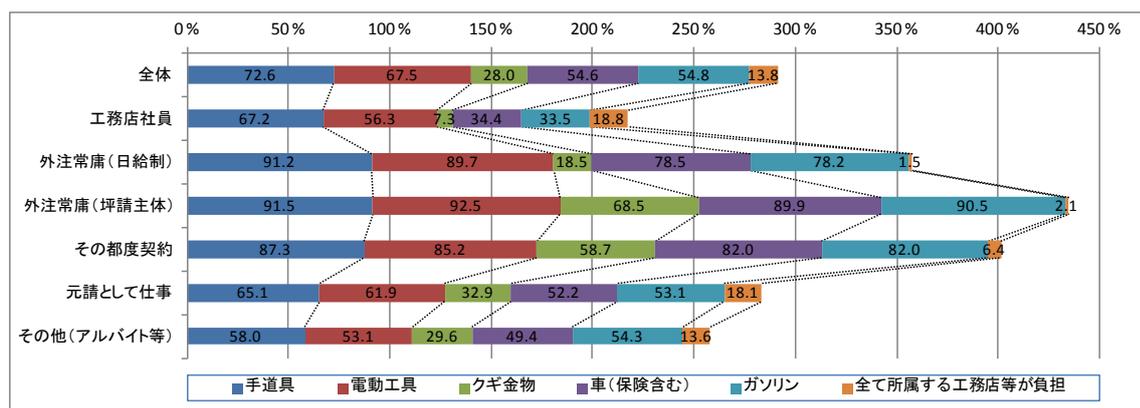


図 6.8# 自己負担となっているもの (H25年度)

2.5.2.3 おおよその賃金（諸経費が含まれた1日あたりの平均単価）

平均賃金が最も高いのは「外注常用（坪請主体）」で16,719.7円。

平均賃金が最も低いのは「その他（アルバイト等）」で11,916.7円、

	合計	(12)1日あたりのおおよその賃金							平均賃金
		8,000円未満	8,000～10,000円未満	10,000～15,000円未満	15,000～20,000円未満	20,000～25,000円未満	25,000円以上	不明	
全体	5,021	5.0	7.3	38.5	34.8	8.3	2.0	4.2	14,944.9
雇用形態									
工務店社員	1,850	8.2	13.1	50.5	19.7	3.5	0.9	4.0	13,143.6
外注常用(日当制)	604	3.6	5.6	44.7	39.9	3.8	0.5	1.8	14,615.5
外注常用(坪請主体)	515	0.6	3.7	29.9	43.7	15.3	4.5	2.3	16,719.7
その都度契約	169	2.4	1.2	27.8	54.4	10.7	3.0	0.6	16,532.7
元請として仕事	1,714	2.5	3.0	27.9	45.4	13.2	3.0	4.8	16,448.2
その他(アルバイト等)	59	30.5	13.6	25.4	18.6	1.7	1.7	8.5	11,916.7

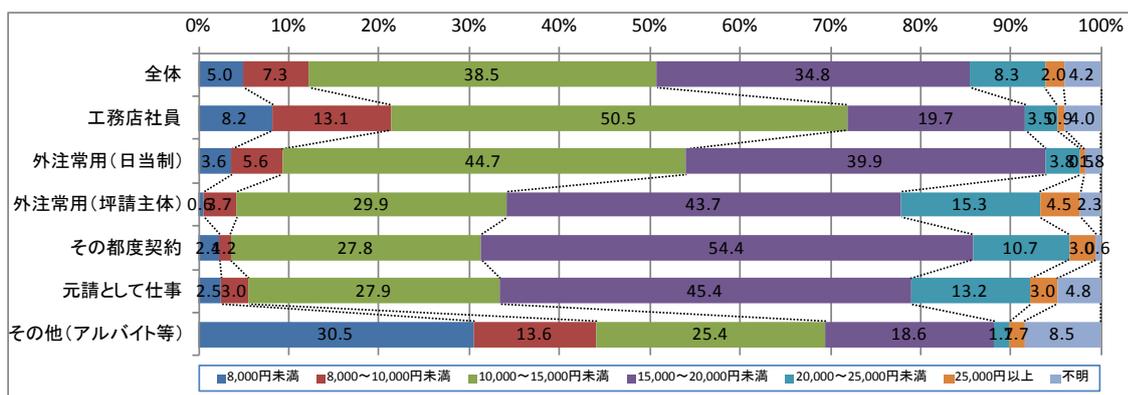


図 6.9 1日あたりのおおよその賃金 (H26年度)

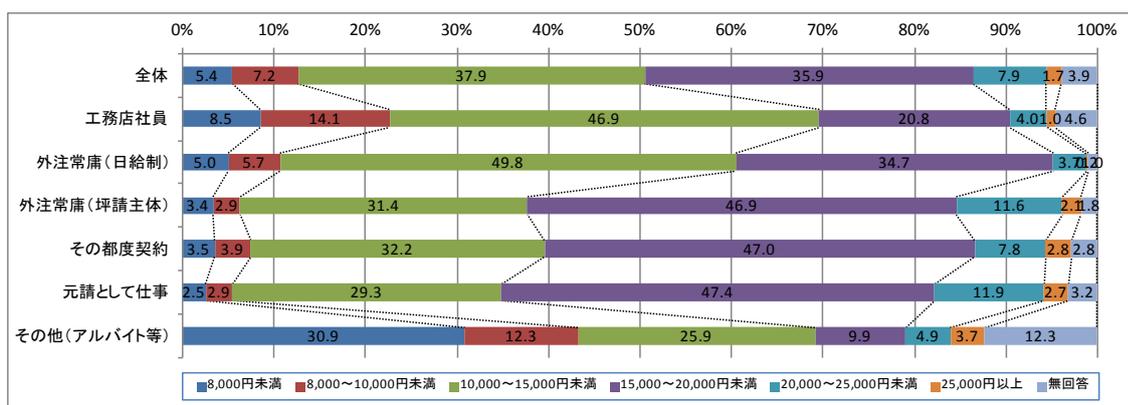


図 6.9# 1日あたりのおおよその賃金 (H25年度)

2.5.3 資格や技能について

2.5.3.1 持っている資格

持っている資格の割合の合計が最も高いのは「元請として仕事」で 344.3%。

持っている資格の割合の合計が最も低いのは「その他（アルバイト等）」で 164.5%。

雇用形態	合計	(13)お持ちの資格															
		1級建築士	2級建築士	木造建築士	1級建築施工管理技士	2級建築施工管理技士	1級建築大工技能士	2級建築大工技能士	枠組壁建築技能士	職業訓練指導員	増改築相談員	足場の組立て等作業主任者	木造建築物組立て作業主任者	玉掛け技能講習修了者	クレーン運転技能講習修了者	木材加工用機械作業主任者	不明
全体	5,021	5.2	31.8	3.6	3.9	15.0	15.4	12.6	2.2	12.1	8.8	37.6	42.5	43.6	19.3	12.4	18.1
工務店社員	1,850	3.8	27.1	1.9	3.5	13.4	15.2	14.2	1.9	7.7	5.4	31.6	32.2	44.1	19.0	8.6	22.9
外注常用(日当制)	604	1.8	22.0	3.6	1.5	8.9	13.2	14.7	1.8	8.8	4.0	29.3	36.9	39.1	12.4	9.3	24.5
外注常用(坪請主体)	515	0.8	25.2	4.1	0.6	7.0	12.4	10.9	3.5	9.1	2.7	32.0	55.3	47.6	12.0	8.3	19.2
その都度契約	169	3.6	21.9	4.1	1.2	13.0	13.0	13.6	1.2	10.7	3.6	33.7	48.5	37.3	16.0	8.3	20.7
元請として仕事	1,714	9.3	43.9	5.3	6.7	21.8	18.1	10.7	2.6	19.3	16.6	49.3	52.2	44.2	24.6	19.7	9.2
その他(アルバイト等)	59	3.4	23.7	1.7	0.0	10.2	8.5	8.5	0.0	8.5	1.7	20.3	27.1	35.6	11.9	3.4	44.1

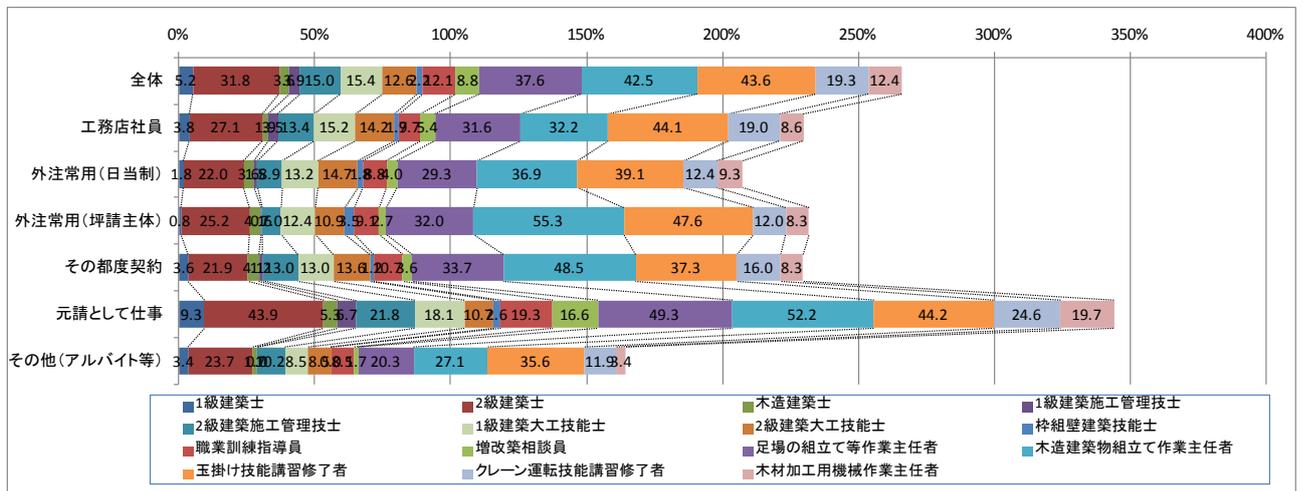


図 6.10 持っている資格 (H26 年度)

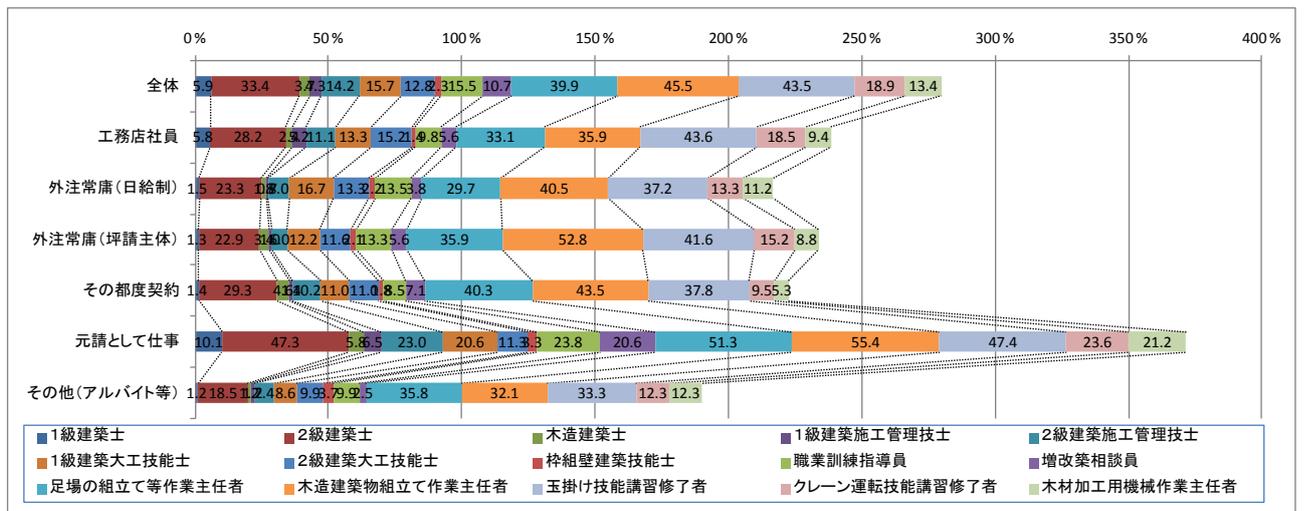


図 6.10# 持っている資格 (H25 年度)

2.5.3.2 大工職のみ回答 墨付けができますか。

墨付けができると回答した割合が最も高いのは「その都度契約」で84.0%。
できると回答した割合が最も低いのは「その他（アルバイト等）」で47.5%。

	合計	(14)①墨付けができますか			
		はい	いいえ	不明	
全体	5,021	74.7	14.3	11.0	
雇用形態	工務店社員	1,850	65.1	23.8	11.1
	外注常用(日当制)	604	73.8	15.2	10.9
	外注常用(坪請主体)	515	83.3	8.5	8.2
	その都度契約	169	84.0	8.3	7.7
	元請として仕事	1,714	83.1	5.4	11.5
	その他(アルバイト等)	59	47.5	33.9	18.6

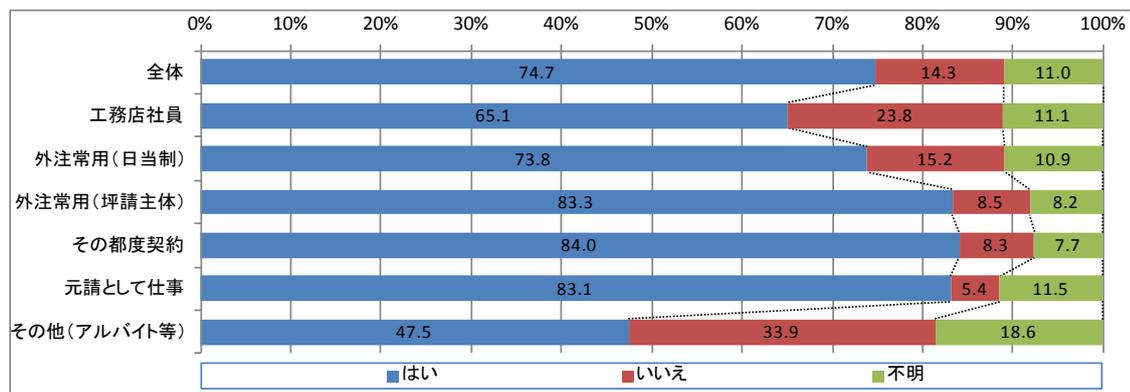


図 6.11 墨付け (H26 年度)

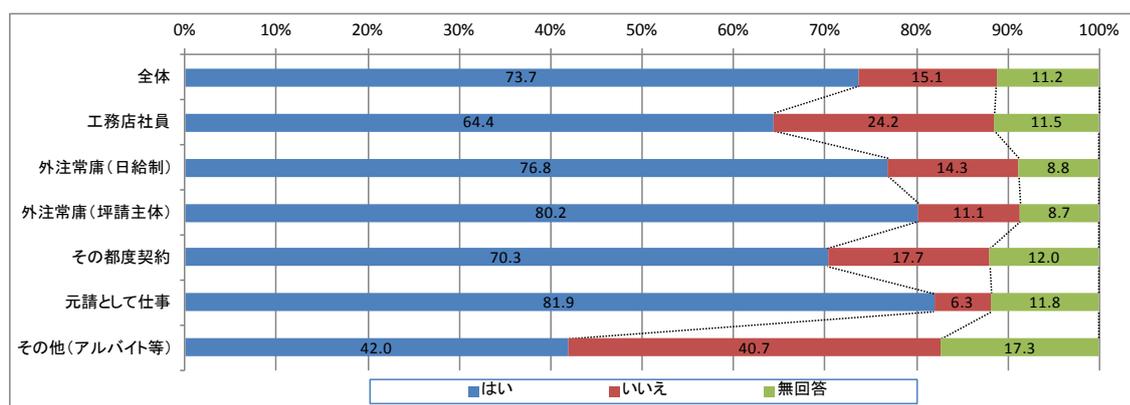


図 6.11# 墨付け (H25 年度)

2.5.3.3 **大工職のみ回答** 今でも手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか。(新築)

新築の手刻み加工の仕事をを行っている割合が最も高いのは「工務店社員」で27.6%、次いで「元請として仕事」で27.5%。

「いいえ」と回答した割合が最も高いのは「外注常庸（坪請主体）」で75.9%、次いで「その都度契約」で69.8%。

	合計	(14)②新築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか		
		はい	いいえ	不明
全体	5,021	25.7	61.7	12.6
雇用形態				
工務店社員	1,850	27.6	60.6	11.7
外注常用(日当制)	604	26.7	60.8	12.6
外注常用(坪請主体)	515	14.0	75.9	10.1
その都度契約	169	20.1	69.8	10.1
元請として仕事	1,714	27.5	58.3	14.1
その他(アルバイト等)	59	15.3	67.8	16.9

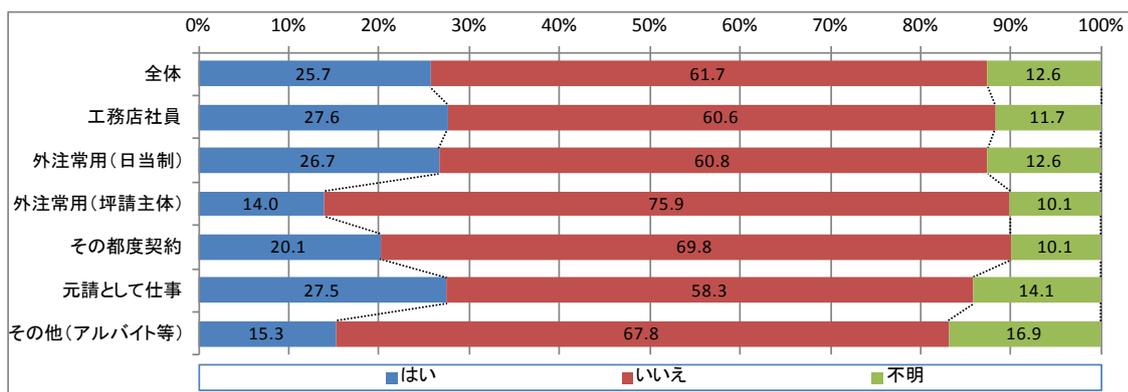


図 6.12 手刻み加工の仕事（新築）（H26年度）

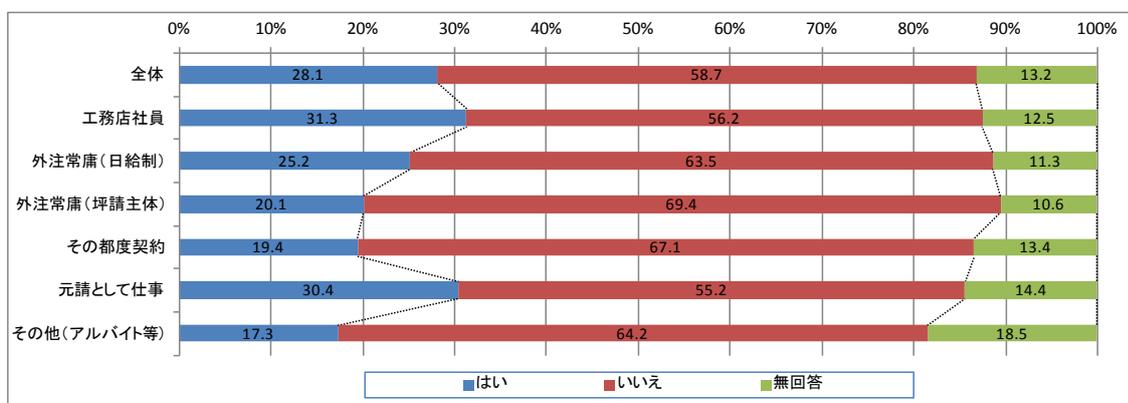


図 6.12# 手刻み加工の仕事（H25年度）

2.5.3.4 **大工職のみ回答** 今でも手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか。（増改築）

増改築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っている割合が最も高いのは「元請として仕事」で60.4%、次いで「工務店社員」で51.7%。

「いいえ」と回答した割合が最も高いのは「外注常用（坪請主体）」で58.1%、次いで「その他（アルバイト等）」で47.5%。

		(14)③増改築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか			
		合計	はい	いいえ	不明
全体		5,021	51.8	36.1	12.0
雇用形態	工務店社員	1,850	51.7	36.6	11.7
	外注常用(日当制)	604	50.5	37.4	12.1
	外注常用(坪請主体)	515	32.8	58.1	9.1
	その都度契約	169	42.0	46.2	11.8
	元請として仕事	1,714	60.4	27.0	12.7
	その他(アルバイト等)	59	35.6	47.5	16.9

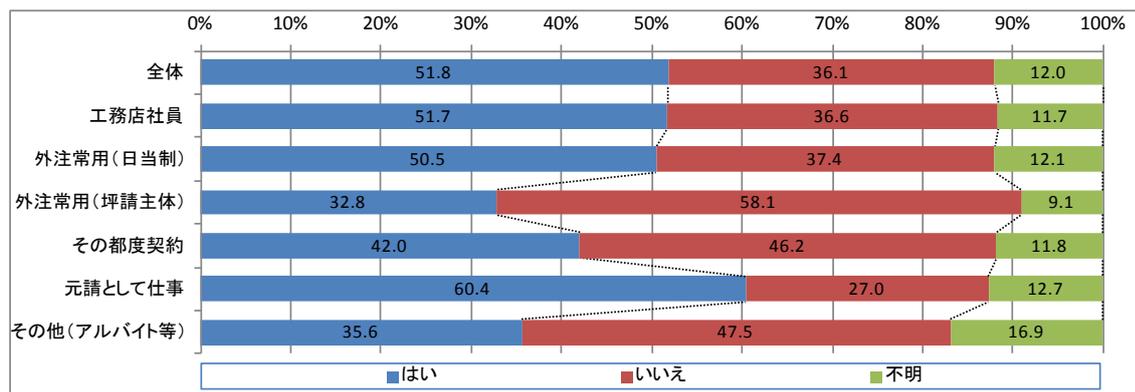


図 6.13 手刻み加工の仕事（増改築）（H26年度）

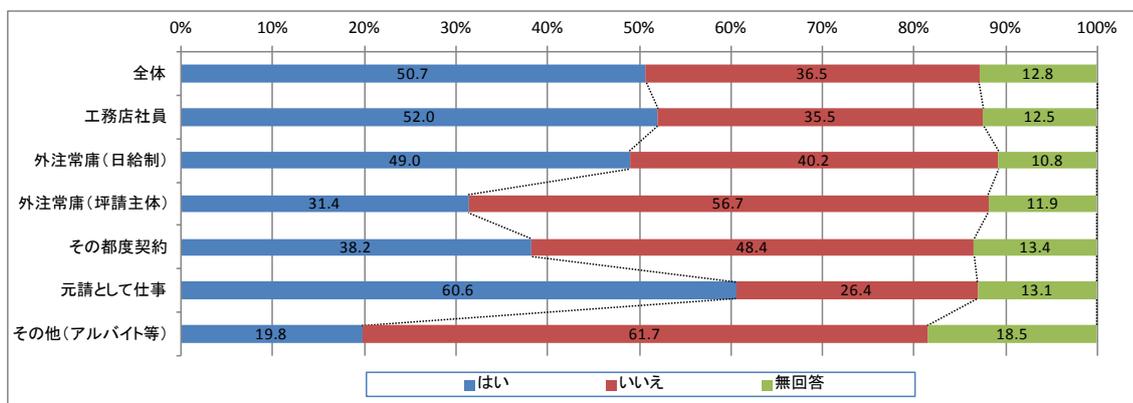


図 6.13# 手刻み加工の仕事（増改築）（H25年度）

2.5.3.5 大工職のみ回答 和室造作が出来ますか。

和室造作ができると回答した割合が最も高かったのは「外注常庸（坪請主体）」で86.4%、次いで「その都度契約」で81.7%。

「いいえ」と回答した割合が最も高かったのは「その他（アルバイト等）」で45.8%、次いで「工務店社員」で31.6%。

	合計	(14)④和室造作が出来ますか			
		はい	いいえ	不明	
全体	5,021	70.1	18.2	11.7	
雇用形態	工務店社員	1,850	56.8	31.6	11.6
	外注常用(日当制)	604	69.5	18.4	12.1
	外注常用(坪請主体)	515	86.4	4.9	8.7
	その都度契約	169	81.7	9.5	8.9
	元請として仕事	1,714	80.3	7.3	12.4
	その他(アルバイト等)	59	35.6	45.8	18.6

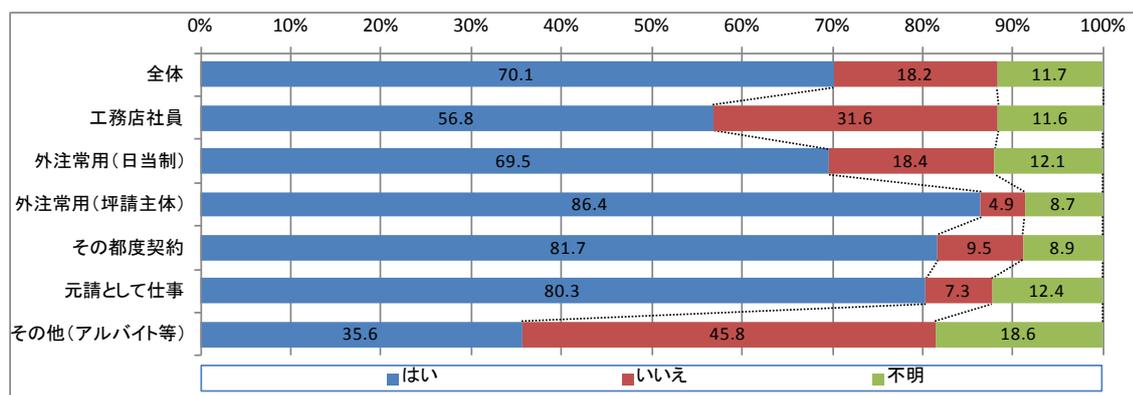


図 6.14 和室造作 (H26 年度)

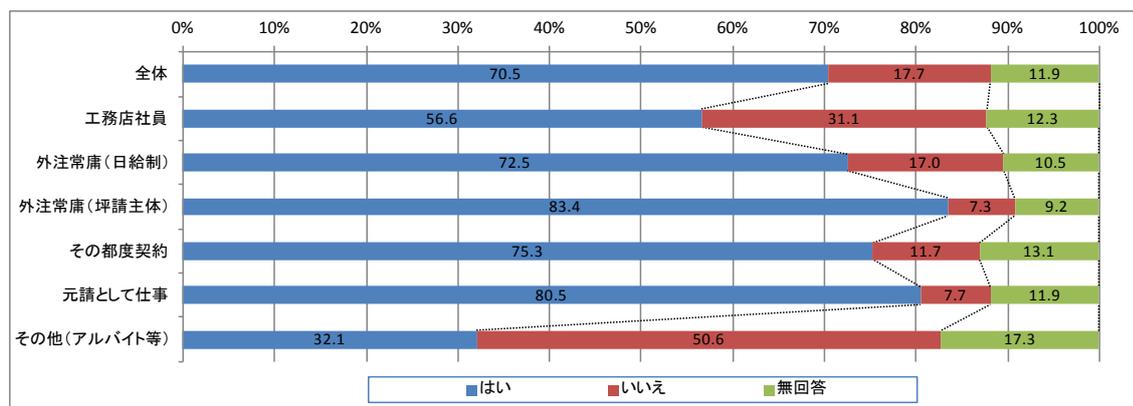


図 6.14# 和室造作 (H25 年度)

2.5.3.6 大工職のみ回答 2×4工法の住宅の施工ができますか。

2×4工法の住宅の施工ができると回答した割合が最も高かったのは「外注常雇（坪請主体）」で38.6%、次いで「その都度契約」で33.1%。

「いいえ」と回答した割合が最も高かったのは「工務店社員」で66.5%、次いで「その他（アルバイト等）」で62.7%。

	合計	(14)⑤2×4工法の住宅の施工ができますか		
		はい	いいえ	不明
全体	5,021	27.3	59.5	13.1
雇用形態				
工務店社員	1,850	21.2	66.5	12.2
外注常用(日当制)	604	30.3	56.3	13.4
外注常用(坪請主体)	515	38.6	52.0	9.3
その都度契約	169	33.1	52.7	14.2
元請として仕事	1,714	29.1	56.2	14.7
その他(アルバイト等)	59	20.3	62.7	16.9

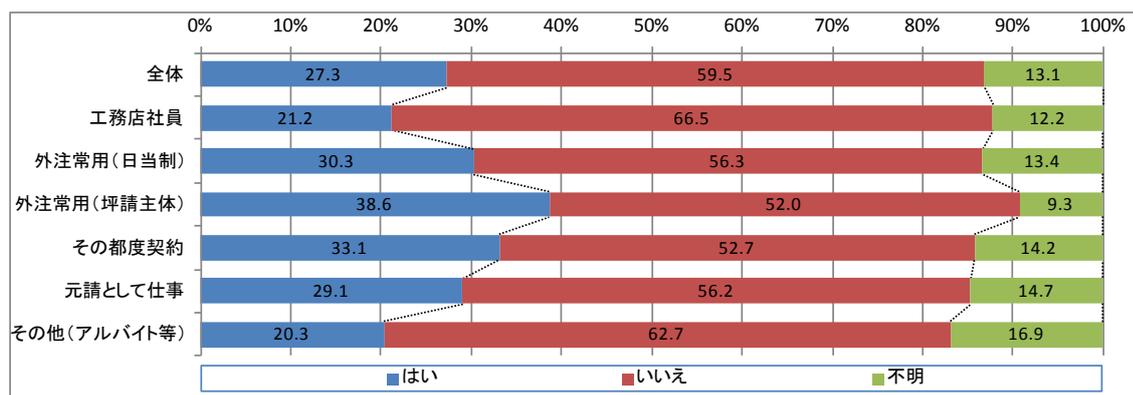


図 6.15 2×4工法の住宅の施工（H26年度）

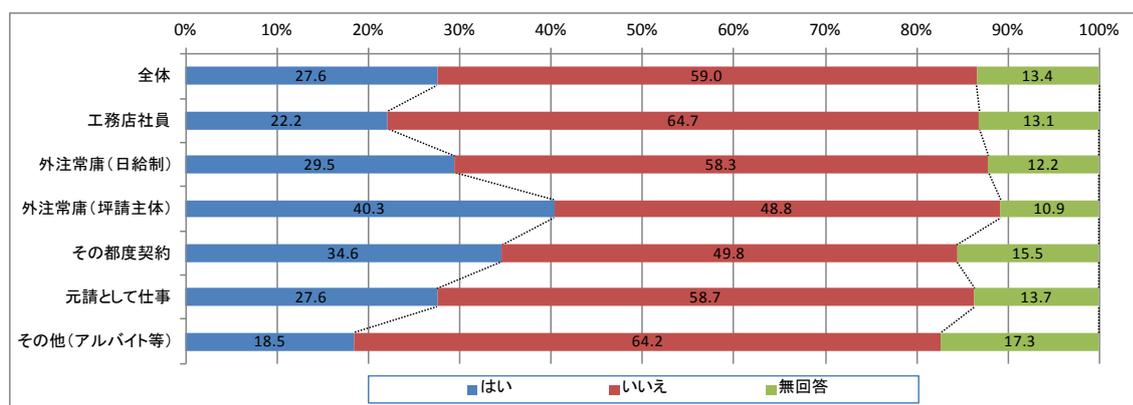


図 6.15# 2×4工法の住宅の施工（H25年度）

2.5.4 仕事に対する満足度や今後の意向について

2.5.4.1 現在の仕事の内容について満足していますか。

「とても満足している」、「まあ満足している」の割合を合計した満足している割合が最も高いのは「工務店社員」で66.8%、次いで「元請として仕事」で60.5%。

「あまり満足していない」、「満足していない」の割合を合計した満足していない割合が最も高いのは「外注常用（坪請主体）」で43.3%、次いで「その都度契約」で39.1%。

	合計	(15)現在の仕事の内容について満足度				
		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	不明
全体	5,021	9.6	50.9	24.6	6.6	8.3
雇用形態						
工務店社員	1,850	11.4	55.4	21.1	5.2	7.0
外注常用(日当制)	604	7.5	48.0	28.6	6.6	9.3
外注常用(坪請主体)	515	4.7	43.9	29.9	13.4	8.2
その都度契約	169	4.7	47.9	29.6	9.5	8.3
元請として仕事	1,714	10.7	49.8	25.3	5.4	8.8
その他(アルバイト等)	59	8.5	37.3	22.0	16.9	15.3

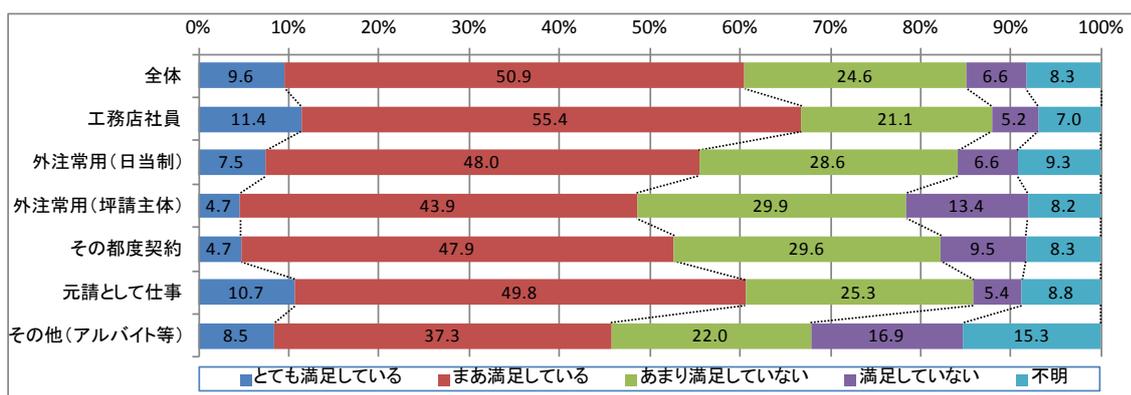


図 6.16 仕事の内容についての満足度（H26年度）

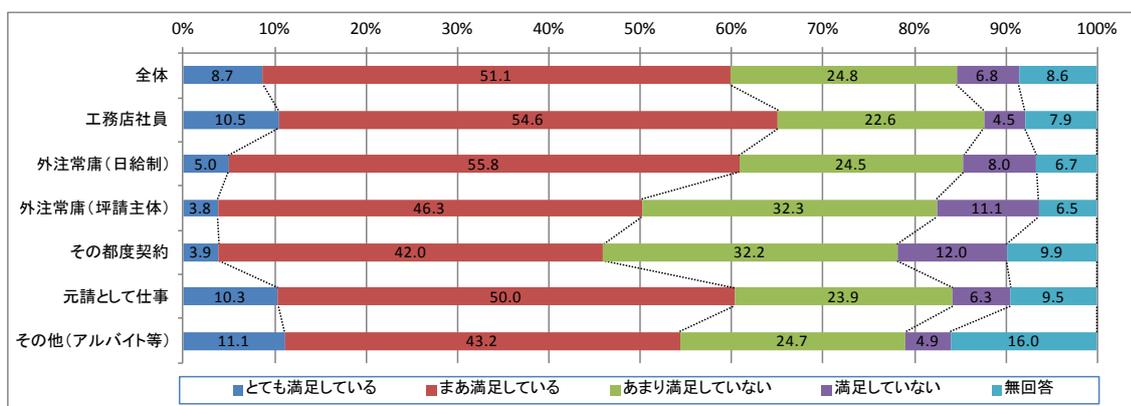


図 6.16# 仕事の内容についての満足度（H25年度）

2.5.4.2 現在の仕事で得られる収入等について満足していますか。

「とても満足している」、「まあ満足している」の割合を合計した満足している割合が最も高いのは「工務店社員」で41.7%、次いで「その他（アルバイト等）」で37.3%。

「あまり満足していない」、「満足していない」の割合を合計した満足していない割合が最も高いのは「その都度契約」で74.0%、次いで「外注常用（坪請主体）」で67.7%。

	合計	(16)現在の仕事で得られる収入等について満足度				
		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	不明
全体	5,021	3.7	31.5	39.1	17.5	8.3
雇用形態						
工務店社員	1,850	5.0	36.7	36.1	15.1	7.1
外注常用(日当制)	604	2.6	30.0	38.1	20.7	8.6
外注常用(坪請主体)	515	1.7	22.9	38.8	28.9	7.6
その都度契約	169	1.2	18.3	53.3	20.7	6.5
元請として仕事	1,714	3.4	30.4	41.9	15.3	8.9
その他(アルバイト等)	59	8.5	28.8	28.8	20.3	13.6

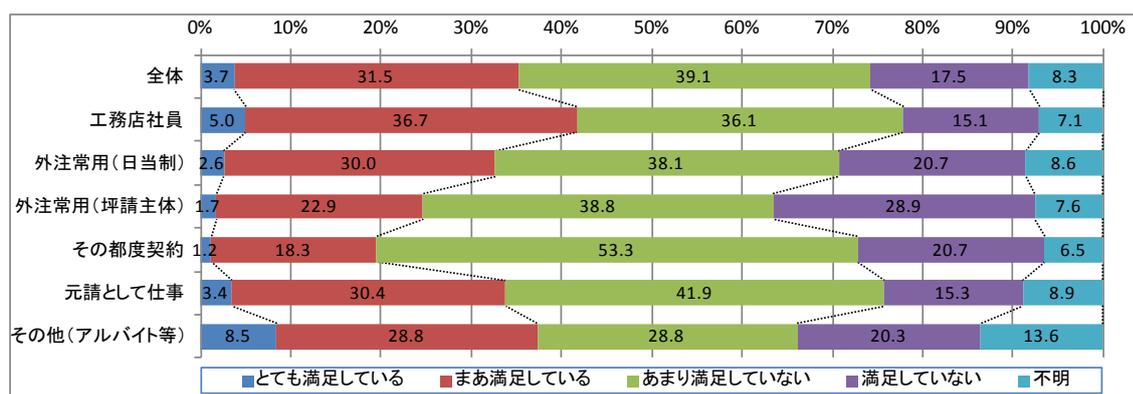


図 6.17 収入等についての満足度 (H26 年度)

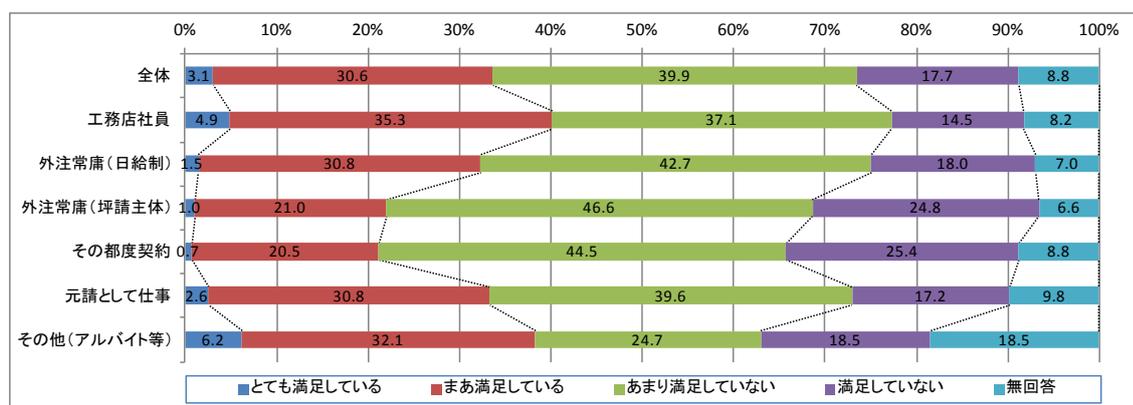


図 6.17 収入等についての満足度 (H25 年度)

2.5.4.3 今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか。

「仕事ができる限り続ける」の割合が最も高いのは「その都度契約」で59.8%。最も低いのは「元請として仕事」で47.4%。

「65歳で引退する」の割合が最も高いのは「工務店社員」で17.5%。

「70歳で引退する」の割合が最も高いのは「元請として仕事」で16.5%。

	合計	(17)今後何歳までお仕事を続けられる予定ですか						
		60歳で引退する	65歳で引退する	70歳で引退する	75歳で引退する	仕事ができる限り続ける	仕事がないため近々退職・引退する予定である	不明
全体	5,021	6.6	15.4	12.2	2.5	53.6	1.0	8.8
雇用形態								
工務店社員	1,850	7.5	17.5	7.9	0.9	57.3	1.0	7.9
外注常用(日当制)	604	5.8	12.6	12.3	2.8	55.5	0.8	10.3
外注常用(坪請主体)	515	4.9	13.4	13.6	3.3	55.1	1.6	8.2
その都度契約	169	9.5	8.9	13.0	2.4	59.8	0.0	6.5
元請として仕事	1,714	6.3	16.0	16.5	4.0	47.4	0.8	9.0
その他(アルバイト等)	59	3.4	6.8	10.2	0.0	55.9	8.5	15.3

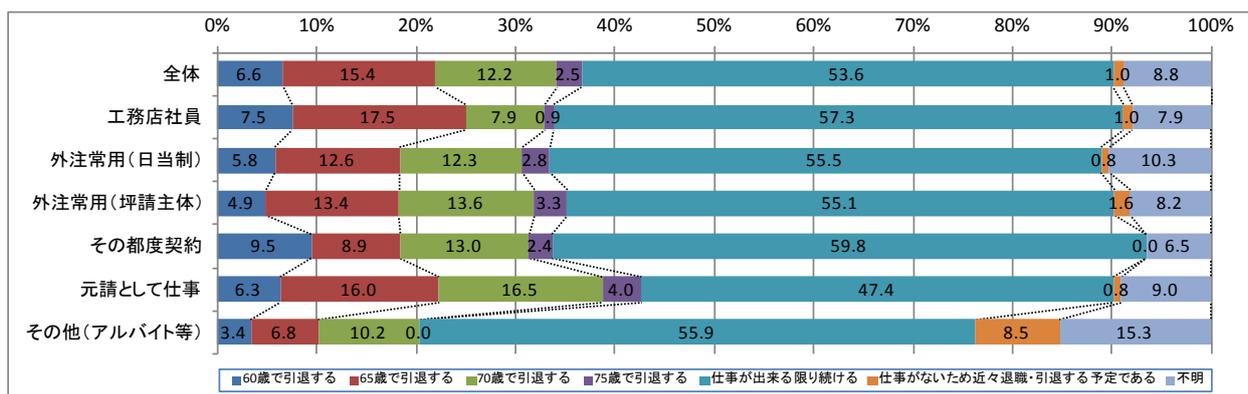


図 6.18 何歳まで仕事を続ける予定か (H26 年度)

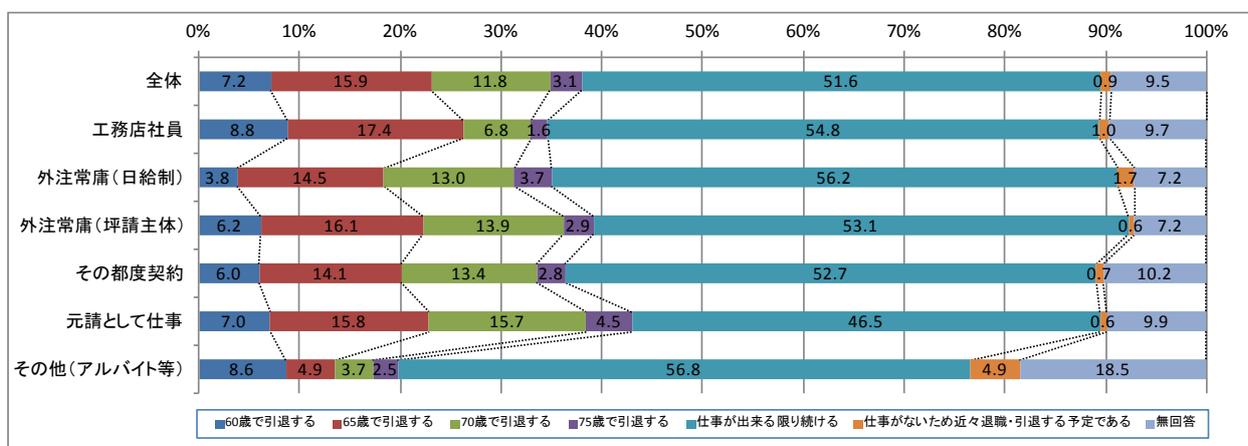


図 6.18 何歳まで仕事を続ける予定か (H25 年度)

2.5.5 担い手育成について

2.5.5.1 現在、担い手（見習い等）の育成を行っていますか。

「現在育てている」の割合が最も高いのは「元請として仕事」で19.8%。

「人材がいれば育てたい」の割合が最も高いのは「その都度契約」で43.8%。

「育てる予定はない」の割合が最も高いのは「外注常雇（日当制）」で46.9%。

	合計	(18)現在、担い手の育成を行っていますか			
		現在育てている	現在は育てていないが、人材がいれば育てたい	現在は育てていないし、今後育てる予定はない	不明
全体	5,021	15.4	40.2	30.9	13.6
雇用形態					
工務店社員	1,850	16.1	41.5	24.9	17.6
外注常雇(日当制)	604	6.8	31.0	46.9	15.4
外注常雇(坪請主体)	515	12.4	38.3	40.0	9.3
その都度契約	169	8.3	43.8	37.9	10.1
元請として仕事	1,714	19.8	43.6	27.5	9.1
その他(アルバイト等)	59	6.8	18.6	47.5	27.1

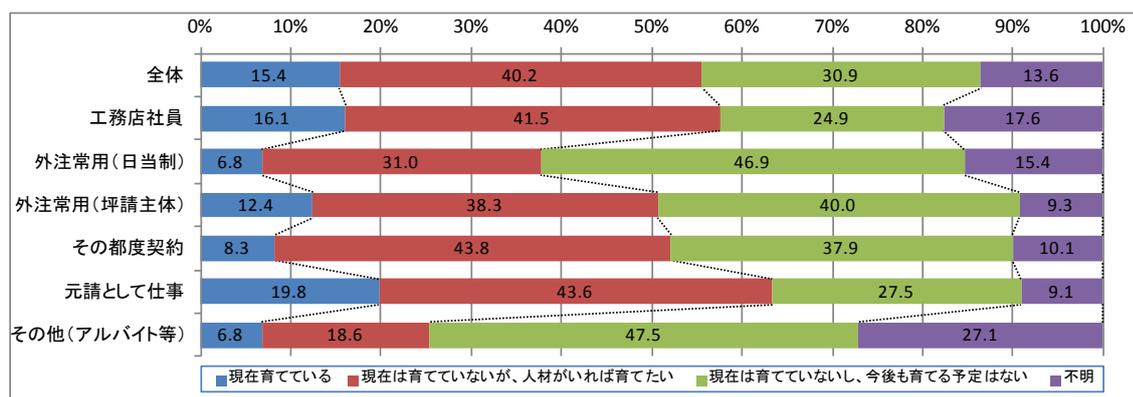


図 6.19 担い手の育成状況（H26年度）

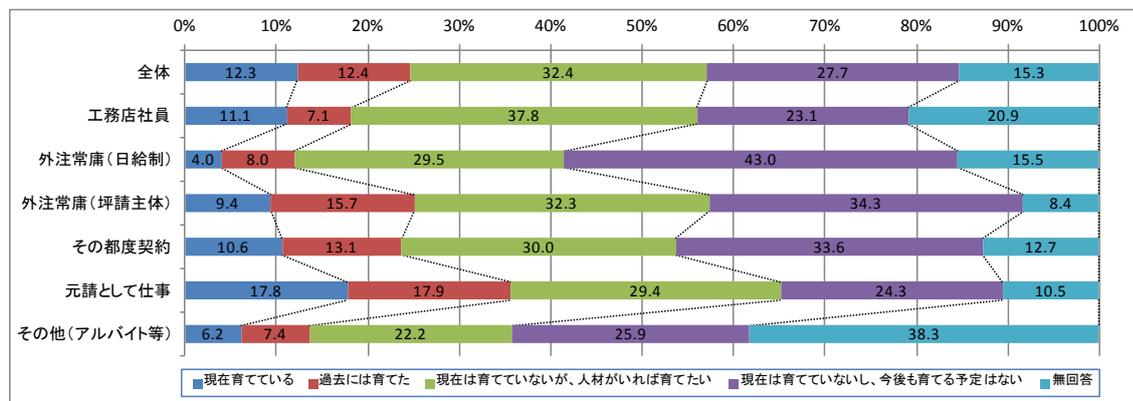


図 6.19# 担い手の育成状況（H25年度）

2.5.5.2 2.5.5.1 「1.現在育てている」および「2.過去には育てた」のみ回答

育成期間の担い手の立場

「正社員（職業訓練校）」の割合が最も高いのは「工務店社員」で 25.3%。

「正社員（弟子として）」の割合が最も高いのは「その都度契約」で 85.7%。

「一人親方にあずける（職業訓練校）」の割合が最も高いのは「外注常用（日当制）」で 7.3%。

「一人親方にあずける（弟子として）」の割合が最も高いのは「外注常庸（坪請主体）」で 29.7%。

雇用形態	合計	(19)育成期間の担い手の立場				
		正社員 (職業訓練校)	正社員 (弟子として)	一人親方等 にあずける (職業訓練校)	一人親方等 にあずける (弟子として)	不明
全体	772	18.4	66.8	2.7	8.5	3.5
工務店社員	297	25.3	65.3	2.4	4.7	2.4
外注常用(日当制)	41	9.8	56.1	7.3	19.5	7.3
外注常用(坪請主体)	64	4.7	57.8	0.0	29.7	7.8
その都度契約	14	0.0	85.7	7.1	7.1	0.0
元請として仕事	339	16.5	71.1	2.9	5.9	3.5
その他(アルバイト等)	4	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0

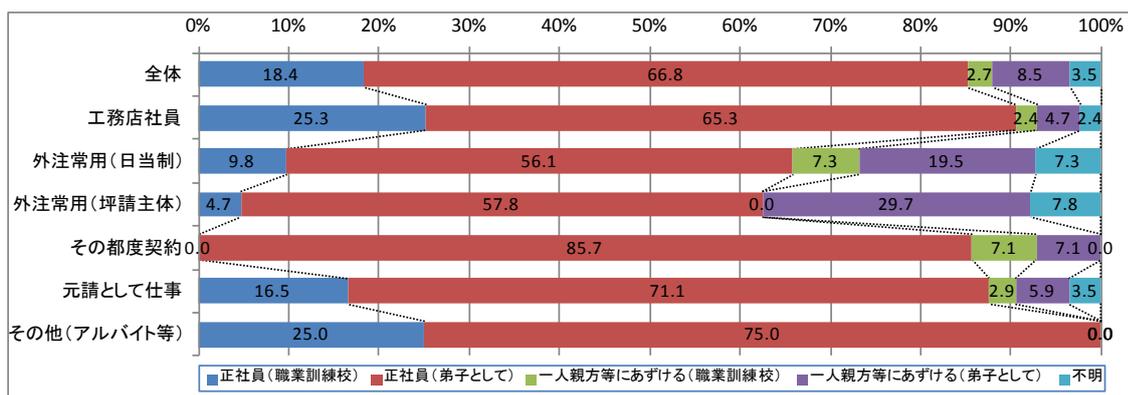


図 6.20 育成期間の担い手の立場 (H26 年度)

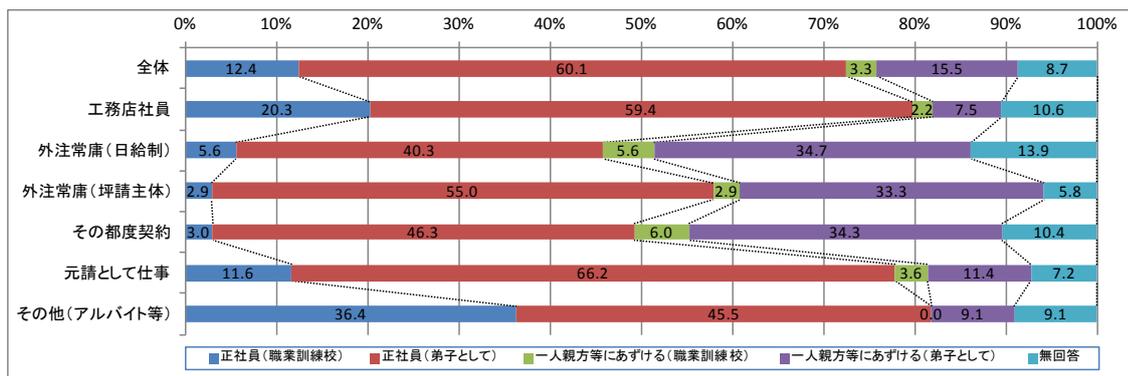


図 6.20 育成期間の担い手の立場 (H25 年度)

2.5.5.3 2.5.5.1 「1.現在育てている」および「2.過去には育てた」のみ回答

育成にかかる費用負担

育成にかかる費用負担が「有」と回答した割合が最も高いのは「その都度契約」で 50.0%、次いで「元請として仕事」で 40.1%。

「無い」と回答した割合が最も高いのは「工務店社員」で 25.9%、次いで「外注常雇(坪請主体)」、「その他(アルバイト等)」で 25.0%。

	合計	(20)育成期間にかかる費用の負担を行っているか		
		有	無	不明
全体	772	31.5	18.8	49.7
雇用形態				
工務店社員	297	22.9	25.9	51.2
外注常用(日当制)	41	17.1	12.2	70.7
外注常用(坪請主体)	64	34.4	25.0	40.6
その都度契約	14	50.0	21.4	28.6
元請として仕事	339	40.1	12.4	47.5
その他(アルバイト等)	4	25.0	25.0	50.0

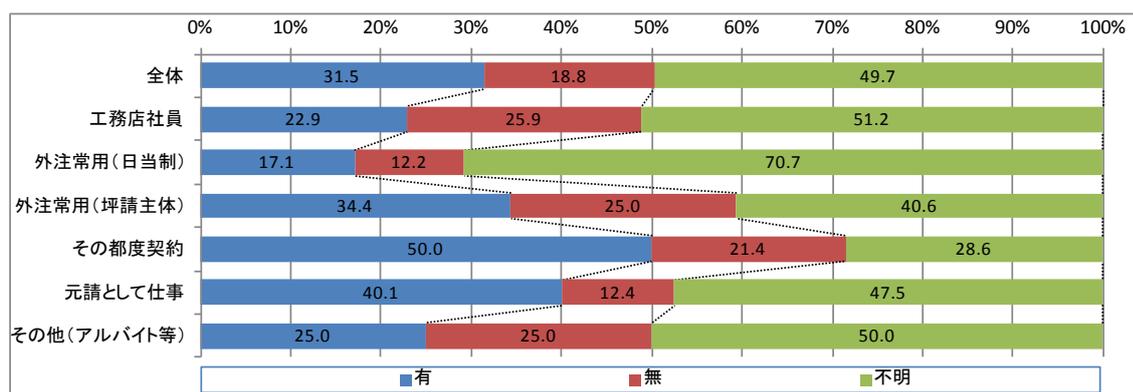


図 6.21 育成期間にかかる費用負担 (H26 年度)

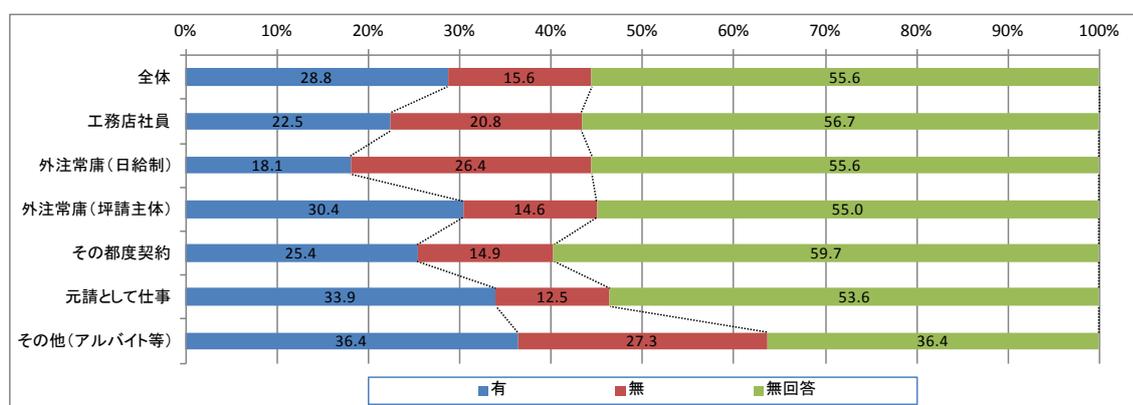


図 6.21 育成期間にかかる費用負担 (H25 年度)

2.5.5.4 2.5.5.1 「4.現在は育てていないし、今後も育てる予定はない」のみ回答
なぜ育てる予定はないのか。

「将来の保障ができないため」の割合が最も高いのは「その都度契約」で 60.9%。

「人材がないため」の割合が最も高いのは「元請として仕事」で 24.2%。

「費用がかかるため」の割合が最も高いのは「外注常雇（坪請主体）」で 35.4%。

	合計	(21)なぜ育てる予定はないのですか											
		育てても、一人前になると辞めてしまうため	教えるのが面倒なため	費用がかかるため	言うことを聞かないため	人材がないため	育てる自信がないため	将来の保障ができないため	年齢のため	仕事がプレカットのため	新築が少ないため	その他	不明
全体	1,552	7.1	7.7	20.4	3.0	22.0	12.0	41.7	12.6	9.3	18.7	5.0	12.8
雇用形態													
工務店社員	460	6.7	9.6	14.1	4.1	20.7	16.1	34.1	8.0	7.0	15.4	6.1	13.9
外注常用(日当制)	283	3.5	8.8	15.5	2.8	24.0	13.1	37.8	14.5	8.8	14.1	5.3	12.0
外注常用(坪請主体)	206	9.7	6.3	35.4	3.9	20.9	8.3	45.1	9.7	14.1	15.0	1.9	15.5
その都度契約	64	3.1	9.4	32.8	3.1	17.2	7.8	60.9	9.4	7.8	18.8	9.4	9.4
元請として仕事	472	8.9	5.5	22.2	1.9	24.2	8.9	48.1	18.0	10.4	27.5	4.0	9.7
その他(アルバイト等)	28	7.1	14.3	7.1	3.6	17.9	14.3	32.1	3.6	7.1	0.0	14.3	17.9

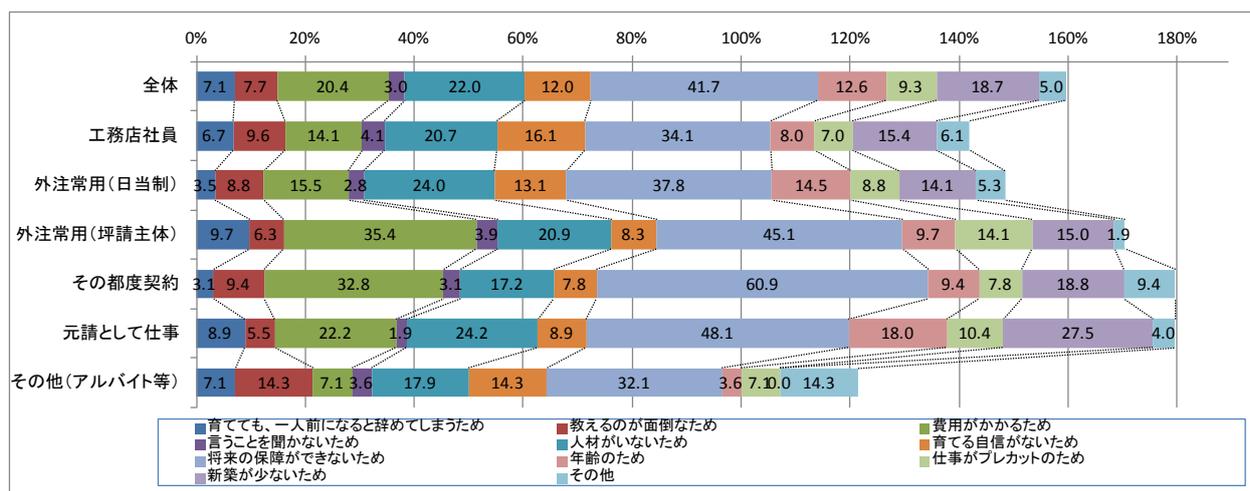


図 6.22 なぜ育てる予定はないのか (H26 年度)

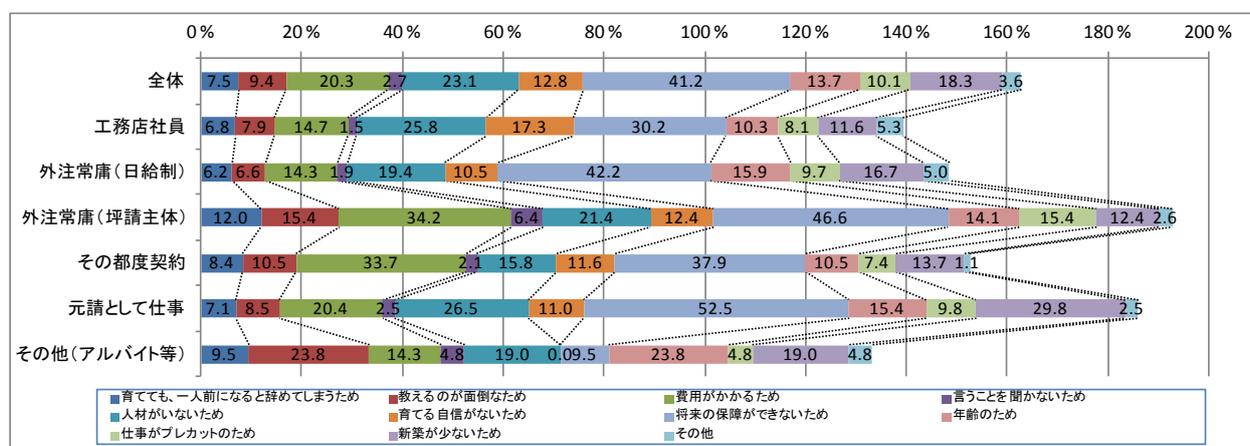


図 6.22# なぜ育てる予定はないのか (H25 年度)

2.5.5.5 担い手の育成にかかる費用の公的補助について、1人/月当たりどの程度必要と考えますか。

「3万円/月」の割合が最も高いのは「元請として仕事」で4.5%。
 「5万円/月」の割合が最も高いのは「元請として仕事」で17.2%。
 「10万円/月」の割合が最も高いのは「元請として仕事」で35.1%。
 「15万円/月」の割合が最も高いのは「その都度契約」で32.0%。

	合計	(22)担い手の育成にかかる費用の公的補助はどの程度必要か					
		3万円/月	5万円/月	10万円/月	15万円/月	必要ない	不明
全体	5,021	4.1	14.9	30.2	18.6	3.2	29.0
雇用形態							
工務店社員	1,850	4.2	14.8	26.6	15.5	3.9	35.0
外注常用(日当制)	604	3.3	10.9	29.1	17.4	3.3	35.9
外注常用(坪請主体)	515	4.1	14.8	30.9	25.0	2.5	22.7
その都度契約	169	2.4	12.4	30.8	32.0	0.0	22.5
元請として仕事	1,714	4.5	17.2	35.1	19.5	3.1	20.7
その他(アルバイト等)	59	5.1	8.5	23.7	18.6	0.0	44.1

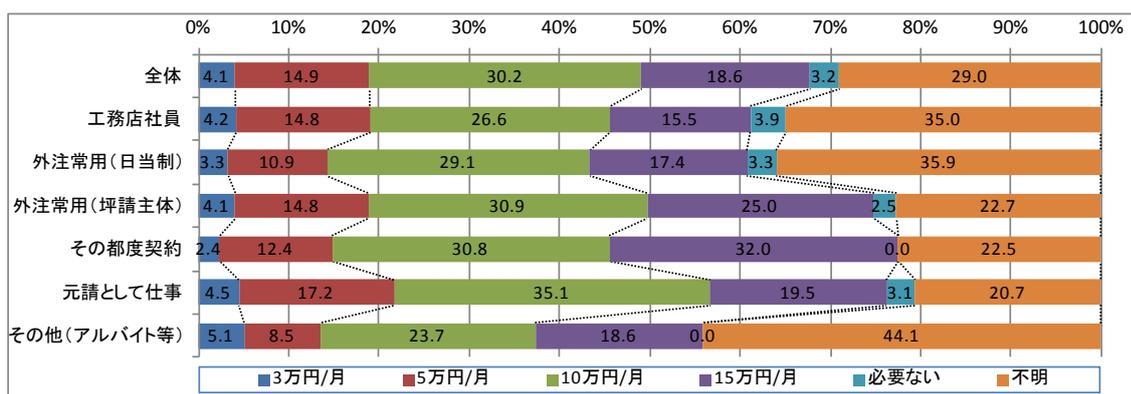


図 6.23 公的補助について、1人/月当たりどの程度必要か (H26年度)

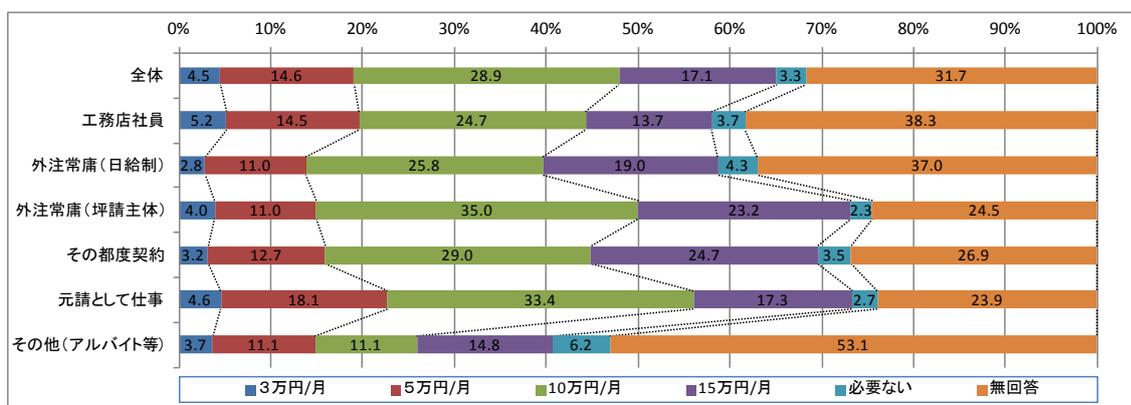


図 6.23# 公的補助について、1人/月当たりどの程度必要か (H25年度)

2.6 賃金別集計

2.6.1 職業等について

2.6.1.1 職種においてベテランだと思いますか。

「ベテラン（「ややベテラン」を含む）」が最も高いのは「25,000円以上」の階級で54.9%。
 「中堅（「やや中堅」を含む）」が最も高いのは「10,000～15,000円未満」の階級で55.0%。
 「見習い」の割合が最も高いのは「8,000円未満」で59.0%だった。

	合計	(5)あなたのベテラン度合いについて						
		ベテラン	ややベテラン	中堅	やや中堅	見習い	不明	
全体	5,021	18.8	21.4	34.1	13.4	9.8	2.5	
賃金	8,000円未満	249	8.4	8.0	12.4	11.6	59.0	0.4
	8,000～10,000円未満	367	6.3	9.8	25.3	21.0	34.9	2.7
	10,000～15,000円未満	1,931	14.0	21.3	37.8	17.2	6.9	2.7
	15,000～20,000円未満	1,747	25.1	24.9	35.5	10.1	1.9	2.4
	20,000～25,000円未満	416	27.6	26.7	34.6	6.5	3.1	1.4
	25,000円以上	102	37.3	17.6	30.4	7.8	6.9	0.0

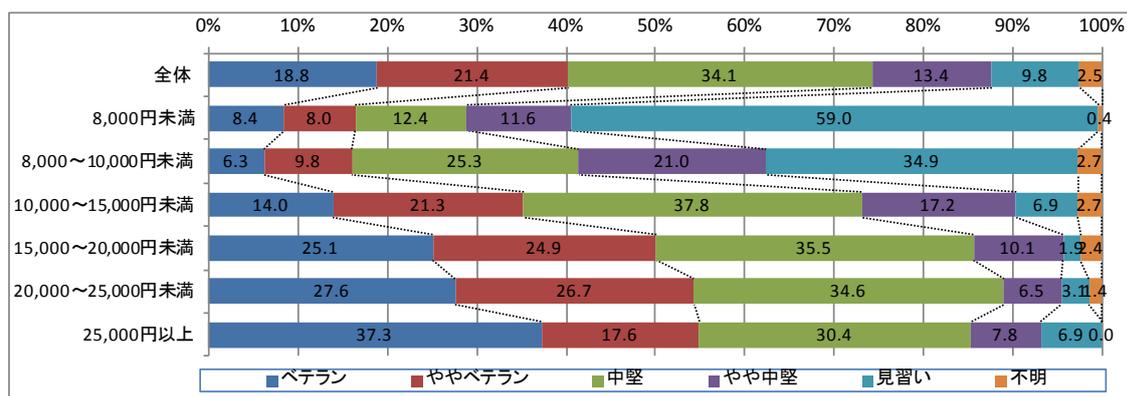


図 7.1 職種のベテラン度合 (H26 年度)

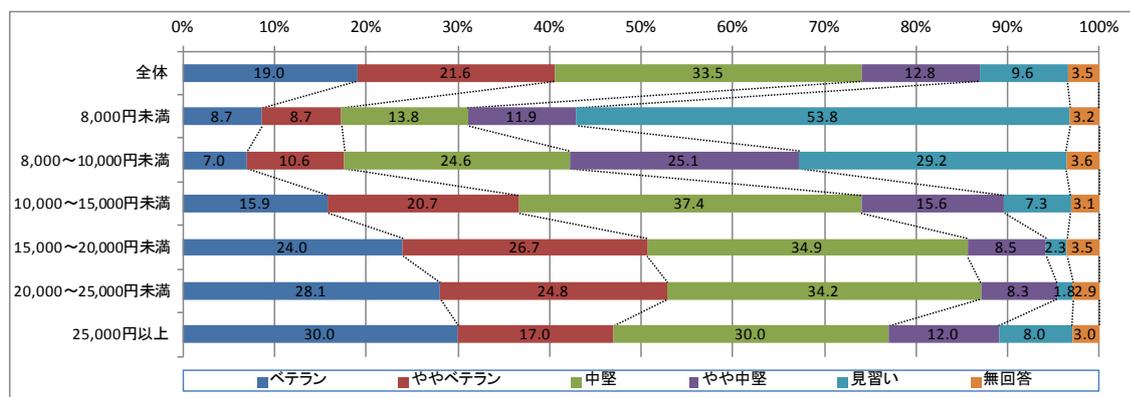


図 7.1 職種のベテラン度合 (H25 年度)

2.6.2 資格や技能について

2.6.2.1 持っている資格

持っている資格の割合の合計が最も高かったのは「25,000円以上」の階級で314.6%。

持っている資格の割合の合計が最も低かったのは「8,000円未満」の階級で、169.1%。

	合計	(13)お持ちの資格															
		1級建築士	2級建築士	木造建築士	1級建築施工管理技士	2級建築施工管理技士	1級建築大工技能士	2級建築大工技能士	枠組壁建築技能士	職業訓練指導員	増改築相談員	足場の組立て等作業主任者	木造建築物組立て作業主任者	玉掛け技能講習修了者	クレーン運転技能講習修了者	木材加工用機械作業主任者	不明
全体	5,021	5.2	31.8	3.9	15.0	15.4	12.6	2.2	12.1	8.8	37.6	42.5	43.6	19.3	12.4	18.1	
8,000円未満	249	1.6	17.3	2.0	1.2	8.0	6.4	14.9	1.6	6.4	4.4	18.1	21.3	41.8	17.3	6.8	34.1
8,000～10,000円未満	367	2.2	18.3	0.3	1.9	11.7	10.4	13.6	1.6	4.4	3.3	22.9	24.5	39.2	15.8	4.4	34.9
10,000～15,000円未満	1,931	3.7	31.4	3.6	4.2	15.0	16.5	15.0	2.5	13.0	7.0	38.7	41.7	45.3	20.1	11.4	16.3
15,000～20,000円未満	1,747	6.4	36.8	4.2	3.9	16.0	17.5	11.2	2.1	13.5	10.0	41.8	49.0	45.8	20.3	15.6	14.0
20,000～25,000円未満	416	10.3	34.1	3.4	5.3	17.5	12.7	9.1	2.2	13.7	16.3	40.9	48.6	38.5	15.4	14.7	12.5
25,000円以上	102	9.8	32.4	7.8	7.8	22.5	11.8	5.9	4.9	11.8	18.6	44.1	57.8	43.1	25.5	10.8	8.8

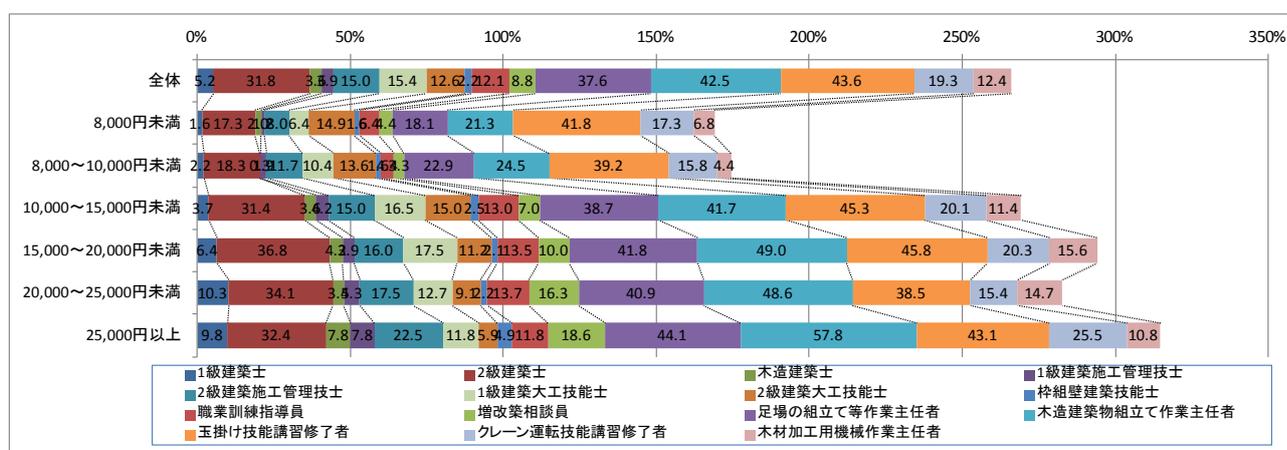


図 7.2 持っている資格（H26年度）

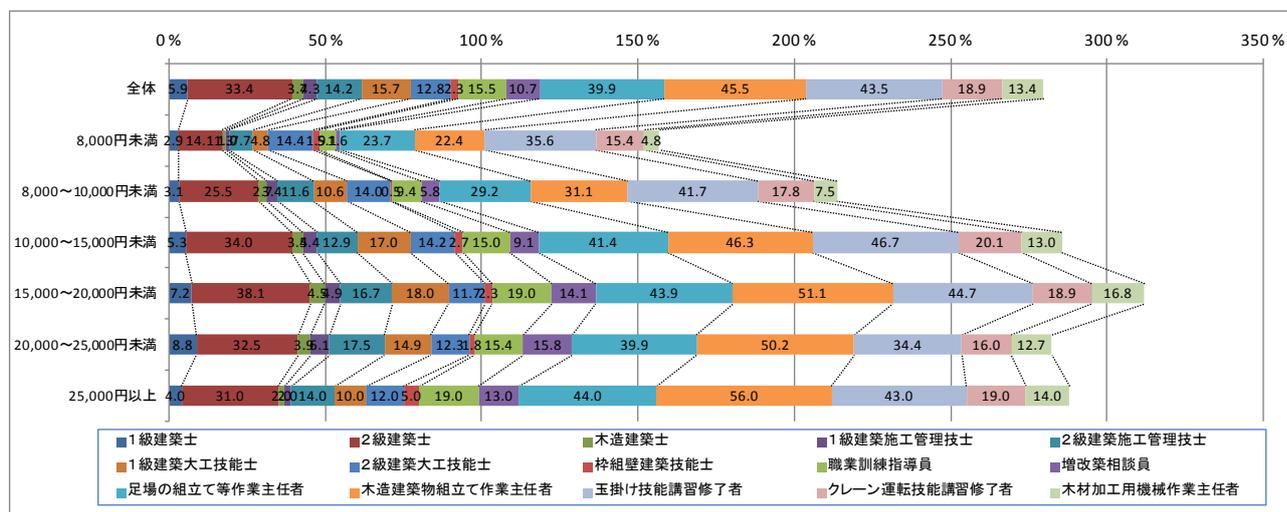


図 7.2# 持っている資格（H25年度）

2.6.2.2 **大工職のみ回答** 墨付けができますか。

墨付けができると回答した割合が最も高かったのは「15,000～20,000円未満」の階級で83.9%。
「いいえ」と回答した割合が最も高かったのは「8,000円未満」の階級で42.6%。

	合計	(14)①墨付けができますか			
		はい	いいえ	不明	
全体	5,021	74.7	14.3	11.0	
賃金	8,000円未満	249	47.0	42.6	10.4
	8,000～10,000円未満	367	52.9	35.7	11.4
	10,000～15,000円未満	1,931	74.4	15.6	9.9
	15,000～20,000円未満	1,747	83.9	7.2	8.9
	20,000～25,000円未満	416	82.7	7.0	10.3
	25,000円以上	102	79.4	6.9	13.7

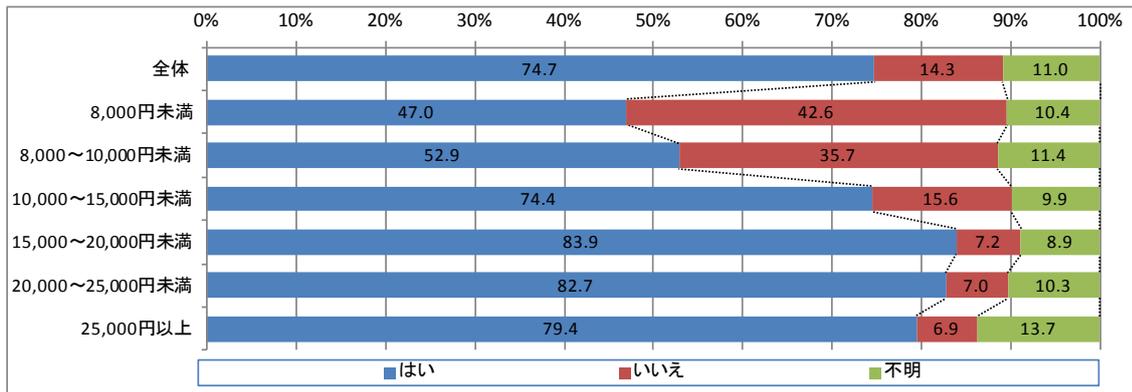


図 7.3 墨付け (H26年度)

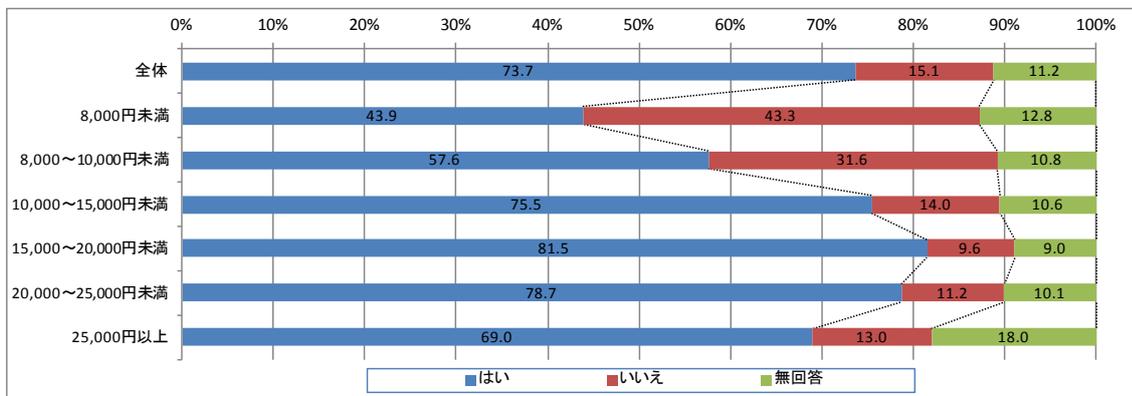


図 7.3# 墨付け (H25年度)

2.6.2.3 **大工職のみ回答** 今でも手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか。(新築)

新築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていると回答した割合が最も高かったのは「10,000～15,000円未満」の階級で27.8%。また、割合が最も低かったのは「20,000～25,000円未満」の階級で18.3%だった。

「いいえ」と回答した割合が最も高かったのは、「20,000～25,000円未満」で69.0%、次いで「8,000～10,000円未満」で64.9%だった。

		合計	(14)②新築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか		
			はい	いいえ	不明
全体		5,021	25.7	61.7	12.6
賃金	8,000円未満	249	27.3	61.0	11.6
	8,000～10,000円未満	367	22.9	64.9	12.3
	10,000～15,000円未満	1,931	27.8	60.8	11.4
	15,000～20,000円未満	1,747	26.1	63.4	10.5
	20,000～25,000円未満	416	18.3	69.0	12.7
	25,000円以上	102	24.5	60.8	14.7

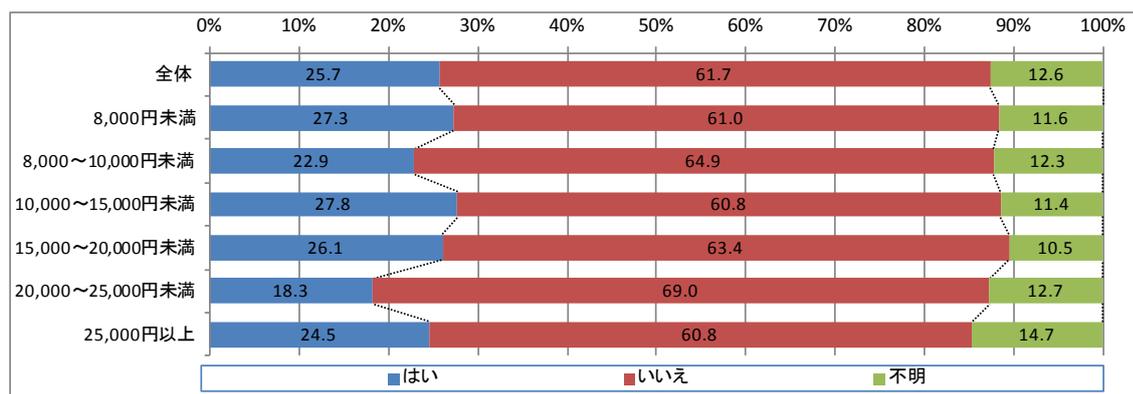


図 7.4 手刻み加工の仕事（新築）（H26年度）

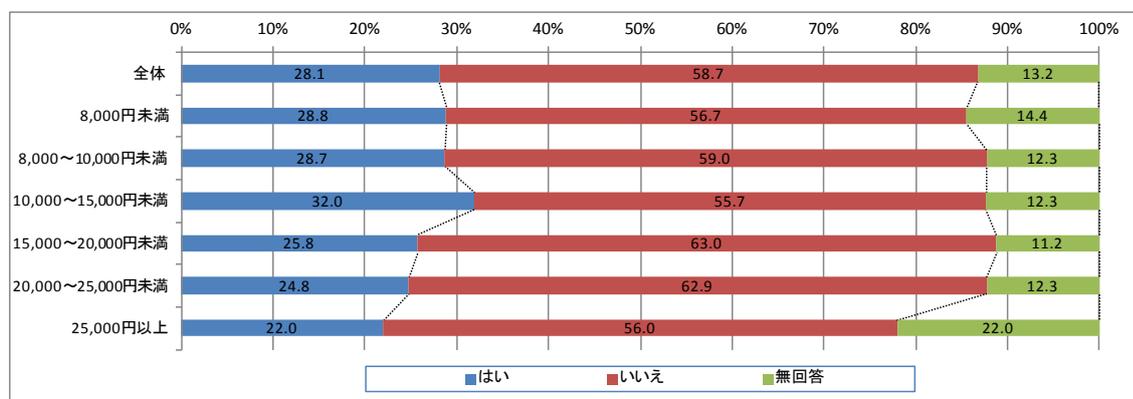


図 7.4 手刻み加工の仕事（H25年度）

2.6.2.4 **大工職のみ回答** 今でも手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか。（増改築）

増改築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていると回答した割合が最も高かったのは「15,000～20,000円未満」の階級で55.0%だった。また、割合が最も低かったのは「8,000～10,000円未満」の階級で43.1%、次いで「8,000円未満」の階級で45.8%だった。

「いいえ」と回答した割合が最も高かったのは、「8,000～10,000円未満」で44.4%、次いで「8,000円未満」で43.0%だった。

	合計	(14)③増改築の手刻み加工の仕事を年1棟以上行っていますか			
		はい	いいえ	不明	
全体	5021	51.8	36.1	12.0	
賃金	8,000円未満	249	45.8	43.0	11.2
	8,000～10,000円未満	367	43.1	44.4	12.5
	10,000～15,000円未満	1,931	53.9	35.2	10.9
	15,000～20,000円未満	1,747	55.0	35.1	10.0
	20,000～25,000円未満	416	48.8	39.7	11.5
	25,000円以上	102	48.0	36.3	15.7

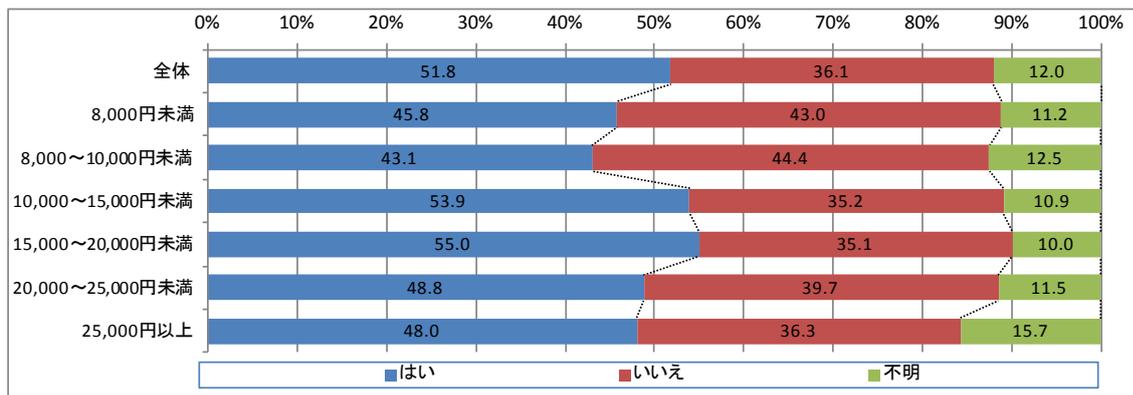


図 7.5 手刻み加工の仕事（増改築）（H26年度）

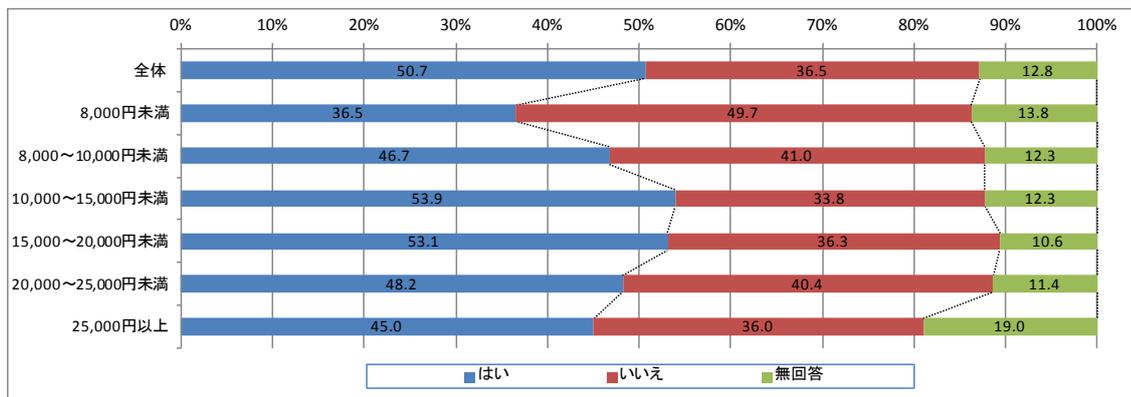


図 7.5# 手刻み加工の仕事（増改築）（H25年度）

2.6.2.5 **大工職のみ回答** 和室造作が出来ますか。

和室造作ができると回答した割合は「15,000~20,000円未満」の階級で最も高く、83.2%だった。「いいえ」と回答した割合は「8,000円未満」の階級で最も高く、58.2%だった。

	合計	(14)④和室造作ができません			
		はい	いいえ	不明	
全体	5,021	70.1	18.2	11.7	
賃金	8,000円未満	249	30.1	58.2	11.6
	8,000~10,000円未満	367	34.9	52.9	12.3
	10,000~15,000円未満	1,931	69.6	19.8	10.6
	15,000~20,000円未満	1,747	83.2	7.2	9.6
	20,000~25,000円未満	416	80.3	8.9	10.8
	25,000円以上	102	82.4	3.9	13.7

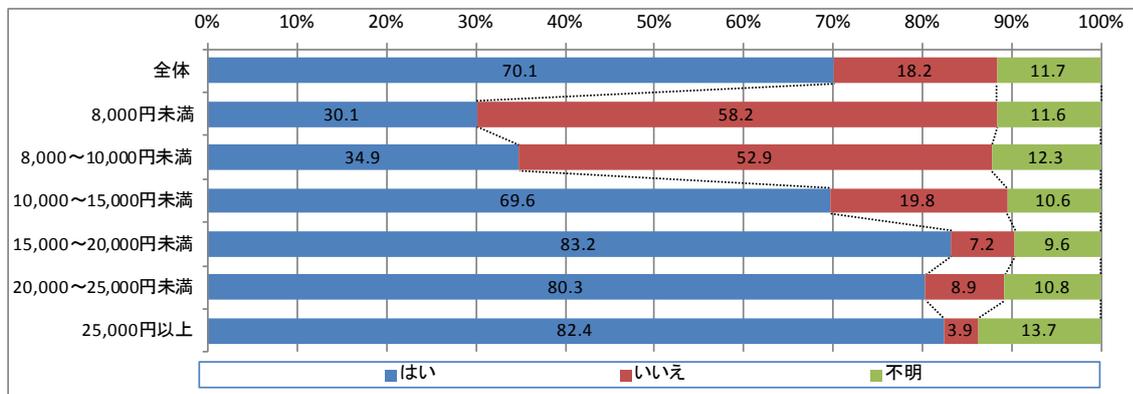


図 7.6 和室造作 (H26 年度)

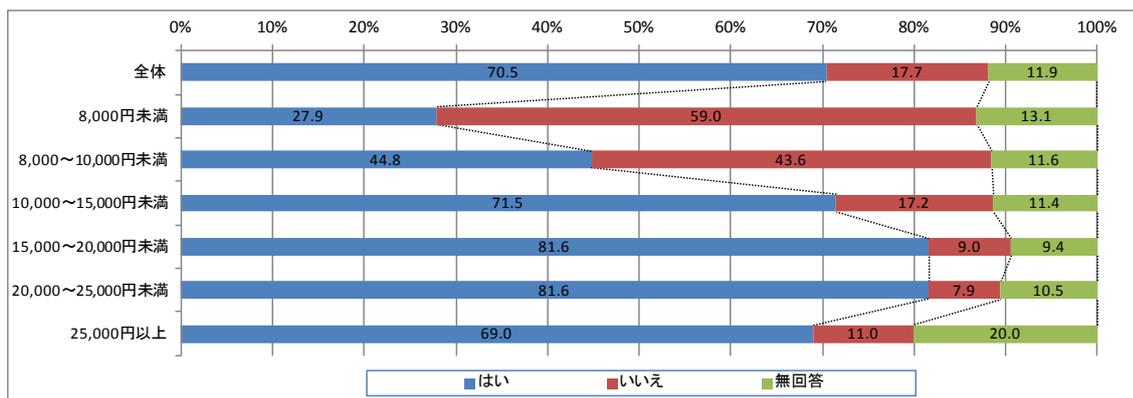


図 7.6# 和室造作 (H25 年度)

2.6.2.6 **大工職のみ回答** 2×4工法の住宅の施工ができますか。

2×4工法の住宅の施工ができると回答した割合が最も高かったのは「25,000円以上」の階級で39.2%だった。

賃金階級が高いほど、2×4工法の住宅の施工ができる割合が高い比例関係がみられた。

	合計	(14)⑤2×4工法の住宅の施工ができますか		
		はい	いいえ	不明
全体	5,021	27.3	59.5	13.1
賃金	8,000円未満	14.9	73.1	12.0
	8,000～10,000円未満	19.6	67.6	12.8
	10,000～15,000円未満	27.6	60.4	12.0
	15,000～20,000円未満	29.7	59.1	11.3
	20,000～25,000円未満	34.1	52.9	13.0
	25,000円以上	39.2	47.1	13.7

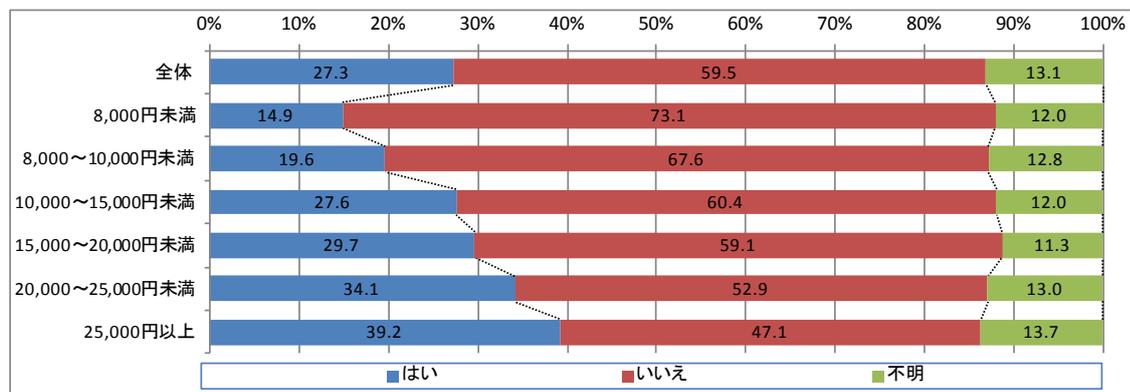


図 7.7 2×4工法の住宅の施工（H26年度）

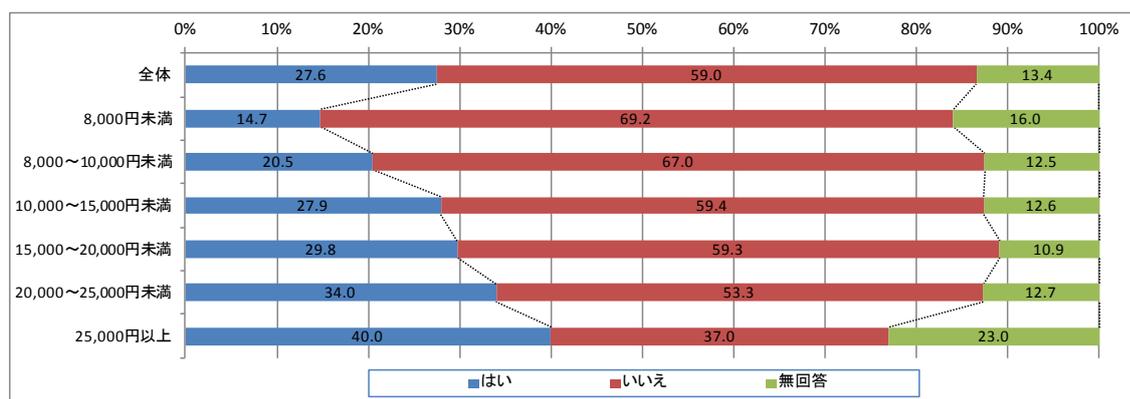


図 7.7# 2×4工法の住宅の施工（H25年度）

2.6.3 仕事に対する満足度や今後の意向について

2.6.3.1 現在の仕事の内容について満足していますか。

仕事の内容について満足している割合が最も高かったのは「25,000円以上」で63.7%だった。満足していない割合が最も高かったのは「8,000～10,000円未満」で34.6%だった。

	合計	(15)現在の仕事の内容について満足度					
		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	不明	
全体	5,021	9.6	50.9	24.6	6.6	8.3	
賃金	8,000円未満	249	13.3	47.0	22.5	9.2	8.0
	8,000～10,000円未満	367	8.4	49.9	23.4	11.2	7.1
	10,000～15,000円未満	1,931	9.4	53.4	24.7	5.7	6.8
	15,000～20,000円未満	1,747	8.2	51.2	26.9	6.6	7.1
	20,000～25,000円未満	416	14.2	49.0	23.8	4.1	8.9
	25,000円以上	102	18.6	45.1	16.7	11.8	7.8

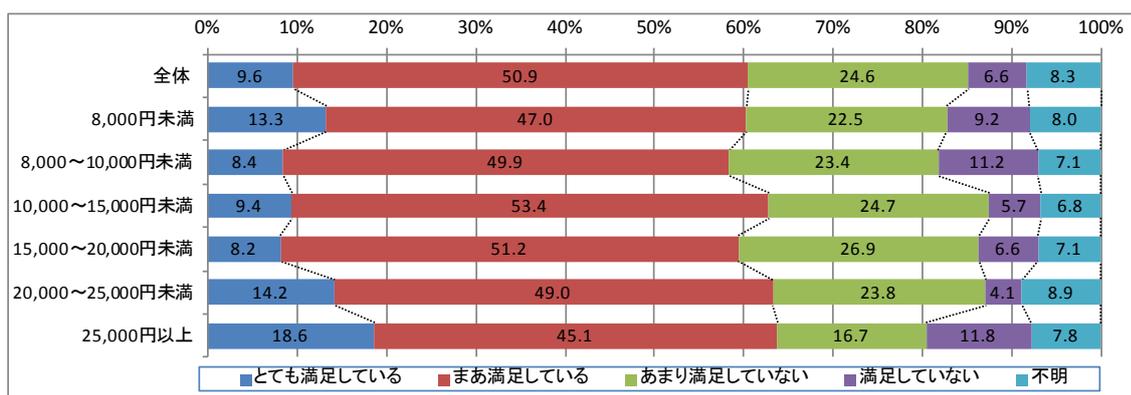


図 7.8 仕事の内容についての満足度 (H26 年度)

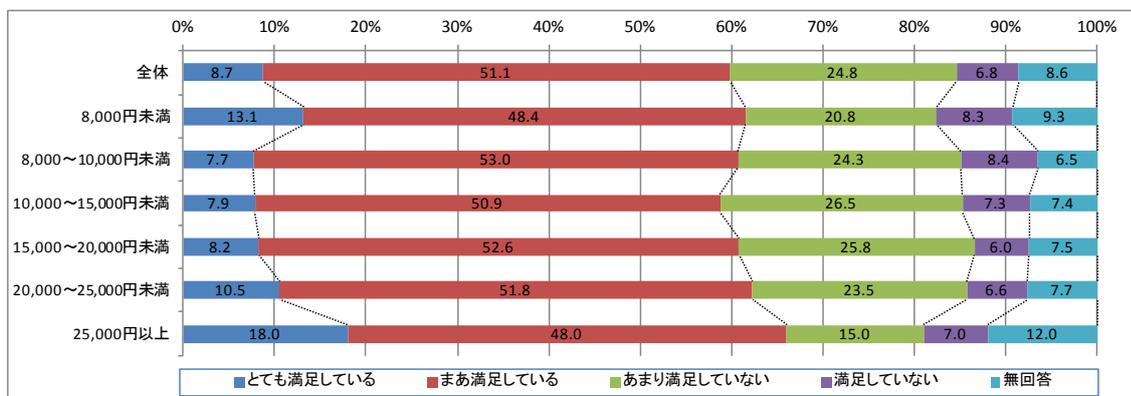


図 7.8# 仕事の内容についての満足度 (H25 年度)

2.6.3.2 現在の仕事で得られる収入等について満足していますか。

仕事で得られる収入等についての満足している割合が最も高かったのは「25,000円以上」の階級で49.0%。

満足していない割合が最も高かったのは「10,000～15,000円未満」で65.2%だった。

	合計	(16)現在の仕事で得られる収入等について満足度					
		とても満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	不明	
全体	5,021	3.7	31.5	39.1	17.5	8.3	
賃金	8,000円未満	249	3.2	25.7	40.2	22.5	8.4
	8,000～10,000円未満	367	3.5	25.1	39.0	26.2	6.3
	10,000～15,000円未満	1,931	3.4	33.0	38.9	17.9	6.8
	15,000～20,000円未満	1,747	2.8	32.5	41.7	16.1	6.8
	20,000～25,000円未満	416	6.7	31.5	37.7	14.9	9.1
	25,000円以上	102	14.7	34.3	25.5	17.6	7.8

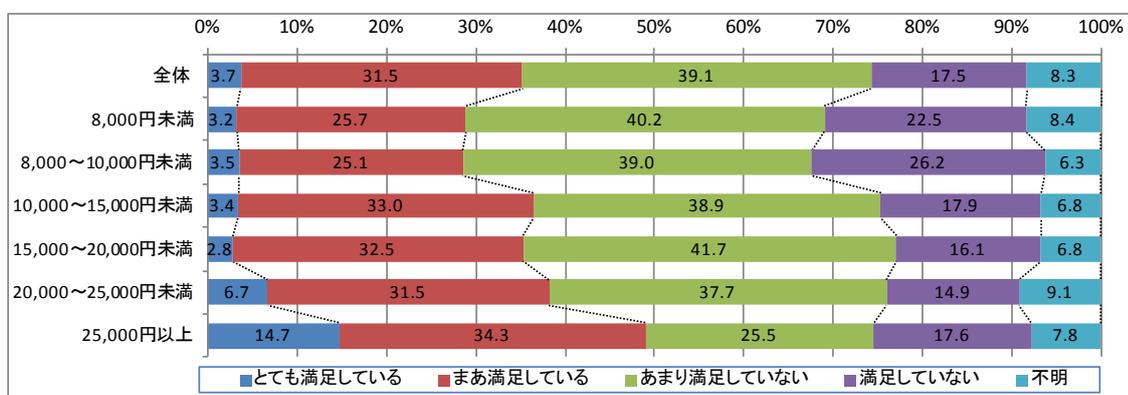


図 7.9 収入等についての満足度 (H26 年度)

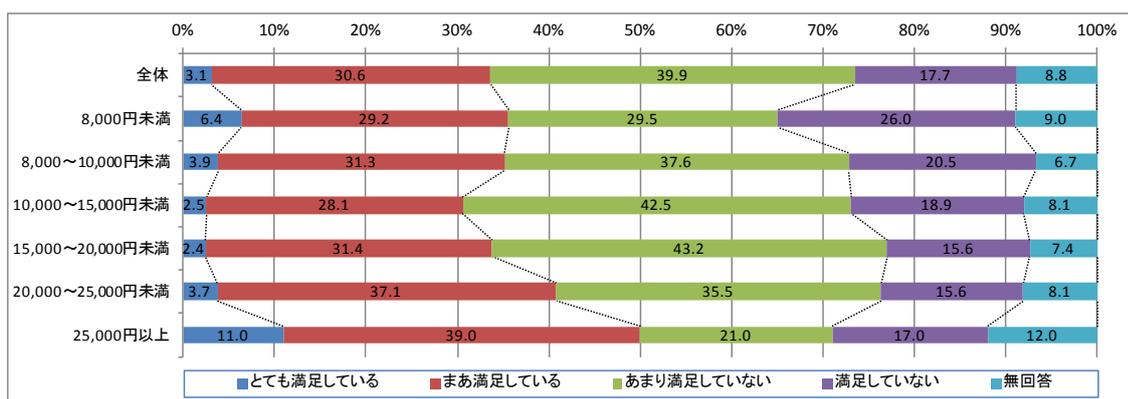


図 7.9 収入等についての満足度 (H25 年度)

資料編

■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

(3) 職種...(MA)

4. その他

現場管理	775
設計	406
施工管理	257
現場監督	192
営業	155
管理	124
工務店	67
建築設計	45
現場管理、設計	41
設計事務所	39
工務店経営	38
電気設備	35
販売店	35
建築士	34
建材販売	34
学生	33
設計、監理	32
設計、管理	32
監督	28
工事管理	25
会社員	24
事務	23
経営者	20
建設会社	19
現場管理、監理	18
現場代理人	15
建設業	15
リフォーム会社	15
設計、施工管理	14
塗装工	14
資材販売	14
内装業	13
流通業	11
建築資材販売	9
設計、施工	9
断熱施工	9
配管工	8
工務	8
材木店	8
現場管理、営業	7
代表者	7
会社役員	7
会社経営	7
代表取締役	7
建築板金	7
現場施工管理	7
公務員	6
住宅営業	6
現場員	5
一級建築士	5
不動産業	5
施工	5
総合建設業	5
住宅メーカー	5
建築会社	5
建築施工管理	5
積算	5
メーカー	5
行政	4
問屋	4

■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

(3) 職種...(MA)

4. その他

屋根工	4
建材卸	4
基礎工	4
瓦工	4
設計、監理、現場管理	4
卸売	4
プレカット工場	4
現場管理、経営	4
鉄骨工	4
小売	4
板金	4
建築営業	4
営業、設計	4
解体工	4
施工管理、設計	4
木材店	3
専門学生	3
元請	3
プレカット	3
大工以外	3
訓練校生	3
商社	3
現場主任	3
設計、積算	3
建築会社社員	3
建設会社代表	3
建築管理	3
電力関連	3
建築業	3
住宅資材販売	3
外装、内装	3
設計、監理、管理	3
工務店、現場管理	3
設計、施工、管理	3
工務店事務	3
設備設計	3
左官	3
全般	3
意匠設計	3
現場監督、設計	3
役員	3
営業、管理	3
技術職	3
土木	3
サッシ工	3
建築設計、監理	3
建材営業	3
設備工事	2
現場監理、営業	2
ハウスメーカー	2
取締役	2
ビルダー	2
住設メーカー	2
建築請負	2
工務店管理	2
断熱	2
住宅リフォーム	2
ガス会社	2
建築設計、施工	2
防水工	2

■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

(3) 職種...(MA)

4. その他

外装施工	2
指導員	2
現場作業、現場管理	2
施工会社	2
建築塗装	2
代理人	2
吹き付け工	2
クロス工	2
請負販売店	2
現場管理、事務	2
教員	2
内装仕上	2
検査	2
販売店営業	2
設計(建築)	2
自営業	2
建設事務	2
仕上金物工	2
設計、営業	2
全て	2
設計、監督	2
総合	2
一般建築業	2
造園業	2
コーディネーター	2
施工監理	2
現場施工	2
コンサルタント	2
インテリアコーディネーター	2
断熱工事	2
設計、管理、営業	2
地方公共団体	2
設計、経営	2
工務店、現場監督	2
設計、工事管理	2
企画	2
ガス設備	2
企画、営業	2
建材流通	2
現場監理、設計	2
設計、施工監理	2
営業、工務	2
監理技術者	2
営繕業	2
雑工	2
工務店、施工管理	2
営業(リフォーム会社)	2
設備業	2
設計(工務店)	2
給排水設備	2
資材	2
工事	2
建築監督	1
設計、積算、管理、営業	1
軽鉄、ボード	1
建築士(設計、工事監理)	1
多能工、設備、大工、電気、ガス	1
建築士、監督	1
小売業(営業)	1
営業、施工管理	1

■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

(3) 職種...(MA)

4. その他

設計、経理	1
建築資材	1
建設管理	1
建築資材営業(販売店)	1
建築	1
パート(設計)	1
無職	1
建築資材流通	1
水道設備	1
営業、設計、現場	1
設計、監理、営業、管理	1
営業、設計、施工管理	1
建設会社、現場管理	1
建築設計(インテリア)	1
設計事務所(自営)	1
営業、大工	1
建設業、土木、建築	1
建築設計、管理	1
大工、設備全般	1
営業企画	1
電気保守	1
建築設計事務所	1
不動産営業	1
建築大工、現場管理	1
木製建具製造	1
営業兼工事監理	1
厨房施工業	1
建築配管	1
計画、管理	1
営業兼施工管理	1
設計、CADオペ	1
建等施工管理士	1
建設	1
営業事務	1
建設会社(設計、管理)	1
検査業務	1
設計、事務	1
研修生	1
設計監理、現場監督	1
営業設計	1
建設会社積算	1
元請施工管理	1
建設業(プレカット工場営業)	1
元請品質管理	1
建設工事、現場管理	1
ガラス、サッシ販売施工	1
ゼネコン	1
営繕業(リフォーム)	1
大工手伝い、事務	1
現場監督 元大工	1
営業(建材)	1
現場監督、営業	1
銅製建具業	1
屋根、外装工事	1
販売営業	1
パネル製造営業	1
福祉住環境コーディネーター	1
卸、営業	1
木材プレカット業	1
クレーン運転士	1

■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

(3) 職種...(MA)

4. その他

建築行政職	1
現場管理(会社員)	1
職業訓練(木工)	1
現場管理(設備)	1
経営企画、技術管理	1
現場管理(大工3年間)	1
製造	1
仮設	1
積算、現場管理	1
現場管理、営業、設計	1
建具店、設計	1
ビルメンテ工事部	1
リフォーム部門の社員	1
会社員(監理者)	1
ログビルダー	1
現場管理、施工	1
設計、管理職	1
現場管理、施工監理	1
設計、現場施工管理	1
会社員(建設会社)	1
建設会社、現場員	1
会社員(現場管理)	1
建設会社、設計	1
現場管理兼大工	1
建設会社社員	1
会社員、建築資材販売	1
設計コンサルタント	1
ビル管理	1
設計関係	1
プランナー	1
設計補助	1
会社役員、現場管理	1
設備士	1
現場責任者	1
建設関係	1
フリー	1
建設業(会社)	1
雇い手	1
総務	1
開口部專業者	1
足場工	1
公務員建築職	1
建設工事業、販売	1
2級建築士	1
大工	1
外構	1
建設職組合	1
工事管理、技術指導	1
団体職員 施設管理等	1
工事現場監督	1
建築一式	1
工事現場監理	1
電気主任技術者	1
エネルギー	1
タイル張工	1
プレカット営業	1
内装家具、建具	1
工務店(元請)	1
営業、経営	1
外壁	1

■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

(3) 職種...(MA)

4. その他

建築業(資材部)	1
コア はつり	1
建築業、代表	1
ポリテク訓練生	1
防蟻	1
工務店、社員(代表)	1
木工	1
工務店での設計、現場管理	1
建築現場監督	1
工務店営業	1
建築工事現場管理設計	1
工務店会員	1
営業、施工	1
官公庁	1
畳業	1
工務店管理、設計監理	1
職業訓練指導員	1
ポリテク訓練生 就活者 元設備(電気)現場代人他	1
厨房設備	1
工務店経営、建築施工管理	1
水道工事業	1
工務店現場担当者	1
水道配管工	1
監督見習い	1
リフォーム店代表	1
工務店役員	1
積算、営業	1
ガス、リフォーム	1
積算事務	1
購買担当	1
兼業	1
鋼製建具設計	1
設計(構造)	1
監理業務	1
リフォーム板金	1
左官、基礎	1
建材配送	1
管工事業	1
設計、監理、監督	1
メンテナンス	1
コンサルタント、設計	1
管理、監理	1
建設、木材	1
市役所	1
サイディング	1
指定確認検査機関	1
設計、元請	1
メンテナンス、改修	1
設計、工事監理	1
リフォームの現場管理	1
設計、工務	1
基礎、外壁	1
設計、施工、監理	1
施工会社経営	1
設計、施工会社役員	1
施工会社設計職	1
建設会社営業	1
アフターサポート	1
設計、住宅改修	1
施工監理、設計	1

■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

(3) 職種...(MA)

4. その他

設計、積算、営業	1
機会設備工	1
設計、内装管理	1
施工管理(建業)	1
設計会社勤務	1
施工管理(建築)	1
設計監理、工事管理	1
施工管理(現場監督)	1
建設会社社員(現場監督、営業)	1
施工管理、デザイナー	1
設計事務所施工管理	1
施工管理、経営	1
設備関係	1
気密測定	1
2級建築施工管理技士	1
施工管理、設計、リフォーム	1
設備施工管理	1
施工管理、設備	1
専門学校教員	1
施工管理技士	1
サブコン	1
施工技術	1
倉庫管理	1
施工権利	1
総合リフォーム	1
施工設計	1
総合建設業取締	1
技士	1
総務、経理	1
資材営業	1
造作家具、現場管理	1
技術校訓練生	1
多機能工	1
資材販売施工	1
太陽光	1
資材流通店	1
建設施工	1
事業主	1
大学生	1
リフォーム管理	1
大工、設計士	1
事務、営業	1
大工7年、その後営業管理	1
事務、社内システム管理	1
大工見習い	1
事務、内装手伝い	1
団体職員	1
リフォーム工事 塗装他	1
団体職員検査員	1
自由業	1
建築、設計、施工管理	1
社員	1
建築一般	1
主任技術者	1
電気施工管理	1
リフォーム設計施工	1
営業、エンジニア	1
取締役員(建築板金)	1
建築会社経営者	1
業者	1

■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

(3) 職種...(MA)

4. その他

建築会社代表	1
住設建材 流通業(工務店向け)	1
鳶職	1
住宅アドバイザー	1
建築会社役員	1
住宅システム開発等、住宅設計	1
納材店	1
金物工	1
建築技術者	1
空調	1
デザイン、設計	1
リフォーム店経営、現場監督	1
品質管理、検査	1
住宅営業、現場管理	1
不動産営業、現場監督	1
住宅企画	1
不動産売買	1
住宅建材卸業	1
補修工	1
住宅建築関係団体職員	1
建築金物	1
訓練指導員	1
木建問屋	1
住宅設備商社	1
木材プレカット営業	1
住宅販売	1
木材生産、木材加工	1
重機リース業	1
木材販売、建設業	1
出来る範囲	1
建築現場監理	1
型枠大工他全般	1
役場職員	1
商品企画(設計)	1
建築材販売	1
商品企画、流通	1
経営管理者	1

■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

10-3) 加入している健康保険について...(MA)

4. その他の健康保険

社会保険	393
協会健保	26
全国健康保険協会	19
建築国保	4
中建国保	3
わからない	3
後期高齢者	2
共済保険	1
政府	1
区の保険	1
健康保険	1
全国土木	1
建設土木	1
扶養	1
フレッセ	1
セキスイ	1
個人年金	1
家具健保	1
AIU保険	1
全土建	1
厚生保険	1
東京土建	1
高期高齢保健	1
パナソニック	1
国民年金基金	1
三建国保	1

■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

(21) なぜ育てる予定はないのですか...(MA)

11. その他

自分が見習	21
大工職ではない為	11
仕事が少ない	7
会社員なので	3
一人親方なので	2
育てるほど余裕がない	2
出来ません	2
仕事量が安定していない	1
努力しないため(人材)	1
自分の仕事も満足にこなせてないので	1
一人でやりたい	1
それが私の生き方だから	1
育ててもら立場だから	1
自身の手間が安すぎる	1
右肩下がりの産業	1
やとわれているから	1
営業です。	1
必要とされていない為。この辺りではデザインや室は不要	1
下手だから	1
仕事がない	1
下請けにまかせている	1
私が大工でないので	1
会社が行う事	1
メリットが無い	1
会社は1代限りと考えている。	1
自立してないから	1
リフォーム専門工事している	1
長続きしないため	1
官公庁のため	1
道具自体がなくなっている為	1
基本だと思ふ墨付けがなく教えられない	1
墨付けの仕事が無いため	1
技能がない	1
仕事があり続ける保証がない	1
給与が払えない	1
育成の職ではない	1
教えてもものにならない。	1
始めて間もないので分からない。	1
教えられない	1
時間がない	1
教える仕事無い	1
自分が学習中のため	1
契約社員扱いの為	1
自分にその気がない	1
社員のため自分が決める事でない	1
自分の代で辞める為	1
身動きがとりにくい	1
一職人会社員の為	1
設計業となった故	1
継がせる気がない	1
人事に魅力がないから	1
決定権がない	1
他業者も後継者がいないため	1
大工は外注です。	1
単価が安くて無理	1
元請仕事をやっていない(下請だけ)	1
担い手がサラリーマン	1
個人では出来ない	1
津波で後継者死亡	1
雇用する予定がない	1

■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

(21) なぜ育てる予定はないのですか...(MA)

11. その他

当代限りのつもりなので	1
後継者がいない為	1
日、時間がない	1
工期短い、余裕がない	1
部下がいない	1
今の仕事量だと今の所必要が無さそう	1
まだ考えていないだけ	1
本当の在来工法でないため	1
今は後輩がいない為	1
今後ハウスメーカーの仕事が多くなり地場工務店の仕事が減っている	1

■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

(23) 担い手育成についてご意見等がございましたらご自由にご記入下さい。...(FA)

SEQ	ご意見
4617	「大工職」をやりがいのある、収入のある仕事にしないと、担い手育成は難しいと思います。
9152	・高校で大工の職業へ勧めて欲しい。
8763	・大工職業になる希望者がいない。・弟子を入れても短期で辞める／長続きしない。・給料等の費用の負担が大きい。・育成する時間に手間を取り難い。
9887	①社会的地位、職人としての向上等 ②生活の安定等が必要ではないかと思う。
857	①若年層の不足(実務、現場等の不足)②一部大学の参入(地元業者への金銭的な圧力による人員の選
10151	1人前になれば生活のできる賃金にする事
224	①労働条件の改善(各保険、賃金、休日)等②工務店が頑張り元請受注し物造りに夢を持たせる(下請けではない条件で)③このままでは後10年～20年経てば、深刻な大工不足となります。早めの対策が早期必要だと思う。学校授業等で、大工技能者による(定年者でもOK)、学習、体験教育をやり、本物の建物を造らせ、1年でもOK、放課後でもOK→それによって物造りに興味を持ってもらう。今でも小学生の将来の仕事は大工が上位にいますよ。
5332	21～25、6才位の人材はだいたい言うことを聞かない。
5668	30代ぐらいの人たちがいきやすい訓練校や仕事を学ぶ所があるといいと思います。
577	3Kではないが建築が好きで若い子は少ない
2878	3Kとも言われ今後施工件数の増加も見込みが少ない業種では、なかなか若手の新規就労は難しいのが現状です。自分の手で家を建てるという、すばらしい「ものづくり」の仕事に若手が増えるため、国などのバックアップがあると良いと思います。
1011	3人くらい育てたい
2246	3年間1/2の公的補助があれば考える
3902	Q(15)、主旨がわからない。個人的な仕事の満足か、工務店などの下請けの仕事内容としてなのかわからない。現在、木造大工は道具に金がかかり、単価が安すぎて、今の若い者は見向きもしない。もっと魅力がなければ衰退するでしょう。
9772	預かる方も、辛抱。
1551	ありえない
2766	ありがとうございました。
2855	ありがとうございました。
6107	ある程度の公的資金が必要。企業努力だけで担い手育成は厳しい。
2160	アンケートではなくあなた達が実際に聞いて回ったらいかがですか？アンケートを取ってまとめて終わりじゃないですよ。アンケートから次はどう動いてくださるのでしょうか？
6814	アンケートの結果を県別して公表してほしい。
587	安定した賃金、安定した仕事が確保ならない限り後継者は増加しない。むしろ減少してしまうと思う。
9151	安定した物件数と、仕事量
8012	いい仕事を次の世代に残そうと考えている人がまわりに1人もいない。大変残念。
3088	いい人材がいれば育ててみたい気持ちもある。メーカーの金額も安いために、自分で一人で稼ぎ出す方が、てっとり早いとも思う。
5558	家造りに夢がない。
7695	育成グループを作っている会社もいるが、民間でなくせめて県レベルで行政が育成する仕組みがあった方が良く思う。
5998	育成する側と育成される側の信頼関係がどの位出来るか？
3933	育成できるだけの時間と費用の確保が重要。
7813	育成内容により費用が大きく変わります。ローコスト住宅、2x4など手間のかからない仕事量の少ない建物施工の為に育成であれば特に助成は必要ないと考えます。
1799	育成にかかる費用を公的補助できるようにならいたい
3268	育成のための手刻み加工の現場がない(新築)「育成+手刻み」に対して補助金が必要(プレカットとの金額差のため)
3628	育成の方法が自己流となり、正しい法、施工等のことを伝えられないことが多い。育成者の育成も必要だと思う。
9314	石巻高校で建築科の設置があればと思います。1学年20人程度。
9948	以前何人が高卒の子を育成しようとしました。しかし自分で勉強しなく、長続きしない子が多い。
8757	忙しくて、面倒が見れない。工期が短く、教える時間がない。
9845	一人前になるまで、個人企業での保障は難しい。多少の補助制度ができればと願います。
113	一人前になるまで辞めないでほしい
59	一般的に労働単価が安い
4270	今、始めないと手刻みの技術が無くなるので、早く行動に移さないと絶えてしまう可能性があると思う。
4002	今の若い人はすぐに辞めてしまう人が多い。建築業界の魅力がないのかもしれませんが、イメージ向上が必要です。
8470	今は、プレカットの仕事が多くて、若い人に墨付けとか刻みなど教えることが出来ない。
5882	今はいるが、いつまで続けてくれるか不安です。しかし、彼のほうが将来への不安があるのでしょうか。

■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

(23) 担い手育成についてご意見等がございましたらご自由にご記入下さい。...(FA)

SEQ	ご意見
4786	今はそれほど難しくなく家が建つと思うが。
1336	今は大工職以外の仕事もできないといけないと思う。雑用でいやになってしまう若者が多い。現在の構法等の流れにより和室造作のニーズは少ないと思う(真壁化粧)
2481	今は弟子をとるにはむずかしい
1223	今は何とか1名担い手が入社したが、募集してもなかなか入ってこないのも問題ですが、教えられる人材も高齢化してきていて今後教える側の人材が確保できるかが心配です
1549	今は若い人が職人になれる環境がないので公的補助は必要。育ててる時間と余裕がないと思う。
9526	今まで5人を教えた。もう疲れた。
14	今まで来ていた若者は、仕事は続くが、言った事を理解できない部分が多い
9081	今までの育成の方法、たとえば(見る、知る、覚える、やってみる、やって見せる)というような育て方にプラス新しい作業(省エネ等)がなぜ必要なのか等を教えて育成した方が、と思っている。
4531	今まで一人見習いで世に出したが、その子が一人立ちしなかったため、自信がなくなった。
9558	色々ありすぎて書ききれない…。要するに社会全体での職人に対する認識の変化が必要だと思う。
4918	受ける身としては、ある程度任せてもらい、上司は何かあった時のみ出てきて、後は出てくるべきではないと感じる。でないと絶対育ちません。
9078	営業職社員なので該当しない項目が多いです。
1401	大手が内部留保を活用して、若い人を育てるべき。職人をたたいて金もうけしているくせに育成に金をかけようとしないのはなぜか。どんなに仕事をとってきても現場の人がいないと工事は出来ません。
2180	大手住宅メーカーにもっと規制をかけて、地元と協力して仕事を行えるようにできないか
5654	大手メーカー下請仕事をみんなでいっせいにやればよいと思います。
9510	大手メーカー等の現場では担い手育成の時間も手間賃もない。
1403	お客様からのお礼を聞く前に辞めている方が多く、本当につらい事がいっぱい乗り越えた後に喜びがある事を教えてあげたいと考えています。
8627	お客様に仕事を頼まれても、新築の仕事が受けられない。以前のように自由に仕事が受けられれば。
3646	教え手の方の育成方法があれば聞いてみたい。この職種は技術育成の教本みたいなものが少ない、というかほぼない。
8729	教えて欲しいくらいです。
4092	教える学校を増やす。プレカットが大半となりプレハブ化している。
3935	教える側の意識を変える事も大切だと思う。良い先輩に育ててもらった人は良い先輩になれるが…。今の子と昔の子は違う事に気付いて欲しい。
773	親方、工務店側の収入向上がないと、弟子をとる職人さんは減る一方であると思います
6399	親方から学ぶのではなく、行政で職業訓練校を増やし職人の若手の育成が必要と思う。
2452	親方に余裕がなければ育たないと思います
9104	海外にばらまくODAより日本国内に目を向けて助成金、補助金をUPしてほしいです。人材単価が2万~2万5千円じゃどうしようもない。益々面倒になる。若い人はいつかない。
2520	外国人労働者が低賃金で入ってきたら日本人従業員は育たない
9024	会社内で若い子を育成している
2656	会社の費用負担が必要
860	該当していそうな部分のみ回答いたしました
5642	各社ルールが違いすぎて、どこでも通用する人材育成は難しい。
392	各種資格を取ることが必要と思う。技能士など。しかし、それらを持っていない職人は必要ないと言う。少なくとも住宅の新築以上においては資格が必要である事を徹底してほしい。そうする事によって質の向上につながると思う。
9099	各職人の必要性をもっと一般の方々が判る様なアピール、放送、メディアを通して必要かと思っています。
3010	学生時代のころに、職場体験をさせる。期間を決めて大工という仕事が自分にあるかを考えるのも良いと思う。
7773	家族で仕事をしているので外中は2人
526	学校教育の中で建設業への関心を高める事がまず必要かと思っています
527	学校など教育機関ですべき
4337	考えている。
9193	環境の改善、特に地方において、賃金が安く休みが少ない。国としての制度及び規制をしっかりと行わない限り、若い人が建設業をやりたいと思わない。
8198	簡素化が手仕事がおぼえにくい
698	技術を持つ時給800では飯は食えない。公的機関の助成は大事だと思う。今日来てすぐ仕事とはいかない世界なので職人を大切に。継続される仕事。
4160	技術を要する物件を増やすことが第一。要しないならバイトで可。
10031	技能講習があれば連絡等があれば良い
3676	技能職についてのアピールが少ない。親方制度ではなく養生してほしい。
1805	きびしい社会城情勢につき一から育成するにはきびしいと思います

■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

(23) 担い手育成についてご意見等がございましたらご自由にご記入下さい。...(FA)

SEQ	ご意見
522	希望者など紹介があれば良いと思う
4530	給料、仕事、環境が揃わないと育成は出来ない。→出来る前につぶれる(自分も相手も)
6643	教育機関があれば良い、仕事をやりながら。道具の補助金制度があれば良い。
150	教育プログラム(ゆとり教育はダメだな)
7138	業界として大工、タイル、左官職人を養成してほしい。設計者が多すぎる。
8167	業界の単価競争により年々職人の工賃が下がっている。そのため、若い人材が低賃金で重労働の職として建築業界を懸念して入ってくる人が少ない。又、営業職の技術面の知識がどこも低いため、作り手と売り手の技術に対しての価値賃金の感覚にずれが大きく生じている！！
4239	業種の魅力が弱まっていると思うので、国レベルでの何かしらの行動を期待します。
8001	興味を持ってほしい
2162	国からの助成がないと地場工務店での育成は難しい
3825	国県市の旧基準の手間(賃金)をあげる。昔からの仕様を伝えていく。
6194	国として大変な問題だと思う。今でも人手不足。
8772	国の新人に対する対応が優しすぎる。
4938	国は現在働いている人への補助より、メディアを使って(そちらに費用をかけて)たとえばドラマを作るなどして、潜在的に建築業を目指したい人が増えるような施策をとるべきだと思う。それにより担い手は増加すると国や県の補助がないと厳しいのではないかと？そもそも担い手になろうとする若者がいない。もしくは考えが甘い。
8114	国や県の補助がないと厳しいのではないかと？そもそも担い手になろうとする若者がいない。もしくは考えが甘い。
3885	国や労連などの補助があれば育てやすい。
2696	国レベルで考えなければ若い人は誰も育たない
3420	組み立て屋さんばかりになり、大工はどんどん減っている。考える力、あこがれる人、これらが必要だと思う
9978	車や、アパート代など経費がかかるので、20万位の賃金をやりたい。
2544	訓練校があるので助かりました
9427	景気が良くなれば人員も増やせる。
2534	景気が悪すぎる
6121	県大工業協会にて現在事業で活動中。
2427	現行法律では若者に大工職の基本が教育できない。賃金が安い。金具、断熱関係ばかりを重視する住宅では、職人として育たない。
2671	現在会社で、大工、とびの担い手として日本、中国、タイ、インドの若者を育成しています。国からの補助があると助かります。
9888	現在の建築単価では育成は難しい。(自分の仕事を休んで教える必要がある) 自分は見て覚えろと言われた。
6557	現在の雇用保険は長く働いている人が損をしている様に感じる。その予算を職人技術の人材育成にもっと使ってほしい。
1880	現在の大工の立場は建築士ばかりが目立ち又ハウスメーカーや建売大工の技術低下が著しい。一般工務店は技術はあるが、営業がヘタなので技術があっても競争に勝てずやめざるをえない大工が多い。そんな今、はたして育成をして本人が食べていけるかが心配。お客さんも家イコールハウスメーカーもしくは建売と言う考え方の灯とが多い。CMや国や県にはたらきかけ、工務店とはとところをアピールした方が良い。
3855	現在のマニュアル化された建物のみを今後も普及していくようであれば、担い手育成には興味がない。大壁造作、気密等に重視しすぎた方向に傾いている。現場や政府方針に強い違和感を覚える。
5843	現在のようにメーカーが工事期間短縮だけのプレカット(内装も含めて)では、人材は育たないと思いま
27	現在の若い人に技能士の仕事に対する意欲がない。大工は特に保障が乏しく将来の生活が厳しい。
7668	現在プレカットが主流になりつつあり在来構法及墨付けできる職人は少なくなるハウスメーカーに組み込まれてこれからの職人は行きそうな感じがする。
5802	県産材使用及び各市産使用にともなう条例を作してほしい。ふんだんに木材を使用すれば仕事量が増えていくと思います。新築工事があってもハウス物ばかりで。
668	研修などは費用がかかるので国の制度などがあればどんどん紹介してほしい
521	現状で大変なのだが、担い手は必要です。公的補助ができるならうれしい言葉です。
4396	現状の日本だと、本当に建築を担う職人がいなくなる。賃金もそうだが、なによりもっと現場環境の改善が必要。仮設トイレなど未だ汲み取りなど若者が喜ぶわけがない。手に職をつければ生きていけるという事を教えないと、楽に生きたい若者には響かないだろう。
2107	建設業界全体を魅力的なものにすれば優秀な人材も集まると思います
6109	建設業界に若手が少なくなっているのが貴重な存在です。
3007	建設業界の全体イメージアップを図りたい。職場環境の改善と賃金アップを図りたい。
5107	建設業界の単価を上げて、若い人に集まっていたく所からのスタートだと思います。
242	建設業がもっと収入を得れる職であれば、若い人材も集まると思う
8613	建設業のイメージUPが必要です。若い人材を募集しても来ないのが現状です。
6810	建設業の待遇が社会的にも良くない(条件がよくない)ので、国全体で改革が必要であると思う。
9263	建設業は成り立たなくなる。手遅れですね。

■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

(23) 担い手育成についてご意見等がございましたらご自由にご記入下さい。...(FA)

SEQ	ご意見
3625	建設業は入社すぐは低収入で、サービス残業ばかり。大工をしようとするところに道具代もかかるのできつい。独身者ならじっくり習得も出来るかもしれないが、子供が出来ればそれもつらい。という理由で若い子が辞めました。公的補助があれば少しは違ったのかもしれない。
4955	建設工事にたずさわる者がサラリーマンよりお金が稼げるのが当たり前の世の中にならなければならないと思う。
7782	現存現場で働いているが若い人がほとんどいない。このままでは日本の建築業界はダメになると思う。
5014	建築業界全体が制限が多く、若者からみると魅力に欠けると学生から言われており、希望者も年々減っているのが現状。
1538	建築業界全体の手間だったり、工期が短いため、担い手の育成の余裕ができない
4769	建築業界のイメージアップ、賃金の見直し(最低賃金の設定と義務化)
5364	建築業全体の賃金と社会的地位向上が先決。
448	建築業をもっと盛り上げて(楽しみ)いければ若手担い手が増えると思います
9049	建築組合の場合、役員が高齢で、私達になかなかバトンを渡してくれない。(建築組合3年間でやめまし
2341	建築制度を分かりやすくし、(すべてのしくみ)使いやすくしてもらいたい(守りやすく)。育成前に若い人が進んで参入できる明るく楽しい業種になってほしい。
6721	建築施工単価の見直し、昔より悪いため。
2228	建築大工設計士の地位の向上と社会認知の向上
7454	建築大工をやりたい若い人はいるのかな?
8932	建築単価の上昇
3816	建築という仕事、特に大工職に対する若者の意識(興味)がなさすぎる。大工さんというのは家造りの際、各業者のまとめ役としても非常に重要な立場である。我々も待遇など改善点は多々あるが、学校、公的機関からのあっせん、協力がさらに必要と感じる。
9859	現場でのプレイカットが多く育てる自信がない。住宅メーカーなどで正社員、弟子として、墨付けなどできるよう育てる。
8888	現場で分業化、簡略化が行われているため、新しい人は基礎技術を学ぶことが難しくなっているのではないだろうか。またなぜその様なことをするのかも分かりづらくなっているのでは。例)レーザー墨出し器があるため下げふりの使用方法を知らない。
5766	現場の進行が早すぎるため、育成にかける時間が少ない。
7935	現場の方は、労働されているので、それなりに良い条件がないと、やめて行くのではないのかな。
8223	県や組合などからのあっせん等
4255	こういう規則を作っていたら、だんだん大工をする人がいなくなる。私達はもう大工をしなくても良い年ですのでいいけど、考え直してください。人間は断熱ホームに住んでいたら汗もせず、身体に悪いと思う。
8393	工期があればできる。経費も含む。
9621	工期が短い。
7045	工期が短いため、育てる時間が無い、単価が安いので、育成の負担がまかなえない。
3309	工期や手間も少なく、即戦力が必要な時代になっている。親方として1から教えるのは厳しい。でもそこに職人不足の問題がある。
2188	後継者に払うだけの収入がない為、弟子をとりたくてもとれないという話はよく聞きます
5081	向上心(好奇心)あるのみです。
599	工賃安いしだれが好き好んで大工をするわけ?
7876	工程が増えても単価は上がらないので、職人を育てる余裕はないです。お客様の意識も重要。
3585	公的講習の義務付け、定期的な報告等の実施が必要。
4765	公的な補助金より、古しの徒弟制度があれば良いのに。
8117	公的補助があることを知らないです。
6010	公的補助があるのであれば活用したい。
8870	公的補助があればもっと人数を増やしたいです。
2407	公的補助があれば良いと思う。伝統法を学びたい人がいれば受け入れて良いと思っているが、賃金を払えるかが未定。
4253	公的補助が簡単に申請できて、月にいくらかでも補助金が出れば、1人親方も育てやすい。
7112	公的補助がないと、今の厳しい時代、育成に力を入れることが出来ない。
2605	公的補助金が取得できるのであれば育成する
9584	公的補助金の充実!!
157	公的補助は大変いい案です。が、一步間違えると大変ですよ。
6760	公的補助より仕事量の確保が大事だと思う。公共工事等もちいさな工務店が元請となるような発注を期待したい。
7363	公務員と同等の社会保障と収入が得られる建設産業にならなければならないと思う。それでなければ、担い手は減るのみ。
5064	公務員より高収入で保障がないので、希望を持ってない職種であるので後人は育たない。

■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

(23) 担い手育成についてご意見等がございましたらご自由にご記入下さい。...(FA)

SEQ	ご意見
9439	工務店では直接お客様からの仕事が少なくなってきていて、住宅メーカーの下職に入っていることが多いので賃金も安く施工期間も短いので教える時間も取れない。
6051	ここまで出来たら、この位置、給料等の目標と育つ道筋を示すのが良いです。
6804	個人業者の仕事が増える様な景気になってもらいたい。仕事が続く事。
4576	個人事業では補助制度適用されないのが…。
9990	コストを考えると刻みは不可能、造作のみでは若手は育たないのかなと思う。
7119	雇用保険に入れない、役員等(後とり等)についての担い手育成のための教育、資格取得等の費用の公的補助についての十分な補助もしてほしい。
2398	これから先、職人を育てていくには、国の公的補助が必要
405	これからの建築業の担い手が少ないと感じているので公的補助等が必要不可と思う
4333	これからの時代、若い職人を育成する公的補助は必要と思う。日本、特に地方の建設業の発展のため、存続のためにも若い力を！！
7821	これからもっと利益が出ない単価設定になっていくと思うので若い子供達をつれては仕事にならないと思う。将来が見えない。
272	今回の省エネ化では、大工の技術向上には寄与しないであろう
6035	今後、大工職人がこの日本からいなくなってしまうのでは？国家的プロジェクトをするべき。
4854	今後仕事が減らないような体制ならば、育成する必要があると思う。
3792	今後の建築、技術、思想の継承をしていく中で、熟練技術者の時間と手間の投資が必要となってきます。若者の安定した生活も保障しなければいけない状況で、現在の技術単価があまりにも低すぎます。担い手育成にもっと力を注いでいただき助成支援により10年後、20年後により完成度の高い建築物を残すべきではないかと考えます。
1422	今後の仕事がどれくらいあるかわからなく、仕事が無い時の事を考えると、育成しにくい
624	根性ある若者がほしい
4348	根性がない。
3516	最近の若い人はコミュニケーション能力が乏しい気がする。(休憩時間でも会話せず、1人でスマホをしているetc)その辺を気付かせるとか、就職先で気を付けることとかの研修や補習があると良いのでは？と思う。
2072	最終的には賃金が大きく、影響すると思う。単価の底上げが住宅の質などに反映されると思う。大工など職人の魅力があまり感じれない現状。
3983	最初の頃と何年か経って経験してからでは、道具の種類も変わってきますが、それなりに経費がかかりま
7111	最初はやる気があるが長続きしない若者が多いようです。
5125	最低賃金が高いため、担い手は見習いと思っていない。
10018	探していますが、見つからない。
2266	左官がない
2028	先が見えない
7369	佐々木確師に5年間内弟子として師事した。木造伝RCを修得する。
5264	資格所持にかかわらず、受講できる講習会を希望します。
5960	資格を取る勉強時間、機関の充実ができれば良いと思う。
1519	時間、金がほしい
5705	時間の余裕。
483	事業所の福利厚生採用(年金雇用厚生年金)
8990	仕事があれば早い
9669	仕事が安定していないので不安がある。
8048	仕事が少ない！
5305	仕事が少なく、将来の保障がないので難しいと思う。
315	仕事がふえれば担い手が増えるので公的補助は必要ない
5037	仕事が連続して取れるようになれば1人ぐらいは育てたい。それが大工職になった者の最終目標かなと思
10028	仕事と金さえあれば挑戦したいです！
7671	仕事と社会的地位があれば…。
3247	仕事に対する賃金の低さ、自己満足だけでは生活できない。
3089	仕事の質を上げて収入が底上げされれば、若い人達ももっとでできます。
3101	仕事の需要(工事金額)があり、ユーザーの意識が必要かと思ひます。
8213	仕事の量が少ないため！！
5560	仕事量が増すこと(景気がよくなること)が必要です。
638	仕事をやめなければいけ
8767	自社で加工等している所で働かなければ、能力の向上はないと思う。
663	次世代の育成には力を入れていただきたいです
3551	時代の流れによって工法、仕様も変わっていくので、育成する側も常に向上心を持って仕事に取り組むことが必要。
5032	下請けの割合が8割ぐらいなので、そこまでの仕事と予算がない。

■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

(23) 担い手育成についてご意見等がございましたらご自由にご記入下さい。...(FA)

SEQ	ご意見
9608	質問、基礎断熱の場合、基準法の床下換気はどのように解釈されていますか？
2303	自分が育った時代よりかなり楽になり面白さはあまりないと思う。大工としての仕事が品がさがってしまったと思うため、あまり育ててもしかたなく…
4469	自分自身が高齢化しており、在来工法を守る為。
1187	自分自身が見習の為意見はありません
8887	自分で考えて発想し、家づくりのできる大工が増えて欲しい。職人として、プライドを持てる環境づくりが大事だと思う。メーカーの既製品しか扱った事がないようでは職人とは言えない。
9718	自分で考え物をつくる力が弱い。
6179	自分の子供にもすすめられない。自分からやるというのなら別だが。私は広告やいろんな物を持って行きながら、お客様の所を回っている。リフォーム専門に回っている。会社に入ってしまうと自分の仕事が出来なくなってしまうのはどうかと思う。
1417	島根県全域の職人、管理者不足の実態、そしてPRが必要と思われま
3008	地元(浜通り)に職業訓練校などが無い為、若い人材があまりいない。職人を無くさないための施設が欲しい
745	社員大工の必要性が高いと思います。高度成長期の価値観が大きく変化していますね！！
3383	社員として育てないと会社が存続していかないと。人材あつての企業であるので、ベテラン、中堅、若手が一体とならないと魅力ある会社にはならない。若手が頑張るからベテランもやる気がでると思いますしね。業界全体で盛り上げないと衰退すると思います。
3850	社会情勢や一人前までの年数が必要です。又、若者の意識のずれや我慢が出来ない人が多い。
8797	社会人になる前の素養があまりにもできていない。親がほったらかし、社会も見えて見ぬふりが多い。
5938	社会的地位が低いから成り手がいないから。
106	若年不足
4172	住居メーカーに押されて町場の新築はほとんど無いので、本当の技術を教える事が出来ない。
5339	就職ではなく修行だと思える者が、はたしてどのくらいいるのか？自分らの業界はこの先、萎え続けるので肉親以外の継承はかなり困難だと思われる。
3111	住宅が今後どう変化していくかで、担い手育成のあり方が変わるかと思っています。
8818	住宅設備メーカー、関連メーカーからの育成ファンドを設立したらいいか。
6012	住宅メーカーは手間が安い、期間がない為、仕事があってもその余裕はない。
1602	収入UP
2924	正直、他社の1年生を見ていると悲しい。説明しても返事は良いが全然分かっていない。表面だけ、たまにおそろしい施工している。
8913	少々のことでも、心が折れない子供を小学校から育成。
7906	小中高と土日休日からいきなり職人の仕事(日)のみ休みは難しいものがあり。ゆとり教育xxx
1280	将来安定した収入が得られるようになればよい
1191	将来性が無い職業だからかわいそう
120	職業訓練校が欲しい。礼儀マナー等研修をお願いしたい。
6064	職業訓練校にいかせたいが、本人がなかなかいかない。
6165	職業訓練校の継続。
6884	職業訓練校を多くする
4751	職業訓練校を中学生卒も入れられる様にしてもらいたい。
8017	職業に社会的地位がないといけなと思う。
9093	職種ごとに募集広告があると便利だと思います。
8039	職人が使い捨てされる環境では、魅力もなくなる。作業員と、伝統的大工の扱いは、分けなといけな。
406	職人待遇改善(所得など)、若年者がもっと希望がもてるような業界に！
5855	職人については業種(職種)によってかたよりが多く、少ないなり手のない職種では人手不足は致命的で、かなり近い将来に(現在についても)大変な問題だと感じている。なり手の少ない職種については国主導で育成を派手にやっていかないと半端なやり方では追いつかない状況に来ていると思う。(優遇、社会的地位向上等)
4924	職人に未来はない。税金も高い(所得)。生活が出来ない。色々ハードルがありすぎる。
7692	職人の給料を上げないと若い人から見て建築業をやりたいという気持ちが上がらないと思う。昔ながらの目で見て覚えるというやり方だと、今の若い人はすぐやめちゃうと思う。
4627	職人の社会的地位の向上、賃金の向上。
87	職場環境の改善が必要。3K職場では若者は来ない。
8527	助成金あれば良いのですが
6749	人口以上にありあまる住宅…、省エネ性が高い住宅=壊れない、長持ち。複雑…。
3009	人工単価が安く、担い手かかえることが困難。
6430	人材育成したいので紹介してもらいたい。補助事業や研修等があると助かる。
9115	人材がいない。
354	人材が見当たらない。若年、新卒者の希望職でなくなってきたと思う。業界の賃金を公務員並みに見直す。

■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

(23) 担い手育成についてご意見等がございましたらご自由にご記入下さい。...(FA)

SEQ	ご意見
8055	人材不足
2697	人材不足な状況を解消したい(自分の会社のことではなく、この時代の先を考えて)
9415	新築がない又プレカットのため基本的な仕事を習得できない。
5069	水産業、林業など担い手育成に補助金を出して行っている。建築、建設業界も人員を育てないと将来が不安になるのでは？
9736	数年後、職人不足が目に見えているので、各業種、市、国をあげて取り組むべき。
3275	数年先まで仕事がある可能性を含んでいるなら若衆を育ててみたい。
1421	少ない人材を一人前の職人に育成するためには事業主の理解も必要であるが、公的補助の割合、仕事の単価次第では育成どころではないという意見も聞きます。より良い魅力ある職場になってほしい。
1851	住込みの育成が一番だと思うが、家族の意見や同意が必要のため、むずかしいのが現実だと思う。通いだとあまえが出て、友人、知人の給料の比較で、やめてしまうのがほとんどだ。
2185	墨付け、手刻み加工で建てる家に公的補助してほしい
8433	墨付け、刻み、手道具をもっとできる環境が欲しい。そもそも大工の質、価値観が低すぎる。ちゃんとした下積み期間を作る→すぐ道具を持たせない。
7787	墨付け、手刻みの仕事を教えられる大工は、もう引退間近な人が多いです。この10年で引継ぎが出来なければ、技術が絶えかねません。
7798	墨付け、手刻みの仕事を増やす。プレカット、2x4住宅は人材育成不可能。
7650	墨付けが必要な仕事がないのでなかなか年月がかかる。
7090	墨付け刻みを行うような仕事=木を生かした設計を設計者がしなければ、(木建具の採用や木造作提案)担い手を育てられるような大工を残していくことは難しい。真壁で軸をアラワシにするような提案に使える補助金なども拡充してほしい。
7254	墨付けや、手刻み加工ができる費用と、工期がたくさんあるようにしてほしい。
3971	責任と地位の向上。
6914	世間並みの収入を得たいと思う人が多い為見習いという考えが無く難しいのでは？
9880	施工が最短のため、育てる時間がない。
8743	全体の賃金が上がってほしい。
180	専門技術者としての有能な大工職の担い手はおおいに必要であると考えます。大変参考になりました。快適な住宅(環境)は望ましい事項である一方、肉体的に弱い人間にならない努力と意識が必要かなと愚者のたわごとです。(例 人間の汗腺組織は3才くらいまでに完成されると言われています。真面目に耐えることのできる体質づくりを考える時、快適性に符合しないような気がしないでもありません。
4788	育てても他に移ってしまうのでそこがネック。
1287	育てないし、育てなければいけないと思っている。昨今の建築事業はスピード重視、そのため金銭面や時間の余裕がなかなかとれない。
8638	育てる人材がいても、その人の生活を保障する自信がない。
2225	育てるための費用も出ないし、教えるほどの工期ももらえない
602	その人の特性を見極めて、それに合った教え方をしたい
7820	大学の教育のあり方に問題があると思います。手に職を持って一人前になれば大手企業と同等の収入が得られ楽しく仕事ができると思います。担い手育成の前に興味を持ってもらう入口の対応が重要かと思いま
6177	大工(職人)の全体的な賃上げ必要。
9601	大工学校をつくり、給料をわたす。→新しい知識、工法ができる大工が高収入になるようにする。
7156	大工技能は必要ですので、若い方に大工になりたいと思う魅力をPRしたい。
396	大工訓練を各県に置いて、費用などは補助してもらえれば職人が増えると思います
9275	大工工賃が高くなり、現役の大工さんが儲ける⇒良い道具を買ったり、高級車に乗ったりできる⇒いつもニコニコ。仕事ができる⇒そんな大工さんに若い人が憧れる。
7693	大工さん育成したいが人材募集のやり方が分からない。良い集め方があったら教えて欲しい。
9339	大工さんなる人はいません。
607	大工さんの高齢化、人材不足は深刻だと思う。もっと制度等を作っていくと10年後にはいなくなってしまう。
5697	大工仕事のアピール、喜び。
5055	大工仕事のイメージをよくする。大工全体の賃金や仕事の安定もしていかないと担い手育成までおろそかになると思う。
2728	大工職以外にも担い手が必要だと思います
5369	大工職になりたい若い子とのパイプラインを作してほしい。
8276	大工職人と、プラモデル組立屋との線引きをしてほしい。
544	大工職の高齢化にともない若手職人の育成が必要だが、親方の手間が少なくなってしまうのと、仕事の確保が不定期なので育成したいが現状はなかなか負担がかかって、難しい
2411	大工職の付加価値をつけて、もっと労賃などを上げれば、担い手が育つと思う。但し、サラリーマン以上の年収の保証が必要。
5783	大工ではないので、あまりこのアンケートは無意味。

■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

(23) 担い手育成についてご意見等がございましたらご自由にご記入下さい。...(FA)

SEQ	ご意見
8637	大工という職業に入るが、他の職業の人と比べて、(時間、金額)早くやめてしまう人が多いと思います。
9702	大工といってもランク付けが必要だと思う。
84	大工としての職、労働時間、日数などの点より入りにくい業界ではないでしょうか？法の整備などをして、入りやすい未来の見えやすい職としての環境を整えてあげないと大工人口がますます減る。面白い仕事なんですけどね。
6236	大工になりたいと思う若い人がいない。
4993	大工に限らず各職方、山のきこり師なども担い手不足で悩んでいると思います。国全体で日本の建築のあるべき循環を見直し、正しい業界になることで育成環境も能力も変わってくると思います。住宅は売ればよしという簡単に楽観的なものではない。地球環境を変える力をもっているものと思います。
5953	大工になるにはどうしたらいいか、わからない人が多い。もっとわかりやすく(就職の仕方)してほしい。
657	大工の育成は急務である。今後の人材不足が不安。
6089	大工の価値を高める。職人さんの価値を高める。
3200	大工の技能の伝承が難しい。市場はコストと効率提供のため簡素化工法にシフトし、丸のことインパクトしか使わない現場が多い。プレカットで建物は建つが、現場の力は低下してしまいます。育成には場も必要だと大工の地位、身分のステータスが年々下がっている気がする。それは勉強不足、時代の流れに沿った知識、新工法、習得への意欲が無い大工が多いことから、それに対する世間のネガティブイメージがあるからだと思う。担い手がこないのはそこに一因があると思う。逆にそれを改善すれば担い手も増えることにつながると思う。
7660	大工は手間から交通費、道具を出さないといけないのもっと手間を上げて魅力のある仕事にしないと若い人はやらないと思う。
4413	大工は保障も少なく、工具などお金もかかります。若い子に大工なんて本当に好きでなければできないと思います。ハウスメーカーと工務店(職人)は違う(差がどこかにある)と言うものがないと続いていく事、働く事は難しいでしょう。自分の子供にはさせたくない仕事ですね。
3283	大工も建設会社、工務店の施工部隊の社員としての位置付けが良いと思います。
6220	大切だと思うが、そこまで余裕がない。
295	体力は衰えているが、腕のいいベテラン大工が技術をもてあましている。訓練校だけでなく、若手大工育成でそういう高齢の大工が活躍できるといい。
6761	高い給料を提示できない為、募集して人材が集まらない。
3192	高い賃金が出せない。
3136	他業種も必要。
5908	建売り、ハウスメーカーが強くて大工職の魅力を感じる事が少なくなり若い方に勧めづらい。
6792	段階を踏んで早期に習得させることが必要。賃金の価格差の設定とそれに見合う賃金アップ
5025	単価が上がら、やりがいが増さなければ足りません。
3564	単価が上がら余裕がないと育成できるわけがない。
6302	単価が安い。だから無理。
2493	単価が安すぎて若い人を育てる余裕がない。工期におわれてそれどころではない。
7358	小さい頃からもっと物を作ることを学校に入れて欲しい
9231	地場中小工務店の仕事確保ができないと、担い手育成は、難しいと思います。大手にばかり仕事が行っている現状が若手育成ができないものと思われま。手刻み加工を行っていた時代は技の習得が1番でしたが、今はお金のために仕事をしている方が多いと思います。職人の職としての心構えがなくなっていません。
6429	着工数が安定してないので、今は育成なんか無理やわ。
296	中小工務店では補助金は経営者側に得になるだけと思われる
3853	中小工務店や地域ゼネコン、ビルダー個々に育成を考えても進まない。建材販売店、問屋や資材流通に育成補助も考えて欲しい。
3263	賃金が良ければ建設業をする人は若くてもいると思う。(年収400万以上)
5054	賃金の底上げをしていけば自然と担い手は出てくると思う。
7590	賃金や労働環境が今のままだと育成はムリ
2348	賃金を上げる
1940	坪請で大工工事しているがいろんな仕事をサービスでさせる会社が多い。残念な仕事だ。
8330	坪単価を上げてもらいたい。
7717	手刻み加工の住宅に補助金を出す。若しくは減税。
9038	手刻みを推奨してほしい。
6593	適正な評価をしてランクを付与すべし、安く請負う大工を良い大工の基準が弊害。
1936	手間請単価のため現単価だけでは賃金支払いできないため
9095	手間を上げるしかないですね。
504	伝統建築の担い手を育成(社寺等)。国の補助があると助かる。
5598	伝統建築物、難しいリフォームの質の向上維持のためにも、是非昔からの技術が受け継がれる道を整備して欲しい。
7960	伝統工法と建築法とのギャップ

■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

(23) 担い手育成についてご意見等がございましたらご自由にご記入下さい。...(FA)

SEQ	ご意見
189	伝統工法の建物が作りやすい法整備が必要→職人がいなくなる
10134	伝統工法もできるような職人(大工、左官)が高齢化しており若い世代の職人が育っていないことに危惧を感じています。
5401	伝統的技術の継承については本当に使う考えていくべきである。と思っております。
3994	ドイツのマイスター制度のように、一定基準以上の能力を有する大工さんは最低限の年収を確保できるように制度を定めれば、魅力ある職種となり担い手になる若者が増えると思います。早急な実現を望みます。
330	ドイツのように職人の地位をあげる。勉強が嫌いだから職人と言う考え方を改めて行く必要性を感じます。
134	特になし
165	特になし
850	特になし
1836	特になし
2442	特になし
5393	とくかく良い人材がいませんね。
1780	特にありません
5514	特にありません
6016	特にありません。
6722	特にありません。
3512	特になし
4191	特になし
4367	特になし
5494	特になし
6206	特になし
6973	特になし
7279	特になし
7673	特になし
8395	特になし
8747	特になし
8970	特になし
9897	特になし
785	独立するかもしれない。後を継ぐとはかぎらない。
9856	とにかく高等教育が進みだれも職人の数がどんどん少なくなってくるので、現場にいる設計屋でもえらいえらくない関係なく手伝ってほしい。何の仕事がすれば良いですか？出題する所を述べていないので点数が悪
2211	どのように募集をかけたらいいかかわからない
7520	努力を惜しまない。時間をかけてダラーしたらいけない。1週間に1日は休みを取る。
914	なし
1228	なし
2581	なし
4117	なし
4764	なし
5213	なし
6212	なし
7122	なし
7262	なし
7338	なし
7774	なし
8036	なし
8904	なし
8943	なし
9005	なし
9278	なし
9315	なし
10109	なし
7167	何が作りたいかにより、若衆への対応も変わると思います。
5571	なるやつが二人ならなっても良いと。二人一緒には育てられないし、冬期間のことを考えると二の足を踏む。
6971	日給ではなく、月給制とすべきです。各保険を掛けてあげる。
2438	日当が安い
8148	担い手(社員となる人)の考え方の問題(自分で考えることをしない)
3599	担い手育成にかかる費用の公的補助の事を教えて欲しい。また、現実的に昔のような师徒制度の条件で雇用することは可能なのか？(給料面等)

■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

(23) 担い手育成についてご意見等がございましたらご自由にご記入下さい。...(FA)

SEQ	ご意見
5084	担い手育成については、以前弟子として受け入れたこともあるが、1年～2年では1人前にならないので、昔の弟子制度とは違って現代の弟子制度では受け入れ側にも費用に負担がかかるので、公的補助をもっと利用できるならば、その方向性で担い手の育成に十分活用できれば良いのと思います。在来工法や伝統工法などの墨付、手刻み加工、本当の意味での技術向上にもつながる様なれば良いのと思う。
8135	担い手育成の公的補助の受け方を教えて欲しいです。
1555	担い手育成の為、公的補助があれば若い大工は育てやすくなると思います。ぜひ、公的補助を！
3789	担い手育成の為には大工手間(賃金)UPが必要だと思います。
5164	担い手育成の補助金をだしてほしい。
5853	担い手育成の窓口を各市町村に設置して欲しい。
6920	担い手育成は色々考えさせられますが最初から最低賃金を支払い各保険等に加入と今の法律では大変な事業です。本人がやる気があれば別。
2873	担い手育成費は不要と思うが、まず建設業に従事する若手を増すシステム等(給与、待遇等含む)に補助金があれば良いと思う
3918	担い手育成よりも建設業界へ進む人材が少ない。
455	担い手育成を実施する事業者に対し優先的に公的事業の受注をさせてもらいたい
9656	担い手が一人前になれるように指導する時間等が仕事の時間内にはないので施工費に指導する費用もみてほしい。
3292	担い手がいないのが現状。建築業界の賃金単価が低いため育成が難しい。(自分自身の手間だけでいっぱいになっている現状です)
7592	担い手があると活気が出ると思います。
5648	担い手が小・中学生のうちから建設現場を見学させて、建設工事のアウトラインを知っておいてもらうとよい。図工の時間に建築模型を紙工作で作るとか、平面図の簡単なものを作らせるとか、子供のうちから建築になじませておくとよい。(講師は建築士协会会员のだれかが務めること。できるだけ近所の人)子供のしつけの一環に建築を織り交ぜること。
3580	担い手になりたいと希望するものは、業界の未来が明るいか、オレが明るくしてやろうと思うかのどちらかだと思う。入口が広く開いているというイメージがないことも、大工の人数が少ない原因だと思う。
2840	担い手の育成者と担い手の生活が保証されれば、難しい問題ではないし、それ以外方法が無い。
3520	担い手の育成は何らかの公的助成がないと、1から育てていく事が難しいと思います。
31	担い手の世代がゆとり世代になってきたので、根本的に考え方が違う。少々きついとすぐ辞めてしまうので育成が時間のムダになっている。建設業界全体の問題かと思う。
3080	担い手は早く一人前になりたいという気持ちが大切と思う。あとは環境！
8092	担い手は必要だと思う。在来工法ができなくなる恐れあり。
9015	担い手は欲しいが、現場の受け金額が安いので、担えば赤字になるので・・・自分で賄い金額が負けるようなら考えたいです。
385	担い手を育成しても、途中でやめてしまいました。もう少し我慢が必要だと思います。今頃の人は、弟子感覚がない。
5296	担い手を育成するには費用がかかりすぎなので、国、県の補助金をもっと増やしてもらいたい。
9443	担い手を育成できるまでの仕事量がないのが実態だと思う。
3541	日本が変わらなければ始まらない。
93	日本建築の素晴らしい技術者が、いなくなるのは、日本の大きな損失であり、次世代の家のあり方が心配。日本の住文化は守るべきではないかと思う。
7739	日本人があまりにも職人になり手がいない。そのため中国人、ベトナム人を教え育成しているが3年というしほりがある。
7733	日本人の若い子が仕事に生きがいを持てる環境になると育ってくれるのではないかと思う。
9908	ハウスメーカー等の手間代が上がれば人を呼びたい。
3188	働きやすい環境を整える事だと思う。きつい仕事なので、ちゃんとした賃金をもらうこと。一日一万円以上。
7610	発信していくことが重要だと考えます。
7355	ハローワーク等で行っている若手育成などの補助金の説明会などを神奈川土建でも行ってほしい
1954	パワービルダー年150株以上の大工最低賃金を230000円以上にする法案。大工仕事の外注発注の禁
3327	必要があるとは思いますが、もし公的補助になるなら、給与支払い時の証明を持って、公的機関に手続き、本人に支給されるならありがたいと思います。
8667	必要不可欠だと思う。社会人になる前に学生時点で技術に関する体験レベルから段階的に接する機会を増やし興味がある人を増やすところから取り組むべきと思う。
9072	人がいない。もう閉めた方が良いのでは？
5922	人それぞれ
1149	一つの会社組織で担い手を育成するのは負担が大きいのので、複数の会社が出資協力し合って、業界全体で担い手育成ができれば良いと思います
1479	人手不足→国、社会としての育成システムが必要。システムを生かす(若手増強)
2637	

■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

(23) 担い手育成についてご意見等がございましたらご自由にご記入下さい。...(FA)

SEQ	ご意見
8258	人についてくるものだと考えているのでとにかく仕事を切らさないという事が今一番大事。
9629	人人(その人)によります。
7808	人を育てることはやはり誰かが自分の手を止めて行わないといけな。その所の収益や作業ペースの低下は経営側として厳しい現状があります。雑務だけでは人は育たないのも事実です。
2109	人をやとうほど仕事はない
2495	費用がかかるためむずかしいと思う
7110	費用の公的補助があるのなら、若手育成に前向きに考えられるので、ぜひお願いします。
9018	費用をあまりかけずに求人する方法があれば知りたい。
377	福利厚生条件が悪く職人になろうという若い人がいないので補助を受ければ少しは改善できるのですが...
3567	プレカット禁止。
9623	プレカットなくす。
5051	プレカットの仕事ばかりだと、育成は専門の人に依頼した方が良い。
223	プレカットばかりで一人前にはならない
7597	分業化が進んでいるため難しい。今の木工は組立工に過ぎない。宮大工としての職人以外不要かも?増改築が不可となるのでは?
3313	弊社での木工は手刻みでもなんでもできる木工3人を常用しています。手刻みが必要かどうかですが、若い来れる大工が少くない。若い人の育成をもっと補助する必要があると思います。
5824	ベースアップ、保障がないと若い人が建設業に入ってくないと。特に施工者!!職人!!
9797	別にない
5211	ベテラン職人(経営者)の意識をかえないと、担い手は育たないと思う。住宅施工だけの木工職人では大変。神社や仏閣などの施工も体験できるようにして、地域の建物を守るという体制があればよい!
7414	鉋やノミも必要としない仕事ばかりでは教える方も教わる方もあまり意味がなくやりがいを感じられないのではないのでしょうか?(ボード張り等の仕事の職人を「木工」と呼んでいいものなのか)
825	法律でしぼりすぎない(建築全般について)
9481	法令遵守又耐震基準等の最低限の知識が必要なので(長期間が必要)法令、施工規則、令等の講習会を基礎編から行ってほしい。
7649	保健、保証等の補助的な物があれば知りたい。
7790	募集しても若い人が来ない
7168	募集しても応募が無いようです。
8493	補助金が多く付けば、日給を払って講習等に参加させることができるので、宜しくお願いします。
5079	補助金等が充実すればいい。
434	本件は、小企業または自営工務店で起きる現象でしょうか...自社における担い手育成は中々厳しい時代と感じています。自営に限って言えば、今回の様な講習を通じ他社様同士の人材派遣のような形ができれば、私は勉強中の身ですので、参加意欲があります...
439	本当に20代の職人が少ないと思う。これからの住宅産業はどうなっていくのか?大手メーカーからのしぼりが多いのではとも思う。
6040	本当に考えているのか?もうすでに遅い!!
6234	本当に技術のある職人は必要なくなっている。技術より知識となっている。10年かけて育成しなければ出来ないような仕事を求める人が少ない。
7001	ほんとうに建築木工をしたい子なら、どんな方法を使っても師匠を探すと。思います。
6231	本人のやる気が重要。
8709	前の質問で①と答えたが、本音は本人の意識が大事だと思う。一応就職という形で毎月、給料をもらうのだから、公的補助は必要ないと思うが、担い手がいなくてという社会の現状でしょうか。悲しいです。
1235	まず現場があること。民間、官公庁含めて、技術の伝達の機会を実践で学んでいるチャンスを多く若い方々に与えられる環境(教育の場も含めて)を社会全体で。
3006	まだペーペーなので。
1099	まわりの理解が重要
4697	身内とやっているの、いい面もあり悪い面もある。
7794	身近にいないため、わからないが、やりたい人がいれば教えてもいい。
3195	皆、育たない。給料を払えない。
7196	見習い1年目から5年ほどは、補助してほしいと思います。
8528	見習い取っても覚える事できない。今の若い木工さんは木工さんではない作業員です。
5413	魅力がない。
9515	魅力的な仕事しなければ今後の担い手は少ないと思います。いかに好きになれるか?賃金、環境等同年代では多いですが、社会保険等を入れたら少なくなるため苦勞しても同じではつまらないです。
9739	昔と違うし...組み立て作業員なんかいくら育てても意味がない。
8407	昔とは違い今は様々な職種やアルバイトの経験などにより低賃金での見習い育成は難しいと思います。

■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

(23) 担い手育成についてご意見等がございましたらご自由にご記入下さい。...(FA)

SEQ	ご意見
6213	昔ながらの教え方、やり方を応用して、育成していけば職人が増えると思います。(暴力は必要ない)楽しい職場にする事が重要です。
7386	難しい
1978	息子が社員としてでなくアルバイトで手伝っているがやる気があるならないやら！教える気もおきない！
5921	無駄なように思われがちな事(現在では必要ない仕事、カンナ、ノミ等のどき、ケズリ含めて)を覚えて欲し
8782	メーカー(工務店)が単価を下げたり、工期が短かかったりして、ゆっくり育成する時間がない、どうにかならないか？
9352	もう少し技術が賃金にアップにつながると良いと思う。
6417	もう少し現場にたずさわる人等の賃金が上がれば、若い人達もなろうと思うんじゃないかな。
2673	木造軸組工法を、若い人に伝えていきたいです
419	木造住工法が多くなるような制度(例えば補助金を出すとか)を進めてほしい
601	目標が見えずに、就職浪人する若者が多いので、義務教育から仕事とは何か、生活を維持するとは何か、もっと教育し、指導すべきと思います。私もそのうちの一人であったと思います。
9071	持っている技術のレベルが高いだけでなく、教える能力が高い人間を教育者にする必要がある。
5432	もっと行政で力をいれる事。国の予算組をしてほしい。日本の建築技術が消えていくのが心配です。
5248	もっと助成の基準を上げて欲しい。技能主以外でも育成できる。
9650	もっと木造住宅が建築すれば(忙しいくらい)良いと思う。
9499	元請の賃金が上がらない以上無理
3424	ものづくり愛知という事になっているのですが、職業訓練校等、若い人を教える機関が減少し、将来職人さんがいなくなるのではと心配です。大事な技術を要する職種なので、大事に育てたいと思うのですが。
4939	ものになるかは本人次第。(やる気、やりがい、達成感が感じられるか)
309	安い仕事で根性だけ求められる。単純作業におもしろさがない。スピードばかりで余裕がない。
1963	やってみたい
1204	やはり仕事が保障できないので難しいと思います
6431	やらないほうが良いと思う。今の大工はただの下請でしかないのでやりがいもなにもない。
33	やる気
7523	やる気がある子なら、賃金以上の仕事をしてくれるので、補助など考えなくてもいいと思います。
5234	やる気がある人来てください。
9725	やる気のある人材を求めたい。現在まで2人育てた。
2113	やる気のある人がたくさんいるとたずかります
3233	やる気のある若者がいない。
2910	ゆとり教育世代の基礎学力、知識及び社会常識の低下を育成時に感じると良く聞かれます
2405	世の中の単価が低く、ハウスメーカーなどだけ良いのでこまる
4787	零細企業にとって何もわからない最初から、一般同様の給料で担い手を育成するのは難しい。公的補助が必要かと。
6346	労働者が少なくなっている昨今、とても深刻な問題です。日本の大工技術もなくなってしまうおそれがある。
2062	労務なんだから金が良くなきゃ増えるわけないわ。安くなる一方で、若手育てるとか笑わせんな。
8489	若い方が将来仕事を続けていく上で収入等の不安を持たせないようにできればと思います。
2164	若い方にこの業種に興味を持ってもらいたい。また、やりがいのある仕事であることを分かってほしい。業界関係者は、日頃からその努力をしていかなければならないと思う。
9153	若い子で大工になりたい子が少ない。大工の技が失われそうでさみしい。けど、基本的に業界全体がブラックと思う…。(有給や、休みが少なかつたりとか)
5789	若い子との関わりが少ない為、若い子と関わりを持てる機会があればいいと思う。
5950	若い子は工務店に就職する感覚があり、最初から給料を出すのが難しい。
925	若い衆はわがままでだめ！
5874	若い職人(方)が不足しています。補助金、講習等必要。
1430	若い職人が技術を学ぶ場がない。雇用保険などを掛けていない会社に属する場合、自費で勉強するしかない。
9545	若い職人が少ない中、育てなければならぬと思う(きちんとした職人を)
4401	若い職人が欲しい(施工管理をするものとして)
3892	若い人材は必要です。
5448	若い人材を探していますが、なかなかいません。後継者の育成に力をもっと入れていべき。
1083	若い人材を育てていますが、口を揃えて将来の不安が強い上、給与の面、補償が一般の職業より低いと思われる。肉体的にも大変な職だが、それ以上の魅力が無くっている。
3959	若い大工をたくさん育てたい。
432	若い人が集まらなくなっている。賃金もそうだし、労働条件もそうだし改善していき、活気のある産業にしてほしい。
9418	若い人が大工になっても、結婚して、子育てができるだけの収入がないように思う。
1200	若い人が大工になりたいと思う環境作り、例えば今頃の大工さんが幸せと思う事が大切

■「大工の実態」に関するアンケート調査(全体集計)

(23) 担い手育成についてご意見等がございましたらご自由にご記入下さい。...(FA)

SEQ	ご意見
3409	若い人が働くシステムを作ってほしい。
8823	若い人全体が忍耐力がなくなり我慢強さが消えつつある。
12	若い人で大工になりたいという人がいない、もっと魅力ある職場であるようアピールするか、給与面で考えなければ、なり手がいないのでは？職人へなろうとする人が少なくなった
5073	若い人に頑張ってもらいたいです。
3504	若い人に人気がある職業にしたいと考えています。
6292	若い人のガマンが足りない。
9311	若手(本人)が将来天職としてヤル気があれば、惜しみなく指導したいと思う。
10155	若手育成の補助があれば教えて欲しい。
4731	若手が居たら組合活動などに、どんどん出席してほしい。
1442	若手の人材不足
2307	若手用の講習会があれば参加させたい
2156	若者がいない
5526	若者が少ない。
1	若者に魅力のある仕事内容、賃金を今後考えていきたい
9122	若者は賃金に走る。
5057	わからない。
4851	私の会社は初給を15万ぐらいで、年に少しづつ上げて4年間ぐらいして会社で2級管理技士の免許を取っていただくようにしています。費用も全部会社でもつようにして、免許取れたら2級管理給をあげています。
3087	わっかもんはすぐやめてしまう。

平成26年度国土交通省補助事業
住宅市場技術基盤強化推進事業
大工・職人の実態に関するアンケート調査 報告書

平成27年3月
一般社団法人 木を活かす建築推進協議会
〒107-0052 東京都港区赤坂 2-2-19 アドレスビル 5F
TEL:03-3560-2882 FAX:03-3560-2878 URL: <http://www.kiwoikasu.or.jp>
